

基本計画書

基本計画									
事項	記入欄							備考	
計画の区分	学部の学科の設置								
フリガナ 設置者	ガコリンジン キョリンガクエン 学校法人 杏林学園								
フリガナ 大学の名称	キョリンガク 杏林大学 (Kyorin University)								
大学本部の位置	東京都三鷹市新川6丁目20番2号								
大学の目的	<p>本学は、教育基本法及び学校教育法に則り、かつ建学の精神に基づいて、崇高な人類愛と高度の科学精神を基盤とするすぐれた人材の育成を目的とし、もって広く人類の福祉に貢献することを使命とする。</p>								
新設学部等の目的	<p>診療放射線技術学科では、医療職としての高い専門性と確かな技術力に加え、豊かな人間性を併せ持ち、チーム医療の一員として他の医療従事者と協調し患者中心の医療に貢献できる人材を養成することを目的とする。</p>								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	
		年	人	年次人	人		年 月 第 年次		
	保健学部 [Faculty of Health Sciences] 診療放射線技術学科 [Department of Medical Radiological Technology]	4	50	-	200	学士（診療放射線学）	平成25年4月 第1年次	東京都八王子市宮下町476番地 東京都三鷹市新川6丁目20番2号	
計		50	-	200					
同一設置者内における変更状況 (定員の移行、名称の変更等)	外国語学部英語学科〔定員減〕 (△10) 総合政策学部総合政策学科〔定員減〕 (△15) 総合政策学部企業経営学科〔定員減〕 (△25)								
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
		講義	演習	実験・実習	計				
	保健学部診療放射線技術学科	69科目	14科目	12科目	95科目	133単位			

教 員	学 部 等 の 名 称		専任教員等					兼 任 教 員 等	
			教授	准教授	講師	助教	計	助手	
新 設 分	保健学部 診療放射線技術学科		5 (5)	2 (2)	1 (1)	2 (2)	10 (10)	0 (0)	0 (0)
	計		5 (5)	2 (2)	1 (1)	2 (2)	10 (10)	0 (0)	0 (0)
既 設	医学部 医学科		72 (72)	44 (44)	45 (45)	238 (238)	399 (399)	0 (0)	131 (131)
	計		72 (72)	44 (44)	45 (45)	238 (238)	399 (399)	0 (0)	131 (131)
組 織	保健学部 臨床検査技術学科		9 (9)	6 (6)	7 (7)	10 (10)	32 (32)	0 (0)	5 (5)
	健康福祉学科		4 (4)	6 (6)	3 (3)	2 (2)	15 (15)	0 (0)	9 (9)
の 概	看護学科		11 (11)	12 (12)	11 (11)	19 (19)	53 (53)	0 (0)	8 (8)
	臨床工学科		4 (4)	4 (4)	0 (0)	5 (5)	13 (13)	0 (0)	2 (2)
設 分	救急救命学科		4 (4)	0 (0)	2 (2)	10 (10)	16 (16)	0 (0)	5 (5)
	理学療法学科		4 (4)	4 (4)	3 (3)	7 (7)	18 (18)	0 (0)	0 (0)
要	作業療法学科		6 (6)	2 (2)	2 (2)	6 (5)	16 (15)	0 (0)	0 (0)
	計		42 (42)	34 (34)	28 (28)	59 (58)	163 (162)	0 (0)	29 (29)
の 概	総合政策学部 総合政策学科		10 (10)	7 (7)	5 (5)	0 (0)	22 (22)	0 (0)	21 (21)
	企業経営学科		6 (6)	4 (4)	3 (3)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	7 (7)
分	計		16 (16)	11 (11)	8 (8)	0 (0)	35 (35)	0 (0)	28 (28)
	外国語学部 英語学科		9 (9)	4 (4)	2 (2)	1 (1)	16 (16)	0 (0)	54 (54)
要	中国語学科		7 (7)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	23 (23)
	観光交流文化学科		5 (5)	3 (3)	1 (1)	1 (1)	10 (10)	0 (0)	19 (19)
の 概	計		21 (21)	12 (12)	3 (3)	2 (2)	38 (38)	0 (0)	96 (96)
	合 計		156 (156)	103 (103)	85 (85)	301 (300)	645 (644)	0 (0)	284 (284)
教 員 以 外 の 職 員 の 概 要	職 種		専 任		兼 任		計		
	事 務 職 員		48 (48)	人	11 (11)	人	59 (59)	人	
	技 術 職 員		0 (0)	人	0 (0)	人	0 (0)	人	
	図 書 館 専 門 職 員		6 (6)	人	1 (1)	人	7 (7)	人	八王子キャンパスのみ
	そ の 他 の 職 員		1 (1)	人	3 (3)	人	4 (4)	人	
計		55 (55)		15 (15)		70 (70)			
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用		計			
	校 舎 敷 地	136,727.16㎡	—	㎡	—	㎡	136,727.16㎡	大学全体	
	運 動 場 用 地	14,570.00㎡	—	㎡	—	㎡	14,570.00㎡		
	小 計	151,297.16㎡	—	㎡	—	㎡	151,297.16㎡		
	そ の 他	34,950.65㎡	—	㎡	—	㎡	34,950.65㎡		
合 計		186,247.81㎡	—	㎡	—	㎡	186,247.81㎡		
校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用		計			
		74,221.81㎡ (74,221.81㎡)	—	㎡	—	㎡	74,221.81㎡ (74,221.81㎡)	大学全体	
教 室 等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設		語学学習施設			
	93室	107室	38室	9室 (補助職員 人)		3室 (補助職員 人)		大学全体	

専任教員研究室		新設学部等の名称			室数					
		保健学部診療放射線技術学科			9			室		
図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料	機械・器具	標本			
	保健学部 診療放射線技術学科	90,645 [27,983] (90,645 [27,983])	234 [14] (234 [14])	105 [105] (105 [105])	3,015 (3,015)	3,003 (3,003)	299 (299)	保健学部全体		
	計	90,645 [27,983] (90,645 [27,983])	234 [14] (234 [14])	105 [105] (105 [105])	3,015 (3,015)	3,003 (3,003)	299 (299)			
図書館		面積		閲覧座席数		収納可能冊数		保健学部全体		
		738㎡		120		65,916冊				
体育館		面積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
		12,894.53㎡		野球場1面、テニスコート8面、弓道場1、アーチェリー練習場1						
経費の 見積り 及び 維持 方法の 概要	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	図書購入費には、電子 ジャーナル、データ ベース費用を含んでい る。 保健学部全体	
		教員1人当り研究費等		1,041千円	1,055千円	1,058千円	1,058千円	-		-
		共同研究費等		900千円	900千円	900千円	900千円	-		-
		図書購入費	34,838千円	37,173千円	39,971千円	43,032千円	46,379千円	-		-
	設備購入費	85,794千円	87,510千円	89,260千円	91,045千円	92,866千円	-	-		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
	1,900千円	1,650千円	1,650千円	1,650千円	-千円	-千円				
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金収入、手数料収入等を充当する。							
既設 大学 等の 状況	大学の名称	杏林大学								
	学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所在地	
	医学部 医学科	年	人	年次 人	人	学士 (医学)	1.00	S45年度	東京都三鷹市新川 6丁目20番2号	
	保健学部 臨床検査技術学科	4	80	2年次 6 3年次 4	346	学士 (保健衛生学)	1.21	S54年度	東京都八王子市 宮下町476番地	
	健康福祉学科	4	20	2年次 6 3年次 4	166	学士 (保健衛生学)	1.17	S54年度	東京都八王子市 宮下町476番地	
	看護学科 (看護学専攻)	4	120	2年次 2 3年次 8	442	学士 (看護学)	1.13	H6年度	東京都三鷹市新川 6丁目20番2号	
	(看護養護教育学専攻)	(4)	(90)	(2年次 2) (3年次 8)	(412)	-	-	H6年度	東京都三鷹市新川 6丁目20番2号	
	(看護養護教育学専攻)	(4)	(30)	(-)	(30)	-	-	H6年度	東京都八王子市 宮下町476番地	
	臨床工学科	4	40	-	160	学士 (臨床工学)	1.30	H18年度	東京都八王子市 宮下町476番地	
	救急救命学科	4	40	3年次 5	170	学士 (救急救命学)	1.24	H19年度	東京都八王子市 宮下町476番地	
	理学療法学科	4	40	-	160	学士 (理学療法学)	1.18	H21年度	東京都八王子市 宮下町476番地	
	作業療法学科	4	40	-	80	学士 (作業療法学)	1.16	H23年度	東京都八王子市 宮下町476番地	
	総合政策学部 総合政策学科	4	170	3年次 10	700	学士 (総合政策学)	1.09	S59年度	東京都八王子市 宮下町476番地	
	企業経営学科	4	100	3年次 5	410	学士 (企業経営学)	1.09	H18年度	東京都八王子市 宮下町476番地	
	外国語学部 英語学科	4	120	3年次 5	470	学士 (文学)	1.13	H18年度	東京都八王子市 宮下町476番地	
	中国語学科	4	30	3年次 15	60	学士 (中国語コミュニケー ション学)	1.11	H23年度	東京都八王子市 宮下町476番地	
	観光交流文化学科	4	70	3年次 3	213	学士 (観光交流文化学)	1.17	H22年度	東京都八王子市 宮下町476番地	
中国語・日本語学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	H18年度	東京都八王子市 宮下町476番地		
応用コミュニケーション学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	H18年度	東京都八王子市 宮下町476番地		
附属施設の概要	名称	杏林大学医学部付属病院								
	目的	診療および医学教育								
	所在地	東京都三鷹市新川6丁目646番地1外								
	設置年月日	昭和45年8月								
	規模	土地29,500㎡、建物122,000㎡								

教育課程等の概要															
(保健学部診療放射線技術学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
人文・社会学系	哲学	1前・後	2			○								兼1	
	生命倫理	1前	2			○								兼1	
	社会学	1後	2			○								兼1	
	日本国憲	1前	2			○								兼2	
	社会学	1後	2			○								兼2	
	社会学	1前・後	2			○								兼1	
	社会学	1前・後	2			○								兼1	
小計 (7科目)	-	-	2	12	0	-	-	-	0	0	0	0	0	兼7	
基礎分野	基礎数学	1前	2			○			1						
	医療情報科	1前	2			○				1					
	計算機演習	1後	1				○				1				
	統計学演習	1前	1				○					1			
	基礎物理学	1前	2			○				1					
小計 (5科目)	-	-	8	0	0	-	-	1	2	0	1	0	0		
化学・生物学系	基礎化学	1前	1			○			1						
	無機化学	1前	2			○			1						
	生物有機化学	1前	2			○								兼1	
	基礎生物学概論	1前	1			○								兼1	
	生命科学	1前	2			○								兼1	
	細胞生物学	1後	2			○								兼1	
小計 (7科目)	-	-	2	10	0	-	-	1	0	0	0	0	兼5		
言語系	英語 I	1前	2			○								兼1	
	英語 II	1後	2			○								兼1	
	英語 III	2前	2		2	○								兼1	
	英語 IV	2後	2		2	○								兼1	
	英語会話	2前・後	2		2	○								兼1	
	日本語表現法	1前・後	2		2	○								兼1	
小計 (6科目)	-	-	6	6	0	-	-	0	0	0	0	0	兼4		
専門基礎分野	解剖学実習	1前	2			○								兼3	オムニバス
	組織学実習	1後	1					○						兼3	
	臨床生理学実習	1前	2			○								兼1	
	臨床生理学実習	1後	1					○			1	1		兼2	
	感染症・免疫学	1後	2			○			1					兼1	
	薬理衛生学	2前	2		2	○			1					兼1	
	薬理衛生学	2前	2		2	○								兼6	オムニバス
	疾病の成り立ち I (感覚器系・女性生殖器系)	1後	2		2	○								兼2	オムニバス
	疾病の成り立ち II (消化器系)	1後	2		2	○								兼2	
	疾病の成り立ち III (呼吸器系)	1後	2		2	○								兼2	オムニバス
	疾病の成り立ち IV (循環器系)	2前	2		2	○								兼1	
	疾病の成り立ち V (神経系・脳血管系)	2前	2		2	○								兼1	
	疾病の成り立ち VI (腎・泌尿器系)	2前	2		2	○								兼1	
	小計 (14科目)	-	-	24	2	0	-	-	2	0	1	1	0	兼19	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手					
保健医療福祉における理工学的基礎並びに放射線の科学および技術 専門基礎分野	医用電気工学	1前	2			○												
	医用電気工学実験	1後	1					○									兼1	
	医用電子工学	1後	2			○											兼1	
	医用システム工学	2前	1					○										
	医用システム工学	2前	2			○												
	放射線工学	2後	1					○										
	放射線生物学	1後	2			○												
	放射線生物学演習	1後	2		1			○										
	放射線物理学Ⅰ	1後	2					○										
	放射線物理学Ⅱ	2前	2					○										
	放射線物理学演習	2前	2		1			○										
	放射線化学演習	2前	2		1			○										
	放射線計測学演習	2後	2					○									1	
	放射線計測学実験	2後	1						○								1	
放射線取扱技術学演習	3前	1						○								2		
放射線取扱技術学演習	2前	1						○								1		
小計 (17科目)		-	22	3	0			-				3	2	0	2	0	兼1	
診療画像技術学	放射線画像検査技術学概論	2前	2			○						1						
	診療画像検査技術学Ⅰ	2前	2			○										1		
	診療画像検査技術学Ⅱ	2後	2			○										1		
	診療画像検査技術学Ⅲ	3前	2			○										1		
	診療画像検査機器学Ⅰ	2前	2			○						1						
	診療画像検査機器学Ⅱ	2後	2			○						1						
	画像解剖学	2前	2			○							1					
	画像解剖学演習	2後	2		1			○					1					
	診療画像検査技術学演習	3前	1					○									1	
	診療画像検査技術学	3前	1						○								1	
	小計 (11科目)		-	18	1	0			-				2	0	1	2	0	0
核医学検査技術学	核医学検査技術学概論	2後	2			○						1						
	核医学検査技術学各論	3前	2			○						1						
	核医学検査機器学	2後	2			○										1		
	放射線性医薬品学	2前	1			○						1						
	核医学検査技術学演習	3前		1				○				1					1	
小計 (5科目)		-	7	1	0			-				2	0	0	1	0	0	
放射線治療技術学	放射線治療技術学Ⅰ	2後	2			○						1						
	放射線治療技術学Ⅱ	3前	2			○						1						
	放射線腫瘍学	3前	2			○						1						
	放射線治療機器学	3前	2			○						1						
小計 (4科目)		-	8	0	0			-				1	0	0	0	0	0	
医用画像情報学	医療画像情報学Ⅰ	2後	2			○						1						
	医療画像情報学Ⅱ	3前	2			○						1						
	医療システム情報学	3前	2			○							1					
	医療画像情報学演習	3前		1				○					1					
	医療画像情報学	3前	1						○				1					
小計 (5科目)		-	7	1	0			-				1	1	0	0	0	0	
放射線安全管理学	放射線安全管理技術学	3前	2			○											1	
	放射線安全管理技術学演習	3前		1				○									1	
	放射線安全管理技術学	3前	1						○								2	
	放射線安全管理学関係	2後	2			○						1					1	
小計 (4科目)		-	5	1	0			-				1	0	0	2	0	0	
臨床実習	画像検査技術学実習	3後～4前	6					○				1						集中
	核医学検査技術学実習	3後～4前	2					○				1	1					集中
	放射線治療技術学実習	3後～4前	2					○				1						集中
小計 (3科目)		-	10	0	0			-				3	1	0	2	0	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門分野 総合領域	医療総合演習	4後	2				○		5	2	1	2		兼1 兼1
	医療安全学	3後・4前	2			○		2		2				
	臨床医療	3前		2		○								
	臨床医療	3後・4前		2		○		5	2	1	2			
	特別講義I	2前		1		○		1						
	特別講義II	3後・4前		1		○								
	卒業研究	4後	4				○		5	2	1	2		
計(7科目)		-	8	6	0		-	5	2	1	2	0	兼2	
合計(95科目)			-	127	43	0	-	5	2	1	2	0	兼36	
学位又は称号		学士(診療放射線学)			学位又は学科の分野			保健衛生学関係						
卒業要件及び履修方法							授業期間等							
卒業要件：4年以上在学し、133単位以上を修得しなければならない。 必修科目127単位 履修方法 科目区分：基礎分野[人文・社会学系]から必修2単位を含め4単位以上 科目区分：基礎分野[化学・生物学系]から必修2単位を含め4単位以上 科目区分：基礎分野[言語系]から必修6単位を含め8単位以上 (履修科目の登録上の上限：50単位(年間))							1学年の学期区分			2学期				
							1学期の授業期間			15週				
							1時限の授業時間			90分				

教 育 課 程 等 の 概 要														
(保健学部臨床検査技術学科)														
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
人文・社会学系	哲学	1前・後		2		○								兼1
	心理学	1前		2		○								兼1
	法学	1前		2		○								兼2
	日本国憲	1後		2		○								兼1
	社会学	1前・後		2		○								兼1
	生命倫理	1後		2		○								兼1
	芸術	1前・後		2		○								兼1
	小計 (7科目)	-	0	14	0	-			0	0	0	0	0	兼7
数学・物理学系	数学	1前		2		○								兼1
	医療情報科学	2前		2		○				1				
	医療情報処	1後		2		○								兼1
	医療情報処	2前		2		○	○				1			兼1
	基礎物理学	1前		1		○			1					
	物理学	1後		2		○			1					
	物理学実	1前		1				○						
医学概論	2後		2		○			1						
医学実	2後		1				○						集中	
	小計 (9科目)	-	0	15	0	-			1	1	1	0	0	兼3
化学系	基礎化学	1前		1		○			1					
	無機化学	1前		2		○			1					
	生物有機化学	1前		2		○			1			1		オムニバス
	生物有機化学	1後		2		○			1			1		オムニバス
	化学実	1前		1				○	1			1		
	小計 (5科目)	-	0	8	0	-			2	0	0	1	0	
生物学系	基礎生物学概論	1前		1		○				1				
	生命科学	1前		2		○			1					
	細胞生物学	1後		2		○			1		1			
	人類遺伝学	1前		2		○								兼1
	人生学	1前		1				○	1					兼1
	小計 (5科目)	-	0	8	0	-			2	1	1	1	0	兼2
言語系	日本語表現	1前・後		2		○								兼1
	英語I	1前		2		○								兼1
	英語II	1後		2		○								兼1
	英語III	2前		2		○								兼1
	英語IV	2後		2		○								兼2
	英語会話	2前・後		2		○								兼3
	医学英語	2後		2		○								兼1
	小計 (7科目)	-	0	14	0	-			0	0	0	0	0	兼7
体育学系	健康スポーツ科学	1前		2		○								兼1
	小計 (1科目)	-	0	2	0	-			0	0	0	0	0	兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎医学系	医学概論	1前	2			○			6					兼2	オムニバス
	医学概論 I	1後	2			○			2		1				オムニバス
	保健学概論	1前	2			○				3		1		兼5	オムニバス
	健康学概論	1後		2		○						1		兼6	オムニバス
	公衆衛生学 I	1前	2			○								兼7	オムニバス
	公衆衛生学 II	1後		2		○								兼7	オムニバス
	解剖学 I	1前	2			○			1		1	1			オムニバス
	解剖学 II	1後		2		○			1		1	1			オムニバス
	解剖学実習	1後	1					○	1		1	3			集中
	病理学	1後	2			○								兼1	集中
	病理学実習 I	3前	1					○						兼3	集中
	病理学 II	1前	2			○			1						
	病理学実習 II	1後		2		○			1		1			兼4	集中
	生化学 I	1後	2			○				1					
	生化学 II	2前		2		○				1		2			集中
	血液学実習	2後	1					○							集中
	血液学実習	2前	2			○			1		1	1			オムニバス
	免疫学	3前	1					○	1		1	1			集中
	免疫学実習	2前	2			○			1		1	1			集中
	微生物学	2前	1					○	1		1	1			集中
	微生物学実習	1後	2					○	1		1				集中
	医学動物学	3前	1					○							集中
	医学動物学実習	2前	2					○		1	1	1		兼1	集中
	遺伝子工学実習	2前		2				○				1			集中
	遺伝子工学実習	2後	1					○		1	1				集中
	分子細胞生物学	1後	2					○		1					
分子細胞生物学実習	2後	2					○		1					オムニバス	
実験動物学	2前	1					○		1		1	1		オムニバス	
救命救急学	2前	1					○		1		1	3		集中	
救命救急学実習	1前	1					○						兼2	集中	
小計 (32科目)		-	31	22	0		-		12	6	7	7	0	兼26	
医学検査系	生化学検査学 I	2前	2			○			1		1				オムニバス
	生化学検査学 II	2後		2		○			1		1			兼1	オムニバス
	生化学検査学実習	3前	2					○	1	1	2	1		兼1	集中
	画像診断学	2前	2			○			1		1			兼1	オムニバス
	臨床化学検査学 I	2前	2			○			1	1					オムニバス
	臨床化学検査学 II	2後		2		○			1	1					オムニバス
	臨床化学検査学実習	3前	2					○	2	1					集中
	放射線検査学	2後	2			○			1						
	放射線検査学実習	2後	2			○								兼1	
	臨床遺伝学	2後	2			○				2					オムニバス
	臨床遺伝学実習	3前	2			○			2	1				兼4	オムニバス
	臨床遺伝学実習	3前	1					○		2	1			兼2	オムニバス
	病理診断学	2前	2					○						兼1	オムニバス
	病理診断学実習	2後	2					○						兼2	オムニバス
	病理診断学実習	3前	2					○						兼3	集中
	細胞診断学	3前	2					○	1			3			オムニバス
	細胞診断学実習	3前	1					○	1			3			集中
	血液検査学	2後	2					○	1		1	1			オムニバス
	血液検査学実習	3前	2					○	1		1	1			集中
	動物検査学	3後	1					○		1	1			兼1	集中
	微生物検査学 I	2後	2					○	1						
	微生物検査学 II	3前	2					○	1		1				集中
	微生物検査学実習	3前	2					○	1		1				集中
	免疫検査学 I	2後	2					○					1		
	免疫検査学 II	3前	2					○							
	免疫検査学実習	3後	2					○	1		1	1			集中
一般検査学	2前	2					○	1		1				オムニバス	
一般検査学実習	3前	1					○	1	1	1				集中	
臨床病態学 I	3前	2					○	4					兼2	オムニバス	
臨床病態学 II	4後	2					○	6	2	2			兼1	オムニバス	
臨床病態学実習	2後	2					○		1						
分析化学 I	1後	2					○	1	1					オムニバス	
分析化学 II	2前	2					○	1	1					オムニバス	
分析化学実習	2前	1					○	1	1					集中	
専門実習	3前	1					○	8	5	5	7		兼3	集中	
専門実習	3後		6				○								
小計 (36科目)		-	17	53	0		-		10	8	7	9	0	兼16	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
保健学系	医療福祉概論	2後		2		○										兼1	オムニバス
	国際保健学	2後		2		○										兼1	
	生活習慣病論	2後		2		○										兼3	
	小計 (3科目)	-	0	6	0	-			0	0	0	0	0			兼5	
衛生学系	産業保健学	2前		2		○							1			兼2	オムニバス
	環境衛生工学	4前		2		○										兼3	
	環境化学	4後		2		○										兼1	
	食品栄養学	2後		2		○										兼1	
	食品衛生学	2・4前		2		○										兼1	
	食品製造学	2前		2		○										兼1	
	職業衛生学	2後		2		○			1							兼7	
	労働衛生法	4前		2		○						1				兼1	
小計 (9科目)	-	0	18	0	-			1	0	0	1	0			兼10		
自由専攻	細胞診断学演習 I	1後		1		○			1				3			兼1	オムニバス
	細胞診断学演習 II	2前		1		○			1				3			兼1	
	細胞診断学演習 III	2後		1		○			1				3			兼1	
	細胞診断学演習 IV	3前		1		○			1				3			兼1	
	細胞診断学演習 V	3後		1		○			1				3			兼1	
	遺伝・バイオ技術系特別演習 I	1・2前		1		○			1	2	1					兼3	
	遺伝・バイオ技術系特別演習 II	2・3・4後		1		○			1	2	1					兼2	
	細胞・組織・形態系特別演習 I	1・2前		1		○			1		1	1				集中	
	細胞・組織・形態系特別演習 II	1・2後		1		○			1		1	1				集中	
	感染症制御系特別演習 I	1・2前		1		○			1		1					集中	
	感染症制御系特別演習 II	1・2後		1		○			2		2					集中	
	生殖・移植医療系特別演習 I	1・2前		1		○			1		1					集中	
	生殖・移植医療系特別演習 II	1・2後		1		○			1		1					集中	
	化学系特別演習 I	1・2・3・4前		1		○				1		1				兼2	
	化学系特別演習 II	1・2・3・4後		1		○			1	1		2				兼2	
生理機能系特別演習 I	2前		1		○			1		1					集中		
生理機能系特別演習 II	1・2・3後		1		○			1		1	1				集中		
実験コネクト特別演習	2前		1		○										兼1		
薬事申請特別演習	2前・後		1		○										兼1		
小計 (19科目)	-	0	19	0	-			7	3	6	6	0			兼6		
総合	総合医療演習 I	1前・後		1		○			1							集中	
	総合医療演習 II	3後	2			○			1	2	1					集中	
	移植コネクト学	2・4後		2						1						兼6	
	生命倫理学	4前		2		○			1							オムニバス	
	特別講義 I	1後		2		○			1		1	1				オムニバス	
	特別講義 II	2前		2		○			4							兼4	
	卒業研究	4通		4						1	7	9				兼8	
小計 (8科目)	-	2	17	0	-			13	8	7	9	0			兼14		
合計 (141科目)		-	50	196	0	-			13	8	7	10	0			兼58	
学位又は称号		学士 (保健衛生学)		学位又は学科の分野			保健衛生学										
卒業要件及び履修方法						授業期間等											
卒業要件：4年以上在学し、124単位以上を修得しなければならない。 必修科目50単位 履修方法 科目区分：[人文・社会学系]から10単位以上 科目区分：[数学・物理学系]から6単位以上 科目区分：[化学系]から4単位以上 科目区分：[生物系]から4単位以上 科目区分：[言語系]から10単位以上 科目区分：[総合]のインターンシップ及び卒業研究から4単位以上 (履修科目の登録上の上限：50単位(年間))						1学年の学期区分			2学期								
						1学期の授業期間			15週								
						1時限の授業時間			90分								

授 業 科 目 の 概 要				
(保健学部診療放射線技術学科)				
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考	
基礎分野	人文・社会学系	哲 学	1920年代、第一次世界大戦の記憶も生々しく、その悲惨な経験からひとびとがまだ完全に立ち直ることができなかった時代に、「哲学的人間学」なる一分野が哲学の世界を賑わわせたことがあった。ところが、人間を全体としてとらえるというその基本構想は、十分に開花せずじまいで、今日、いつのまにか忘れ去られてしまったかの感がある。振り返ってみれば、その誕生からたかだか80余年にしかならないにもかかわらず、なぜこの構想は十分に練りあげられぬままに終わってしまったのか。ポスト・モダニストたちによって「人間の終焉」が叫ばれて久しい今日——ポスト（ポスト・モダン）の今日——だからこそ、古色蒼然たる「人間学」の遺産を再度洗いなおしてみること、あながち無駄な作業ではあるまい。うえに引いたルソーのことばがいまなお生命を保っているとすれば、現代に生きる私たちは私たちの時代の「人間」を求めめる必要があるだろう。そうした観点から、いくつかのトピックに焦点を絞って、考えてみることにしたい。	
		心 理 学	本講義では、人間理解のために心理学の概要を理解することを目的とする。大学で初めて心理学を学ぶ人にもわかりやすいように、図表や映像を使用しながら、心理学の基本的な考え方や技法を紹介する。また、こころのトラブル、集団の中での我々の行動特性についても紹介する。	
		生 命 倫 理 学	生と死について考える。「死への存在」（ハイデガー）である私たちの生の意味／無意味について、真剣に考えてみる。おそらく答えは出ないであろう。しかし、この問いに向き合うことが倫理学／哲学への入り口に立つことになるのである。ただし、私たちはこの問いをあくまでも学問的に問う。宗教者のように、特定の「信」の立場に立つことはしない。個人の信仰を妨げるものではけっしてないが、「信」と「知」とが混同されることは厳しく戒められなければならない。	
		法 学	現代社会で法律学の基礎知識は必須のものとなっている。この講義では、法文の解釈などの法律学の基本的な素養を育成することを目的としている。英米法と大陸法、実定法や自然法などの基本的なトピックを押さえることと同時に、ロースクールと法曹養成、2009年に導入された裁判員制度の概要など現代的な論点などにも言及していきたいと考えている。	
		日 本 国 憲 法	憲法は、ただ単に国の最高法規というのではなく、人権保障を究極の目的としています。この講義では、憲法上の人権にかかわる事例を挙げて、人権保障についての理解をはかります。 テーマとして、基本的人権の原理——外国人と憲法——、基本的人権の限界(1)——公共の福祉——、基本的人権の限界(2)——私人の間への効力——、幸福追求権、法の下での平等、信教、学問、表現、海外旅行の自由、財産権の保障、被疑者・被告人の権利、死刑と憲法、国務請求権、生活保護と憲法などをテーマとする。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
人文・社会学系	社会学	社会学とは、人間と社会の理解を深めるための学問である。社会学には、人間と社会の本質をどのように捉えるかによって、様々な視点があり、社会現象や人間の行為の解釈が行われてきた。本講義においては、現代社会の諸現象と社会学の接点を考えながら、古典的な社会学理論を中心として解説を行う。社会学の様々な視点を学ぶことによって、「人間と社会を見る目」を養っていかれたらと考えている。目標は、「社会学」のエッセンスを学習することによって、現代社会の諸現象に対する理解を深めることである。	
	芸術	西洋音楽作品の成立に深くかかわりがある楽器の特性や発展に注目し、作品に楽器がどのように影響を与えたのか、また、現代の楽器とどのように異なるのかについて扱いながら、有名な作品と楽器のかかわりを学ぶ。	
数学・物理学系	基礎数学	微分積分学を学ぶための基礎知識と微分積分について学ぶ。また、微分積分学がどのように他分野に利用されるかも紹介する。数学の知識や考え方は、科学を学ぶために必要不可欠である。本講義では微分積分学をとおして数学の知識を広げ、数学的思考方も身に付けることを目的とする。	
	医療情報科学	情報技術(ICT)の基礎から応用までを解説する。本講義においては、コンピュータの基本構成から機器の構造、機能について解説するとともに、様々な情報をデジタル化する技術や、今後、急速な拡大が予測されるネットワーク技術、コンピュータウイルスやセキュリティ問題について検討する。さらに医療分野におけるITの現状と今後について解説する。	
	計算機演習	グラフィックや動画、音声などを挿入できる多機能なワープロソフト(Word)と、表作成に加えグラフ作成やデータ処理を行う表計算ソフト(Excel)の活用方法を習得するとともに、情報リテラシーの基礎を学ぶ。	
数学・物理学系	統計学演習	統計学は、調査資料や実験データの解析など、様々な方面に応用される。また、統計学の知識や考え方は、いろいろな事柄の理解の助けになる。本講義では、基礎から統計学を学び、いろいろな問題への応用も紹介する。目標は、統計学の基礎概念の習得と、いろいろな問題に統計学を応用できるようになること。	
	基礎物理学	自然科学は日常的な現象を体系的に整理し、一定の法則を見出そうとする科学である。物理学はこのような自然科学の一分野であるばかりでなく、あらゆる学問の基礎となる学問であり、物理学的なもの見方、考え方はあらゆる学問に通じるものである。そこで、この科目では考え方に重点を置き、電気、波動、運動、エネルギーについて、基礎となる考え方、法則等について学ぶ。	
化学・生物学系	基礎化学	この講義の目的は、学生諸君が化学系専門科目を効率的に学ぶことが出来るために、化学の基礎学力を身に付けることである。物質の構成、物質の変化、無機物質、有機化合物などの基礎的知識を確実にする。	
	無機化学	「原子の構造とイオン」「原子量・分子量・式量」「物質量(モル)」「濃度」「酸と塩基」「酸化還元」「非金属元素の単体と化合物」「金属元素の単体と化合物」など専門領域科目の理解に必要な化学の基礎的知識を習得する。	
	生物有機化学	生体成分の構造と機能の理解、医薬品としての作用機構などを理解するためには、欠くことのできない科目である。有機化合物を官能基ごとに分類し、物性、化学的性質(化学反応性)などを中心に学ぶ。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
化学・生物学系	基礎生物学	高校で生物Iを履修しなかった学生を対象とし、専門科目を履修するのに先立ち、これらの基礎となる知識を身につけることを目的とする。「細胞の構造」「細胞の増殖」「刺激の受容と反応」「体液と恒常性」については、平行して開講される基礎医学系科目の授業において基礎から学習するので、本講義では基本的な用語を確認することを目的とする。	
	生命科学概論	近年の生命科学は遺伝子本体である核酸の構造の解明に始まり、発生や分化、疾病などの複雑な生命現象を分子レベルで明らかにすることを目指している。本講義では、「生命の本質」を問う古代の哲学的考察から始める。さらに「生命継承の担い手である遺伝子」本体の解明と働き、また、多様な変異性を示し環境に対応する生命を理解する分子的基盤へと進める。	
	遺伝学	ヒトの代表的な遺伝性疾患と遺伝様式、その原因や一般集団中の発生頻度から遺伝性疾患のとらえ方を考察する。また、がんや遺伝的特徴の発生のしくみについて、近年明らかにされた知識を中心に学習し、遺伝性疾患に対する考え方の時代背景を考察する。	
	細胞生物学	生物はそれぞれ固有の形態を示すが、その基本単位は細胞である。ヒトを含む多細胞生物では、多様に分化した細胞がそれぞれの機能を果たしている。本講義では、細胞の基本的な特徴や機能について解説した後、様々な機能を果たしている細胞を紹介する。	
基礎分野	英語 I	①英語の母音と子音、強形と弱形、音変化、ストレスアクセントとリズム、およびイントネーションといった音声情報と、②アイコンタクト、身振り手振り、表情などの音声外メッセージに着目しながら、自然な発話ができるようになるための対話練習を毎回の授業で行う。	
	英語 II	コミュニケーションの道具として英語を使えるようにするには聴き取り・発音技能は不可欠であるが、独力で簡単に身につくものではない。そこで、教室では理論と実践の両面から英語の自然な発話ができるようになることを目指す。したがって、このクラスは特に pronunciation practice を軸にした speaking skills の習得を目標にしている。	
	英語 III	異文化に関連した小説から抜粋したストーリーを読んでいきます。ゆっくりしたペースで進めますので、大雑把ではなく、丁寧に、仔細に下調べをすること。	
	英語 IV	この授業は、医療従事者として働く際に必要最低限の英語表現を習得することが目的である。授業内では、病院の様々なシチュエーションを想定して、その場面に必要な会話表現の練習を繰り返し行い、暗唱をしてもらう。また、発音矯正も適宜行いながら英語らしい発音、リズムを同時に学習する。毎回の授業で前回の授業で学習したダイアローグの暗唱試験を行う。様々な臨床場面に応じた会話表現を身につけることを目標とする。	
	英会話	平易な英文を読み、その内容について簡単なディスカッションができるようになる。 また、旅行先や日常生活で必要となる会話表現に習熟する。 1. はじめに、2. 空港にて、3. 機内にて、4. 入国審査、5. ホテルの予約、6. ホテルのチェックイン、7. 銀行にて、8. テスト、9. レストランで食事をする、10. バス・タクシー、11. ショッピングをする、12. 郵便局にて、13. 道を尋ねる、14. ホテルのチェックアウト、15. まとめ	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
基礎分野	言語系 日本語表現法	「話しことば」としての日本語表現を実践的に学ぶ。また、音声学や言語学などの基礎的知識を学ぶことで、ことばのしくみや日本語の理解を深める。	
専門基礎分野	人体の構造と機能および疾病の成り立ち	解剖学 本講義は、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系などについて、それぞれを構成する器官、あるいは構成要素のかたちとその機能的意義、それぞれの器官の体の中での位置、器官相互の位置関係をさまざまな図版を用いて、かつ必要最小限の専門用語（解剖学用語等）を用いて述べる。この講義を通じて、私たちが健康を維持するために、上記の器官系がどのような構造的特性をもち、さらにそれらがいかに整然と、調和をもって構築されているのかが明確となる。 1. 序論、細胞と組織（瀧上） 2. 骨格系の構造と機能（瀧上） 3. 筋系の構造と機能（1）（形状とはたらき）（瀧上） 4. 筋系の構造と機能（2）（主な骨格筋）（瀧上） 5. 循環器系の構造と機能（1）（血管系）（長谷川） 6. 循環器系の構造と機能（2）（リンパ管とリンパ性器官など）（長谷川） 7. 消化器系の構造と機能（1）（口から食堂まで、胃から肛門まで）（長谷川） 8. 消化器系の構造と機能（2）（腹膜と腸間膜、肝・胆・膵）（長谷川） 9. 呼吸器系の構造と機能、泌尿器系の構造と機能（瀧上） 10. 生殖器系の構造と機能（瀧上） 11. 内分泌系の構造と機能（瀧上） 12. 神経系の構造と機能（1）（神経系の総論）（大迫） 13. 神経系の構造と機能（2）（神経系の各論）（大迫） 14. 感覚器系の構造と機能、外皮系（大迫） 15. 人体の発生、まとめ（瀧上） 【オムニバス方式/全15回】 （12 大迫俊二/3回）骨格系、筋系、循環器系、消化器系、呼吸器系、泌尿器系、生殖器系、内分泌系について講義する。 （33 瀧上周/8回）神経系、感覚器系について講義する。 （36 長谷川瑠美/4回）循環器系、消化器系について講義する。	オムニバス
		解剖・組織学実習 人体を構成している最小の機能単位である細胞はさまざまに分化し、それぞれの器官の機能発現を支える特徴的な形態を持つ。本実習では、解剖学で得た基礎知識をもとに顕微鏡を通して人体を細胞レベルで観察し、スケッチによってその詳細を記録することで人体の構造への理解を深める。	
		臨床生理学 疾病の成り立ちI～VIは、各器官・組織の生理学の正常な人体の生理学を詳細について学び、疾患を理解する。臨床生理学の本講義では、臨床診断に必要な生体からの情報を収集するための理論と実際について学ぶ。脳波、筋電図、呼吸気系検査、循環器生理機能検査法、心臓および腹部超音波検査法などを学ぶ。	
		臨床生理学実習 脳波・筋電図検査、呼吸器検査、心電図、心音・脈波を含む循環器系の検査、超音波検査等について、機器の取り扱い、電極などの装着法、データの管理および解析を行う。検査の流れを理解したうえで機器の取り扱いや検査法を習熟し、データの臨床的意義を理解する。	
		生化学 生化学は、言わば”生体を化学的に捉える”、すなわち、生命の構成単位である細胞の化学構成成分およびそれらの化学反応と代謝機序を取り扱う学問である。人体の構造と機能、疾患を理解するための基礎となる。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門基礎分野 人体の構造と機能および疾病の成り立ち	感染症・免疫学	<p>免疫系の原理は「自己と非自己との選別」である。この原理が病原体から生体を守る生体防御につながる。一方、免疫系の破綻や過剰な反応は、時に生体を攻撃し疾患を惹起する。本講義では、健康に関わる免疫を理解し、同時に免疫の関連する疾患について学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 免疫系の概説 2. 免疫系を構成する細胞と組織 3. 免疫応答機構 1) 自然免疫応答 4. 免疫応答機構 2) 適応免疫応答 体液性免疫 5. 免疫応答機構 3) 適応免疫応答 細胞性免疫 6. 免疫系の発達と老化 7. 感染と免疫 8. 感染症 9. 免疫不全 10. アレルギー 11. 自己免疫疾患 12. 癌と免疫 13. 移植免疫 1) 輸血 14. 移植免疫 2) 臓器移植 15. 生殖と免疫 血液および免疫系の概説と構成する細胞・組織 	
	薬理学	<p>薬理学は、臨床で使用される薬の名前を覚えるだけでなく、生理学の知識を基礎にして、薬の生体内動態、安全性と有効性、薬の主作用・副作用の発現機序などについて学習する。なぜこの薬が使われるのか、なぜ効くのかを、服薬にはどのような注意を守ればいいのかを説明できる事を目標とする。</p>	
	公衆衛生学	<p>公衆衛生学とは「社会における組織的な働きかけにより、疾病を予防し、寿命を延ばし、身体的・精神的機能を増進させる科学であり技術である」と、定義されている。公衆衛生学の領域は多岐にわたっているが、本講では保健学の出発点ともいえる公衆衛生学の基本的技術論、方法論を中心として解説し、年齢階層や、社会的機能集団の各次元で、それぞれの特質に合わせた取り組みについて、実践的な視点からの解説も行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 公衆衛生学概論 I (照屋) 2. 遺伝と健康 (照屋) 3. 人口論・国際保健-1 (出嶋) 4. 人口論・国際保健-2 (出嶋) 5. 保健栄養-1 (長谷川) 6. 保健栄養-2 (長谷川) 7. 母子保健-1 (加藤) 8. 母子保健-2 (加藤) 9. 学校保健 (大嶺) 10. 精神保健-1 (田島) 11. 精神保健-2 (田島) 12. 疫学・保健統計-1 (照屋) 13. 疫学・保健統計-2 (照屋) 14. 成人保健・老人保健-1 (照屋) 15. 成人保健・老人保健-2 (照屋) <p>【オムニバス方式/全15回】 (22 照屋浩司/6回) 概論、遺伝と健康、疫学・保健統計、成人保健・老人保健について講義する。 (13 大嶺智子/1回) 学校保健について講義する。 (14 加藤英世/2回) 母子保健について講義する。 (19 田島治/2回) 精神保健について講義する。 (21 出嶋靖志/2回) 人口論・国際保健について講義する。 (30 長谷川めぐみ/2回) 保健栄養について講義する。</p>	オムニバス

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門基礎分野	疾病の成り立ちⅠ (感覚器系・女性生殖器系)	<p>感覚器（耳鼻咽喉・眼）、及び女性生殖器の構造や機能について体系的に学ぶ。さらに、それらの知識を踏まえて代表的な疾病の原因、発生機序、及び検査や治療方法等を理解する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 女性生殖器の解剖と機能（勝又） 2. 女性生殖器疾患Ⅰ（月経異常、性感染症）（勝又） 3. 女性生殖器疾患Ⅱ（子宮内膜症、子宮筋腫）（勝又） 4. 女性生殖器疾患Ⅲ（子宮がん、卵巣がん）（勝又） 5. 不妊症（勝又） 6. 乳腺疾患（勝又） 7. 問題演習（勝又） 8. 感覚器の構造と機能（耳・鼻）（小西） 9. 聴覚・平衡覚の障害、嗅覚の障害（小西） 10. 眼の構造と機能・視力・視覚の障害（小西） 11. 学校耳鼻咽喉科検診・学校眼科検診（小西） 12. 顔面外傷と救急処置（小西） 13. 歯・口腔の構造と機能と障害（小西） 14. 問題演習（小西） 15. まとめ（小西） <p>【オムニバス方式/全15回】 (17 小西善史/8回) 感覚器について講義する。 (26 勝又木綿子/7回) 女性生殖器について講義する。</p>	オムニバス
	疾病の成り立ちⅡ (消化器系)	消化器系の構造や機能について学ぶ。さらに、それらの知識を踏まえて代表的な疾病の原因、発生機序、及び検査や治療方法等を理解する。	
	疾病の成り立ちⅢ (呼吸器系)	<p>呼吸器系の構造や機能及び疾病、精神構造とその疾病について学ぶ。さらに、それらの知識を踏まえて代表的な疾病の原因、発生機序、及び検査や治療方法等を理解する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 呼吸器系の構造と機能（鼻腔、咽頭・喉頭、肺）（小林） 2. 呼吸器系疾患の兆候と鑑別（小林） 3. 感染性肺疾患（上気道感染、下気道感染、結核）（小林） 4. 気管支喘息、閉塞性肺疾患（小林） 5. 腫瘍性肺疾患、肺循環障害（小林） 6. 間質性肺炎、呼吸器系に作用する薬（小林） 7. まとめ（小林） 8. 精神疾患とは（小林） 9. 外因性の精神病Ⅰ（大瀧） 10. 外因性の精神病Ⅱ（大瀧） 11. 内因性の精神病Ⅰ（大瀧） 12. 内因性の精神病Ⅱ（大瀧） 13. 心因性の精神病Ⅰ（大瀧） 14. 心因性の精神病Ⅱ（大瀧） 15. 日常生活と精神疾患（大瀧） <p>【オムニバス方式/全15回】 (16 小林治/8回) 呼吸器について講義する。 (11 大瀧純一/7回) 精神疾患について講義する。</p>	オムニバス
	疾病の成り立ちⅣ (循環器系)	循環器系の構造や機能について学ぶ。さらに、それらの知識を踏まえて代表的な疾病の原因、発生機序、及び検査や治療方法等を理解する。	
	疾病の成り立ちⅤ (神経系・脳血管系)	神経系、及び脳血管系の構造や機能について学ぶ。さらに、それらの知識を踏まえて代表的な疾病の原因、発生機序、及び検査や治療方法等を理解する。	
	疾病の成り立ちⅥ (腎・泌尿器系)	腎・泌尿器系、及び内分泌系の構造や機能について学ぶ。さらに、それらの知識を踏まえて代表的な疾病の原因、発生機序、及び検査や治療方法等を理解する。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
保健医療福祉における理工学的基礎並びに放射線の科学および技術 専門基礎分野	医用電気工学	医用機器の動作原理を理解するためには、その電気回路を理解することが必須である。電磁気学における電場と磁場の基本的概念、およびそれらの相互作用を学び、直流回路、交流回路、共振回路、フィルタ回路などの基本電気回路および定常応答、過渡応答などを理解する。	
	医用電気工学実験	医用電気工学講義で学んだ電気工学に関する基礎知識を実験を通して習得する。実際に素子を中心とした回路を製作し、動作および現象を理解する。また、電気計測法と機器の取り扱い方法について学び、科学的データの処理法と工学的センスを養う。	
	医用電子工学	X線CT, MRI, SPECT, PETなどの画像診断装置、放射線治療装置などはいわば電子機器である。それら機器の原理の理解、保守管理を行うためには電子工学の基礎を理解することが必要である。ダイオード、トランジスタ、FETなどの半導体を用いた各種回路や、デジタル回路など各種電子回路や通信の基礎について学ぶ。	
	医用電子工学実験	医用電子工学講義で学んだ電子工学に関する基礎知識を、実験を通して習得する。各種計測機器の測定法と取り扱い方法を学んだ後、各種素子を用いた各種回路の製作実習と測定から入出力特性を理解し、医療機器で用いられている電子回路の役割と動作を理解する。	
	システム工学	医療機器に用いられる自動制御機構を理解する目的で、自動制御の基礎理論、システムの安定性、伝達関数、シーケンス制御、およびフィードバック制御、デジタル制御を学ぶ。これを基礎とし、実際に発現する諸現象を解析できる能力を養う。また、システム制御の信頼性と安全性についても学ぶ。	
	システム工学実験	放射線機器等に用いられている自動制御機構のなかで、ごく基本的なシステムの制御について、システム工学で学んだ知識を実習を通して習得し理解を深める。具体的には、電気回路の過渡応答特性について、システム解析ソフトウェアにより模擬実験を行い解析し、基礎的理論を実験的に理解する。また、交流回路での過渡応答実験を行い、動作および諸現象を理解する。	
	放射線生物学	放射線生物学は画像診断、悪性腫瘍の治療など近代医学には必要不可欠なものである。放射線が生体に及ぼす影響を分子から細胞、組織、器官、固体レベルまで総合的にとらえる。また各レベルにおける放射線の影響を学び、放射線治療技術学、放射線管理学のための基礎知識とする。	
	放射線生物学演習	放射線生物学の講義で学んだ知識を、演習問題(第1種放射線取扱主任者および診療放射線技師国家試験問題など)を通してを理解を深める。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門基礎分野 保健医療福祉における理工学的基礎並びに放射線の科学および技術	放射線物理学 I	画像診断装置、がん治療など、現代医療は放射線なしには成立しない。これらに応用される放射線技術を理解するためには放射線物理学を学ぶことは必要不可欠である。放射線物理学 I では、X線、 γ 線、荷電粒子の発生とその性質、単位およびそれら放射線と物質の相互作用について学ぶ。	
	放射線物理学 II	X線撮影、X線CT、SPECT、PET、MRI、超音波画像装置には、X線、 γ 線、核磁気、超音波などが応用されている。それら装置の基本原理は放射線、核磁気、音波などと物質との相互作用に基づくものである。放射線物理学 II では、それら相互作用によりおこる物理学的現象の基本理論とその原理について学ぶ。	
	放射線物理学演習	放射線物理学 I および II の講義で学んだ知識を、演習問題(第1種放射線取扱主任者および診療放射線技師国家試験問題など)を通してを理解を深める。	
	放射化学	原子核崩壊のメカニズムと放射能、質量とエネルギー、放射平衡などの基礎的事項について学ぶ。さらに、放射性同位元素のトレーサおよび核医学などへの利用を念頭に、放射性核種の製造、分離生成法、純度検定、よく利用される標識化合物と利用法について学ぶ。	
	放射化学演習	放射化学の講義で学んだ知識を、演習問題(第1種放射線取扱主任者および診療放射線技師国家試験問題など)を通してを理解を深める。	
	放射線計測学	医療における放射線の利用には、その正当化、医療被ばくへの軽減など放射線防護の最適化が求められる。放射線の種類、質、量を的確に把握するため、放射線に関する量と単位、計測の原理、理論と計測装置、および測定技術について学び、放射線照射により引き起こされる効果などを予測もしくは評価できる能力を養う。	
	放射線計測学演習	放射線計測学で学んだ知識を深めるために演習問題(第1種放射線取扱主任者および診療放射線技師国家試験問題など)を用いたトレーニングを行う。	
	放射線計測学実験	放射線計測学の講義内容の理解を深めるために実習を行う。放射線が物質とどのような相互作用を行い、エネルギーをどのようなかたちに変換して測定するのか。それぞれの測定器の特性、測定方法、測定値の補正法などについて実習を通して学ぶ。実習を通して、対象となる放射線を、どういう原理で、どの放射線測定器で測定するのかを確実にする。	
	放射線取扱技術学演習	放射線物理学、放射線化学、放射線生物医学、放射線計測法、放射性同位元素の取り扱い法など、放射線に関わる総合的な基礎知識の充実を図るため、放射線取扱主任者国家試験問題を中心として使用し、演習を行う。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考	
専門分野	診療画像技術学	放射線画像検査技術学概論	科学技術の進歩に伴い、X線撮影、X線CT、SPECT、PET、MRI、超音波画像装置による画像診断は近代医学では必要不可欠なものである。本講義は画像診断の入り口として、それらに必要な基礎的知識およびそれらに用いられる検査機器の概要を学び、画像検査の全体像を横断的に学習する。	
		診療画像検査技術学Ⅰ	X線一般撮影法の基本的特性、原理を学習し、検査対象となる各部位、各臓器のそれぞれの撮影および撮影技法とその特徴を学ぶ。また、画像上に描出される疾患の画像特性についても学習する。	
		診療画像検査技術学Ⅱ	X線造影検査の検査対象となる各部位、各臓器のそれぞれの撮影および撮影技法を学び、目的に応じた生体機能の情報を適切に描出する撮影方法を学習する。また臨床症例と画像特性について理解することを目的とする。	
		診療画像検査技術学Ⅲ	CT検査の原理と画像特性、また、X線を使用しないMRI検査法、超音波検査法、眼底検査法について学ぶ。それらの基本原理、撮像技術、臨床的所見の描出などを理解する。	
		診療画像検査機器学Ⅰ	X線を用いた一般撮影装置、造影剤を投与、または血管や臓器に注入して撮影を行う透視・循環器用撮影装置、および乳房用、歯科用等のX線画像検査システムやX線CT装置について撮影、撮像原理、システム構成と動作原理、安全管理等について学ぶ。	
		診療画像検査機器学Ⅱ	γ線を利用したSPECT、陽電子を利用したPETなどの核医学診断装置、放射線を用いない核磁気共鳴を利用した核磁気共鳴診断システム(MRI)や超音波を利用した超音波診断装置などの機器について撮影、撮像原理、システム構成と動作原理、安全管理などについて学ぶ。	
		画像解剖学	解剖学を基礎とし断画像上に描出される画像から、人体各部の臓器、構造など正しくとらえることを目的とする。また、診断に供する良質の画像を撮影、撮像するための素養とする。	
		画像解剖学演習	画像演習問題を通し、正確な読影ができる実力を養う。	
		画像医学	画像解剖学の知識を基礎とし、各疾患、各病態を描出する臨床画像の症例と画像特性について理解する。	
		診療画像検査技術学演習	診療画像検査技術学ⅠおよびⅡを始め、診療画像検査機器学Ⅰ、Ⅱ、画像解剖学、画像医学など診断画像技術学に分類される学問に関して、国家試験問題を中心に演習を行う。	
診療画像検査技術学実習	診療画像検査技術学で学習した知識を基礎とし、実習では基本となる単純X線検査について、部位、臓器ごとに撮影、撮像技術を学ぶことを目的とする。			

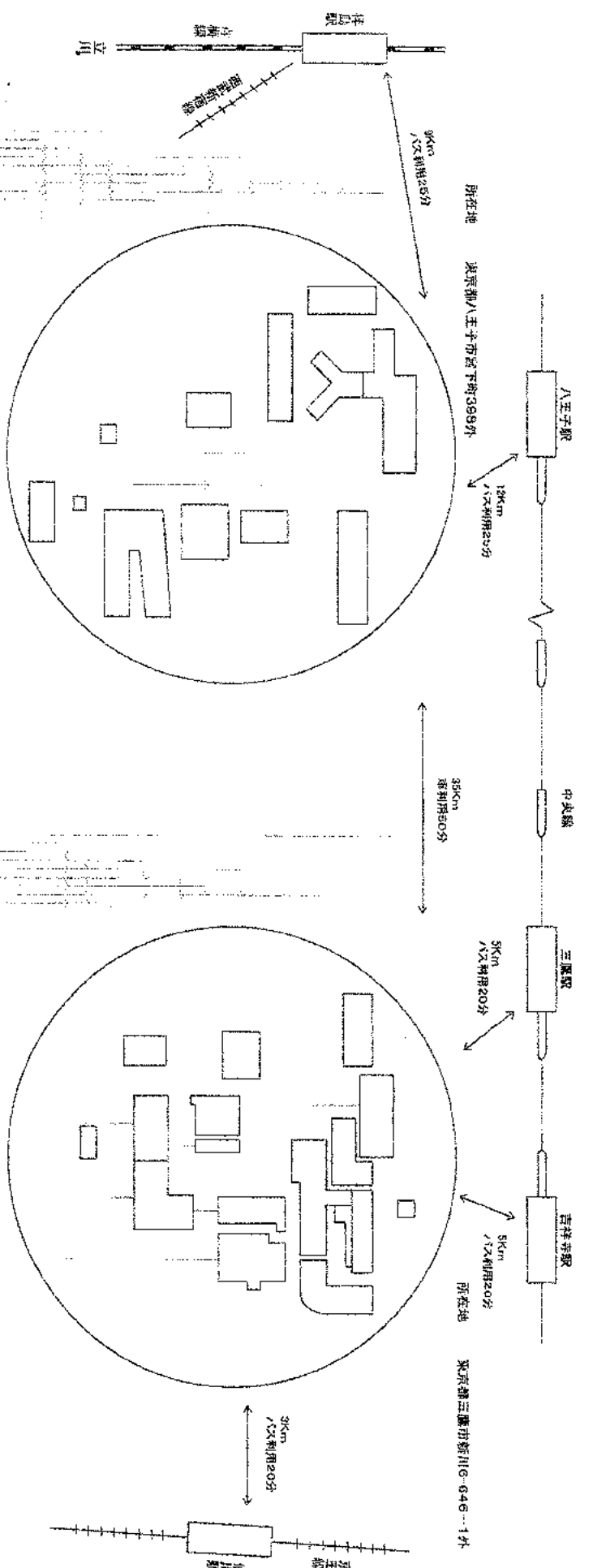
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門分野	核医学検査技術学	核医学検査技術学概論	核医学検査法による診断領域における、インビボ、インビトロ検査の原理、PET、SPECT装置などに利用される放射性医薬品とその特性など核医学の概論を学ぶ。
		核医学検査技術学各論	核医学検査技術学概論で学んだ放射性標識化合物を用いての各臓器の機能、病態の一連の検査概論を基に、各部位、臓器ごとに検査目的、用いる標識化合物とその集積原理、検査方法とその臨床的意義について学ぶ。
		核医学検査機器学	核医学診断機器として使用されるγカメラ、SPECT装置、PET装置、Well型シンチレーションカウンタ、液体シンチレーションカウンタなどの試料計測装置の撮像原理、構成および画像処理、装置の性能評価と保守管理についても学ぶ。
	核医学検査技術学	放射性医薬品学	病気の診断に用いるインビボ、インビトロ用放射性医薬品、および治療用インビボ放射性医薬品に含まれる放射性核種の製造方法と物理化学的性質、並びに、それらの利用による放射線被ばくの評価について学習する。
		核医学検査技術学演習	各部位、臓器における代表的臨床症例の描出画像を用いて核医学画像診断の基礎を、演習を通して学ぶ。
	放射線治療技術学	放射線治療技術学Ⅰ	放射線治療に必要な放射線生物学、放射線物理学をどのように展開するのか基本的なことを学習する。その性質上、専門用語の正確な定義と具体的な意味、正しい使用法などを十分理解したのち、治療法、照射法など放射線治療の実際を学ぶ。
		放射線治療技術学Ⅱ	放射線治療計画を決定するうえで体内での線量分布の計算が必要となり、治療装置で出力すべき放射線量を決定することが最も重要である。基礎知識として高エネルギー光子の線量解析、線量測定の方法を学ぶ。また放射線治療装置および関連機器の品質保証、精度管理についても学ぶ。
		放射線腫瘍学	放射線生物学、放射線物理学を基礎とし、癌の疫学、発生機序を理解し、がんの集学的治療を考える。また、放射線治療の適応、臓器別治療法を学ぶ。特に、放射線治療が根治治療の一部として応用される頻度の特に高い悪性腫瘍について学ぶ。
		放射線治療機器学	高エネルギー放射線治療装置に重点を置き、放射線発生メカニズム、装置の原理、性能について学ぶ。また、装置の保守点検、精度管理の重要性についても併せて学習する。

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考	
専門分野	医用画像情報学	医療画像情報学Ⅰ	医用画像の基礎知識を身につけるため、従来から利用されているアナログ画像であるX線画像の特性と、画像形成、センチメトリ、および画質評価法の理論と方法を学ぶ。	
		医療画像情報学Ⅱ	デジタル画像の基礎理論を学ぶ。画像の標本化、量子化、画像のデジタル化、画像処理について学ぶ。	
		医療システム情報学	ネットワーク技術、放射線診療にかかわる各種病院システムの構築、運用、DICOM、HL7などの標準規格、電子化された画像管理のセキュリティおよび関係法規、また、得られた情報によるマネジメントの基礎を学習する。	
		医療画像情報学演習	数の表現、論理素子・演算・回路、増感フィルムシステム、アナログ写真作成プロセス、センチメトリ、デジタル画像の性質、画像処理など国家試験問題を中心に演習する。	
		医療画像情報学実習	医療画像情報学の講義内容の理解を深めるために実習を行う。デジタル画像処理、画像処理プログラミングの演習、MTF算出プログラムの作成などを実践学習する。また、画像処理と臨床画像の関係を理解する。	
	放射線安全管理学	放射線安全管理技術学	医療放射線の安全利用には、その正当化、医療被ばくの軽減など放射線防護の最適化が求められる。放射線の性質と人体への影響を理解し、放射線防護、安全管理のための基礎知識を習得する。	
		放射線安全管理技術学演習	放射線安全管理技術学で学んだ知識を深めるために演習問題(第1種放射線取扱主任者および診療放射線技師国家試験問題など)を用いたトレーニングを行う。	
		放射線安全管理技術学実習	放射線防護のための測定技術とモニタリング法、場所における放射線量の測定、空気中および水中の放射性物質の濃度測定、表面汚染の除染法などを実際に体験し、機器、設備、施設の放射線安全管理の実務、考え方を学ぶ。	
		関係法規	放射線の利用は、いくつかの法令により規制されている。医療法、放射線障害防止法、診療放射線技師法、労働安全衛生法などである。法令に定義される語句、用語を理解し、法令の意図と目的を学び、医療被曝事故、放射線障害の防止、被曝線量の低減をはかる。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
臨床実習	画像検査技術学実習	画像検査技術学で習得した知識、技術を医療施設の指導者のもと、検査機器、検査技術など実践に則した画像検査技術学を学ぶ。また医療施設における診療放射線技師としての医療チームにおける位置づけと役割を学ぶ。さらにハード、ソフト面でのリスクマネジメントの構築と実践についても学習する。	
	核医学検査技術学実習	核医学検査技術学で習得した知識、技術を医療施設の指導者のもと、検査機器、検査技術など実践に則した核医学検査技術学を学ぶ。また医療施設における診療放射線技師としての医療チームにおける位置づけと役割を学ぶ。さらにハード、ソフト面でのリスクマネジメントの構築と実践についても学習する。	
	放射線治療技術学実習	放射線治療技術学で習得した知識、技術を医療施設の指導者のもと、治療機器、治療計画など実践に則した放射線治療技術学を学ぶ。また、患者および家族とのコミュニケーション法を実践を通して学ぶと同時に、他の医療職とチーム医療の一員としてのコミュニケーション能力を養う。さらにハード、ソフト面でのリスクマネジメントの構築と実践についても学ぶ。	
総合領域	医療総合演習	専門分野における講義、演習、実験で習得した診療放射線技師となるための知識を復習する。演習問題(第1種放射線取扱主任者および診療放射線技師国家試験問題など)を中心に知識の総点検を行う。	
専門分野	医療安全学	診療放射線領域の事故とインシデントについて学び、システムとしての医療安全管理の考え方と組織体制について学ぶ。 1. 総論(1): 我が国の医療安全問題の潮流、医療安全管理の考え方(川村) 2. 総論(2): 組織的な医療安全管理体制。法的責任(川村) 3. 分野共通の医療事故・インシデント-患者間違いー(川村) 4. リスクマネジメントのあり方とシステムの立ち上げ(小林) 5. リスクマネジメントの実践と検証(小林) 6. インシデントとアクシデント事例(小林) 7. 医療事故防止の工夫と実際(小林) 8. 造影剤のリスク要因と対応策(黒木) 9. 放射線治療における事故防止対策(黒木) 10. 職業被曝の低減と医療被曝による障害防止(黒木) 11. 医療安全のための職場・職員教育(小林) 12. 放射線機器設計上のリスクマネジメント(本谷) 13. 安全チェックのための外部評価(本谷) 14. 放射線診療における事故防止マニュアル(本谷) 15. 医療安全における職種・部署間の連携の重要性(まとめ)(川村) 【オムニバス方式/全15回】 (15 川村治子/4回) 医療安全管理に全般について講義する。 (5 小林邦典/5回) 放射線領域の事故とインシデント、リスクマネジメントについて講義する。 (3 黒木一典/3回) 造影剤、放射線治療領域における事故防止対策、職業被曝と医療被曝について講義する。 (8 本谷啓太/3回) 放射線機器設計上のリスクマネジメントと安全チェックのための外部評価、事故防止マニュアルについて講義する。	オムニバス
		チーム医療論	医療関連分野の急速な高度化に伴い、細分化が加速している。また一方、医療に対する社会的ニーズも大きく変化してきており、より良質の医療の提供が求められている。そのためには、細分化された各専門職の医療人による、患者を中心としたチームとしての協働が必要となる。本講義では、チーム医療の構成員としての各専門職の職能と役割など基礎的知識を習得する。

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考	
専門分野	総合領域	原書講読	<p>研究・調査のためには、予め様々な情報の収集が必要となる。必要とする調査資料は国内の文献に限らず、英文で書かれた論文の読解も必要不可欠となる。本科目では、放射線に関わる英語で書かれた論文を講読し、その内容に関しての理解を深めるとともに英文読解力の向上に努める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 診療放射線学に関する学術論文の購読 (1) (石井) 2. 診療放射線学に関する学術論文の購読 (2) (石井) 3. 診療放射線学に関する学術論文の購読 (3) (坂本) 4. 診療放射線学に関する学術論文の購読 (4) (小林) 5. 診療放射線学に関する学術論文の購読 (5) (小林) 6. 診療放射線学に関する学術論文の購読 (6) (関) 7. 診療放射線学に関する学術論文の購読 (7) (山本) 8. 診療放射線学に関する学術論文の購読 (8) (山本) 9. 診療放射線学に関する学術論文の購読 (9) (本谷) 10. 診療放射線学に関する学術論文の購読 (10) (岡田) 11. 診療放射線学に関する学術論文の購読 (11) (岡田) 12. 診療放射線学に関する学術論文の購読 (12) (小池) 13. 診療放射線学に関する学術論文の購読 (13) (田中) 14. 診療放射線学に関する学術論文の購読 (14) (黒木) 15. 診療放射線学に関する学術論文の購読 (15) (黒木) <p>【オムニバス方式/全15回】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1 石井和夫/2回) 診療放射線学に関する学術論文について講義する。 (10 坂本岳士/1回) 診療放射線学に関する学術論文について講義する。 (5 小林邦典/2回) 診療放射線学に関する学術論文について講義する。 (9 関健介/1回) 診療放射線学に関する学術論文について講義する。 (4 山本智朗/2回) 診療放射線学に関する学術論文について講義する。 (8 本谷啓太/1回) 診療放射線学に関する学術論文について講義する。 (2 岡田洋二/2回) 診療放射線学に関する学術論文について講義する。 (6 小池貴久/1回) 診療放射線学に関する学術論文について講義する。 (7 田中薫/1回) 診療放射線学に関する学術論文について講義する。 (3 黒木一典/2回) 診療放射線学に関する学術論文について講義する。 	オムニバス
		特別講義 I	放射線分野における時事的な話題や問題についてのトピックスを取り上げ、幅広い内容の講義を開講する。	
		特別講義 II	放射線分野においての通常の講義では触れにくい諸問題について、必要かつ重要なテーマを取り上げ、診療放射線分野を基軸に学際的な講義を展開する。	
		卒業研究	3年間で培った基礎分野、専門基礎分野、専門分野の知識、技術の中から、最も関心があり探求したいテーマを取り上げ、調査や実験を行い卒業論文としてまとめる。また、卒業論文発表会を行いプレゼンテーション能力を養う。	

学校の位置及び校地、校舎の配置図の概要 1/2



吉祥寺八王子校地

校地面積 130,327.49㎡(全部所有)

内運動場用地 (11,566.00㎡)

内容舎敷地 (416.00㎡)

土地小計 130,327.49㎡

- 保健学部校舎・習熟棟
 - 総合政策学部校舎・研究棟
 - 外国語学部校舎・研究棟
 - 体育館
 - その他の建物
 - ポイジー記念棟
 - 第3食堂棟
 - 八王子動物舎
 - 上記以外の学校法人所有建物
 - 留舎
 - 守衛所
- 鉄筋8階建外
- 鉄筋6階建外
- 鉄筋5階建外
- 鉄骨鉄筋地下2階付3階建
- 鉄骨3階建
- 鉄骨鉄筋2階建
- プレハブ造平家建
- 鉄筋5階建
- 鉄筋平家建

吉祥寺三鷹校地

校地面積 57,982.32㎡(全部所有)

内運動場用地 (3,004.00㎡)

内付運動場除騒音場用地 (1,656.00㎡)

上記以外の学校法人所有地

法人本部 専任教地

看護専門学校敷地

27.09㎡

1,582.00㎡

59,601.41㎡

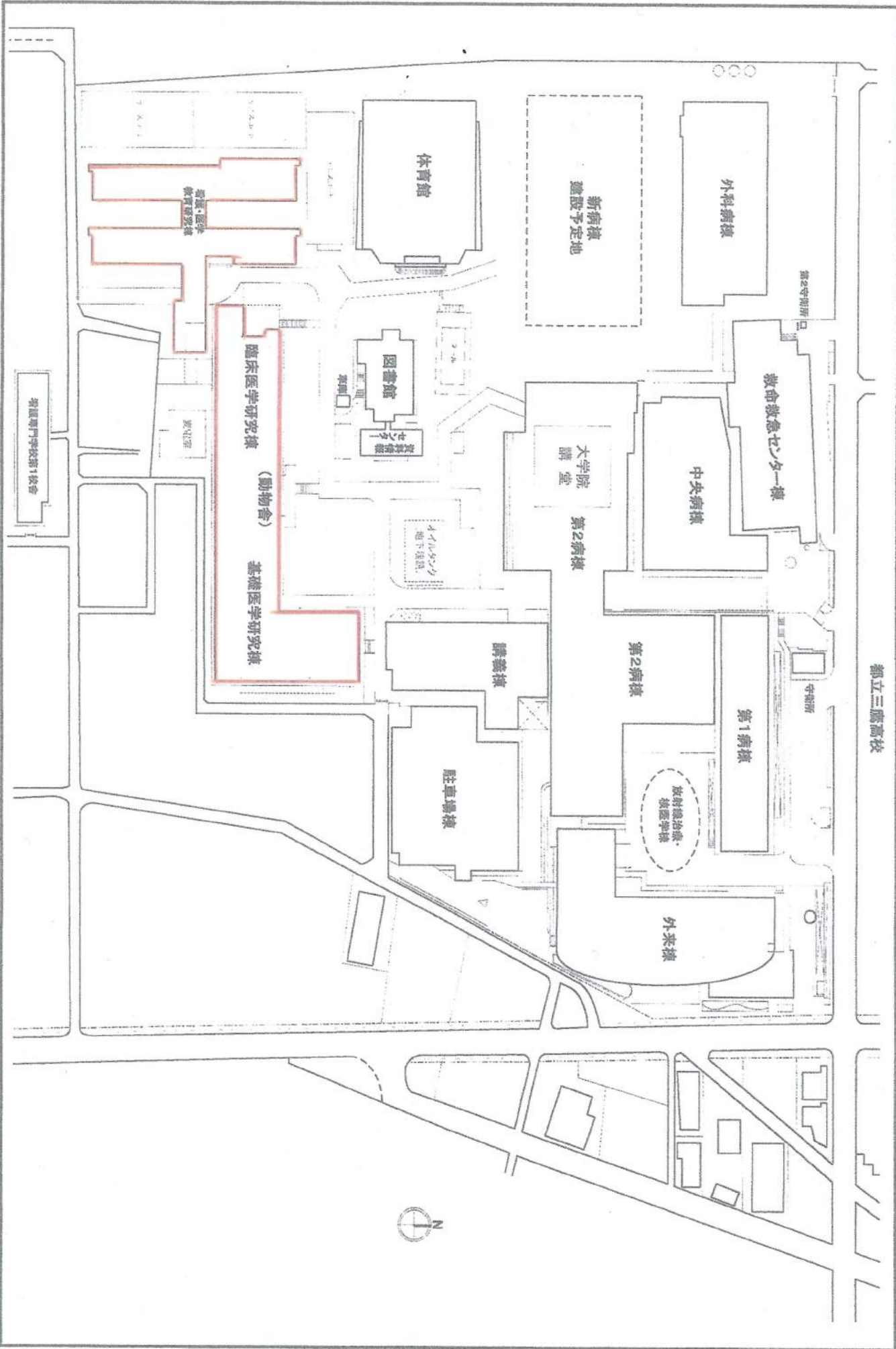
土地小計 59,601.41㎡

- 医学部校舎・研究棟
 - 病院
 - 図書館
 - 資料館
 - 体育館
 - 看護・医学教育研究棟
 - 内容看護専門学校用校舎
 - 上記以外の学校法人所有建物
 - 看護専門学校第1校舎
 - 駐車場
 - 守衛所外
- 鉄骨鉄筋地下1階付7階建外
- 鉄骨鉄筋地下2階付10階建外
- 鉄筋地下2階付12階建外
- 鉄骨鉄筋地下2階付11階建
- 鉄骨鉄筋地下1階付3階建
- 鉄骨鉄筋9階建
- 鉄筋地下1階付3階建
- 鉄骨鉄筋地下1階付3階建
- 鉄骨鉄筋平家建外

建物小計 47,225.13㎡

建物小計 154,084.47㎡

独立三鷹高校



○杏林大学学則

制定 改正	昭和45年	3月17日		
	昭和49年	4月23日	昭和50年	8月11日
	昭和52年	11月17日	昭和53年	12月25日
	昭和54年	10月25日	昭和57年	4月1日
	昭和59年	4月1日	昭和60年	1月9日
	昭和61年	4月1日	昭和63年	4月1日
	平成2年	12月21日	平成3年	9月25日
	平成4年	9月21日	平成6年	1月24日
	平成7年	7月3日	平成8年	10月23日
	平成9年	3月28日	平成9年	5月30日
	平成10年	3月27日	平成10年	12月11日
	平成11年	2月15日	平成11年	6月21日
	平成11年	9月20日	平成11年	12月10日
	平成12年	6月19日	平成12年	9月18日
	平成13年	5月30日	平成14年	2月26日
	平成14年	7月15日	平成14年	9月13日
	平成14年	12月6日	平成15年	2月17日
	平成15年	9月8日	平成15年	12月5日
	平成16年	5月28日	平成17年	5月27日
	平成17年	7月25日	平成17年	10月26日
	平成18年	3月29日	平成18年	12月8日
	平成19年	3月29日	平成19年	12月7日
	平成20年	5月29日	平成20年	9月8日
	平成20年	10月20日	平成21年	3月26日
	平成21年	5月29日	平成21年	10月26日
	平成21年	12月3日	平成22年	5月28日
	平成22年	10月27日	平成22年	12月3日
	平成23年	5月27日	平成23年	9月12日
	平成23年	12月2日	平成24年	3月30日
	平成24年	5月25日		

第1章 目的、使命及び自己評価等

(目的)

第1条 本学は、教育基本法及び学校教育法に則り、かつ建学の精神に基づいて、崇高な人類愛と高度の科学精神を基盤とするすぐれた人材の育成を目的とし、もって広く人類の福祉に貢献することを使命とする。

(自己評価等)

第1条の2 本学は、その教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び使命を達成するため、本学における教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行うものとする。

2 前項の点検及び評価の項目並びにその実施体制については、別に定める。

第2章 学部、大学院等

(学部、学科)

第3類（杏林大学学則）

第2条 本学に次の学部及び学科を置く。

医 学 部 医学科

保 健 学 部 臨床検査技術学科、健康福祉学科、看護学科（看護学専攻、看護養護教育学専攻）、臨床工学科、救急救命学科、理学療法学科、作業療法学科及び診療放射線技術学科

総合政策学部 総合政策学科及び企業経営学科

外国語学部 英語学科、中国語学科及び観光交流文化学科

（学部又は学科の目的）

第2条の2 学部又は学科ごとの人材の養成その他の教育研究上の目的については、次のとおりとする。

- 2 医学部は、豊かな人間性の涵養と、医学の発展に対応しうる基礎的及び専門的知識の修得と臨床的技能の修練を通じて、良き医師を養成することを目的とする。
- 3 保健学部
 - （1）臨床検査技術学科は、保健及び医療に携わる者として高い倫理観と、強い使命感を持ち、臨床検査に対する卓越した専門知識と技術、総合的な判断力を持つ人材を養成することを目的とする。
 - （2）健康福祉学科は、保健、医療及び福祉の専門知識と技術をもち、高い倫理観と情熱をもって人の健康と生活の支援を実践する人材を養成することを目的とする。
 - （3）看護学科看護学専攻は、看護を必要とする様々な人々に対して対処できるよう、的確な問題解決能力と技術をもち、人への思いやりを有し、高い倫理観を持ち、かつリーダーシップを発揮できる人材を養成することを目的とし、看護養護教育学専攻は、健康増進の実現に寄与しうる創造力と実践力を有し、特に国の将来を担う子どもたちの成長過程において、指導力を発揮できる人材を養成することを目的とする。
 - （4）臨床工学科は、生命維持管理装置の操作運用に関する医用生体工学の分野で、その専門的知識と技術を活かし、高い倫理観と使命感を持った実践的な臨床工学技士を養成することを目的とする。
 - （5）救急救命学科は、高い倫理観を持ち、救急救命の最前線で求められる迅速かつ的確な状況判断能力と傷病者の状況観察に基づく適切な処置技術を有する人材を養成することを目的とする。
 - （6）理学療法学科は、医療人としての倫理観に裏付けされた豊かな人間性と理学療法に関する高度な知識、技術を備え、障害の機能回復だけでなく、地域医療や福祉の場における健康の維持増進など幅広い領域において貢献できる人材を養成することを目的とする。
 - （7）作業療法学科は、豊かな人間性と倫理観を備え、心身に障害をもつ人々の QOL（生活の質）の維持・向上を支援するために必要な、科学的根拠に基づいた作業療法に関する幅広い専門知識と技術を身につけた人材を育成することを目的とする。

第3類（杏林大学学則）

る。

- (8) 診療放射線技術学科では、医療職としての高い専門性と確かな技術力に加え、豊かな人間性を併せ持ち、チーム医療の一員として他の医療従事者と協調し患者中心の医療に貢献できる人材を養成することを目的とする。

4 総合政策学部

- (1) 総合政策学科は、社会をマクロの視点から捉え、国際政治・経済、法律・行政及び環境・福祉の各専門分野を総合的かつ学際的に学ぶことにより、様々な問題を多面的に把握分析し、実践的に解決するための知識と能力を備えた人材を養成することを目的とする。
- (2) 企業経営学科は、企業活動というミクロの視点に立ち、経営及び会計の各専門分野における知識の修得はもとより他の関連分野にも通暁し、企業が求める幅広い知識と実務遂行のための能力、技能を備えた人材を養成することを目的とする。

5 外国語学部

- (1) 英語学科は、異文化の垣根を越えて相互に理解し共存できる人間性そのものを陶冶し、実践的な英語運用能力の開発を通じて、実社会の中で必要な専門的知識を備えた国際的な職業人を養成することを目的とする。
- (2) 中国語学科は、社会のニーズに対応できる実践的な中国語運用能力を開発し、高度な知見と技能の修得により、日中間の交流を担う、中国語の高度なコミュニケーション能力を具備した人材を養成することを目的とする。
- (3) 観光交流文化学科は、観光産業の現場における有益な人材を輩出するため、十分な外国語運用能力に基づいたコミュニケーション力を修得した上で、正しい異文化理解、さらには産業の現状把握を通じて「ホスピタリティ」を学習し、実践的に応用できる人材を養成することを目的とする。

(学生定員)

第3条 学生定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	2年次編 入学定員	3年次編 入学定員	収容定員
医 学 部	医 学 科	117名	—	—	702名
保 健 学 部	臨床検査技術学科	80名	6名	4名	346名
	健康福祉学科	20名	6名	4名	106名
	看護学科	120名	2名	8名	502名
	(看護学専攻)	(90名)	(2名)	(8名)	(382名)
	(看護養護教育学専攻)	(30名)	(—)	(—)	(120名)
	臨床工学科	40名	—	—	160名

第3類（杏林大学学則）

	救急救命学科	40名	—	5名	170名
	理学療法学科	40名	—	—	160名
	作業療法学科	40名	—	—	160名
	診療放射線技術学科	50名	—	—	200名
総合政策学部	総合政策学科	155名	—	10名	640名
	企業経営学科	75名	—	5名	310名
外国語学部	英語学科	110名	—	5名	450名
	中国語学科	30名	—	15名	150名
	観光交流文化学科	70名	—	3名	286名

（大学院）

第4条 本学に大学院を置く。

2 大学院学則は別に定める。

（附属施設）

第5条 本学に附属図書館、附属図書館分館、医学部附属病院、医学部附属看護専門学校、入学センター、キャリアサポートセンター、国際交流センター、学生支援センター、三鷹保健センター及び八王子保健センターを置く。これらに関する規程は別に定める。

第3章 教職員組織

（教員組織）

第6条 本学に学園長、学長、副学長、附属病院長、附属図書館長、附属図書分館長、医学部附属看護専門学校長、入学センター長、キャリアサポートセンター長、国際交流センター長、学生支援センター長、三鷹保健センター長及び八王子保健センター長を置く。

2 各学部に学部長、教務部長及び学生部長を置く。

3 事務組織については、別に定める。

第7条 本学に教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員、技術職員その他の職員を置く。

2 本学に客員教員又は特任教員を置くことができる。

3 教職員は専任、兼担及び兼任に区分する。

4 教職員の定員、資格、任免、勤務等に関しては、別に定める。

（学園長の任務）

第8条 学園長は、学園が設置する教育機関の教学に関する事項を総理し、教学面の諸式を司る。

第3類（杏林大学学則）

（学長の任務）

第9条 学長は、本学並びに本学付属教育機関の教育及び研究に関する事項を統括する。

（副学長の任務）

第10条 副学長は、所管の事項に関し常に学長を補佐し、学長に事故があり学園長の指名を受けたときは、学長の任務を代行する。

（学部長の任務）

第11条 学部長は、当該学部の校務を掌理し、所属教職員を指揮監督して、教育及び研究の責に任ずる。

第4章 教授会

（教授会）

第12条 各学部に教授会を置く。

- 2 各学部の教授会（以下「各教授会」という。）は、それぞれの学部長が招集しその議長となる。
- 3 各教授会は、それぞれの学部の専任教授をもって組織する。
- 4 各教授会は、必要に応じ准教授その他の教職員の意見を聴くことができる。
- 5 各教授会は、その学部における次の事項を審議する。

（1）教育に関する事項

（2）教員人事に関する事項

（3）学生に関する事項

（4）研究に関する事項

（5）その他前各号に関連し、学部長が必要と認めた事項

- 6 前項第2号の事項中教授の選考に関する事項の審議については、別に定める教授選考委員会において予め審議するものとする。
- 7 学園長、学長、副学長は各教授会に出席し意見を述べることができる。
- 8 教授会運営に関する細則は、別に定める。

（大学評議会）

第12条の2 本学に杏林大学評議会（以下「評議会」という。）を置く。

- 2 評議会は、学長が招集しその議長となる。
- 3 評議会は、次に掲げる評議会委員（以下「委員」という。）をもって組織する。

（1）学園長

（2）学長

（3）副学長

（4）学部長

（5）付属図書館長

（6）各教授会構成員の中から教授会により選任された者、各2名

- 4 前項6号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、任期の途中で委員

第3類（杏林大学学則）

の交替のあったときの後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

- 5 評議会は、必要に応じ委員以外の者を会議に出席させ、その意見を聴くことができる。
- 6 評議会においては、次の事項を審議し議決する。
 - (1) 学則及びこれに基づく諸規程の制定、改廃並びにこれらの解釈に関する事項
 - (2) 大学の自己評価に関する事項
 - (3) その他大学全般の教学に関し、学長が必要と認める事項
- 7 評議会運営に関する規程は別に定める。

第5章 学年、学期及び休業日

(学年)

第13条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。ただし、秋入学者は9月15日に始まり、翌年9月14日に終る。

(学期)

第14条 学年を分けて前期又は春学期、後期又は秋学期の2学期とする。

- 2 前項の学期の呼称及び期間は、各学部において定める。

(休業日)

第15条 休業日は次のとおりとする。ただし、第4号から第6号の休業期間の始期及び終期は、年度ごとに学長が定める。

- (1) 日曜日
 - (2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
 - (3) 杏林学園創立記念日 11月11日
 - (4) 春季休業
 - (5) 夏季休業
 - (6) 冬季休業
- 2 学長は、必要により臨時に休業日を設け、又は休業日を授業日に変更することができる。

第6章 修業年限及び在学年限

(修業年限)

第16条 修業年限は次のとおりとする。

医 学 部	6年
保 健 学 部	4年
総合政策学部	4年
外国語学部	4年

(在学年限)

第17条 卒業までの在学年限は、原則として各学部とも前条の修業年限の2倍を超えることができない。ただし、医学部においては、同一学年の在学年限を2年以内とする。

第3類（杏林大学学則）

第7章 入学

（入学の時期）

第18条 入学の時期は、学年の始めとする。

（入学資格）

第19条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- （1）高等学校を卒業した者若しくは中等教育学校を卒業した者
- （2）通常の課程における12年の学校教育を修了した者
- （3）外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- （4）専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- （5）文部科学大臣の指定した者
- （6）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- （7）高等学校卒業程度認定試験規則により、文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定）に合格した者
- （8）本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

（入学志願）

第20条 入学を志願する者は、所定の入学願書に別に定める入学検定料を添えて、提出しなければならない。

（入学手続）

第21条 入学選考試験に合格した者は、所定の期日までに所定の入学料その他の学納金を添えて、誓約書を提出しなければならない。

2 入学選考試験合格の通知を受け、前項の手続を完了した者は、入学を許可する。

（転入学）

第22条 次の各号の一に該当する者で、本学への転入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考の上、相当年次に転入学を許可することがある。

- （1）大学を卒業した者又は退学した者
- （2）他の大学に在学している者

（編入学）

第22条の2 短期大学、高等専門学校を卒業した者及び第19条の各号の一に該当しその後専修学校の専門課程を卒業し文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者又はその他法令で定めるところにより資格があるとされている者は、選考の上、相当年次に編入学を許可する。

（転入学、編入学の入学志願等）

第3類（杏林大学学則）

第22条の3 転入学、編入学の志願及び入学手続きについては、第20条及び第21条の規定を準用する。

（単位の認定等）

第22条の4 転入学、編入学又は再入学を許可された者の修得した単位の認定及び修業年限の決定は、当該学部教授会が行う。

第8章 教育課程・履修方法等

（教育課程の編成及び履修方法）

第23条 教育課程は各授業科目を必修科目、選択科目及び自由科目に分け、これを各年次に配当して編成する。ただし、履修方法の細部については、各学部において定める。

（教育課程）

第24条 授業科目の種類並びにその単位数又は履修時間数は、次に定めるとおりとする。

医 学 部 別表1

保 健 学 部 別表2

総合政策学部 別表3

外国語学部 別表4

（単位の計算方法）

第25条 授業科目の単位の計算方法は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

- (1) 講義及び演習については、毎週1時間から2時間15週の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験、実習及び実技については、毎週2時間から3時間15週の授業をもって1単位とする。
- (3) 授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合の単位数を計算するに当たっては、その組み合わせに応じ、前各号に規定する基準を考慮して各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。

（単位の授与）

第26条 授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。

（試験及び進級の認定）

第27条 試験は各授業科目ごとに行う。

- 2 試験は、口頭又は筆記により行う。ただし、科目の性質によりあらかじめ定めたものについては、他の方法によることができる。
- 3 試験の成績は、A B C Dの4種とし、A B Cを合格、Dを不合格とする。合格した授業科目については所定の単位を与える。

第3類（杏林大学学則）

4 進級の認定については、各学部の学修規程又は履修規程に定める。

（他の大学における授業科目の履修等）

第27条の2 本学は、教育上有益と認めるときは、別に定めるところにより、学生が他の大学で履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で、本学において修得したものとみなすことができる。

（外国の大学において修得した単位）

第27条の3 前条の規定は、学生が外国の大学に留学した場合にも準用する。

（成績評価基準等の明示等）

第27条の4 本学は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに一年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

2 本学は、学生に対して、学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

（教育内容等の改善のための組織的研修等）

第27条の5 本学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

（単位互換）

第28条 単位の互換に関する規程は別に定める。

第29条 削除

第9章 休学、転学、退学等

（休学）

第30条 疾病その他やむを得ない事由のため、3か月以上修学できないときは、学長に願い出て休学することができる。この場合その事由が病気であるときは、医師の診断書を添付しなければならない。

2 休学の期間は、1年を超えることはできない。ただし、特にやむを得ない事情があると認められるときは、さらに1年を限り延長することがある。

第31条 疾病のため修学することが適当でない認められる者に対しては、学長は当該学部長の申請により休学を命ずることができる。

（復学）

第32条 休学の期間中であっても、その事由が消滅したときは、当該学部長を経て、学長に願い出て復学することができる。この場合、休学の事由が病気である場合には、本学付属病院の医師の診断書を添付しなければならない。

第33条 休学の期間は、第16条の修学年限及び第17条の在学年限に算入しない。

2 休学の期間は、通算して3年を超えることはできない。

（転学部等）

第34条 本学内で他学部の学科又は同一学部内の他学科へ転学部又は転学科を志願した者は選考の上、これを許可することがある。

第3類（杏林大学学則）

2 前項によって転学部又は転学科した者の在学年数には、元の学部学科の在学年数の全部又は一部を通算することができる。

（転学）

第35条 本学から他の大学に転学しようとする者は、理由書を添えて、当該学部長を経て学長に願い出て、許可を得なければならない。

（退学）

第36条 疾病その他の事由により、退学しようとする者は、理由書を添え、保証人連署のうえ当該学部長を経て学長に願い出て、許可を受けなければならない。この場合、退学の事由が疾病によるときは、医師の診断書を添付しなければならない。ただし、死亡の場合は、死亡診断書等の確認により、死亡した日をもって退学とする。

（再入学）

第37条 前条により退学した者で、2年以内に退学の事由が消滅し、再び入学を願う者があるときは、学長は当該学部長の申請により、相当年次に再入学を認めることができる。

（除籍）

第38条 次の各号の一に該当する者は、当該教授会の議を経て学長がこれを除籍する。

- (1) 故なくして、3ヵ月以上授業料その他の学納金の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
- (2) 第30条第2項に定める休学期間を超えて、なお修学できない者
- (3) 第17条に定める在学年限を超える者
- (4) 行方不明で失踪の届出があった者

第10章 卒業

（卒業の要件）

第39条 医学部においては、別表1-1の適用を受ける者は、6年以上在学し270単位を修得しなければならない。別表1-2の適用を受ける者は、6年以上在学し264単位を修得しなければならない。別表1-3の適用を受ける者は6年以上在学し255単位を修得しなければならない。別表1-4の適用を受ける者は、6年以上在学し255単位を修得しなければならない。別表1-5の適用を受ける者は、6年以上在学し252単位を修得しなければならない。

2 保健学部臨床検査技術学科、健康福祉学科、臨床工学科及び救急救命学科においては4年以上在学し124単位以上を、看護学科においては4年以上在学し129単位以上を、理学療法学科及び作業療法学科においては4年以上在学し125単位以上を、診療放射線技術学科においては4年以上在学し133単位以上を修得しなければならない。

3 総合政策学部においては、4年以上在学し124単位以上を修得しなければなら

第3類（杏林大学学則）

ない。

- 4 外国語学部においては、4年以上在学し124単位以上を修得しなければならない。
- 5 各学部とも自由科目については、その履修により修得した単位は卒業の単位に算入しない。
- 6 本学（医学部を除く。）の学生が、その所属する学科以外の学科（一学部に二学科以上の場合）、又は本学他学部の設置する授業科目のうち、在学する学部・学科に設置されていない授業科目については、関係学部長の許可を受けて履修することができる。
- 7 前項により修得した単位は、卒業に必要な単位として認定することができる。
（卒業の認定）

第40条 前条に定める卒業の要件をみたした者については、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。
（学位）

第41条 卒業の認定をうけた者に次に定める学士の学位を授与する。

医学部	学士（医学）
保健学部	
臨床検査技術学科	学士（保健衛生学）
健康福祉学科	学士（保健衛生学）
看護学科	学士（看護学）
臨床工学科	学士（臨床工学）
救急救命学科	学士（救急救命学）
理学療法学科	学士（理学療法学）
作業療法学科	学士（作業療法学）
診療放射線技術学科	学士（診療放射線学）
総合政策学部	
総合政策学科	学士（総合政策学）
企業経営学科	学士（企業経営学）
外国語学部	
英語学科	学士（文学）
中国語学科	学士（中国語コミュニケーション学）
観光交流文化学科	学士（観光交流文化学）

（教育職員免許状）

第41条の2 本学に教職課程を置く。

- 2 教職に関する専門科目の種類及び単位数は、別表5-1のとおりとする。
（教育職員免許取得に必要な科目及び単位数）

第41条の3 教育職員免許を得ようとする者は、別に定める本学教職課程履修に関

第3類（杏林大学学則）

する規程及び教育職員免許法並びに同法施行規則の定めるところに従い、それぞれ所定の科目及び単位を修得しなければならない。

（免許状の種類及び履修学部・学科）

第41条の4 前条に規定する単位を修得することによって得られる免許状の種類並びに履修する学部・学科は次のとおりとする。

履修する学部・学科	免許状の種類	
保健学部健康福祉学科	養護教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	養護 保健 保健
保健学部看護学科	養護教諭一種免許状	養護
総合政策学部総合政策学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社会 公民
総合政策学部企業経営学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社会 公民 商業
外国語学部英語学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	英語 英語

第11章 賞罰

（表彰）

第42条 学業その他が特にすぐれ、他の学生の範となる者があるときは、学長は教授会の議を経て、適当な方法でこれを表彰することができる。

（懲戒）

第43条 本学の建学精神、教育方針に違背し、又は学生としての本分に反した行為をした者は、教授会の議を経て、学長が懲戒する。

2 前項の懲戒は、その軽重に応じ、譴責、停学及び退学とする。

3 前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。

- (1) 性行不良で、改善の見込みのないと認められる者
- (2) 学力劣等で、成業の見込みがないと認められた者
- (3) 正当の理由がなくて、出席常でない者
- (4) 本学の定める諸規程に反し、又は学内の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第12章 委託学生、聴講生、科目等履修生及び外国人留学生

（委託学生）

第44条 公共又は民間の諸機関等から、委託学生の受入れについて申し入れがあったときは、欠員があり、教育上支障のない限り教授会の議を経て受入れることがで

第3類（杏林大学学則）

きる。

- 2 委託学生には本学則を準用する。ただし、委託学生として在学した期間及びその修得単位は、第39条に定める在学期間及び単位として換算することはできない。

（聴講生）

第45条 本学学生にあらざるもので、本学の授業科目の一部を聴講することを希望するものがあるときは、教育研究上支障のない限り、聴講生としてこれを許すことができる。

- 2 聴講生となることが出来る者は、高等学校を卒業した者と同等以上の学力を有するものであって、聴講する科目を理解するに足る学力があると教授会が認めた者に限るものとする。

- 3 聴講生には本学則を適用する。ただし、聴講生として在学した期間及びその修得単位は、第39条に定める在学期間及び単位として換算することはできない。

（科目等履修生）

第46条 本学学生にあらざるもので本学の授業科目の一部を履修することを希望する者がいるときは、教育研究上支障のない限り、科目等履修生としてこれを許可することができる。

- 2 科目等履修生となることが出来る者は、高等学校を卒業した者と同等以上の学力を有するものであって、履修する科目を理解するに足る学力があると教授会が認めた者に限るものとする。

- 3 科目等履修生には本学則を準用する。

- 4 本学科目等履修生として単位を修得した後に本学に入学した場合、当該単位の修得により当該学部の教育課程の一部を履修したと当該学部が認めたときは、その単位数等に応じて、相当期間を当該学部の修業年限の2分の1を超えない範囲で第39条に定める在学期間として通算することができる。

- 5 科目等履修生には第26条の定めにより履修した科目の単位を授与する。

（外国人留学生）

第47条 外国人であって、本学学生としての教育を受けることを希望する者がいるときは、外国人留学生として入学させることができる。

- 2 外国人留学生の入学者選抜に関しては、必要ある場合は日本語の能力に関する試験を加える。

第13章 学納金

（入学検定料、入学料等の納入）

第48条 本学に入学を志願する者は、別に定める入学検定料を納入しなければならない。

- 2 入学選考試験に合格した者は、別表6-1、別表6-2、別表6-3及び別表6-4に定める入学料、授業料その他の学納金を納入しなければならない。
- 3 前項の納入金の納入時期、納入方法等必要な事項は、別に定める。

第3類（杏林大学学則）

（授業料等の納入）

第49条 本学学生は別表6-1、別表6-2、別表6-3及び別表6-4に定める授業料等その他の学納金を納入しなければならない。

- 2 前項の納入金の納入時期、納入方法等必要な事項は、別に定める。
- 3 休学又は停学中であっても、授業料等は徴収する。ただし、休学の期間が6か月以上にわたる者の授業料その他の学納金については別に定めるところにより、減免することがある。
- 4 海外留学する場合、本学に納入すべき費用については別に定める。
- 5 除籍の場合における授業料は、その納期に属する分はこれを徴収する。
- 6 授業料、実験実習費・施設設備費等を所定の期日までに納入しない者には、授業への出席、図書の閲覧、その他施設の利用を認めない。

第50条 入学料、授業料その他既納の学納金は、如何なる理由があってもこれを還付しない。

第14章 名誉学長・名誉教授

（名誉学長）

第51条 本学は、名誉学長の称号を与えることができる。

- 2 名誉学長の詳細については、別に定める。

（名誉教授）

第52条 本学は、名誉教授の称号を与えることができる。

- 2 名誉教授の詳細については、別に定める。

第15章 雑則

（改正）

第53条 この学則を改正しようとするときは、杏林学園運営審議会の議を経たうえ、改正事項が単一の学部に係る場合は当該学部の教授会に、2つ以上の学部に関連する場合は、関連する学部の教授会に諮り、教授会構成員の3分の2以上が出席し出席者の3分の2以上の賛成を得たうえ、評議会の承認を得なければならない。

附 則

- 1 本学則は、昭和45年 4月 1日から施行する。
- 2 この学則を改正しようとするときは、教授の3分の2以上が出席した医学部教授会において、出席者の3分の2以上の賛成を得なければならない。
- 3 前項の学則の改正については、理事会の承認を要するものとする。

附 則

本学則は、昭和49年 4月26日から施行する。

附 則

本学則は、昭和51年 4月1日から施行する。

第3類（杏林大学学則）

附 則

本学則は、昭和53年 4月 1日から施行する。

附 則

- 1 本学則は、昭和54年 4月 1日から施行する。
- 2 この学則を改正しようとするときは、杏林学園運営審議会の議を経たうえ、両学部に関連する事項については、各学部の教授会に、医学部に関連する事項については、医学部教授会に、保健学部に関連する事項については、保健学部教授会に諮り、それぞれの賛成を得なければならない。各学部教授会は、所定の構成員たる教授の3分の2以上が出席し、出席者の3分の2以上の賛成をもって議決する。

附 則

- 1 本学則は、昭和55年 4月1日から施行する。
- 2 第3条の規定に拘らず保健学部の総定員は、次のとおりとする。

学科	年度	54年度	55年度	56年度	57年度以降
	臨床検査技術学科		50名	100名	150名
保健学科		50名	100名	150名	200名

附 則

本学則は、昭和57年 4月 1日から施行する。

附 則

- 1 本学則は、昭和59年 4月 1日から施行する。
- 2 この学則を改正しようとするときは、杏林学園運営審議会の議を経たうえ、改正事項が単一の学部に係る場合は当該学部の教授会に、2つ以上の学部に関連する場合は関連する学部の教授会に諮り、教授会構成員の3分の2以上が出席し、出席者の3分の2以上の賛成をもって議決するものとする。

附 則

本学則は、昭和60年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和61年 4月 1日から施行する。ただし、第3条の規定にかかわらず、昭和61年度から昭和74年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入 学 定 員
医 学 部	医 学 科	100名
保 健 学 部	臨床検査技術学科	50名
	保 健 学 科	50名
社会科学部	社 会 学 科	300名

附 則

- 1 本学則は、昭和63年 4月 1日から施行する。ただし、別表2-2（第24

第3類（杏林大学学則）

条関連）の適用については次の各号による。

- (1) 昭和60年度入学生については適用しない。
- (2) 昭和61年度入学生については、臨床検査技師、衛生検査技師に関する法律施行令第12条第3号の規定に基づく指定科目に限りこの表の該当科目を適用する。
- (3) 昭和62年度入学生については、この表を適用する。

附 則

本学則は、平成3年4月1日から施行する。ただし、第3条の規定にかかわらず、平成3年度から平成11年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入 学 定 員
医 学 部	医 学 科	90名
保 健 学 部	臨床検査技術学科	65名
	保 健 学 科	65名
社 会 科 学 部	社 会 科 学 科	330名
外 国 語 学 部	英 米 語 学 科	160名
	中 国 語 学 科	70名
	日 本 語 学 科	70名

附 則

- 1 本学則は、平成3年10月1日から施行する。
- 2 学則第24条別表3は、平成4年4月1日在籍の学生から適用する。

附 則

- 1 本学則は、平成5年4月1日から施行する。
- 2 別表1-2は平成5年度入学生から適用する。
- 3 平成4年度以前の入学生は別表1-1を適用する。ただし、平成5年度以降の入学生の学年進行に組み入れる平成4年度以前の入学生は別表1-2を適用する。

附 則

- 1 本学則は、平成6年4月1日から施行する。
- 2 別表1-2は平成6年度入学生から適用する。
- 3 平成5年度の別表1-2の適用者は、平成6年度の別表1-2に読みかえる。
- 4 別表1-1の時間数は、別表1-2の同名科目単位数を時間数に換算して読みかえる。
- 5 別表1-1を適用する学生に別表1-2で開講する科目を受講させることができるものとする。ただし、その履修により修得した単位は、卒業の単位に算入しない。
- 6 保健学部臨床検査技術学科及び保健学科において、平成6年度以降の入学生の学年進行に組み入れる平成5年度以前の入学生は、保健学部履修規程に定める授業科目対応表により、別表2-2の授業科目を受講するものとする。ただし、単位認定については、別表2-1A及び2-1Bの授業科目で行う。

第3類（杏林大学学則）

- 7 この学則を改正しようとするときは、杏林学園運営審議会の議を経たうえ、改正事項が単一の学部に係る場合は当該学部の教授会に、2つ以上の学部に関連する場合は、関連する学部の教授会に諮り、教授会構成員の3分の2以上が出席し出席者の3分の2以上の賛成を得たうえ、評議会の承認を得なければならない。

附 則

- 1 本学則は、平成 8年 4月 1日から施行する。
- 2 別表2-3及び別表6-2は平成8年度入学生から適用する。
- 3 保健学部臨床検査技術学科、保健学科及び看護学科において、平成8年度以降の入学生の学年進行に組み入れる平成6年度及び平成7年度の入学生は保健学部履修規程に定める授業科目対応表により、別表2-3の授業科目を受講するものとする。ただし、単位認定については、別表2-2の授業科目で行う。

附 則

本学則は、平成 9年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成10年 4月 1日から施行する。ただし、第3条の規定にかかわらず、平成10年度から平成11年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入 学 定 員
医 学 部	医 学 科	90名
保 健 学 部	臨 床 検 査 技 術 学 科	65名
	保 健 学 科	65名
	看 護 学 科	80名
社 会 学 部	社 会 学 科	330名
外 国 語 学 部	英 米 語 学 科	160名
	中 国 語 学 科	70名
	日 本 語 学 科	100名

附 則

- 1 本学則は、平成11年 4月 1日から施行する。
- 2 別表2-3は平成11年度入学生から適用する。
- 3 保健学部臨床検査技術学科、保健学科及び看護学科において、平成11年度以降の入学生の学年進行に組み入れる平成6年度から平成10年度までの入学生は保健学部履修規程に定める授業科目対応表により別表2-3の授業科目を受講するものとする。ただし、単位認定については、平成6年度及び平成7年度入学生は、別表2-1の授業科目で行い、平成8年度から平成10年度までの入学生は別表2-2の授業科目で行う。

附 則

第3類（杏林大学学則）

- 1 本学則は、平成11年 7月 1日から施行する。
- 2 第48条第1項は、平成12年度入学志願者から適用する。

附 則

- 1 本学則は、平成12年 4月 1日から施行する。
- 2 第3条の規定にかかわらず、平成12年度から平成16年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入 学 定 員				
		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
医 学 部	医 学 科	90名	90名	90名	90名	90名
保 健 学 部	臨床検査技術学科	55名	55名	55名	55名	55名
	保 健 学 科	55名	55名	55名	55名	55名
	看 護 学 科	80名	80名	80名	80名	80名
社会科学部	社 会 学 科	330名	330名	330名	310名	290名
外国語学部	英 米 語 学 科	160名	160名	160名	160名	160名
	中 国 語 学 科	70名	50名	50名	50名	50名
	日 本 語 学 科	100名	100名	80名	80名	80名

- 3 別表1-1は、削除する。
- 4 別表1-4は、平成12年度入学生から適用する。
- 5 平成8年度以前の入学生は、別表1-2、及び平成11年度以前の入学生は、別表1-3を適用する。ただし平成12年度以降の学年進行に組み入れる平成11年度以前の入学生は、別表1-4を適用する。

附 則

- 1 本学則は、平成13年 4月 1日から施行する。ただし、第6条の規定は、平成12年 7月 1日から施行する。
- 2 第2条の規定にかかわらず、平成13年 3月31日までに外国語学部英米語学科、中国語学科及び日本語学科に在籍する学生は、改正前の学則を適用するものとする。
- 3 第3条の規定にかかわらず、平成13年度から平成16年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入 学 定 員			
		平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
医 学 部	医 学 科	90名	90名	90名	90名
保 健 学 部	臨床検査技術学科	55名	55名	55名	55名

第3類（杏林大学学則）

	保健学科	55名	55名	55名	55名
	看護学科	80名	80名	80名	80名
社会科学部	社会科学科	330名	330名	310名	290名
外国語学部	外国語学科	310名	290名	290名	290名

附 則

本学則は、平成13年 4月 1日から施行する。

附 則

- 1 本学則は、平成14年 4月 1日から施行する。
- 2 第2条の規定にかかわらず、平成14年 3月31日までに社会科学部社会科学科に在籍する学生は、平成14年 4月 1日以降、社会科学部社会科学科に在籍する学生の当該学年に、編入若しくは転学部等によって入学する学生についても、改正前の学則を適用するものとする。
- 3 第3条の規定にかかわらず、平成14年度から平成16年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入 学 定 員		
		平成14年度	平成15年度	平成16年度
医 学 部	医 学 科	90名	90名	90名
保 健 学 部	臨 床 検 査 技 術 学 科	55名	55名	55名
	保 健 学 科	55名	55名	55名
	看 護 学 科	80名	80名	80名
総合政策学部	総 合 政 策 学 科	330名	310名	290名
外国語学部	外 国 語 学 科	290名	290名	290名

附 則

本学則は、平成14年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成15年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成14年10月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成16年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成15年 4月 1日から施行する。

附 則

第3類（杏林大学学則）

本学則は、平成16年 4月 1日から施行する。

附 則

- 1 本学則は、平成16年 4月 1日から施行する。
- 2 第19条第1項第7号の規定は、平成16年度入学生から適用する。
- 3 別表1-3は、平成16年度入学生から適用する。

附 則

本学則は、平成17年 4月 1日から施行する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成18年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この学則による改正後の第2条、第3条、第41条、第41条の3及び第41条の4は、平成18年4月1日以降の入学生に適用し、平成17年10月1日以前の入学生及び平成19年10月1日以前の編入学生については、改正前の学則を適用する。なお、第3条に定める総合政策学部企業経営学科及び外国語学部の編入学定員は、平成20年4月1日以降の編入学生から適用する。また、学校図書館司書教諭講習修了証書の取得に関する専門科目の種類及び単位数は、別表5-2のとおりとする。ただし、別表5-2は、平成17年10月1日以前の入学生に適用する。
- 3 この学則による別表2-1保健学科の項中「社会福祉援助技術論Ⅰ」「社会福祉援助技術論Ⅱ」「社会福祉援助技術演習Ⅰ」「社会福祉援助技術演習Ⅱ」「社会福祉援助技術演習Ⅲ」「社会福祉援助技術演習Ⅳ」「社会福祉援助技術演習Ⅴ」「社会福祉援助技術実習」「社会福祉援助技術現場実習指導」については、平成18年4月1日以降の履修者に適用し、平成17年4月1日以前の「社会福祉援助技術Ⅰ」「社会福祉援助技術Ⅱ」「社会福祉援助技術演習」「社会福祉援助技術実習Ⅰ」「社会福祉援助技術実習Ⅱ」の履修者については、改正前の学則を適用する。

附 則

本学則は、平成17年 8月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成18年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成18年 4月 1日から施行する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成19年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この学則による改正後の第2条、第3条、第39条第2項、第41条、第41条の4及び別表2-2の規定は、平成19年4月1日以降の入学生に適用し、平成1

第3類（杏林大学学則）

8年10月1日以前の入学生並びに平成19年10月1日以前の2年次編入学生及び平成20年10月1日以前の3年次編入学生については、改正前の学則を適用する。なお、第3条に定める編入学定員は、平成20年4月1日以降の2年次編入学生並びに平成21年4月1日以降の3年次編入学生から適用する。

- 3 前項の規定にかかわらず、保健学部臨床工学科については、別表2-1を適用する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成19年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この学則による改正後の別表4-2の規定は、平成18年4月1日以降の入学生に適用する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成20年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この学則による改正後の第2条、第3条及び第41条の規定は、平成20年4月1日以降の入学生に適用し、平成19年10月1日以前の入学生並びに平成21年10月1日以前の編入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成20年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

- 2 別表3-2、別表3-3の改正は当該別表に定める入学生より適用する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成21年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この学則による改正後の第39条、第41条の4及び別表2-3の規定は、平成21年4月1日以降の入学生に適用し、平成20年10月1日以前の入学生及び平成21年10月1日以前の2年次編入学生並びに平成22年10月1日以前の3年次編入学生については、改正前の学則を適用する。

- 3 前項の規定にかかわらず、保健学部臨床工学科については別表2-1を、救急救命学科については別表2-2を適用する。

- 4 別表3-1、別表5-1-1及び別表6-1は、適用学生が平成20年3月31日付けで卒業したことに伴い、それぞれ削除することとし、以降順次繰り上げ、改正後の別表3-1、別表3-2、別表5-1-1、別表5-1-2、別表5-1-3、別表6-1、別表6-2、別表6-3及び別表6-4は、平成20年4月1日

第3類（杏林大学学則）

から適用する。

附 則

本学則は、平成21年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成21年 4月 1日から施行する。

附 則

（施行期日）

1 本学則は、平成22年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

2 この学則による改正後の第2条、第2条の2、第3条及び第41条の規定は、平成22年4月1日以降の入学生に適用し、平成21年10月1日以前の入学生並びに平成23年10月1日以前の入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

（施行期日）

1 本学則は、平成22年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

2 この学則による改正後の別表3-3及び別表5-1-4は、平成22年4月1日以降の入学生に適用し、平成21年10月1日以前の入学生及び平成22年10月1日以前の2年次編入学生並びに平成23年10月1日以前の3年次編入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

本学則は、平成22年 4月 1日から施行する。

附 則

（施行期日）

1 本学則は、平成22年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

2 この学則改正による改正後の別表2-4は、平成22年4月1日以降の入学生から適用し、平成21年4月1日以前の入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

（施行期日）

1 本学則は、平成23年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

2 この学則による改正後の第2条、第2条の2、第3条、第41条、別表2-5及び別表4-5の規定は、平成23年4月1日以降の入学生に適用し、平成22年10月1日以前の入学生並びに平成24年10月1日以前の入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

第3類（杏林大学学則）

本学則は、平成23年 4月 1日から施行する。

附 則

（施行期日）

1 本学則は、平成23年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

2 この学則による改正後の第2条、第2条の2、第3条、第39条、第41条、別表2-5及び別表4-5の規定は、平成23年4月1日以降の入学生に適用し、平成22年10月1日以前の入学生並びに平成24年10月1日以前の編入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

（施行期日）

1 本学則は、平成24年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

2 この学則による改正後の第39条及び別表2-6、別表5-1-5は、平成24年4月1日以降の入学生に適用し、平成23年10月1日以前の入学生及び平成24年10月1日以前の2年次編入学生並びに平成25年10月1日以前の3年次編入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

本学則は、平成23年10月 1日から施行する。

附 則

（施行期日）

1 本学則は、平成24年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

2 この学則による改正後の別表1-5は、平成24年4月1日以降の入学生から適用し、平成23年4月1日以前の入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

本学則は、平成24年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成25年 4月 1日から施行する。

第3類（杏林大学学則）

別表1-1

医学部授業科目及び単位数

〈平成9年度入学生から適用〉

（A表）

授 業 科 目	必 修	選 択	自 由	備 考
医 療 科 学 I	3			
医 療 科 学 II	3			
医 療 科 学 III	3			
医 療 科 学 IV	3			
医 療 科 学 V	3			
臨 床 医 学 総 論			3	
基 礎 生 命 科 学 I	8			
基 礎 生 命 科 学 II	8			
基 礎 生 命 科 学 III	8			
基 礎 生 命 科 学 IV	4			
英 語 I	6			
英 語 II	6			
医 学 英 語 I			3	
医 学 英 語 II			3	
ド イ ツ 語 I			6	
ド イ ツ 語 II			6	
フ ラ ン ス 語 I			6	
フ ラ ン ス 語 II			6	
ス ペ イ ン 語 I			6	
ス ペ イ ン 語 II			6	
中 国 語 I			6	
中 国 語 II			6	
体 育 実 技	1			小計 56単位

第3類（杏林大学学則）

(B表)

授 業 科 目	必 修	選 択	自 由	備 考
解 剖 学 I	7			各々の科目は実習を含む 小計 73単位
解 剖 学 II	8			
生 理 学 I	5			
生 理 学 II	5			
生 化 学 I	5			
生 化 学 II	5			
薬 理 学	6			
病 理 学 総 論	3			
病 理 学 各 論	5			
微 生 物 学	6			
熱 帯 病 ・ 寄 生 虫 学	4			
衛 生 学	4			
法 医 学	4			
公 衆 衛 生 学	5			
公 衆 衛 生 学 実 習	1			

第3類（杏林大学学則）

(C表)

授 業 科 目	必 修	選 択	自 由	備 考
内 科 学 I	6			
内 科 学 I 実 習	3			
内 科 学 II	4			
内 科 学 II 実 習	2			
内 科 学 III	4			
内 科 学 III 実 習	2			
高 齡 医 学	2			
高 齡 医 学 実 習	1			
精 神 神 經 科 学	3			
精 神 神 經 科 学 実 習	2			
小 児 科 学	6			
小 児 科 学 実 習	3			
外 科 学 I	3			
外 科 学 I 実 習	2			
外 科 学 II	3			
外 科 学 II 実 習	2			
小 児 外 科 学	1			
小 児 外 科 学 実 習	1			
救 急 医 学	3			
救 急 医 学 実 習	2			
脑 神 經 外 科 学	3			
脑 神 經 外 科 学 実 習	2			
胸 部 外 科 学	3			
胸 部 外 科 学 実 習	2			
整 形 外 科 学	3			
整 形 外 科 学 実 習	2			
皮 膚 科 学	3			
皮 膚 科 学 実 習	1			
形 成 外 科 学	1			
形 成 外 科 学 実 習	1			

第3類（杏林大学学則）

泌尿器科学	3			
泌尿器科学実習	2			
眼科学	3			
眼科学実習	1			
耳鼻咽喉科学	3			
耳鼻咽喉科学実習	1			
産科婦人科学	6			
産科婦人科学実習	2			
放射線医学	3			
放射線医学実習	2			
麻酔科学	3			
麻酔科学実習	1			
臨床病理学	2			
臨床病理学実習	1			
臨床免疫学	2			
臨床総合演習	30			小計 141単位
計				270単位

第3類（杏林大学学則）

別表1-2

医学部授業科目及び単位数

〈平成12年度入学生から適用〉

(A表)

授 業 科 目	必 修	選 択	自 由	備 考
医 療 科 学 I	3			
医 療 科 学 II	3			
医 療 科 学 III	3			
臨 床 医 学 総 論		3		
基 礎 生 命 科 学 I	8			
基 礎 生 命 科 学 II	8			
基 礎 生 命 科 学 III	8			
基 礎 生 命 科 学 IV	4			
英 語 I	6			
英 語 II	6			
医 学 英 語 I			3	
医 学 英 語 II			3	
ド イ ツ 語 I			6	
ド イ ツ 語 II			6	
フ ラ ン ス 語 I			6	
フ ラ ン ス 語 II			6	
ス ペ イ ン 語 I			6	
ス ペ イ ン 語 II			6	
中 国 語 I			6	
中 国 語 II			6	
体 育 実 技	1			
				小計 53単位

(B表)

授 業 科 目	必 修	選 択	自 由	備 考
解 剖 学 I	7			
解 剖 学 II	8			
生 理 学 I	5			
生 理 学 II	5			
生 化 学 I	5			

第3類（杏林大学学則）

生 化 学 II	5			各々の科目は実習を含む
薬 理 学 総 論	6			
病 理 学 各 論	3			
病 理 学 各 論	5			
微 生 物 学	6			
熱 帯 病 ・ 寄 生 虫 学	4			
衛 生 学	4			
法 医 学	4			
公 衆 衛 生 学	5			
公 衆 衛 生 学 実 習	1			
			小計	73単位

(C表)

授 業 科 目	必 修	選 択	自 由	備 考
内 科 学 I	6			
内 科 学 I 実 習	6			
内 科 学 II	4			
内 科 学 II 実 習	4			
内 科 学 III	4			
内 科 学 III 実 習	4			
高 齢 医 学	2			
高 齢 医 学 実 習	2			
精 神 神 經 科 学	3			
精 神 神 經 科 学 実 習	1			
小 児 科 学	6			
小 児 科 学 実 習	4			
総 合 医 療 学	3			
診 断 学 実 習	1			
外 科 学 I	3			
外 科 学 I 実 習	2			
外 科 学 II	3			
外 科 学 II 実 習	2			
小 児 外 科 学	1			
小 児 外 科 学 実 習	1			
救 急 医 学	2			
救 急 医 学 実 習	2			
脳 神 經 外 科 学	3			
脳 神 經 外 科 学 実 習	2			
心 臓 血 管 外 科 学	2			
心 臓 血 管 外 科 学 実 習	2			
整 形 外 科 学	3			

第3類 (杏林大学学則)

整形外科学実習	2			
皮膚科学	3			
皮膚科学実習	2			
形成外科学	1			
形成外科学実習	1			
泌尿器科学	2			
泌尿器科学実習	2			
眼科学	2			
眼科学実習	1			
耳鼻咽喉科学	2			
耳鼻咽喉科学実習	1			
産科婦人科学	6			
産科婦人科学実習	3			
放射線医学	3			
放射線医学実習	2			
麻酔科学	3			
麻酔科学実習	1			
臨床検査医学	2			
臨床検査医学実習	1			
臨床免疫学	2			
臨床総合演習	16			
			小計	138単位
	計			264単位

第3類（杏林大学学則）

別表1-3

医学部授業科目及び単位数

〈平成16年度入学生から適用〉

分野	分科	授 業 科 目	単 位 数			備 考
			必修	選択	自由	
医 療	科 学 と 医 療	医療科学A	8			
		医療科学B	4			
		医療科学C	3			
		生物学	6			
		生体化学	8			
		医学物理学	8			
		医学統計学	2			
		プレチュートリアル	3			
と 教 養	外 国 語	英語A	5			
		英語B	5			
		医学英語A	2			
		医学英語B	1			
		ドイツ語A			5	
		ドイツ語B			5	
		フランス語A			5	
		フランス語B			5	
		スペイン語A			5	
		スペイン語B			5	
		中国語A			5	
中国語B			5			
医 学 の 基 礎	人 体 の 構 造	肉眼解剖学	8			
		組織解剖学	5			
	人 体 の 機 能	分子生物学	6			
		細胞生物学	3			
		代謝学A	6			
		代謝学B	2			
		生体統御生理学	4			
細胞生理学	4					

第3類 (杏林大学学則)

	異常の発生と制御	薬理学総論 病理学総論 感染と防御 熱帯病・寄生虫学 法医学 衛生学 公衆衛生学	4 3 6 2 2 4 5			
臨床系統合	器官の構造・機能とその異常	臨床医学総論 神経 呼吸器 循環器 消化器 腎・尿路 内分泌・代謝 血液 精神 感覚器 運動器 皮膚・形成 女性医学	3 5 4 4 6 4 3 3 2 3 2 2 2			
講義	老化・誕生・成長・	妊娠・分娩 発育・小児 老化と老年病 生活習慣病	2 2 1 1			
義	系統的異常	感染症 免疫・アレルギー 腫瘍 救命と救急医療 麻酔・全身管理	2 2 1 2 1			
臨床実習	グループ実習	臨床診断総論 内科学Ⅰ実習 内科学Ⅱ実習 内科学Ⅲ実習 高齢医学実習	8 6 4 4 2			

第3類（杏林大学学則）

	総合医療学実習	1			
	精神神経科学実習	2			
	小児科学実習	4			
	外科学実習	4			
	小児外科学実習	1			
	救急医学実習	2			
	脳神経外科学実習	2			
	心臓血管外科学実習	2			
	整形外科実習	2			
	皮膚科学実習	2			
	形成外科学実習	1			
	泌尿器科学実習	2			
	眼科学実習	1			
	耳鼻咽喉科学実習	1			
	産科婦人科学実習	2			
	放射線医学実習	1			
	麻酔科学実習	1			
	臨床検査医学実習	1			
	病理学実習	1			
応用 実習	臨床応用実習	6			
	臨床総合演習	16			
計					255 単位

第3類（杏林大学学則）

別表1-4

医学部授業科目及び単位数

〈平成20年度入学生から適用〉

分野	分科	授 業 科 目	単 位 数			備 考
			必修	選択	自由	
医療と教養	科学と医療	医療科学A	8			
		医療科学B	4			
		医療科学C	3			
		生物学	6			
		生体化学	8			
		医学物理学	8			
		医学統計学	2			
		プレチュートリアル	2			
	外国語	英語A	5			
		英語B	5			
		医学英語A	2			
		医学英語B	1			
		ドイツ語A			5	
		ドイツ語B			5	
		フランス語A			5	
		フランス語B			5	
		中国語A			5	
		中国語B			5	
医学の基礎	人体の構造	肉眼解剖学	8			
		組織解剖学	5			
	人体の機能	分子生物学	6			
		細胞生物学	3			
		代謝生化学A	6			
		代謝生化学B	2			
		生体統御生理学	4			
		細胞生理学	4			
	生との発	薬理学総論	4			
		病理学総論	3			

第3類 (杏林大学学則)

		感染と防御	6			
		熱帯病・寄生虫学	2			
		法医学	2			
		衛生学	4			
		公衆衛生学	5			
臨床統合講義	器官の構造・機能とその異常	臨床医学総論	3			
		神経	5			
		呼吸器	4			
		循環器	4			
		消化器	6			
		腎・尿路	4			
		内分泌・代謝	3			
		血液	3			
		精神	2			
		感覚器	3			
		運動器	2			
		皮膚・形成	2			
		女性医学	2			
老化	誕生・成長・	妊娠・分娩	2			
		発育・小児	2			
		老化と老年病	1			
		生活習慣病	1			
系統的異常		感染症	2			
		免疫・アレルギー	2			
		腫瘍	1			
		救命と救急医療	2			
		麻酔・全身管理	1			
臨床実習	グループ実習	臨床診断総論	8			
		内科学Ⅰ実習	6			
		内科学Ⅱ実習	4			
		内科学Ⅲ実習	4			
		高齢医学実習	2			
		精神神経科学実習	2			
		小児科学実習	4			
		外科学実習	4			

第3類（杏林大学学則）

	小児外科学実習	1			
	救急医学実習	2			
	脳神経外科学実習	2			
	心臓血管外科学実習	2			
	整形外科実習	2			
	皮膚科学実習	2			
	形成外科学実習	1			
	泌尿器科学実習	2			
	眼科学実習	1			
	耳鼻咽喉科学実習	1			
	産科婦人科学実習	2			
	放射線医学実習	1			
	麻酔科学実習	1			
	臨床検査医学実習	1			
	病理学実習	1			
応用 実習	チュートリアル	2			
	臨床応用実習	6			
	臨床総合演習	16			
計					255単位

第3類（杏林大学学則）

別表1-5

医学部授業科目及び単位数

〈平成24年度入学生から適用〉

分野	分科	授 業 科 目	単 位 数			備 考
			必修	選択	自由	
医療と教養	科学と医療	医療科学A	8			
		医療科学B	3			
		総合医療・地域医療学	1			
		和漢医学概論	1			
		生物学	6			
		生体化学	8			
		医学物理学	8			
		医学統計学	2			
		プレチュートリアル	2			
	外国語	英語A	5			
		英語B	5			
		医学英語A	2			
		医学英語B	1			
		ドイツ語A			5	
		ドイツ語B			5	
		フランス語A			5	
		フランス語B			5	
中国語A				5		
中国語B			5			
医学の基礎	人体の構造	肉眼解剖学	8			
		組織解剖学	5			
	人体の機能	分子生物学	6			
		細胞生物学	3			
		代謝生化学A	6			
		代謝生化学B	2			
		生体統御生理学	4			
細胞生理学	4					

第3類 (杏林大学学則)

	異常の発生と制御	薬理学	4			
		病理学総論	3			
		感染と防御	6			
		熱帯病・寄生虫学	2			
		法医学	2			
		衛生学	4			
		公衆衛生学	4			
臨床医学講義	臨床医学	臨床医学総論	1			
		呼吸器内科学	2			
		腎臓内科学	2			
		リウマチ膠原病学	1			
		神経内科学	2			
		循環器病学A	3			
		循環器病学B	4			
		血液内科学	2			
		内分泌・代謝内科学	2			
		消化器内科学	3			
		高齢医学	1			
		精神神経科学	2			
		小児科学A	1			
		小児科学B	2			
		外科学総論	1			
		消化器外科学	1			
		呼吸器・甲状腺・乳腺外科学	1			
		小児外科学	1			
		救急医学	2			
		脳神経外科学	1			
		整形外科・リハビリテーション医学	2			
		皮膚科・形成外科学	2			
		泌尿器科学	2			
		眼科学	2			
耳鼻咽喉科学	2					
産科婦人科学A	1					
産科婦人科学B	1					
放射線医学	2					

第3類（杏林大学学則）

		麻酔科学	1			
		臨床検査医学・輸血学	1			
		病理学各論A	3			
		病理学各論B	2			
		腫瘍学	1			
		感染症学	2			
		生活習慣病学	1			
臨床実習	グループ実習	臨床診断学	6			
		内科学Ⅰ実習	6			
		内科学Ⅱ実習	4			
		内科学Ⅲ実習	4			
		高齢医学実習	2			
		精神神経科学実習	2			
		小児科学実習	4			
		外科学実習	4			
		小児外科学実習	1			
		救急医学実習	2			
		脳神経外科学実習	2			
		心臓血管外科学実習	2			
		整形外科実習	2			
		皮膚科学実習	2			
		形成外科学実習	1			
		泌尿器科学実習	2			
		眼科学実習	1			
		耳鼻咽喉科学実習	1			
		産科婦人科学実習	2			
		放射線医学実習	1			
	麻酔科学実習	1				
臨床検査医学実習	1					
病理学実習	1					
応用実習		チュートリアル	1			
		臨床応用実習	6			
		臨床総合演習	16			
計						252単位

第3類（杏林大学学則）

別表2-1

保健学部学科目構成

（平成12年度入学生から適用）

臨床検査技術学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
人文・社会学系				
哲学		2		10単位以上
心理学		2		
法学		2		
日本国憲		2		
社会学		2		
生命倫理		2		
発達心理学		2		
芸術		2		
数学系				
数学		2		3単位以上
統計学		1		
医療情報科		2		
計算機		2		
物理学系				
物理学		2		3単位以上
物理学実験		1		
医用工学概論		2		
医用工学実験		1		
化学系				
無機化学		2		3単位以上
生物有機化学Ⅰ		2		
生物有機化学Ⅱ		2		
化学実験		1		
生物学系				
生命科学概論		2		3単位以上
細胞生物学		2		
人類遺伝学		2		
生物学実験		1		
言語系				
日本語表現	2			英語Ⅰ・Ⅱ(各2単位)又はフランス語Ⅰ・Ⅱ(各2単位)のどちらかを選択他に4単位以上 英会話Ⅰを履修していること
英語Ⅰ		2		
英語Ⅱ		2		
英語Ⅲ		2		
医学英語		2		
英会話Ⅰ		2		
英会話Ⅱ		2		
フランス語Ⅰ		2		

第3類 (杏林大学学則)

フ	ラ	ン	ス	語	II		2		
フ	ラ	ン	ス	語	III		2		
フ	ラ	ン	ス	語	会話		2		
体育学系									
体	育	実	技	I		2			
体	育	実	技	II			1		
健	康	ス	ポ	ー	ツ	科	学		2
基礎医学系									
医	学	概	論			2			
公	衆	衛	生	学	I	2			
公	衆	衛	生	学	II		2		
解	剖	学	I		2				
解	剖	学	II			2			
解	剖	学	実	験		1			
病	理	学	学		2				
病	理	学	実	験		1			
生	理	学	I		2				
生	理	学	II			2			
生	理	学	実	験		1			
生	化	学	I		2				
生	化	学	II			2			
生	化	学	実	験		1			
血	液	学	学		2				
血	液	学	実	験		1			
免	疫	学	学		2				
免	疫	学	実	験		1			
微	生	物	学		2				
微	生	物	学	実	験	1			
医	動	物	学			2			
医	動	物	学	実	験		1		
薬	理	学				2			
医学検査系									
生	理	学	検	査	I		2		
生	理	学	検	査	II		2		
画	像	診	断	技	術		2		
生	理	学	検	査	実	習	1		
生	化	学	検	査	I		2		
生	化	学	検	査	II		2		
病	態	生	化	学		2			
生	化	学	検	査	実	習	1		
病	理	学	検	査		2			
病	理	学	検	査	実	習	1		
病	理	組	織	・	細	胞	検	査	2
病	理	組	織	・	細	胞	検	査	実
							1		

第3類 (杏林大学学則)

血液学検査	2	
血液学検査実習	1	
微生物学検査	2	
微生物学検査実習	1	
免疫学検査	2	
免疫学検査実習	1	
一般検査	2	
一般検査実習	1	
臨床医学概論	2	
臨床病理学 I	2	
臨床病理学 II	2	
検査管理	2	
検査総合演習	2	
医療関係法	2	
臨床実習 I	2	
臨床実習 II	4	
検査特別講義	1	
細胞検査法	2	
細胞検査演習 I	1	
細胞検査演習 II	1	
細胞検査演習 III	1	
細胞検査演習 IV	1	
細胞検査演習 V	1	
細胞検査演習 VI	1	
分子生物学系		
分子生物学 I	2	
分子生物学 II	2	
分子生物学実習	1	
臨床遺伝学	2	
遺伝子検査法	2	(実習を含む)
細胞遺伝学	2	
分子細胞生物学	2	
救急医学系		1 単位 30 時間 (実習を除く)
臨床内科学 I	1	
臨床内科学 II	1	
臨床内科学 III	1	
臨床内科学 IV	1	
臨床内科学 V	1	
臨床内科学 VI	1	
臨床内科学 VII	1	
臨床内科学 VIII	1	
救急医学概論 I	1	
救急医学概論 II	1	
医学検査	1	

第3類 (杏林大学学則)

救急処置	総論	1		
救急処置	各論	2		
救急・災害医療	1	1		
臨床外科学	I	2		
臨床外科学	II	2		
臨床外科学	III	1		
臨床外科学	IV	1		
一般救急救	命	1		
小児科	学	1		
産婦人科	学	1		
整形外科	学	1		
脳外科	学	1		
精神医	学	1		
救命救助	法	1		
シミュレーション	I	3		
シミュレーション	II	3		
シミュレーション	III	2		
病院内実習		10		
救急車同乗実習		3		
衛生学系				
産業保健学		2		
環境衛生工学		2		
放射線概論		2		
環境化学		2		
分析化学	I	2		
分析化学	II	2		
分析化学実験		1		放射性同位元素検査学を含む
食品栄養学		2		
食品衛生学		2		
食品製造学		2		
実験動物学		1		
動物実験実習		1		実験動物学を履修していること
職業適性論		2		
労働衛生法規	I	2		
労働衛生法規	II	2		
総合				
移植コーディネータ	論	2		
特別講義	I	2		
特別講義	II	2		
特別演習	I	1		
特別演習	II	1		
卒業研究		4		
計		33	235	124単位以上

第3類 (杏林大学学則)

保健学科

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
人文・社会学系				
哲 学		2		10 単位以上
心 理 学		2		
法 学		2		
日 本 国 憲 法 学		2		
社 会 倫 理 学		2		
生 命 倫 理 学		2		
教 育 心 理 学		2		
発 達 心 理 学		2		
芸 術 学		2		
数学系				
数 学		2		3 単位以上
統 計 学 演 習	1			
医 療 情 報 科 学 演 習	2			
物理学系				
物 理 学		2		3 単位以上
物 理 学 実 験		1		
医 用 工 学 概 論 実 験		2		
医 用 工 学 実 験		1		
化学系				
無 機 化 学		2		3 単位以上
生 物 有 機 化 学 I		2		
生 物 有 機 化 学 II		2		
化 学 実 験		1		
生物学系				
生 命 科 学 概 論		2		3 単位以上
細 胞 生 物 学		2		
生 物 学 実 験		1		
言語系				
日 本 語 表 現 法	2			英語 I・II (各 2 単位) 又はフランス語 I・II (各 2 単位) のどちらかを選択他に 4 単位以上 英会話 I を履修していること
英 語 I		2		
英 語 II		2		
英 語 III		2		
医 学 英 語		2		
英 会 話 I		2		
英 会 話 II		2		
フ ラ ン ス 語 I		2		
フ ラ ン ス 語 II		2		
フ ラ ン ス 語 III		2		
フ ラ ン ス 語 会 話		2		

第3類 (杏林大学学則)

体育学系						
体	育	実	技	I	2	
体	育	実	技	II		1
健	康	ス	ポ	学		2
健	康	ス	ポ	学		2
基礎医学系						
医	学	概	論			2
公	衆	衛	生	I		2
公	衆	衛	生	II		2
解	剖	学		I	2	
解	剖	学		II		2
解	剖	学	実	験		1
病	理	学		学	2	
病	理	学	実	験		1
生	理	学		I	2	
生	理	学		II		2
生	理	学	実	験		1
生	化	学		I	2	
生	化	学		II		2
生	化	学	実	験		1
血	液	学		学	2	
血	液	学	実	験		1
免	疫	学		学	2	
免	疫	学	実	験		1
微	生	物		学	2	
微	生	物	学	実		1
医	動	物		学		2
医	動	物	学	実		1
薬	理			学		2
保健学系						
保	健	学	概	論	2	
人	類	生	態	学		2
環	境	保	健	学		2
疫				学		2
保	健	管	理	学		2
保	健	社	会	学		2
母	子	保	健	学		2
成	人	保	健	学		2
精	神	保	健	学		2
保	健	栄	養	学		2
人	類	遺	伝	学		2
健	康	教	育	I		2
健	康	教	育	II		2
人	間	適	応			1
人	間	適	応			1

4 単位以上
小児保健を含む

食品学を含む

保健科指導研究 I
保健科指導研究 II

第3類 (杏林大学学則)

保健学基礎実習 I	2			
保健学基礎実習 II	4			
保健学実習 A		1		
保健学実習 B		1		
福祉・養護系				
社会福祉学		2		
社会福祉政策論		2		
老人福祉論		2		
高齢保健学		2		
障害者福祉論		4		
児童福祉論		2		
社会保障論		4		
公的扶助論		2		
地域福祉論		2		
社会福祉援助技術総論		4		
社会福祉援助技術論 I		2		
社会福祉援助技術論 II		2		
社会福祉援助技術演習 I		1		
社会福祉援助技術演習 II		1		
社会福祉援助技術演習 III		2		
社会福祉援助技術演習 IV		2		
社会福祉援助技術演習 V		2		
社会福祉援助技術実習		4		
社会福祉援助技術現場実習指導		4		
地域保健学		2		
養護学概論		2		
学校保健学 I		2	学校安全を含む	
学校保健学 II		2		
健康相談		2		
臨床心理学		2		
カウンセリング		2		
看護学 I		2		
看護学 II		2		
看護学 III		2		
看護学実習		2		
救急看護学		2		
国際保健学		1		
移植コーディネータ論		2		
環境・食品系				
産業保健学		2		
環境衛生工学		2		
環境科学		2		
放射線概論		2		
環境化学		2		

第3類 (杏林大学学則)

分析化学 I	2	
分析化学 II	2	
分析化学実験	1	放射性同位元素検査学を含む
環境生物学	2	
食品栄養学	2	
食品衛生学	2	
食品製造学	2	
実験動物学	1	
動物実験実習	1	実験動物学を履修していること
職業適性論	2	
労働衛生法規 I	2	
労働衛生法規 II	2	
臨床検査系		
生理学検査 I	2	
生理学検査 II	2	
画像診断技術	2	
生理学検査実習	1	
生化学検査 I	2	
生化学検査 II	2	
生化学検査実習	1	
病理学検査	2	
病理学検査実習	1	
血液学検査	2	
血液学検査実習	1	
微生物学検査	2	
微生物学検査実習	1	
免疫学検査	2	
免疫学検査実習	1	
一般検査	2	
一般検査実習	1	
臨床医学概論	2	
医療関係法規	2	
臨床実習 I	2	
臨床実習 II	4	
検査特別講義	1	
遺伝医学系		
分子生物学 I	2	
分子生物学 II	2	
分子生物学実習	1	
臨床遺伝学	2	
遺伝子検査法	2	(実習を含む)
細胞遺伝学	2	
分子細胞生物学	2	
救急医学系		
		1 単位 30 時間 (実習を除く)

第3類 (杏林大学学則)

臨床内科学 I		1		
臨床内科学 II		1		
臨床内科学 III		1		
臨床内科学 IV		1		
臨床内科学 V		1		
臨床内科学 VI		1		
臨床内科学 VII		1		
臨床内科学 VIII		1		
救急医学概論 I		1		
救急医学概論 II		1		
医学検査		1		
救急処置総論		1		
救急処置各論		2		
救急・災害医療		1		
臨床外科学 I		2		
臨床外科学 II		2		
臨床外科学 III		1		
臨床外科学 IV		1		
一般救急救命学		1		
小児科		1		
産婦人科学		1		
整形外科		1		
脳外科		1		
精神医学		1		
救命救助法		1		
シミュレーション I		3		
シミュレーション II		3		
シミュレーション III		2		
病院内実習	10			
救急車同乗実習	3			
総合				
特別講義 I		2		
特別講義 II		2		
特別演習 I		1		
特別演習 II		1		
総合演習		2		
卒業研究	4			
計	33	327		124 単位以上

第3類（杏林大学学則）

看護学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
一般教養領域				
人間科学系				
哲学		2		12単位以上
生命倫理		2		
法学		2		
日本国憲		2		
心理		2		
発達心理		2		
社会福祉		2		
芸術		2		1単位以上
体育実技Ⅰ		1		
体育実技Ⅱ		1		
健康とスポーツ論		2		
自然科学系				
統計学		2		6単位以上
人類遺伝学		2		
物理学概論		2		
化学概論		2		
生命科学概論		2		
情報処理論	2			
言語系				
英語Ⅰ	2			6単位以上 英会話Ⅰを履修していること
英語Ⅱ	2			
英語Ⅲ		2		
英語Ⅳ		2		
英会話Ⅰ		2		
英会話Ⅱ		2		
フランス語Ⅰ		2		
フランス語Ⅱ		2		
日本語表現		2		
日本語法		2		
専門基礎領域				
解剖学	2			
生理学	2			
生殖生理		1		
生化学	1			
病理学	2			
疾病論Ⅰ	2			
疾病論Ⅱ	2			
微生物学	2			
免疫学		1		

第3類（杏林大学学則）

栄	養	学	2		
薬	理	学	2		
公衆衛生学			1		
臨床心理学			1	1	
関係法		規	1		
専門領域					
基礎看護学系					
看護学概論	I		2		
看護学概論	II		2		
看護方法	I		2		演習
看護方法	II		2		演習
看護方法	III		2		演習
看護方法	IV		2		演習
看護方法	V		2		演習
カウンセリング				1	
基礎看護学実習	I		1		
基礎看護学実習	II		2		
在宅看護学系					
在宅ケア論	I		1		
在宅ケア論	II		1		
在宅看護学実習			2		
成人・高齢者看護学系					
成人看護学概論			1		
高齢者看護学概論			1		
成人保健学			1		
高齢者保健学			1		
成人看護学	I a		1		
成人看護学	I b		1		
成人看護学	II a		2		
成人看護学	II b		2		
高齢者看護学	I		1		
高齢者看護学	II		1		
成人看護学実習	I		3		
成人看護学実習	II		3		
成人看護学実習	III		2		
高齢者看護学実習	I		1		
高齢者看護学実習	II		3		
精神看護学系					
精神看護学概論			1		
精神保健学			2		
精神看護学			1		
精神看護学実習			2		
母子看護学系					

クリティカルケア、バリアティブケア、リハビリテーションから1科目選択

第3類（杏林大学学則）

母子看護学概論	2		
母性保健学	1		
小児保健学	1		
母性看護学Ⅰ	1		
母性看護学Ⅱ	2		
小児看護学Ⅰ	1		
小児看護学Ⅱ	2		
母性看護学実習	2		
小児看護学実習	2		
地域看護学系			
地域看護学概論	2		
地域看護学	1		
地域看護活動論	3		
保健指導総論	1		
地域看護学実習	2		
保健学系			
保健管理学		2	
健康教育学		2	
環境保健学		2	
産業保健学		2	
保健福祉行政論	2		
疫学	2		
保健統計	2		
学校保健概論	2		学校安全を含む
養護学概論		2	
学校保健学Ⅰ		2	
学校保健学Ⅱ		2	
健康相談		2	
臨床検査学系			
臨床検査管理総論		1	
臨床遺伝学		1	
医用工学概論		1	
放射線概論		1	
助産学系			
助産学概論		1	
助産診断・技術学Ⅰ		1	
助産診断・技術学Ⅱ		3	
助産診断・技術学Ⅲ		3	
助産管理学		1	
助産学特論		1	
助産学実習Ⅰ		7	
助産学実習Ⅱ		1	
総合領域			
医療概論	1		

第3類（杏林大学学則）

看護管理学		1		
看護教育論		1		
移植コーディネータ論		2		
基礎看護学特論		1		
成人看護学特論		1		
高齢者看護学特論		1		
精神看護学特論		1		
母子看護学特論		1		
地域看護学特論		1		
特別講義 I		2		
特別講義 II		2		
総合演習		2		
卒業研究	4			
計	112	104		137 単位以上

第3類（杏林大学学則）

臨床工学科（平成18年度入学生から適用）

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
人文・社会学系				10単位以上
哲 学		2		
心 理 学		2		
法 学		2		
日 本 国 憲 法 学		2		
社 会 学		2		
生 命 倫 理 学		2		
発 達 心 理 学		2		
芸 術		2		
数学系				
数 学	2			
統 計 学 演 習		1		
医 療 情 報 科 学		2		
計 算 機 演 習	2			
応 用 数 学	2			
物理学系				
基 礎 電 気 学	2			
基 礎 電 子 回 路	2			
医 用 工 学 概 論	2			
化学系				
無 機 化 学		2		3単位以上
生 物 有 機 化 学 I		2		
生 物 有 機 化 学 II		2		
化 学 実 験		1		
生物学系				
生 命 科 学 概 論		2		3単位以上
細 胞 生 物 学		2		
人 類 遺 伝 学		2		
生 物 学 実 験		1		
言語系				
日 本 語 表 現 法	2			
英 語 I		2		英語 I・II(各2単位)又
英 語 II		2		

第3類 (杏林大学学則)

英 語	III		2	はフランス語 I・II (各2 単位) のどちらかを選択 他に4単位以上 英会話 I を履修している こと	
医 学 英 語			2		
英 会 話	I		2		
英 会 話	II		2		
フ ラ ン ス 語	I		2		
フ ラ ン ス 語	II		2		
フ ラ ン ス 語	III		2		
フ ラ ン ス 語 会 話			2		
体育学系					
体 育 実 技	I	2			
体 育 実 技	II		1		
健 康 ス ポ ー ツ 科 学			2		
基礎医学系					
医 学 概 論		2			
公 衆 衛 生 学	I	2			
公 衆 衛 生 学	II		2		
解 剖 学	I	2			
解 剖 学	II		2		
病 理 学		2			
生 理 学	I	2			
生 理 学	II	2			
生 理 学 実 験		1			
生 化 学	I		2		
生 化 学	II		2		
血 液 学			2		
免 疫 学			2		
微 生 物 学			2	2 単位以上	
医 動 物 学			2		
薬 理 学			2		
看 護 学			2		
医学検査系					
生 理 学 検 査	I	2			
生 理 学 検 査	II	2			
画 像 診 断 技 術			2		
生 理 学 検 査 実 習			1		
医 学 検 査			2		

第3類 (杏林大学学則)

臨床病理学	2		
臨床遺伝学	2		
臨床工学系			
医用電気工学	2		
医用電気工学実習	1		
医用電子工学	2		
医用電子工学実習	1		
システム工学	2		
医用情報処理工学	2		
医用情報工学実習	1		
医用計測工学	2		
医用計測工学実習	1		
医用機械工学	2		
生体物性学	2		
生体材料工学	2		
医用機器学概論	2		
医用計測機器学	2		
医用計測機器学実習	1		
医用治療機器学	2		
医用治療機器学実習	1		
生体機能代行装置学概論	2		
生体機能代行装置学基礎実習	1		
呼吸関連機器学	2		
呼吸関連機器学実習	1		
血液浄化装置学	2		
血液浄化装置学実習	1		
体外循環機器学	2		
体外循環機器学実習	1		
医用機器安全管理学Ⅰ	2		
医用機器安全管理学Ⅱ	2		
安全管理学実習	1		
臨床医学総論Ⅰ	2		
臨床医学総論Ⅱ	2		
臨床医学総論Ⅲ	2		
臨床医学総論Ⅳ	2		
医療関係法規	2		

第3類 (杏林大学学則)

臨床実習講義		1		
臨床実習		3		
衛生学系				
産業保健学		2		
環境衛生工学		2		
放射線概論		2		
環境化学		2		
分析化学Ⅰ		2		
分析化学Ⅱ		2		
食品栄養学		2		
食品衛生学		2		
食品製造学		2		
職業適性論		2		
労働衛生法規Ⅰ		2		
労働衛生法規Ⅱ		2		
救命救助法		1		
総合				
特別講義Ⅰ		2		
特別講義Ⅱ		2		
特別演習Ⅰ		1		
特別演習Ⅱ		1		
総合演習		2		
卒業研究	4			
計	37	177		124 単位以上

第3類（杏林大学学則）

別表2-2

保健学部学科目構成

（平成19年度入学生から適用）

臨床検査技術学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
人文・社会学系				
哲		2		10単位以上
心 理 学		2		
法 学		2		
日 本 国 憲 法		2		
社 会 学		2		
生 命 倫 理 学		2		
芸 術		2		
数学・物理学系				
数 学		2		6単位以上
医 療 情 報 科 学		2		
医 療 情 報 処 理		2		
医 療 情 報 処 理 演 習		2		
基 礎 物 理 学		1		
物 理 学		2		
物 理 学 実 験		1		
医 用 工 学 概 論		2		
医 用 工 学 実 験		1		
化学系				
基 礎 化 学		1		4単位以上
無 機 化 学		2		
生 物 有 機 化 学 I		2		
生 物 有 機 化 学 II		2		
化 学 実 験		1		
生物学系				
基 礎 生 物 学		1		4単位以上
生 命 科 学 概 論		2		
細 胞 生 物 学		2		
人 類 遺 伝 学		2		
生 物 学 実 験		1		
言語系				

第3類 (杏林大学学則)

日 本 語 表 現 法	2	10 単位以上
英 語 I	2	
英 語 II	2	
英 語 III	2	
英 語 IV	2	
英 会 話	2	
医 学 英 語	2	
体育学系		
健康スポーツ科学	2	
体育実技 I	2	
基礎医学系		
医学概論	2	
医学検査概論	2	
保健学概論 I	2	
保健学概論 II	2	
公衆衛生学 I	2	
公衆衛生学 II	2	
解剖学 I	2	
解剖学 II	2	
解剖・組織学実験	1	
病理学	2	
病理学実験	1	
生理学 I	2	
生理学 II	2	
生理学実験	1	
生化学 I	2	
生化学 II	2	
生化学実験	1	
血液学	2	
血液学実験	1	
免疫学	2	
免疫学実験	1	
微生物学	2	
微生物学実験	1	
医動物学	2	
遺伝子工学	2	

第3類（杏林大学学則）

遺 伝 子 工 学 実 験		1	
分 子 生 物 学		2	
分 子 細 胞 生 物 学		2	
薬 理 学		2	
実 験 動 物 学		1	
動 物 実 験 実 習		1	
救 命 救 助 法		1	
医学検査系			
生 理 機 能 検 査 学 I	2		
生 理 機 能 検 査 学 II		2	
生 理 機 能 検 査 学 実 習		2	
画 像 診 断 技 術		2	
臨 床 化 学 検 査 学 I	2		
臨 床 化 学 検 査 学 II		2	
臨 床 化 学 検 査 学 実 習		2	放射性同位元素検査技術を含む
放 射 線 概 論		2	
染 色 体 学		2	
臨 床 遺 伝 学		2	
遺 伝 子 ・ 染 色 体 検 査 学	2		
遺 伝 子 ・ 染 色 体 検 査 学 実 習		1	
病 理 診 断 学	2		
病 理 検 査 学		2	
病 理 検 査 学 実 習		2	
細 胞 診 断 学		2	
細 胞 診 断 学 実 習		1	
血 液 検 査 学	2		
血 液 検 査 学 実 習		2	
医 動 物 検 査 学 実 習		1	
微 生 物 検 査 学 I	2		
微 生 物 検 査 学 II		2	
微 生 物 検 査 学 実 習		2	
免 疫 検 査 学 I	2		
免 疫 検 査 学 II		2	
免 疫 検 査 学 実 習		2	
一 般 検 査 学	2		
一 般 検 査 学 実 習		1	

第3類（杏林大学学則）

臨床病態学 I		2		
臨床病態学 II		2		
検査管理学		2		
分析化学 I		2		
分析化学 II		2		
分析化学実験		1		
専門実験・実習手法	1			
臨地実習		6		
保健学系				
医療福祉概論		2		
国際保健学		2		
生活習慣病論		2		
衛生学系				
産業保健学		2		
環境衛生工学		2		
環境化学		2		
食品栄養学		2		
食品衛生学		2		
食品製造学		2		
職業適性論		2		
労働衛生法規 I		2		
労働衛生法規 II		2		
自由専攻				
細胞診断学演習 I		1		
細胞診断学演習 II		1		
細胞診断学演習 III		1		
細胞診断学演習 IV		1		
細胞診断学演習 V		1		
遺伝・バイオ技術系特別演習 I		1		
遺伝・バイオ技術系特別演習 II		1		
細胞・組織・形態系特別演習 I		1		
細胞・組織・形態系特別演習 II		1		
感染症制御系特別演習 I		1		
感染症制御系特別演習 II		1		
生殖・移植医療系特別演習 I		1		
生殖・移植医療系特別演習 II		1		

第3類 (杏林大学学則)

化学系特別演習Ⅰ		1		
化学系特別演習Ⅱ		1		
生理機能系特別演習Ⅰ		1		
生理機能系特別演習Ⅱ		1		
治験コーディネータ特別演習		1		
薬事申請特別演習		1		
総合				
総合医療演習Ⅰ		1		
総合医療演習Ⅱ	2			
移植コーディネータ論		2		
生命倫理学特論		2		
インターンシップ		4		
卒業研究		4		4単位以上
計	52	192		124単位以上

健康福祉学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
人文・社会学系				
哲学		2		10単位以上
心理学		2		
法学		2		
日本国憲法		2		
社会学		2		
生命倫理学		2		
教育心理学		2		
発達心理学		2		
芸術学		2		
倫理学		2		
民俗学		2		
国際関係論		2		
社会心理学		2		
自然科学系				
数学		2		
統計学演習		2		
医療情報科学		2		
情報処理演習		2		

第3類 (杏林大学学則)

物 理 学	2	10 単位以上
物 理 学 実 験	1	
医 用 工 学 概 論	2	
医 用 工 学 実 験	1	
無 機 化 学	2	
生 物 有 機 化 学 I	2	
生 物 有 機 化 学 II	2	
化 学 実 験	1	
生 命 科 学 概 論	2	
生 物 学 実 験	1	
言語系		英語 I・II (各2単位) 又はフランス語 I・II (各2単位) のどちらかを選択 他に4単位以上
日 本 語 表 現 法	2	
英 語 I	2	
英 語 II	2	
英 語 III	2	
医 学 英 語	2	
英 会 話	2	
フ ラ ン ス 語 I	2	
フ ラ ン ス 語 II	2	
フ ラ ン ス 語 III	2	
フ ラ ン ス 語 会 話	2	
体育学系		
体 育 実 技 I	2	
体 育 実 技 II	1	
健 康 ス ポ ー ツ 科 学	2	
基礎医学系		
医 学 概 論	2	
公 衆 衛 生 学 I	2	
公 衆 衛 生 学 II	2	
解 剖 学 I	2	
解 剖 学 II	2	
解 剖 学 実 験	1	
病 理 学	2	
病 理 学 実 験	1	
生 理 学 I	2	
生 理 学 II	2	
生 理 学 実 験	1	

第3類 (杏林大学学則)

生 化 学 I	2		
生 化 学 II		2	
生 化 学 実 験		1	
血 液 学		2	
血 液 学 実 験		1	
免 疫 学		2	
免 疫 学 実 験		1	
微 生 物 学		2	
微 生 物 学 実 験		1	
薬 理 学		2	
救 命 救 助 法		1	
専門基礎			
保 健 学 概 論 I	2		
保 健 学 概 論 II	2		
保 健 学 基 礎 実 習	1		
保健学発展実習 I (社会調査系)	1		
保健学発展実習 II (健康教育系)	1		
保健学発展実習 III (環境系)	1		
保健学発展実習 IV (遺伝系)	1		
保健学発展実習 V (心理検査系)	1		
保 健 学 応 用 実 習 A		1	
保 健 学 応 用 実 習 B		1	
基礎保健学系			
人 類 生 態 学		2	
環 境 保 健 学		2	
疫 学		2	
保 健 管 理 学		2	
健 康 社 会 学		2	
母 子 保 健 学		2	小児保健を含む
成 人 保 健 学		2	
精 神 保 健 学		2	
保 健 栄 養 学		2	食品学を含む
人 類 遺 伝 学		2	
健 康 教 育 学 I		2	
社 会 福 祉 学		2	
ライフステージと心理		2	

第3類（杏林大学学則）

生活と看護	2		
発展保健学系			
健康教育学Ⅱ	2		
栄養生態学	2		
人口学	2		
地域保健学	2		
国際保健学	2		
臨床心理学	2		
細胞遺伝学	2		
現代社会と心の病理	2		
認知心理学	2		
社会福祉学系			
社会福祉政策論	2		
老人福祉論	2		
高齢保健学	2		
障害者福祉論	4		
児童福祉論	2		
社会保障論	4		
公的扶助論	2		
地域福祉論	2		
社会福祉援助技術総論	4		
社会福祉援助技術論Ⅰ	2		
社会福祉援助技術論Ⅱ	2		
社会福祉援助技術演習Ⅰ	1		
社会福祉援助技術演習Ⅱ	1		
社会福祉援助技術演習Ⅲ	2		
社会福祉援助技術演習Ⅳ	2		
社会福祉援助技術演習Ⅴ	2		
社会福祉援助技術実習	6		
社会福祉援助技術現場実習指導	6		
医療福祉論	2		
家族福祉論	2		
セルフヘルプグループ論	2		
保健福祉論	2		
初めての社会福祉	2		
学校保健学系			

第3類 (杏林大学学則)

学 校 保 健 学 I	2	学校安全を含む	
学 校 保 健 学 II	2		
学 校 看 護 学	1		
健 康 相 談 I	2		
健 康 相 談 II	1		
養 護 学 概 論	2		
カ ウ ン セ リ ン グ	2		
精 神 医 学	1		
保 健 科 指 導 研 究 I	2		
保 健 科 指 導 研 究 II	2		
看 護 学 I	2		
看 護 学 II	2		
看 護 学 III	2		
看 護 学 実 習	2		
救 急 看 護 学	2		
環境・食品学系			
産 業 保 健 学	2		
環 境 衛 生 工 学	2		
環 境 科 学	2		
放 射 線 概 論	2		
分 析 化 学 I	2		
分 析 化 学 II	2		
分 析 化 学 実 験	1	放射性同位元素検査学を含む	
食 品 栄 養 学	2		
食 品 衛 生 学	2		
食 品 製 造 学	2		
職 業 適 性 論	2		
労 働 衛 生 法 規 I	2		
労 働 衛 生 法 規 II	2		
総合			
コ ー デ ィ ネ ー タ 論	2		
特 別 講 義 I	2		
特 別 講 義 II	2		
特 別 演 習 I	1		
特 別 演 習 II	1		
教 職 総 合 演 習	2		

第3類（杏林大学学則）

ボランティア活動		2		
インターンシップ		2		
卒業研究	4			
計	24	273		124単位以上

看護学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
一般教養領域				
人間科学系				
哲学		2		10単位以上
生命倫理学		2		
法社会学		2		
日本国憲法学		2		
心理社会学		2		
発達心理学		2		
社会心理学		2		
社会福祉学		2		
芸術学		2		
ホスピタリティ論		2		
文化人類学		2		1単位以上
国際関係論		2		
健康スポーツ科学		2		1単位以上
体育実技		1		
自然科学系				
統計学		2		4単位以上
人類遺伝学		2		
物理学概論		2		
化学概論		2		
生命科学概論		2		
情報処理論	2			
言語系				
英語 I	2			
英語 II	2			
英語 III		2		
英会話		2		
医学英語		2		

第3類 (杏林大学学則)

フ ラ ン ス 語 I	2	6 単位以上
フ ラ ン ス 語 II	2	
フ ラ ン ス 語 III	2	
フ ラ ン ス 語 会 話	2	
日 本 語 表 現 法	2	
専門基礎領域		
基礎医学系		
解 剖 学	2	
生 理 学	2	
生 化 学	2	
栄 養 学	2	
病 態 学 I	2	
病 態 学 II	2	
微 生 物 学	2	
薬 理 学	2	
公 衆 衛 生 学	2	
関 係 法 規	1	
カ ウ ン セ リ ン グ	1	
臨 床 心 理 学	1	
血 液 学	2	
免 疫 学	2	
医 学 概 論	2	
専門領域		
基礎看護学系		
看 護 学 概 論	2	
看 護 方 法 演 習 I	2	
看 護 方 法 演 習 II	2	
看 護 方 法 演 習 III	2	
看 護 方 法 演 習 IV	2	
基 礎 看 護 学 実 習 I	1	
基 礎 看 護 学 実 習 II	2	
在宅看護学系		
在 宅 ケ ア 論	2	
在 宅 ケ ア 演 習	2	
在 宅 看 護 学 実 習	2	
成人・高齢者看護学系		
成 人 看 護 学 概 論	1	

第3類 (杏林大学学則)

成人看護学 I	2		
成人看護学 II	2		
成人看護学演習	2		
成人看護学実習 I	4		
成人看護学実習 II	4		
高齢者看護学概論	1		
高齢者看護学	2		
高齢者看護学実習 I	2		
高齢者看護学実習 II	2		
精神看護学系			
精神看護学概論	1		
精神看護学	2		
精神看護学実習	2		
精神看護学演習	1		
母子看護学系			
母性看護学概論	1		
母性看護学	2		
母性看護学演習	1		
母性看護学実習	2		
小児看護学概論	1		
小児看護学	2		
小児看護学演習	1		
小児看護学実習	2		
地域看護学系			
地域看護学概論	2		
地域看護学	2		
地域看護学演習 I	2		
地域看護学演習 II	2		
地域看護学実習 I	2		
地域看護学実習 II	1		
保健学系			
健康教育学 I		2	
産業保健学		2	
保健福祉行政論	2		
疫学・保健統計学	2		
保健統計	2		

第3類 (杏林大学学則)

保健学概論		1	
保健学 I		1	
保健学 II	1		
保健学 III		1	
保健学 IV	1		
養護学概論		2	
学校保健学 I		2	
学校保健学 II		2	
健康相談		2	
健康教育学 II		2	
地域福祉論	2		
児童福祉論		2	
老人福祉論	2		
臨床検査学系			
医用工学概論		2	
助産学系			
助産学概論		1	
助産診断・技術学 I		2	
助産診断・技術学 II		2	
助産診断・技術学 III		2	
助産診断・技術学 IV		2	
助産診断・技術学 V		2	
助産管理学		1	
助産学特論		1	
助産学実習 I		6	
助産学実習 II		2	
総合領域			
看護管理学		1	
看護教育論		1	
移植コーディネータ論		1	
特別講義		1	
看護理論		1	
看護倫理		1	
疾病論		2	
教職総合演習		2	
死生学		1	
遺伝看護		1	

第3類 (杏林大学学則)

地域活動論	2			
総合看護		2		
救急看護学		2		
医療安全		1		
国際看護活動論		1		
災害看護活動論		1		
ボランティア活動		2		
インターンシップ		4		
卒業研究		4		4 単位以上
計	109	132		134 単位以上

救急救命学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
人文・社会学系				
哲学		2		10 単位以上
法		2		
日本国憲法学		2		
社会学		2		
倫理学		2		
生命倫理学		2		
心理学		2		
発達心理学		2		
教育心理学		2		
芸		2		
民俗学		2		
数学・物理学系				
基礎物理学		1		4 単位以上
物理		2		
医用工学概論		2		
数学		2		
統計		2		
医療情報科学		2		
情報処理演習		2		
化学系				
基礎化学		1		
無機化学		2		

第3類 (杏林大学学則)

生物有機化学 I		2	3 単位以上	
生物有機化学 II		2		
化学実験		1		
生物学系				
基礎生物学		1	3 単位以上	
生命科学概論		2		
細胞生物学		2		
人類遺伝学		2		
生物学実験		1		
言語系				
日本語表現法		2	4 単位以上	
英語 I	2			
英語 II	2			
英語 III		2		
英語 IV		2		
英会話		2		
医学英語		2		
フランス語 I		2		
フランス語 II		2		
フランス語 III		2		
フランス語会話		2		
体育学系				
健康スポーツ科学		2		
体育実技 I	2			
体育実技 II	1			
基礎医学系				
医学概論		2		
公衆衛生学 I	2			
公衆衛生学 II		2		
解剖学 I	2			
解剖学 II		2		
生理学 I	2			
生理学 II		2		
生化学	2			
病理学	2			
微生物学	2			

第3類 (杏林大学学則)

血液学			2
免疫学			2
薬理学	2		
救命救助法	1		
救急医学系			
内科学 I	2		
内科学 II	2		
内科学 III	2		
内科学 IV		2	
内科学 V		2	
内科学 VI		2	
医療コミュニケーション学		2	
医療安全論		2	
救急医学概論	2		
救急処置総論	2		
救急処置各論	2		
災害医学		2	
外科学 I		2	
外科学 II		2	
外傷学		2	
環境障害・急性中毒学		2	
救急搬送論		2	
小児科学		2	
産婦人科学		2	
整形外科学		2	
脳外科学		2	
精神医学		2	
放射線概論		2	
シミュレーション I	2		
シミュレーション II	2		
シミュレーション III		3	
シミュレーション IV		3	
シミュレーション V		2	
シミュレーション VI		2	
病院内実習		10	
救急車同乗実習		3	

第3類（杏林大学学則）

衛生学系				
産 業 保 健 学	2			
環 境 衛 生 工 学	2			
職 業 適 性 論	2			
労 働 衛 生 法 規 I	2			
労 働 衛 生 法 規 II	2			
総合				
移 植 コーディネータ論	2			
特 別 講 義 I	2			
特 別 講 義 II	2			
特 別 演 習 I	1			
特 別 演 習 II	1			
ボ ラン ティ ア 活 動	2			
イ ン タ ー ナ シ ョ ン	4			
卒 業 研 究	4			4 単位以上
計	38	168		124 単位以上

第3類（杏林大学学則）

別表2-3

保健学部学科目構成

（平成21年度入学生から適用）

臨床検査技術学科

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
人文・社会学系				
哲 学		2		10 単位以上
心 理 学		2		
法 学		2		
日 本 国 憲 法 学		2		
社 会 学		2		
生 命 倫 理 学		2		
芸 術 学		2		
数学・物理学系				
数 学		2		6 単位以上
医 療 情 報 科 学		2		
医 療 情 報 処 理		2		
医 療 情 報 処 理 演 習		2		
基 礎 物 理 学		1		
物 理 学		2		
物 理 学 実 験		1		
医 用 工 学 概 論		2		
医 用 工 学 実 験		1		
化学系				
基 礎 化 学		1		4 単位以上
無 機 化 学		2		
生 物 有 機 化 学 I		2		
生 物 有 機 化 学 II		2		
化 学 実 験		1		
生物学系				
基 礎 生 物 学		1		4 単位以上
生 命 科 学 概 論		2		
細 胞 生 物 学		2		
人 類 遺 伝 学		2		
生 物 学 実 験		1		
言語系				

第3類 (杏林大学学則)

日本語表現法	2	10単位以上
英語 I	2	
英語 II	2	
英語 III	2	
英語 IV	2	
英会話	2	
医学英語	2	
体育学系		
健康スポーツ科学	2	
基礎医学系		
医学概論	2	
医学検査概論	2	
保健学概論 I	2	
保健学概論 II	2	
公衆衛生学 I	2	
公衆衛生学 II	2	
解剖学 I	2	
解剖学 II	2	
解剖・組織学実験	1	
病理学	2	
病理学実験	1	
生理学 I	2	
生理学 II	2	
生理学実験	1	
生化学 I	2	
生化学 II	2	
生化学実験	1	
血液学	2	
血液学実験	1	
免疫学	2	
免疫学実験	1	
微生物学	2	
微生物学実験	1	
医動物学	2	
遺伝子工学	2	
遺伝子工学実験	1	

第3類 (杏林大学学則)

分子生物学		2	
分子細胞生物学		2	
薬理学		2	
実験動物学		1	
動物実験実習		1	
救命救助法		1	
医学検査系			
生理機能検査学Ⅰ	2		
生理機能検査学Ⅱ		2	
生理機能検査学実習		2	
画像診断技術		2	
臨床化学検査学Ⅰ	2		
臨床化学検査学Ⅱ		2	
臨床化学検査学実習		2	放射性同位元素検査技術を含む
放射線概論		2	
染色体学		2	
臨床遺伝学		2	
遺伝子・染色体検査学	2		
遺伝子・染色体検査学実習		1	
病理診断学	2		
病理検査学		2	
病理検査学実習		2	
細胞診断学		2	
細胞診断学実習		1	
血液検査学	2		
血液検査学実習		2	
医動物検査学実習		1	
微生物検査学Ⅰ	2		
微生物検査学Ⅱ		2	
微生物検査学実習		2	
免疫検査学Ⅰ	2		
免疫検査学Ⅱ		2	
免疫検査学実習		2	
一般検査学	2		
一般検査学実習		1	
臨床病態学Ⅰ		2	

第3類 (杏林大学学則)

臨床病態学 II		2	
検査管理学		2	
分析化学 I		2	
分析化学 II		2	
分析化学実験		1	
専門実験・実習手法	1		
臨地実習		6	
保健学系			
医療福祉概論		2	
国際保健学		2	
生活習慣病論		2	
衛生学系			
産業保健学		2	
環境衛生工学		2	
環境化学		2	
食品栄養学		2	
食品衛生学		2	
食品製造学		2	
職業適性論		2	
労働衛生法規 I		2	
労働衛生法規 II		2	
自由専攻			
細胞診断学演習 I		1	
細胞診断学演習 II		1	
細胞診断学演習 III		1	
細胞診断学演習 IV		1	
細胞診断学演習 V		1	
遺伝・バイオ技術系特別演習 I		1	
遺伝・バイオ技術系特別演習 II		1	
細胞・組織・形態系特別演習 I		1	
細胞・組織・形態系特別演習 II		1	
感染症制御系特別演習 I		1	
感染症制御系特別演習 II		1	
生殖・移植医療系特別演習 I		1	
生殖・移植医療系特別演習 II		1	
化学系特別演習 I		1	

第3類 (杏林大学学則)

化学系特別演習Ⅱ		1		
生理機能系特別演習Ⅰ		1		
生理機能系特別演習Ⅱ		1		
治験コーディネータ特別演習		1		
薬事申請特別演習		1		
総合				
総合医療演習Ⅰ		1		
総合医療演習Ⅱ	2			
移植コーディネータ論		2		
生命倫理学特論		2		
特別講義Ⅰ		2		
特別講義Ⅱ		2		
インターンシップ		4		
卒業研究		4		4単位以上
計	50	196		124単位以上

健康福祉学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
人文・社会学系				
哲学		2		10単位以上
心理学		2		
法学		2		
日本国憲法		2		
社会学		2		
生命倫理学		2		
教育心理学		2		
発達心理学		2		
芸術学		2		
倫理学		2		
民俗学		2		
国際関係論		2		
自然科学系				
数学		2		

第3類 (杏林大学学則)

統計学演習	2			
医療情報科学	2			
情報処理演習	2			
基礎物理学	1			
物理学	2			
物理学実験	1			
基礎化学	1	10単位以上		
無機化学	2			
生物有機化学	2			
化学実験	1			
基礎生物学	1			
生命科学概論	2			
生物学実験	1			
言語系				
日本語表現法	2			
英語 I	2		英語 I・II (各2単位) 又はフランス語 I・II (各2単位) のどちらか を選択、他に4単位以上	
英語 II	2			
英語 III	2			
医学英語	2			
英会話	2			
フランス語 I	2			
フランス語 II	2			
フランス語 III	2			
フランス語会話	2			
基礎医学系				
医学概論	2			
医学基礎実習	1			
公衆衛生学 I	2			
公衆衛生学 II	2			
解剖学 I	2			
解剖学 II	2			
病理学	2			

第 3 類 (杏林大学学則)

生 理 学 I	2		
生 理 学 II		2	
生 化 学 I	2		
生 化 学 II		2	
血 液 学		2	
免 疫 学		2	
微 生 物 学		2	
微 生 物 学 实 驗		1	
藥 理 学		2	
实 驗 動 物 学		1	
動 物 实 驗 实 習		1	
救 命 救 助 法		1	
專門基礎系			
保 健 学 概 論 I	2		
保 健 学 概 論 II	2		
保 健 学 基 礎 实 習	1		
保 健 学 發 展 实 習 I (社 会 調 查 系)	1		
保 健 学 發 展 实 習 II (健 康 教 育 系)	1		
保 健 学 發 展 实 習 III (環 境 系)	1		
保 健 学 發 展 实 習 IV (遺 伝 系)	1		
保 健 学 發 展 实 習 V (心 理 檢 査 系)	1		
保 健 学 応 用 实 習 A		1	
保 健 学 応 用 实 習 B		1	
保健学系			
人 類 生 態 学		2	
環 境 保 健 学		2	
疫 学		2	
保 健 管 理 学		2	

第3類（杏林大学学則）

健康社会学	2	
母子保健学	2	小児保健を含む
成人保健学	2	
精神保健学	2	
保健栄養学	2	食品学を含む
人類遺伝学	2	
健康教育学Ⅰ	2	
健康教育学Ⅱ	2	
看護と養護	2	
栄養生態学	2	
人口学	2	
地域保健学	2	
国際保健学	2	
臨床心理学	2	
細胞遺伝学	2	
認知心理学	2	
病気の生化学	2	
健康スポーツ科学	2	
社会福祉学系		
社会福祉学	2	
社会福祉政策論	2	
老人福祉論	2	
高齢保健学	2	
障害者福祉論	2	
児童福祉論	2	
社会保障論	4	
公的扶助論	2	
地域福祉論	4	
社会福祉援助技術総論Ⅰ	4	
社会福祉援助技術総論Ⅱ	2	
社会福祉援助技術論Ⅰ	2	
社会福祉援助技術論Ⅱ	2	

第3類（杏林大学学則）

社会福祉援助技術演習Ⅰ	1	150時間
社会福祉援助技術演習Ⅱ	1	
社会福祉援助技術演習Ⅲ	2	
社会福祉援助技術演習Ⅳ	2	
社会福祉援助技術演習Ⅴ	2	
社会福祉援助技術演習Ⅵ	2	
社会福祉援助技術実習	6	180時間
社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ	1	30時間（実習）
社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ	4	60時間（講義・演習）
医療福祉論	2	
保健福祉論	2	
初めての社会福祉	2	
社会調査概論	1	
福祉行財政と福祉計画概論	1	
社会福祉経営論	1	
就労支援概論	1	
権利擁護と成年後見概論	1	
更生保護概論	1	
介護福祉論	2	
学校保健学系		
学校保健学Ⅰ	2	学校安全を含む
学校保健学Ⅱ	2	
学校看護学	1	
健康相談Ⅰ	2	
健康相談Ⅱ	1	
養護学概論	2	
カウンセリング	2	
精神医学	1	
保健科指導研究Ⅰ	2	
保健科指導研究Ⅱ	2	
保健科教育法－1	2	
保健科教育法－2	2	

第3類 (杏林大学学則)

看護学 I	2		
看護学 II	2		
看護学 III	2		
看護学実習	2		
救急看護学	2		
環境・食品学系			
産業保健学	2		
環境衛生工学	2		
環境科学	2		
放射線概論	2		
分析化学	2		
分析化学実験	1		
食品栄養学	2		
食品衛生学	2		
食品製造学	2		
職業適性論	2		
労働衛生法規 I	2		
労働衛生法規 II	2		
総合			
コーディネータ論	2		
特別講義 I	2		
特別講義 II	2		
特別演習 I	1		
特別演習 II	1		
教職総合演習	2		
ボランティア活動	2		
インターンシップ	2		
卒業研究	4		
計	25	269	124 単位以上

第3類（杏林大学学則）

看護学科

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必修	選択	自由	
基礎分野				
人間科学系				
哲 学		2		10 単位以上
死 生 学		2		
生 命 倫 理 学	2			
日 本 国 憲 法 学		2		
心 理 学		2		
発 達 心 理 学	2			
社 会 福 祉 学		2		
教 育 学		2		
ホスピタリティ論		2		
国 際 協 力 論		2		
健 康 ス ポ ー ツ 科 学		2		
自然科学系				
統 計 学		2		6 単位以上
人 類 遺 伝 学		2		
物 理 学 概 論		1		
化 学 概 論		1		
生 命 科 学 概 論		2		
情 報 処 理 論	2			
言語系				
英 語 I	2			10 単位以上
英 語 II	2			
英 語 III		2		
英 会 話		2		
医 学 英 語		2		
日 本 語 表 現 法	2			
専門基礎分野				
人体の構造と機能・疾病の成り立ち				
形 態 ・ 機 能 学	2			
代 謝 ・ 栄 養 学	2			
薬 理 学	2			
病 原 微 生 物 学	1			

第3類（杏林大学学則）

免 疫 学	1		
病 態 治 療 論 I	2		
病 態 治 療 論 II	2		
病 態 治 療 論 III	1		
病 態 治 療 論 IV	1		
病 態 治 療 論 V	1		
病 態 治 療 論 VI	1		
病 態 治 療 論 VII	1		
病 態 治 療 論 VIII	1		
健康支援と社会保障制度			
公 衆 衛 生 学	1		
関 係 法 規	1		
保 健 福 祉 行 政 論	2		
健 康 教 育 学		2	
学 校 保 健 学 概 論	2		
学 校 保 健 学		2	
養 護 学 概 論		2	
カ ウ ン セ リ ン グ		2	
健 康 相 談		2	
疫学と統計			
疫 学	2		
保 健 統 計	2		
基礎看護学			
基礎看護学系			
看 護 学 概 論 I	1		
看 護 学 概 論 II	2		
生 活 行 動 援 助 技 術 I	2		
生 活 行 動 援 助 技 術 II	2		
ヘルスアセスメント技術	1		
看 護 過 程	1		
治 療 ・ 処 置 技 術	2		
基 礎 看 護 学 実 習 I	1		
基 礎 看 護 学 実 習 II	2		
専門看護学			
成人看護学系			
成 人 看 護 学 概 論	2		

第3類 (杏林大学学則)

成人看護学Ⅰ	2		
成人看護学Ⅱ	2		
成人看護学演習	1		
成人看護学実習Ⅰ	3		
成人看護学実習Ⅱ	3		
高齢者看護学系			
高齢者看護学概論	2		
高齢者看護学	2		
高齢者看護学演習	1		
高齢者看護学実習Ⅰ	2		
高齢者看護学実習Ⅱ	2		
小児看護学系			
小児看護学概論	2		
小児看護学	2		
小児看護学演習	1		
小児看護学実習	2		
母性看護学系			
母性看護学概論	2		
母性看護学	2		
母性看護学演習	1		
母性看護学実習	2		
精神看護学系			
精神看護学概論	2		
精神看護学	2		
精神看護学演習	1		
精神看護学実習	2		
在宅看護学系			
在宅看護学	2		
在宅看護学演習	2		
在宅看護学実習	2		
地域看護学系			
地域看護学概論	2		
地域看護学方法論	2		
地域看護学Ⅰ	2		
地域看護学Ⅱ	2		
地域看護学演習	2		

第3類（杏林大学学則）

地域看護学実習Ⅰ	1			
地域看護学実習Ⅱ	3			
応用看護学				
応用看護学系				
看護研究	2			
看護倫理	1			
看護管理学	1			
総合看護学実習Ⅰ		2		☐ — どちらか一方を選択
総合看護学実習Ⅱ		2		
特別講義Ⅰ		2		
特別講義Ⅱ		2		
助産学専攻				
助産学系				
助産学概論		1		
周産期医学		2		
助産診断・技術学Ⅰ		1		
助産診断・技術学Ⅱ		2		
助産診断・技術学Ⅲ		2		
助産診断・技術学Ⅳ		1		
助産管理学		1		
助産学特別講義		1		
助産学実習Ⅰ		8		
助産学実習Ⅱ		1		
計	121	70		137 単位以上

理学療法学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
基礎分野				
人間科学系				
哲学		2		☐ — 必修2単位及び 選択6単位以上
社会学		2		
法学		2		
心理学		2		
生命倫理学	2			
芸術学		2		
社会福祉学		2		

第3類 (杏林大学学則)

倫 理 学		2		
発 達 心 理 学		2		
職 業 適 性 論		2		
自然科学系				
数 学		2		
統 計 学		2		
情 報 処 理 論	2			
基 礎 物 理 学		1		必修2単位及び 選択4単位以上
物 理 学 概 論		2		
基 礎 化 学		1		
生 化 学 概 論		2		
基 礎 生 物 学		1		
生 命 科 学 概 論		2		
言語系				
英 語 I	2			必修4単位及び 選択4単位以上
英 語 II	2			
英 語 III		2		
英 語 IV		2		
英 会 話		2		
医 学 英 語		2		
日 本 語 表 現 法		2		
専門基礎分野				
医学系				
解 剖 学 I	2			必修27単位及び 選択3単位以上
解 剖 学 II	1			
解 剖 学 実 習 I	1			
解 剖 学 実 習 II	1			
生 理 学 I	2			
生 理 学 II	1			
生 理 学 実 習	1			
病 理 学	1			
人 間 発 達 学	2			
リハビリテーション概論	1			
臨 床 心 理 学 概 論	1			
精 神 医 学	2			
内 科 学 I	2			

第3類 (杏林大学学則)

内科学Ⅱ		2		
小児科学	1			
神経内科学	2			
外科	1			
整形外科	2			
脳神経外科学	1			
リハビリテーション医学	1			
医療安全論	1			
感染症学		1		
免疫学		1		
薬理学		1		
栄養学		1		
保健学・衛生学系				
保健学概論		2		
高齢保健学		2		
産業保健学		2		
地域保健学		2		
公衆衛生学Ⅰ		2		
公衆衛生学Ⅱ		2	4単位以上	
環境衛生工学		2		
看護学		2		
救命救助法		1		
労働衛生法規Ⅰ		2		
労働衛生法規Ⅱ		2		
専門分野				
基礎理学療法学系				
理学療法概論	1			
理学療法用語論		1		
運動学	1			
運動学実習	1			
病態運動学		2		
運動解剖学		1		
理学療法評価学系				
理学療法評価学概論	1			
理学療法評価学Ⅰ	1			
理学療法評価学Ⅱ	1			

第3類（杏林大学学則）

理学療法評価学実習	1			
動作分析学		1		
理学療法治療学系				
理学療法治療学総論		1		
運動療法学	2			
運動療法学実習	1			
物理療法学Ⅰ	1			
物理療法学Ⅱ	1			
物理療法学実習	1			
義肢学	1			
義肢学実習	1			
装具学	1			
装具学実習	1			
日常生活技術学	1			
日常生活技術学実習	1			
運動器障害系理学療法学Ⅰ	1			
運動器障害系理学療法学Ⅱ	1			
神経障害系理学療法学Ⅰ	1			
神経障害系理学療法学Ⅱ	1			
内部障害系理学療法学Ⅰ	1			
内部障害系理学療法学Ⅱ	1			
小児理学療法学	1			
高次脳機能障害学		1		
高齢者理学療法学		1		
急性期理学療法学		1		
スポーツ障害理学療法学		1		
マニュアルセラピー		1		
プロフェッショナルスキル	4			
クリニカルリーズニング		1		
地域理学療法学系				
生活環境学	1			
地域理学療法学	2			
理学療法国際事情		1		
臨床実習系				
見学実習	1			
評価実習Ⅰ	2			

必修62単位及び
選択7単位以上

第3類（杏林大学学則）

評価実習Ⅱ	4			
総合臨床実習	14			
総合領域				
理学療法特論Ⅰ		1		
理学療法特論Ⅱ		1		
理学療法研究法		1		
応用理学療法学		1		
基礎ゼミ	4			
特別講義Ⅰ		1		
特別講義Ⅱ		1		
卒業研究	4			
計	97	87		125単位以上

別表2-4

臨床工学科（平成22年度入学生から適用）

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
人文・社会学系				10単位以上
哲学		2		
心理学		2		
法学		2		
日本国憲法		2		
社会学		2		
生命倫理学	2			
発達心理学		2		
芸術		2		
健康スポーツ科学		2		
数学系				
基礎数学		1		
数学	2			
統計学演習		1		
医療情報科学	2			
計算機演習	2			
応用数学	2			
物理学系				
基礎物理学		1		

第3類 (杏林大学学則)

基礎電気学	2		
基礎電子回路	2		
医用工学概論	2		
化学系			
基礎化学	1	}	3 単位以上
無機化学	2		
生物有機化学Ⅰ	2		
生物有機化学Ⅱ	2		
化学実験	1		
生物学系			
基礎生物学	1	}	3 単位以上
生命科学概論	2		
細胞生物学	2		
人類遺伝学	2		
生物学実験	1		
言語系			
日本語表現法	2		
英語Ⅰ	2	}	英語Ⅰ・Ⅱ(各2単位)又はフランス語Ⅰ・Ⅱ(各2単位)、どちらか選択、他に4単位以上。
英語Ⅱ	2		
英語Ⅲ	2		
医学英語	2		
英会話	2		
フランス語Ⅰ	2		
フランス語Ⅱ	2		
フランス語Ⅲ	2		
フランス語会話	2		
基礎医学系			
医学概論	2		
公衆衛生学Ⅰ	2		
公衆衛生学Ⅱ	2		
解剖学Ⅰ	2		
解剖学Ⅱ	2		
病理学	2		
生理学Ⅰ	2		
生理学Ⅱ	2		
生理学実験	1		

第3類 (杏林大学学則)

生 化 学 I		2	2 単位以上	
生 化 学 II		2		
血 液 学		2		
免 疫 学		2		
微 生 物 学		2		
医 動 物 学		2		
薬 理 学		2		
看 護 学		2		
医学検査系				
生 理 学 検 査 I	2			
生 理 学 検 査 II	2			
画 像 診 断 技 術		2		
生 理 学 検 査 実 習		1		
臨 床 検 査 学		2		
臨 床 遺 伝 学		2		
臨床工学系				
医 用 電 気 工 学	2			
医 用 電 気 工 学 実 習		1		
医 用 電 子 工 学	2			
医 用 電 子 工 学 実 習		1		
シ ス テ ム 工 学		2		
医 用 情 報 処 理 工 学	2			
医 用 情 報 処 理 工 学 実 習		1		
医 用 計 測 工 学	2			
医 用 計 測 工 学 実 習		1		
医 用 機 械 工 学	2			
生 体 物 性 学	2			
生 体 材 料 工 学		2		
医 用 機 器 学 概 論	2			
医 用 計 測 機 器 学	2			
医 用 計 測 機 器 学 実 習		1		
医 用 治 療 機 器 学	2			
医 用 治 療 機 器 学 実 習		1		
生 体 機 能 代 行 装 置 学 概 論		2		
生 体 機 能 代 行 装 置 学 基 礎 実 習		1		
呼 吸 関 連 機 器 学		2		

第 3 類 (杏林大学学則)

呼吸関連機器学実習		1	
血液浄化装置学		2	
応用血液浄化装置学		2	
血液浄化装置学実習		1	
体外循環機器学		2	
体外循環機器学実習		1	
医用機器安全管理学 I	2		
医用機器安全管理学 II		2	
安全管理学実習		1	
臨床医学各論 I	2		
臨床医学各論 II	2		
臨床医学各論 III	2		
臨床医学各論 IV	2		
医療関係法規		2	
臨床実習講義		1	
臨床実習		3	
衛生学系			
産業保健学		2	
環境衛生工学		2	
放射線概論		2	
環境化学		2	
分析化学 I		2	
分析化学 II		2	
食品栄養学		2	
食品衛生学		2	
食品製造学		2	
職業適性論		2	
労働衛生法規 I		2	
労働衛生法規 II		2	
救命救助法		2	
総合			
特別講義 I		2	
特別講義 II		2	
特別演習 I		1	
特別演習 II		1	
総合演習		2	

第3類（杏林大学学則）

卒業研究	4			
計	67	146		124単位以上

別表2-5

保健学部学科目構成

（平成23年度入学生から適用）

作業療法学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
基礎分野				
人間科学系				
哲学		2		必修2単位及び 選択6単位以上
社会学		2		
法学		2		
心理学		2		
生命倫理	2			
芸術		2		
社会福祉		2		
倫理		2		
発達心理		2		
職業適性論		2		
自然科学系				
数学		2		必修2単位及び 選択4単位以上
統計学		2		
情報処理論	2			
基礎物理学		1		
物理学概論		2		
基礎化学		1		
生化学概論		2		
基礎生物学		1		
生命科学概論		2		
分子生物学		2		
人類遺伝学		2		
語学系				
英語 I	2			

第3類 (杏林大学学則)

英	語	II	2								
英	語	III		2							
英	語	IV		2							
英	会	話		2	必修4単位及び 選択4単位以上						
医	学	英		2							
日	本	語	表	現		法	2				
専門基礎分野											
医学系											
解	剖	学	I	2							
解	剖	学	II	1							
解	剖	学	実	習	I	1					
解	剖	学	実	習	II	1					
生	理	学	I	2							
生	理	学	II	1							
生	理	学	実	習		1					
病	理	学				1					
人	間	発	達	学		2					
リ	ハ	ビ	リ	テ	ー	シ	ョ	ン	概	論	1
臨	床	心	理	学	概	論	1				
精	神	医	学			2					
内	科	学	I	2							
内	科	学	II		2						
小	児	科	学	1							
神	経	内	科	学	2						
外	科	学	1								
整	形	外	科	学	2						
脳	神	経	外	科	学	1					
リ	ハ	ビ	リ	テ	ー	シ	ョ	ン	医	学	1
医	療	安	全	論	1						
感	染	症	学		1						
免	疫	学		1							
薬	理	学		1							
栄	養	学		1							
保健学・衛生学系											
保	健	学	概	論	2						
高	齢	保	健	学	2						

第3類（杏林大学学則）

産業保健学	2	4 単位以上
地域保健学	2	
公衆衛生学Ⅰ	2	
公衆衛生学Ⅱ	2	
環境衛生工学	2	
看護学	2	
救命救助法	1	
労働衛生法規Ⅰ	2	
労働衛生法規Ⅱ	2	
専門分野		
基礎作業療法学系		
作業療法学概論	1	
運動学	1	
運動学実習	1	
病態運動学	2	
基礎作業学概論	1	
基礎作業学実習Ⅰ (作業活動の基礎)	1	
基礎作業学実習Ⅱ (作業活動の応用)	1	
作業分析学Ⅰ(基本的分析)	1	
作業分析学Ⅱ(客観的分析)	1	
作業療法管理運営	1	
作業療法諸理論	1	
作業療法評価学系		
作業療法評価学Ⅰ(概要)	1	
作業療法評価学Ⅱ(疾患別)	1	
作業療法評価学実習Ⅰ (中枢神経系疾患)	1	
作業療法評価学実習Ⅱ (発達、精神障害)	1	
作業療法評価学実習Ⅲ (老年期障害)	1	
認知機能評価法	1	
作業療法治療学系		
身体障害作業療法学Ⅰ	1	

第3類（杏林大学学則）

(内科系疾患)				
身体障害作業療法学Ⅱ	1			
(運動器系疾患)				
身体障害作業療法学Ⅲ	1			
(中枢神経系疾患：脳血管)				
身体障害作業療法学Ⅳ	1			
(中枢神経系疾患：進行性)				
身体障害作業療法学演習	1			
高次脳機能障害作業療法学	1			
精神障害作業療法学Ⅰ(総論)	1			
精神障害作業療法学Ⅱ(疾患別)	1			
精神障害作業療法学演習	1			
発達障害作業療法学Ⅰ(総論)	1			
発達障害作業療法学Ⅱ(疾患別)	1			
発達障害作業療法学演習	1			
老年期障害作業療法学	1			
認知障害作業療法学	1			
職業関連作業療法学	1			
身体機能代償学	1			必修65単位及び 選択4単位以上
義肢装具学	1			
義肢装具学実習	1			
福祉機器適応学	1			
日常生活活動学Ⅰ(治療法)	1			
日常生活活動学Ⅱ(動作内容)	1			
バリアフリー論		1		
レクリエーション概論		1		
クリニカルリーズニング		1		
ハンドセラピー学		1		
地域作業療法学系				
地域生活作業療法学	1			
地域ケアシステム論	1			
住環境整備論	1			
地域生活作業療法学演習	1			
作業療法国際事情		1		
臨床実習系				
見学実習	1			

第3類（杏林大学学則）

評価実習 I	2			
評価実習 II	4			
総合臨床実習	14			
総合領域				
作業療法学特論 I		1		
作業療法学特論 II		1		
作業療法研究法		1		
応用作業療法学		1		
基礎ゼミ	2			
特別講義 I		1		
特別講義 II		1		
卒業研究	4			
計	102	86		125単位以上

第3類（杏林大学学則）

別表2-6

保健学部学科目構成

（平成24年度入学生から適用）

看護学科看護学専攻

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
基礎分野				
人間科学系				
哲 学		2		10単位以上
死 生 学		2		
生 命 倫 理 学	2			
日 本 国 憲 法 学		2		
心 理 学		2		
発 達 心 理 学	2			
社 会 福 祉 学		2		
教 育 学		2		
ホスピタリティ論		2		
国 際 協 力 論		2		
健 康 ス ポ ー ツ 科 学		2		
自然科学系				
統 計 学		2		6単位以上
人 類 遺 伝 学		2		
物 理 学 概 論		1		
化 学 概 論		1		
生 命 科 学 概 論		2		
情 報 処 理 論	2			
言語系				
英 語 I	2			10単位以上
英 語 II	2			
英 語 III		2		
英 会 話		2		
医 学 英 語		2		
日 本 語 表 現 法	2			
専門基礎分野				
人体の構造と機能・疾病の成り立ち 形 態 ・ 機 能 学	2			

第3類 (杏林大学学則)

代謝・栄養学	2		
薬理学	2		
病原微生物学	1		
免疫学	1		
病態治療論 I	2		
病態治療論 II	2		
病態治療論 III	2		
病態治療論 IV	1		
病態治療論 V	1		
健康支援と社会保障制度			
公衆衛生学	1		
関係法規	1		
保健福祉行政論 I	1		
保健福祉行政論 II	2		
健康教育学	2		
産業保健学概論		1	
学校保健学概論		1	
疫学と統計			
疫学		2	
保健統計		2	
基礎看護学			
基礎看護学系			
看護学概論	2		
看護援助論	1		
生活行動援助技術 I	2		
生活行動援助技術 II	2		
ヘルスアセスメント技術	1		
看護過程	1		
治療・処置技術	2		
基礎看護学実習 I	1		
基礎看護学実習 II	2		
専門看護学			
成人看護学系			
成人看護学概論	2		
成人看護学 I	2		
成人看護学 II	2		

第 3 類 (杏林大学学則)

成人看護学演習	2		
成人看護学実習 I	3		
成人看護学実習 II	3		
高齢者看護学系			
高齢者看護学概論	2		
高齢者看護学	2		
高齢者看護学演習	1		
高齢者看護学実習 I	2		
高齢者看護学実習 II	2		
小児看護学系			
小児看護学概論	2		
小児看護学	2		
小児看護学演習	1		
小児看護学実習	2		
母性看護学系			
母性看護学概論	2		
母性看護学	2		
母性看護学演習	1		
母性看護学実習	2		
精神看護学系			
精神看護学概論	2		
精神看護学	2		
精神看護学演習	1		
精神看護学実習	2		
在宅看護学系			
在宅看護学	2		
在宅看護学演習	2		
在宅看護学実習	2		
公衆衛生看護学系			
公衆衛生看護学概論	2		
家族相談支援論	1		
公衆衛生看護学実習 I	1		
応用看護学			
応用看護学系			
看護研究	4		
看護管理		1	

第3類（杏林大学学則）

家族看護		2	4 単位以上	
クリティカルケア		2		
感染症看護		2		
がん看護		2		
医療安全		2		
応用看護学実習	2			
特別講義 I	2			
特別講義 II		2		
保健師課程				
公衆衛生看護専門学系				
公衆衛生看護活動方法論 I		2		
公衆衛生看護活動方法論 II		1		
公衆衛生看護活動論 I		2		
公衆衛生看護活動論 II		2		
地区診断演習		1		
公衆衛生看護管理		1		
公衆衛生看護学実習 II		2		
公衆衛生看護学実習 III		3		
助産師課程				
助産学系				
助産学概論		2		
周産期医学 I		2		
周産期医学 II		1		
助産診断・技術学 I		1		
助産診断・技術学 II		2		
助産診断・技術学 III		2		
助産診断・技術学 IV		1		
助産診断・技術学 V		2		
地域助産活動論		1		
助産管理学		2		
助産学特別講義		1		
助産学実習 I		1		
助産学実習 II		7		
助産学実習 III		2		
助産学実習 IV		1		
計	111	93	129 単位以上	

第3類（杏林大学学則）

看護学科看護養護教育学専攻

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
基礎分野				
人間科学系				
哲 学		2		
日 本 国 憲 法 学	2			
芸 術 学		2		
教 育 心 理 学	2			
生 命 倫 理 学	2			
健 康 ス ポ ー ツ 科 学	2			
ホ ス ピ タ リ テ ィ 論		2		
自然科学系				
統 計 学		2		必修2単位を 含めて6単位 以上
遺 伝 学		2		
生 命 科 学 概 論		2		
基 礎 物 理 学		1		
基 礎 化 学 論		1		
情 報 処 理 論	2			
語学系				
英 語 I	2			必修6単位を 含めて8単位 以上
英 語 II	2			
英 会 話	2			
医 学 英 語		2		
日 常 中 国 語 会 話		2		
日 本 語 表 現 法		2		
専門分野				
人体の構造と機能・疾病の成り立ち				
解 剖 学 ・ 生 理 学	2			
感 染 症 ・ 免 疫 学	2			
栄 養 学（食品学を含む。）	2			
疾 病 の 成 り 立 ち I	2			
疾 病 の 成 り 立 ち II	2			
疾 病 の 成 り 立 ち III	2			
疾 病 の 成 り 立 ち IV	2			

第3類（杏林大学学則）

疾病の成り立ち V	2		
疾病の成り立ち VI	2		
健康支援と社会保障制度			
公衆衛生学	2		
社会福祉学		2	
コンピューター演習	1		
疫学と統計			
保健統計	2		
基礎看護学分野			
基礎看護学系			
看護学概論 I	1		
看護学概論 II	2		
看護基本技術 I	2		
看護基本技術 II	2		
看護基本技術 III	1		
アセスメントと援助技術	1		
看護過程	1		
救命救助法	1		
看護基礎実習 I	1		
看護基礎実習 II	2		
専門看護学分野			
成人看護学系			
成人看護学概論	1		
成人看護学 I	2		
成人看護学 II	2		
成人看護学方法	1		
成人看護学実習 I	3		
成人看護学実習 II	3		
老年看護学系			
老年看護学概論	1		
老年看護学	2		
老年看護学方法	1		
老年看護学実習 I	2		
老年看護学実習 II	2		
小児看護学系			
小児看護学概論	1		

第3類（杏林大学学則）

小児看護学	2		
小児看護方法	1		
小児看護学実習	2		
母性看護学系			
母性看護学概論	1		
母性看護学	2		
母性看護方法	1		
母性看護学実習	2		
精神看護学系			
精神看護学概論	2		
精神看護学	2		
精神看護学実習	2		
統合分野			
在宅看護学系			
在宅看護学概論	2		
在宅看護学	2		
在宅看護学実習	2		
特別支援			
発達心理学	2		
小児保健学	2		
発達障害と特別支援	2		
統合看護学実習(発達障害)	2		
公衆衛生看護学分野			
公衆衛生看護学系			
公衆衛生看護学概論	2		
学校保健学系			
学校保健学概論	2		
養護実践学Ⅰ	2		
養護実践学Ⅱ	2		
健康相談活動	2		
学校教育環境づくり	1		
健康教育学概論	2		
健康教育学	2		
学校保健学実習	1		
総合分野			
総合			

第3類（杏林大学学則）

移植コーディネータ論		2		
ボランティア活動		1		
特別講義Ⅰ		2		
特別講義Ⅱ		2		
看護研究	2			
計	123	29		129単位以上

第3類（杏林大学学則）

別表2-7

保健学部学科目構成

（平成25年度入学生から適用）

診療放射線技術学科

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
基礎分野				
人文・社会学系				
哲 学		2		必修2単位を含め 4単位以上
心 理 学		2		
生 命 倫 理 学	2			
法 学		2		
日 本 国 憲 法 学		2		
社 会 学 術		2		
数学・物理学系				
基 礎 数 学	2			必修2単位を含め 4単位以上
医 療 情 報 科 学	2			
計 算 機 演 習	1			
統 計 学 演 習	1			
基 礎 物 理 学	2			
化学・生物学系				
基 礎 化 学	1			必修2単位を含め 4単位以上
無 機 化 学		2		
生 物 有 機 化 学		2		
基 礎 生 物 学	1			
生 命 科 学 概 論		2		
遺 伝 学		2		
細 胞 生 物 学		2		
言語系				
英 語 I	2			必修6単位を含め 8単位以上
英 語 II	2			
英 語 III		2		
英 語 IV		2		
英 会 話		2		
日 本 語 表 現 法	2			

第3類（杏林大学学則）

専門基礎分野				
人体の構造と機能および疾病の成り立ち				
解剖学	2			
解剖・組織学実習	1			
臨床生理学	2			
臨床生理学実習	1			
生化学	2			
感染症・免疫学	2			
薬理学		2		
公衆衛生学	2			
疾病の成り立ちⅠ（感覚器系・女性生殖器系）	2			
疾病の成り立ちⅡ（消化器系）	2			
疾病の成り立ちⅢ（呼吸器系）	2			
疾病の成り立ちⅣ（循環器系）	2			
疾病の成り立ちⅤ（神経系・脳血管系）	2			
疾病の成り立ちⅥ（腎・泌尿器系）	2			
保健医療福祉における理工学的基礎 並びに放射線の科学および技術				
医用電気工学	2			
医用電気工学実験	1			
医用電子工学	2			
医用電子工学実験	1			
システム工学	2			
システム工学実験	1			
放射線生物学	2			
放射線生物学演習		1		
放射線物理学Ⅰ	2			
放射線物理学Ⅱ	2			
放射線物理学演習		1		
放射化学	2			
放射化学演習		1		
放射線計測学	2			
放射線計測学演習	1			
放射線計測学実験	1			
放射線取扱技術学演習	1			

第3類（杏林大学学則）

専門分野				
診療画像技術学				
放射線画像検査技術学概論	2			
診療画像検査技術学Ⅰ	2			
診療画像検査技術学Ⅱ	2			
診療画像検査技術学Ⅲ	2			
診療画像検査機器学Ⅰ	2			
診療画像検査機器学Ⅱ	2			
画像解剖学	2			
画像解剖学演習		1		
画像医学	2			
診療画像検査技術学演習	1			
診療画像検査技術学実習	1			
核医学検査技術学				
核医学検査技術学概論	2			
核医学検査技術学各論	2			
核医学検査機器学	2			
放射性医薬品学	1			
核医学検査技術学演習		1		
放射線治療技術学				
放射線治療技術学Ⅰ	2			
放射線治療技術学Ⅱ	2			
放射線腫瘍学	2			
放射線治療機器学	2			
医用画像情報学				
医療画像情報学Ⅰ	2			
医療画像情報学Ⅱ	2			
医療システム情報学	2			
医療画像情報学演習		1		
医療画像情報学実習	1			
放射線安全管理学				
放射線安全管理技術学	2			
放射線安全管理技術学演習		1		
放射線安全管理技術学実習	1			
関係法規	2			
臨床実習	6			

第3類（杏林大学学則）

画像検査技術学実習				
核医学検査技術学実習	2			
放射線治療技術学実習	2			
総合領域				
医療総合演習	2			
医療安全学	2			
千一△医療論		2		
原書講読		2		
特別講義Ⅰ		1		
特別講義Ⅱ		1		
卒業研究	4			
計	127	43		133単位以上

第3類（杏林大学学則）

別表3-1（平成14年度入学生から適用）

総合政策学部学科目構成

1 専門科目

授業科目の名称		単位数			備考
		必修	選択	自由	
共通科目	総合政策論		4		28単位以上
	国際関係論		2		
	国際情勢分析論		2		
	日本経済論		2		
	金融財政論		2		
	経済政策論		2		
	経営学総論		4		
	会計学総論		4		
	情報処理概論		4		
	憲法		4		
	民法総論		2		
	物権法各論		2		
	契約法論		2		
	刑事法概論		2		
	日本政治論		2		
	日本行政論		2		
	社会保険法		4		
	社会福祉法		2		
	社会福祉学		2		
	環境経済学		2		
地域社会学		2			
IT総論		2			
インターネット情報論		2			
キャリア開発論		2			
比較文化論		4			
基礎演習		2			
国際政経コース	国際政治学		2		
	国際政治史		2		
	比較政治学		2		
	外交政策論		2		
	安全保障論		2		
	日本外交論		2		
	アメリカ外交論		2		
	中国外交論		2		
	世界経済論		2		
	国際貿易論		2		
国際金融論		2			
国際投資論		2			

第3類（杏林大学学則）

基 本 科 目	経 済 開 発 論	2			
	経 国 際 協 力 論	2			
	資 源 政 策 論	2			
	国 際 経 営 論	2			
	経 営 情 報 論	2		1 コースを 選択し、所 属コースの 科目を20単 位以上	
	経 営 情 報 シ ス テ ム 論	2			
	日 本 経 営 論	2			
	経 営 管 理 論	2			
	経 営 戦 略 論	2			
	戦 略 マ ネ ジ メ ン ト 論	2			
	人 材 マ ネ ジ メ ン ト 論	2			
	組 織 心 理 学	2			
	e コ マ ー ス 論	2			
	マ ー ケ テ ィ ン グ 概 論	2			
会 計 学 原 理	2				
財 務 会 計 論	2				
管 理 会 計 論	2				
会 計 デ ィ ス ク ロ ー ジャ ー 論	2				
会 計 監 査 論	2				
情 報 処 理 論	2				
法 律 行 政 コ ー ス	物 権 法 総 論	2			
	債 権 法 総 論	2			
	不 家 族 法 法	2			
	相 会 社 法 法	2			
	民 事 訴 訟 法	4			
	刑 法 総 論	2			
	労 働 基 準 法	2			
	行 政 政 法 学	2			
	行 政 策 過 程 論	2			
	公 共 選 択 論	2			
	政 治 組 織 論	2			
	立 法 過 程 論	2			
	環 境 福 祉 コ ー ス	環 境 科 学	2		
		環 境 法	2		
環 境 ア セ ス メ ン ト 論		2			
環 境 政 策 論		2			
社 会 保 障 論		4			
社 会 福 祉 政 策 論		2			
公 的 扶 助 論		2			
現 代 家 族 法		2			
医 事 法	2				

第3類（杏林大学学則）

		労働衛生法規		4		
		保健学概論		2		
		人類生態学		2		
		環境保健学		2		
		産業保健学		2		
		国際保健学		2		
発 展 科 目	A群	現代アメリカ政治論		2		36単位以上
		現代ヨーロッパ政治論		2		
		現代ロシア政治論		2		
		現代中国政治論		2		
		現代東アジア政治論		2		
		現代中東政治論		2		
		国際機構論		2		
		国際紛争処理論		2		
		エネルギー戦略論		2		
	B群	国際マクロ経済学		2		
		日本通商政策論		2		
		アメリカ経済論		2		
		ヨーロッパ経済論		2		
		アジア経済論		2		
		開発政策論		2		
	C群	原価計算論		2		
		監査制度論		2		
		企業取引法		2		
		有価証券法		2		
		電子商取引法		2		
		税法		4		
		税法各論		2		
	税務会計論		2			
	D群	日本経営史		2		
		欧米経営史		2		
		組織行動論		2		
		組織デザイン論		2		
国際経営戦略論			2			
マーケティング戦略論			2			
消費者行動論			2			
経営分析			2			
経営財務			2			
流通システム論			2			
現代会社研究			2			
	金融法		2			
	担保法		2			
	住宅関係法		2			
	民事執行法		2			

第3類（杏林大学学則）

E群	民 事 保 全 法	2	
	民 事 清 算 法	2	
	民 事 更 生 法	2	
	経 済 刑 法	2	
	刑 事 訴 訟 法	2	
	労 使 関 係 法	2	
	国 際 私 法	2	
	国 際 法	2	
F群	現 代 日 本 政 策 論	2	
	行 政 救 済 法	2	
	パブリックマネジメント論	2	
	地 方 政 府 論	2	
	日 本 法 制 史	2	
	日 本 政 治 史	2	
	政 治 心 理 学	2	
マスコミュニケーション論	2		
G群	人 口 学	2	
	人 産 業 社 会 学	2	
	保 健 社 会 学	2	
	環 境 保 全 論	2	
	環 境 生 物 学	2	
H群	環 境 衛 生 工 学	2	
	地 域 福 祉 論	2	
	老 人 福 祉 論	2	
	障 害 者 福 祉 論	4	
	児 童 福 祉 論	2	
	社会福祉援助技術総論	4	
	保 健 管 理 学	2	
	地 域 保 健 学	2	
	高 齢 保 健 学	2	
学 校 保 健 学	2		
カウセリング論	2		
I群	サイバーポリティクス論	2	
	デジタルエコノミー論	2	
	情 報 産 業 論	2	
	コンピュータシステム論	2	
	プ ロ グ ラ ミ ン グ 論	2	
	シ ス テ ム 設 計	2	
	法 情 報 学	2	
	情 報 社 会 論	2	
デ ー タ 分 析 論	2		
研究会	演 習	8	
	卒 業 研 究	4	

第3類（杏林大学学則）

2 専門関連科目

授 業 科 目 の 名 称		単 位 数			備 考
		必 修	選 択	自 由	
1 類	人文学分野	宗 教 学 A	2		8 単位以上
		宗 教 学 B	2		
		哲 学 A	2		
		哲 学 B	2		
		倫 理 学 A	2		
		倫 理 学 B	2		
		歴 史 学 A	2		
		歴 史 学 B	2		
		文 学 A	2		
		文 学 B	2		
	音 楽 A	2			
	音 楽 B	2			
	社会科学分野	社 会 学 A	2		8 単位以上
		社 会 学 B	2		
		法 学 A	2		
		法 学 B（日本国憲法）	2		
		政 治 学 A	2		
		政 治 学 B	2		
		地 理 学 A	2		
		地 理 学 B	2		
	自然科学分野	数 学 A	2		8 単位以上
		数 学 B	2		
		統 計 学 A	2		
		統 計 学 B	2		
		物 理 学 A	2		
		物 理 学 B	2		
		化 学 A	2		
化 学 B		2			
生 物 学 A		2			
生 物 学 B	2				
2 類	第 1 外国語	英 語 A	2		6 単位以上
		英 語 B	2		
		英 語 C	2		
		英 語 展 A	2		
		英 語 展 B	2		
		英 語 展 B	2		

第3類（杏林大学学則）

		発展英語 C		2		
第2類 外国語		ドイツ語 A		2	ドイツ語・フランス語・中国語のいずれかを選択し、4単位以上	
		ドイツ語 B		2		
		発展ドイツ語		2		
		フランス語 A		2		
		フランス語 B		2		
		発展フランス語		2		
		中国語 A		2		
		中国語 B		2		
3類		発展中国語		2		
		特別プレゼミナール A		2	1学期間に他科目を履修しない者は必修	
		特別プレゼミナール B		2		
		特別演習 I		2		
		特別演習 II		2		
		特別演習 III		2		
		特別演習 IV		2		
	特別演習 V		2			
4類		特別演習 VI		2		
		体育実技 A		1		
		体育実技 B		1		
	体育理論		2			
自由科目						

3 教職課程教科に関する科目

授業科目の名称	単位数			備考
	必修	選択	自由	
日本史 I			2	
日本史 II			2	
外国史 I			2	
外国史 II			2	
地誌学 I			2	
地誌学 II			2	
職業指導			2	

第3類（杏林大学学則）

別表3-2（平成18年度入学生から適用）

総合政策学部学科目構成

総合政策学科

1 基礎教養科目

授業科目の名称	単位数			備考
	必修	選択	自由	
社会のしくみ	4			
文章力演習	2			
読解力演習	2			
計算力演習	2			
近現代史論	2			
データ分析演習	2			
表現力演習	2			

2 専門科目

授業科目の名称		単位数			備考
		必修	選択	自由	
共通科目	国際関係論 I		2		16単位以上
	国際関係論 II		2		
	日本政治論 I		2		
	日本政治論 II		2		
	憲法 I		2		
	憲法 II		2		
	民法総論 I		2		
	民法総論 II		2		
	社会福祉学 I		2		
	社会福祉学 II		2		
	経済原論 I		2		
	経済原論 II		2		
	財政学概論 I		2		
	財政学概論 II		2		
	総合政策論 I		2		
	総合政策論 II		2		
	国際政治学 I		2		
	国際政治学 II		2		

第3類 (杏林大学学則)

国際政経 コース 基本科目	比較政治学 I	2	24 単位以上
	比較政治学 II	2	
	外交政策論 I	2	
	外交政策論 II	2	
	経済政策論 I	2	
	経済政策論 II	2	
	国際政治史 I	2	
	国際政治史 II	2	
	国際貿易論 I	2	
	国際貿易論 II	2	
	国際金融論 I	2	
	国際金融論 II	2	
	国際投資論 I	2	
	国際投資論 II	2	
	経済開発論 I	2	
	経済開発論 II	2	
国際法 I	2		
国際法 II	2		
アメリカ政治外交論	2		
ヨーロッパ政治外交論	2		
ロシア政治外交論	2		
中国政治外交論	2		
中東政治外交論	2		
エネルギー戦略論	2		
朝鮮半島政治外交論	2		
国際資源論	2		
途上国協力論	2		
国際機構論	2		
日本経済論	2		
世界経済論	2		
アメリカ経済論	2		
ヨーロッパ経済論	2		
アジア経済論	2		
環境経済学	2		
環境政策論	2		
国際企業論 I	2		

第3類 (杏林大学学則)

国際政経 コース 発展科目	国際企業論 II	2	42単位以上
	国際私法	2	
	環境法	2	
	国際経営論 I	2	
	国際経営論 II	2	
	キャリア開発論	2	
	憲法概論	2	
	民法概論	2	
	政治学概論	2	
	国際関係論演習	2	
	経済原論演習	2	
	憲法演習	2	
	民法演習	2	
	行政法演習	2	
	行政学演習	2	
	政治学演習	2	
	インターンシップ I	2	
	インターンシップ II	2	
	学際演習 I	2	
	学際演習 II	2	
演習 I	12		
演習 II	8		
卒業研究	4		
法律行政 コース 基本科目	公共選択論 I	2	24単位以上
	公共選択論 II	2	
	比較政治学 I	2	
	比較政治学 II	2	
	行政学 I	2	
	行政学 II	2	
	行政法 I	2	
	行政法 II	2	
	物権法 I	2	
	物権法 II	2	
	債権法 I	2	
	債権法 II	2	
家族法 I	2		

第3類 (杏林大学学則)

	家 族 法	II	2	
	刑 事 法	I	2	
	刑 事 法	II	2	
	劳 働 法	I	2	
	劳 働 法	II	2	
	経 済 政 策 論	I	2	
	経 済 政 策 論	II	2	
	会 社 法	I	2	
	会 社 法	II	2	
	刑 法 総 論		2	
	刑 法 各 論		2	
	民 事 訴 訟 法		2	
	刑 事 訴 訟 法		2	
	医 事 法	I	2	
	医 事 法	II	2	
	税 法	I	2	
	税 法	II	2	
	有 価 証 券 法		2	
	企 業 取 引 法		2	
	現 代 家 族 法 論		2	
	情 報 法 制		2	
	経 済 刑 法		2	
	国 際 私 法		2	
	国 際 法	I	2	
	国 際 法	II	2	
	環 境 法		2	
	年 金 ・ 劳 働 保 險 法		2	
	劳 働 衛 生 法 規		2	
	社 会 保 障 論	I	2	
	社 会 保 障 論	II	2	
法律行政 コース 発展科目	日 本 法 制 史		2	— 4 2 単位以上
	日 本 政 治 史		2	
	政 策 過 程 論		2	
	立 法 過 程 論		2	
	地 方 政 府 論		2	
	キ ャ リ ア 開 発 論		2	

第3類 (杏林大学学則)

	憲法概論	2	
	民法概論	2	
	政治学概論	2	
	国際関係論演習	2	
	経済原論演習	2	
	憲法演習	2	
	民法演習	2	
	行政法演習	2	
	行政学演習	2	
	政治学演習	2	
	インターンシップ I	2	
	インターンシップ II	2	
	学際演習 I	2	
	学際演習 II	2	
	演習 I	1 2	
	演習 II	8	
	卒業研究	4	
環境福祉 コース 基本科目	社会保障論 I	2	24 単位以上
	社会保障論 II	2	
	環境科学概論 I	2	
	環境科学概論 II	2	
	人類生態学 I	2	
	人類生態学 II	2	
	人体構造機能論 I	2	
	人体構造機能論 II	2	
	健康福祉システム論 I	2	
	健康福祉システム論 II	2	
	障害者福祉論 I	2	
	障害者福祉論 II	2	
	医療経済学 I	2	
	医療経済学 II	2	
	医事法 I	2	
	医事法 II	2	
家族法 I	2		
家族法 II	2		
労働法 I	2		

第3類（杏林大学学則）

	労働法Ⅱ			
	国際保健学		2	
	環境保健学		2	
	疫学		2	
	カウンセリング論		2	
	社会福祉政策論		2	
	児童福祉論		2	
	老人福祉論		2	
	経済政策論Ⅰ		2	
	経済政策論Ⅱ		2	
	環境経済学		2	
	環境政策論		2	
	環境アセスメント論		2	
	環境保全論		2	
	医療福祉財政論		2	
	社会福祉援助技術総論Ⅰ		2	
	社会福祉援助技術総論Ⅱ		2	
	産業社会学		2	
	地域社会学		2	
環境福祉	環境法		2	
コース	現代家族法論		2	42単位以上
発展科目	年金・労働保険法		2	
	労働衛生法規		2	
	キャリア開発論		2	
	憲法概論		2	
	民法概論		2	
	政治学概論		2	
	国際関係論演習		2	
	経済原論演習		2	
	憲法演習		2	
	民法演習		2	
	行政法演習		2	
	行政学演習		2	
	政治学演習		2	
	インターンシップⅠ		2	
	インターンシップⅡ		2	

第3類 (杏林大学学則)

学 際 演 習 I	2	
学 際 演 習 II	2	
演 習 I	1 2	
演 習 II	8	
卒 業 研 究	4	

3 専門関連科目

授業科目の名称		単位数			備 考
		必 修	選 択	自 由	
1 類	人文科学 分 野	宗 教 学 A		2	16 単位以上
		宗 教 学 B		2	
		哲 学 A		2	
		哲 学 B		2	
		倫 理 学 A		2	
		倫 理 学 B		2	
		歴 史 学 A		2	
		歴 史 学 B		2	
		文 学 A		2	
		文 学 B		2	
	音 楽 A		2		
	音 楽 B		2		
	社会科学 分 野	社 会 学 A		2	
		社 会 学 B		2	
		法 学 A		2	
法学B (日本国憲法)			2		
政 治 学 A			2		
政 治 学 B			2		
地 理 学 A			2		
地 理 学 B			2		
自然科学 分 野	数 学 A		2		
	数 学 B		2		
	統 計 学 A		2		
	統 計 学 B		2		
	物 理 学 A		2		

第3類 (杏林大学学則)

		物理学 B		2		
		化学 A		2		
		化学 B		2		
		生物学 A		2		
		生物学 B		2		
		心理学 A		2		
		心理学 B		2		
2 類	第 1 外国語	英語 I	2			
		英語 II	2			
		英語 III	2			
		日本語 A	2			留学生のみ
		日本語 B	2			
		日本語 C	2			
	発展英語 A		2		最大6単位まで 発展科目に繰り 入れる	
	発展英語 B		2			
	発展英語 C		2			
	ドイツ語 A		2			
	ドイツ語 B		2			
	フランス語 A		2			
	フランス語 B		2			
	中国語 A		2			
	中国語 B		2			
	スペイン語 A		2			
	スペイン語 B		2			
韓国語 A		2				
韓国語 B		2				
3 類		特別プレゼミナルA		2		
		特別プレゼミナルB		2		
		特別演習 I		2		
		特別演習 II		2		
		特別演習 III		2		
		特別演習 IV		2		
		特別演習 V		2		
		特別演習 VI		2		
4 類		体育実技 A		1		
		体育実技 B		1		

第3類（杏林大学学則）

	体 育 理 論		2		
自 由 科 目					

4 教職課程教科に関する科目

授 業 科 目 の 名 称	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
日 本 史 I			2	
日 本 史 II			2	
外 国 史 I			2	
外 国 史 II			2	
地 誌 学 I			2	
地 誌 学 II			2	

企業経営学科

1 基礎教養科目

授 業 科 目 の 名 称	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
社 会 の し く み	4			
文 章 力 演 習	2			
読 解 力 演 習	2			
計 算 力 演 習	2			
近 現 代 史 論	2			
デ ー タ 分 析 演 習	2			
表 現 力 演 習	2			

2 専門科目

授 業 科 目 の 名 称	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
共 通 科 目	経 営 学 総 論 I		2	16 単位以上
	経 営 学 総 論 II		2	
	会 計 学 総 論 I		2	
	会 計 学 総 論 II		2	
	情 報 処 理 概 論 I		2	
	情 報 処 理 概 論 II		2	

第3類 (杏林大学学則)

	マーケティング総論 I	2		
	マーケティング総論 II	2		
	経営情報論 I	2		
	経営情報論 II	2		
	総合政策論 I	2		
	総合政策論 II	2		
経営戦略 コース 基本科目	経営管理総論 I	2	24単位以上	
	経営管理総論 II	2		
	経営戦略論 I	2		
	経営戦略論 II	2		
	人材マネジメント論 I	2		
	人材マネジメント論 II	2		
	経営史 I	2		
	経営史 II	2		
	経営組織論 I	2		
	経営組織論 II	2		
	国際経営論 I	2		
	国際経営論 II	2		
	財務管理 I	2		
	財務管理 II	2		
	流通システム論 I	2		
	流通システム論 II	2		
	会社法 I	2		
会社法 II	2			
労働法 I	2			
労働法 II	2			
	キャリア開発論	2		
	地域社会学	2		
	産業社会学	2		
	情報処理論 I	2		
	情報処理論 II	2		
	システム設計 I	2		
	システム設計 II	2		
	簿記論 I	2		
	簿記論 II	2		
	株式会社簿記論 I	2		

第3類 (杏林大学学則)

経営戦略 コース 発展科目	株 式 会 社 簿 記 論	Ⅱ	2	— 4 2 単位以上
	財 務 会 計 論	Ⅰ	2	
	財 務 会 計 論	Ⅱ	2	
	財 務 会 計 各 論	Ⅰ	2	
	財 務 会 計 各 論	Ⅱ	2	
	税 法	Ⅰ	2	
	税 法	Ⅱ	2	
	税 法 各 論	Ⅰ	2	
	税 法 各 論	Ⅱ	2	
	財 政 学 概 論	Ⅰ	2	
	財 政 学 概 論	Ⅱ	2	
	国 際 関 係 論	Ⅰ	2	
	国 際 関 係 論	Ⅱ	2	
	世 界 経 済 論		2	
	国 際 貿 易 論	Ⅰ	2	
	国 際 貿 易 論	Ⅱ	2	
	国 際 金 融 論	Ⅰ	2	
	国 際 金 融 論	Ⅱ	2	
	国 際 投 資 論	Ⅰ	2	
	国 際 投 資 論	Ⅱ	2	
	国 際 企 業 論	Ⅰ	2	
	国 際 企 業 論	Ⅱ	2	
	環 境 経 済 学 論		2	
	環 境 政 策 論		2	
	憲 法	Ⅰ	2	
	憲 法	Ⅱ	2	
	民 法 総 論	Ⅰ	2	
	民 法 総 論	Ⅱ	2	
	物 権 法	Ⅰ	2	
	物 権 法	Ⅱ	2	
	債 権 法	Ⅰ	2	
	債 権 法	Ⅱ	2	
有 価 証 券 法		2		
企 業 取 引 法		2		
国 際 法	Ⅰ	2		
国 際 法	Ⅱ	2		

第3類 (杏林大学学則)

	経 済 刑 法		2	
	社 会 保 障 論 I		2	
	社 会 保 障 論 II		2	
	経 済 政 策 論 I		2	
	経 済 政 策 論 II		2	
	経 済 原 論 I		2	
	経 済 原 論 II		2	
	憲 法 概 論		2	
	民 法 概 論		2	
	政 治 学 概 論		2	
	国 際 関 係 論 演 習		2	
	経 済 原 論 演 習		2	
	憲 法 演 習		2	
	民 法 演 習		2	
	行 政 法 演 習		2	
	行 政 学 演 習		2	
	政 治 学 演 習		2	
	イ ン タ ー シ ッ プ I		2	
	イ ン タ ー シ ッ プ II		2	
	学 際 演 習 I		2	
	学 際 演 習 II		2	
	演 習 I	1 2		
	演 習 II	8		
	卒 業 研 究	4		
経営会計 コース 基本科目	簿 記 論 I		2	
	簿 記 論 II		2	
	株 式 会 社 簿 記 論 I		2	
	株 式 会 社 簿 記 論 II		2	
	財 務 会 計 論 I		2	
	財 務 会 計 論 II		2	
	財 務 会 計 各 論 I		2	
	財 務 会 計 各 論 II		2	
	税 法 I		2	
	税 法 II		2	
	税 法 各 論 I		2	
税 法 各 論 II		2		
				24単位以上

第3類 (杏林大学学則)

情報処理論 I	2		
情報処理論 II	2		
システム設計 I	2		
システム設計 II	2		
会社法 I	2		
会社法 II	2		
労働法 I	2		
労働法 II	2		
管理会計論	2		
会計監査論	2		
経営管理総論 I	2		
経営管理総論 II	2		
経営戦略論 I	2		
経営戦略論 II	2		
人材マネジメント論 I	2		
人材マネジメント論 II	2		
経営史 I	2		
経営史 II	2		
財務管理 I	2		
財務管理 II	2		
経営組織論 I	2		
経営組織論 II	2		
国際経営論 I	2		
国際経営論 II	2		
流通システム論 I	2		
流通システム論 II	2		
地域社会学	2		
産業社会学	2		
キャリア開発論	2		
財政学概論 I	2		
財政学概論 II	2		
国際関係論 I	2		
国際関係論 II	2		
世界経済論	2		
国際貿易論 I	2		
国際貿易論 II	2		

第3類 (杏林大学学則)

経営会計 コース 発展科目	国 際 金 融 論 I	2	4 2 単位以上
	国 際 金 融 論 II	2	
	国 際 投 資 論 I	2	
	国 際 投 資 論 II	2	
	国 際 企 業 論 I	2	
	国 際 企 業 論 II	2	
	環 境 經 済 学	2	
	環 境 政 策 論	2	
	憲 法 I	2	
	憲 法 II	2	
	民 法 総 論 I	2	
	民 法 総 論 II	2	
	物 権 法 I	2	
	物 権 法 II	2	
	債 権 法 I	2	
	債 権 法 II	2	
	有 価 証 券 法	2	
	企 業 取 引 法	2	
	国 際 法 I	2	
	国 際 法 II	2	
	經 済 刑 法	2	
	社 会 保 障 論 I	2	
	社 会 保 障 論 II	2	
	經 済 政 策 論 I	2	
	經 済 政 策 論 II	2	
	經 済 原 論 I	2	
	經 済 原 論 II	2	
	憲 法 概 論	2	
	民 法 概 論	2	
	政 治 学 概 論	2	
	国 際 関 係 論 演 習	2	
	經 済 原 論 演 習	2	
憲 法 演 習	2		
民 法 演 習	2		
行 政 法 演 習	2		
行 政 学 演 習	2		

第3類 (杏林大学学則)

政治学演習	2		
インターンシップ I	2		
インターンシップ II	2		
学際演習 I	2		
学際演習 II	2		
演習 I	1 2		
演習 II	8		
卒業研究	4		

3 専門関連科目

授業科目の名称		単位数			備考
		必修	選択	自由	
1 類	人文科学分野	宗 教 学 A		2	16 単位以上
		宗 教 学 B		2	
		哲 学 A		2	
		哲 学 B		2	
		倫 理 学 A		2	
		倫 理 学 B		2	
		歴 史 学 A		2	
		歴 史 学 B		2	
		文 学 A		2	
		文 学 B		2	
		音 楽 A		2	
		音 楽 B		2	
1 類	社会科学分野	社 会 学 A		2	16 単位以上
		社 会 学 B		2	
		法 学 A		2	
		法学B (日本国憲法)		2	
		政 治 学 A		2	
		政 治 学 B		2	
		地 理 学 A		2	
		地 理 学 B		2	
		経 済 学 A		2	
		経 済 学 B		2	
1 類		数 学 A		2	16 単位以上
		数 学 B		2	

第3類 (杏林大学学則)

	自然科学分野	統計学 A	2		
		統計学 B	2		
		物理学 A	2		
		物理学 B	2		
		化学 A	2		
		化学 B	2		
		生物学 A	2		
		生物学 B	2		
		心理学 A	2		
		心理学 B	2		
2類	第1外国語	英語 I	2		
		英語 II	2		
		英語 III	2		
		日本語 A	2		留学生のみ
		日本語 B	2		
		日本語 C	2		
	第2外国語	発展英語 A	2		最大6単位まで 発展科目に繰り 入れる
		発展英語 B	2		
		発展英語 C	2		
		ドイツ語 A	2		
		ドイツ語 B	2		
		フランス語 A	2		
		フランス語 B	2		
		中国語 A	2		
		中国語 B	2		
		スペイン語 A	2		
スペイン語 B	2				
3類		特別プレゼミナールA	2		
		特別プレゼミナールB	2		
		特別演習 I	2		
		特別演習 II	2		
		特別演習 III	2		
		特別演習 IV	2		

第3類（杏林大学学則）

	特別演習 V		2		
	特別演習 VI		2		
4 類	体育実技 A		1		
	体育実技 B		1		
	体育理論		2		
自由科目					

4 教職課程教科に関する科目

授業科目の名称	単位数			備考
	必修	選択	自由	
日本史 I			2	
日本史 II			2	
外国史 I			2	
外国史 II			2	
地誌学 I			2	
地誌学 II			2	
職業指導			2	

第3類（杏林大学学則）

別表3-3（平成22年度入学生から適用）

総合政策学部学科目構成

総合政策学科

1 基礎教養科目

授業科目の名称	単位数			備考
	必修	選択	自由	
社会のしくみ I	2			8単位以上
社会のしくみ II	2			
近現代史論		2		
読解力演習		2		
文章力演習		2		
計算力演習		2		
国語力演習		2		

2 専門科目

授業科目の名称	単位数			備考
	必修	選択	自由	
共通科目	国際関係論 I		2	32単位以上
	国際関係論 II		2	
	経済原論 I		2	
	経済原論 II		2	
	憲法 I		2	
	憲法 II		2	
	民法総論 I		2	
	民法総論 II		2	
	日本政治論 I		2	
	日本政治論 II		2	
	社会福祉学 I		2	
	社会福祉学 II		2	
	環境保全論 I		2	
	環境保全論 II		2	
	健康科学 I		2	
	健康科学 II		2	
	財政金融論 I		2	
財政金融論 II		2		

第3類 (杏林大学学則)

	外交政策論 I	2	
	外交政策論 II	2	
	刑事法概論 I	2	
	刑事法概論 II	2	
	ヒューマンエコロジー I	2	
	ヒューマンエコロジー II	2	
国際政経 コース 基本科目	国際協力論 I	2	16単位以上
	国際協力論 II	2	
	国際政治学 I	2	
	国際政治学 II	2	
	経済政策論 I	2	
	経済政策論 II	2	
	国際貿易論 I	2	
	国際貿易論 II	2	
	国際金融論 I	2	
	国際金融論 II	2	
	日本経済論	2	
	アジア経済論	2	
	アメリカ経済論	2	
	ヨーロッパ経済論	2	
	世界経済論	2	
	国際投資論	2	
	経済開発論	2	
	国際経営論	2	
	環境経済学 I	2	
	環境経済学 II	2	
	環境政策論	2	
	国際法 I	2	
	国際法 II	2	
	国際政治史	2	
	比較政治学	2	
	アジア政治論	2	
	アメリカ政治論	2	
	ロシア政治論	2	
	ヨーロッパ政治論	2	
	資源エネルギー論	2	

第3類 (杏林大学学則)

国際政経 コース 発展科目	経営学総論 I	2	34単位以上
	経営学総論 II	2	
	マーケティング総論 I	2	
	マーケティング総論 II	2	
	基礎簿記 I	2	
	基礎簿記 II	2	
	キャリア開発論 I	2	
	キャリア開発論 II	2	
	憲法概論	2	
	民法概論	2	
	政治学概論	2	
	経済原論演習	2	
	憲法演習	2	
	民法演習	2	
	行政法演習	2	
	行政学演習	2	
	政治学演習	2	
	インターンシップ I	2	
	インターンシップ II	2	
	学際演習 I	2	
	学際演習 II	2	
	学際演習 III	2	
	学際演習 IV	2	
演習	8		
卒業研究	4		
法律行政 コース 基本科目	物権法 I	2	16単位以上
	物権法 II	2	
	家族法 I	2	
	家族法 II	2	
	刑法 I	2	
	刑法 II	2	
	行政学 I	2	
	行政学 II	2	
	公共選択論 I	2	
	公共選択論 II	2	
行政法 I	2		

第3類 (杏林大学学則)

	行政法	II	2	
	債権法	I	2	
	債権法	II	2	
	労働法	I	2	
	労働法	II	2	
	会社法	I	2	
	会社法	II	2	
	民事訴訟法		2	
	刑事訴訟法		2	
	経済刑法		2	
	医事法	総論	2	
	医事法	各論	2	
	企業法	総論	2	
	企業法	取引法	2	
	税法	I	2	
	税法	II	2	
	基礎簿記	I	2	
	基礎簿記	II	2	
	国際法	I	2	
	国際法	II	2	
	環境法		2	
	情報法	法制	2	
法律行政	年金・労働保険法		2	
コース	比較政治学		2	— 34単位以上
発展科目	日本法制史		2	
	日本政治史		2	
	政策過程論		2	
	立法過程論		2	
	地方政治論		2	
	キャリア開発論	I	2	
	キャリア開発論	II	2	
	憲法概論		2	
	民法概論		2	
	政治学概論		2	
	経済原論演習		2	
	憲法演習		2	

第3類（杏林大学学則）

	民法演習	2		
	行政法演習	2		
	行政学演習	2		
	政治学演習	2		
	インターンシップⅠ	2		
	インターンシップⅡ	2		
	学際演習Ⅰ	2		
	学際演習Ⅱ	2		
	学際演習Ⅲ	2		
	学際演習Ⅳ	2		
	演習	8		
	卒業研究	4		
環境福祉 コース 基本科目	社会保障論Ⅰ	2		16単位以上
	社会保障論Ⅱ	2		
	環境科学概論Ⅰ	2		
	環境科学概論Ⅱ	2		
	保健医療システム論Ⅰ	2		
	保健医療システム論Ⅱ	2		
	障害者・老人福祉論Ⅰ	2		
	障害者・老人福祉論Ⅱ	2		
	環境経済学Ⅰ	2		
	環境経済学Ⅱ	2		
	環境保健学	2		
	カウンセリング論	2		
	社会福祉政策論	2		
	児童福祉論	2		
	社会福祉援助技術総論Ⅰ	2		
	社会福祉援助技術総論Ⅱ	2		
	経済政策論Ⅰ	2		
	経済政策論Ⅱ	2		
	環境政策論	2		
	資源エネルギー論	2		
	産業社会学Ⅰ	2		
	産業社会学Ⅱ	2		
	経営戦略論Ⅰ	2		
	経営戦略論Ⅱ	2		

第3類 (杏林大学学則)

環境福祉 コース 発展科目	国際協力論 I	2	— 34 単位以上
	国際協力論 II	2	
	医事法総論	2	
	医事法各論	2	
	環境法	2	
	年金・労働保険法	2	
	労働法 I	2	
	労働法 II	2	
	経営学総論 I	2	
	経営学総論 II	2	
	マーケティング総論 I	2	
	マーケティング総論 II	2	
	基礎簿記 I	2	
	基礎簿記 II	2	
	キャリア開発論 I	2	
	キャリア開発論 II	2	
	憲法概論	2	
	民法概論	2	
	政治学概論	2	
	経済原論演習	2	
	憲法演習	2	
	民法演習	2	
	行政法演習	2	
	行政学演習	2	
	政治学演習	2	
	インターンシップ I	2	
	インターンシップ II	2	
	学際演習 I	2	
	学際演習 II	2	
	学際演習 III	2	
	学際演習 IV	2	
	演習	8	
卒業研究	4		

第3類（杏林大学学則）

3 専門関連科目

授業科目の名称		単位数			備考
		必修	選択	自由	
1 類	人文科学 分野	宗 教 学 A		2	16 単位以上
		宗 教 学 B		2	
		哲 学 A		2	
		哲 学 B		2	
		倫 理 学 A		2	
		倫 理 学 B		2	
		歴 史 学 A		2	
		歴 史 学 B		2	
		文 学 A		2	
		文 学 B		2	
		音 楽 A		2	
		音 楽 B		2	
		人 文 科 学 概 論		2	
		社会科学 分野	社 会 学 A		
	社 会 学 B			2	
	法 学 A			2	
	法学B(日本国憲法)			2	
	政 治 学 A			2	
	政 治 学 B			2	
	地 理 学 A			2	
	地 理 学 B			2	
	経 済 学 A			2	
	経 済 学 B			2	
	自然科学 分野	数 学 A		2	
		数 学 B		2	
		統 計 学 A		2	
		統 計 学 B		2	
		物 理 学 A		2	
		物 理 学 B		2	
		化 学 A		2	
化 学 B			2		
生 物 学 A			2		
生 物 学 B			2		

第3類（杏林大学学則）

		心理学 A		2		
		心理学 B		2		
		自然科学概論		2		
2類	第1 外国語	英語 I	2			— 留学生のみ
		英語 II	2			
		日本語 A	2			
		日本語 B	2			
	第2 外国語	発展英語 A		2		— 最大8単位まで 発展科目に繰り 入れる
		発展英語 B		2		
		ドイツ語 A		2		
		ドイツ語 B		2		
		フランス語 A		2		
		フランス語 B		2		
		スペイン語 A		2		
		スペイン語 B		2		
		中国語 A		2		
		中国語 B		2		
韓国語 A		2				
韓国語 B		2				
3類	プレゼミナール A	2				
	プレゼミナール B	2				
	基礎演習 I		2			
	基礎演習 II		2			
	特別演習 I		2			
	特別演習 II		2			
	特別演習 III		2			
	特別演習 IV		2			
	特別演習 V		2			
	特別演習 VI		2			
4類	体育実技 A		1			
	体育実技 B		1			
	体育理論		2			
自由科目						

第3類（杏林大学学則）

4 教職課程教科に関する科目

授業科目の名称	単位数			備考
	必修	選択	自由	
日本史 I			2	
日本史 II			2	
外国史 I			2	
外国史 II			2	
地誌学 I			2	
地誌学 II			2	

企業経営学科

1 基礎教養科目

授業科目の名称	単位数			備考
	必修	選択	自由	
社会のしくみ I	2			8単位以上
社会のしくみ II	2			
近現代史論		2		
読解力演習		2		
文章力演習		2		
計算力演習		2		
国語力演習		2		

2 専門科目

授業科目の名称	単位数			備考
	必修	選択	自由	
経営学総論 I		2		
経営学総論 II		2		
マーケティング総論 I		2		
マーケティング総論 II		2		
経営情報論 I		2		
経営情報論 II		2		
キャリア開発論 I		2		
キャリア開発論 II		2		
基礎簿記 I		2		

第3類 (杏林大学学則)

共通科目	基礎簿記Ⅱ	2	32単位以上
	商業簿記Ⅰ	2	
	商業簿記Ⅱ	2	
	財務会計論Ⅰ	2	
	財務会計論Ⅱ	2	
	会社法Ⅰ	2	
	会社法Ⅱ	2	
	経営管理総論Ⅰ	2	
	経営管理総論Ⅱ	2	
	人材マネジメント論Ⅰ	2	
	人材マネジメント論Ⅱ	2	
	工業簿記Ⅰ	2	
	工業簿記Ⅱ	2	
	基礎簿記各論Ⅰ	2	
基礎簿記各論Ⅱ	2		
経営戦略 コース 基本科目	経営史Ⅰ	2	16単位以上
	経営史Ⅱ	2	
	経営戦略論Ⅰ	2	
	経営戦略論Ⅱ	2	
	財務管理論Ⅰ	2	
	財務管理論Ⅱ	2	
	流通システム論Ⅰ	2	
	流通システム論Ⅱ	2	
	経営組織論Ⅰ	2	
	経営組織論Ⅱ	2	
	中小企業経営論	2	
	国際経営論	2	
	産業社会学Ⅰ	2	
	産業社会学Ⅱ	2	
	財務会計各論Ⅰ	2	
	財務会計各論Ⅱ	2	
	商業簿記各論Ⅰ	2	
	商業簿記各論Ⅱ	2	
	工業簿記各論Ⅰ	2	
	工業簿記各論Ⅱ	2	
	税法Ⅰ	2	

第3類 (杏林大学学則)

経営戦略 コース 発展科目	税 法	II	2	34単位以上
	労 働 法	I	2	
	労 働 法	II	2	
	企 業 法 総 論		2	
	企 業 取 引 法		2	
	行 政 法	I	2	
	行 政 法	II	2	
	経 済 刑 法		2	
	年 金 ・ 労 働 保 険 法		2	
	国 際 法	I	2	
	国 際 法	II	2	
	行 政 学	I	2	
	行 政 学	II	2	
	国 際 政 治 学	I	2	
	国 際 政 治 学	II	2	
	経 済 原 論	I	2	
	経 済 原 論	II	2	
	財 政 金 融 論	I	2	
	財 政 金 融 論	II	2	
	憲 法 概 論		2	
	民 法 概 論		2	
	政 治 学 概 論		2	
	経 済 原 論 演 習		2	
	憲 法 演 習		2	
	民 法 演 習		2	
	行 政 法 演 習		2	
	行 政 学 演 習		2	
	政 治 学 演 習		2	
	インターンシップ	I	2	
	インターンシップ	II	2	
	学 際 演 習	I	2	
	学 際 演 習	II	2	
	学 際 演 習	III	2	
学 際 演 習	IV	2		
演 習		8		
卒 業 研 究		4		

第3類（杏林大学学則）

経営会計 コース 基本科目	財務会計各論 I	2	16 単位以上
	財務会計各論 II	2	
	商業簿記各論 I	2	
	商業簿記各論 II	2	
	工業簿記各論 I	2	
	工業簿記各論 II	2	
	税法 I	2	
	税法 II	2	
	労働法 I	2	
	労働法 II	2	
経営会計 コース	産業社会学 I	2	34 単位以上
	産業社会学 II	2	
	流通システム論 I	2	
	流通システム論 II	2	
	中小企業経営論	2	
	国際経営論	2	
	経営組織論 I	2	
	経営組織論 II	2	
	経営戦略論 I	2	
	経営戦略論 II	2	
	財務管理論 I	2	
	財務管理論 II	2	
	経営史 I	2	
	経営史 II	2	
	企業法総論	2	
	企業取引法	2	
	家族法 I	2	
	家族法 II	2	
	行政法 I	2	
	行政法 II	2	
	税法各論 I	2	
	税法各論 II	2	
	経済刑法	2	
	年金・労働保険法	2	
	国際法 I	2	
	国際法 II	2	

第3類（杏林大学学則）

発展科目	行政学 I	2		
	行政学 II	2		
	国際政治学 I	2		
	国際政治学 II	2		
	経済原論 I	2		
	経済原論 II	2		
	財政金融論 I	2		
	財政金融論 II	2		
	憲法概論	2		
	民法概論	2		
	政治学概論	2		
	経済原論演習	2		
	憲法演習	2		
	民法演習	2		
	行政法演習	2		
	行政学演習	2		
	政治学演習	2		
	インターンシップ I	2		
	インターンシップ II	2		
	学際演習 I	2		
	学際演習 II	2		
	学際演習 III	2		
	学際演習 IV	2		
	演習	8		
卒業研究	4			

3 専門関連科目

授業科目の名称		単位数			備考
		必修	選択	自由	
人文科学	宗教学 A		2		
	宗教学 B		2		
	哲学 A		2		
	哲学 B		2		
	倫理学 A		2		
	倫理学 B		2		

第3類 (杏林大学学則)

1 類	分野	歴史学 A		2	16 単位以上
		歴史学 B		2	
		文学 A		2	
		文学 B		2	
		音楽 A		2	
		音楽 B		2	
		人文科学概論		2	
	社会科学分野	社会学 A		2	
		社会学 B		2	
		法学 A		2	
		法学B (日本国憲法)		2	
		政治学 A		2	
		政治学 B		2	
		地理学 A		2	
		地理学 B		2	
	自然科学分野	経済学 A		2	
		経済学 B		2	
		数学 A		2	
		数学 B		2	
		統計学 A		2	
		統計学 B		2	
物理学 A			2		
物理学 B			2		
化学 A			2		
化学 B			2		
生物学 A			2		
生物学 B		2			
心理学 A		2			
心理学 B		2			
自然科学概論		2			
第 1 外国語	英語 I	2		留学生のみ	
	英語 II	2			
	日本語 A	2			
	日本語 B	2			
	発展英語 A		2		
	発展英語 B		2		

第3類（杏林大学学則）

2 類	第 2 外 国 語	ド イ ツ 語 A		2	最大8単位まで 発展科目に繰り 入れる
		ド イ ツ 語 B		2	
		フ ラ ン ス 語 A		2	
		フ ラ ン ス 語 B		2	
		ス ペ イ ン 語 A		2	
		ス ペ イ ン 語 B		2	
		中 国 語 A		2	
		中 国 語 B		2	
		韓 国 語 A		2	
		韓 国 語 B		2	
3 類		プレゼミナール A	2		
		プレゼミナール B	2		
		基 礎 演 習 I		2	
		基 礎 演 習 II		2	
		特 別 演 習 I		2	
		特 別 演 習 II		2	
		特 別 演 習 III		2	
		特 別 演 習 IV		2	
		特 別 演 習 V		2	
	特 別 演 習 VI		2		
4 類		体 育 実 技 A		1	
		体 育 実 技 B		1	
		体 育 理 論		2	
自 由 科 目					

4 教職課程教科に関する科目

授 業 科 目 の 名 称	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
日 本 史 I			2	
日 本 史 II			2	
外 国 史 I			2	
外 国 史 II			2	
地 誌 学 I			2	
地 誌 学 II			2	
職 業 指 導			2	

第3類（杏林大学学則）

別表4-2（平成18年度入学生から適用）

外国語学部学科目構成

英語学科

授業科目の名称					単位数		備考
					必修	選択	
専門外国語科目	英語	I	—	1	1		英語及び中国語（留学生は日本語から8単位選択） 必修16単位
	英語	I	—	2	1		
	英語	II	—	1	1		
	英語	II	—	2	1		
	英語	III	—	1	1		
	英語	III	—	2	1		
	英語	IV	—	1	1		
	英語	IV	—	2	1		
	中国語	I	—	1	1		
	中国語	I	—	2	1		
	中国語	II	—	1	1		
	中国語	II	—	2	1		
	中国語	III	—	1	1		
	中国語	III	—	2	1		
	中国語	IV	—	1	1		
	中国語	IV	—	2	1		
	日本語	I	—	1		1	
	日本語	I	—	2		1	
	日本語	II	—	1		1	
	日本語	II	—	2		1	
	日本語	III	—	1		1	
	日本語	III	—	2		1	
	日本語	IV	—	1		1	
	日本語	IV	—	2		1	
	日本語	V	—	1		1	
	日本語	V	—	2		1	
	日本語	VI	—	1		1	
	日本語	VI	—	2		1	
日本語	VII	—	1		1		
日本語	VII	—	2		1		

第3類 (杏林大学学則)

	インテンシブ中国語Ⅰ－1		1	
	インテンシブ中国語Ⅰ－2		1	
	インテンシブ中国語Ⅱ－1		1	
	インテンシブ中国語Ⅱ－2		1	
	インテンシブ中国語Ⅲ－1		1	
	インテンシブ中国語Ⅲ－2		1	
	インテンシブ中国語Ⅳ－1		1	
	インテンシブ中国語Ⅳ－2		1	
専 門 科 目 A	日米比較文化概論	2		
	英語の文化誌	2		
	日米関係史概論		2	
	ヨーロッパの社会と文化		2	
	現代英語講読Ⅰ－1	1		
	現代英語講読Ⅰ－2	1		
	現代英語講読Ⅱ－1		1	
	現代英語講読Ⅱ－2		1	
	英語文章表現法－1		1	
	英語文章表現法－2		1	
	英語聴解・討論－1		1	
	英語聴解・討論－2		1	
	実用英語演習Ⅰ	1		
	実用英語演習Ⅱ	1		
	実用英語演習Ⅲ	1		
	実用英語演習Ⅳ	1		
	マルチメディア・イングリッシュ	1		
	ゼミナール－1	2		
	ゼミナール－2	2		
	ゼミナール－3	2		
卒業論文・課題指導		4		
専 門 科 目	国際コミュニケーション論－1	2		英語ビジネスコミュニケーションコース
	国際コミュニケーション論－2	2		
	英米文化論－1		2	
	英米文化論－2		2	
	アメリカ近現代史概説－1		2	
アメリカ近現代史概説－2		2		

第3類 (杏林大学学則)

B	ヨーロッパ近現代史概説－1		2	
	ヨーロッパ近現代史概説－2		2	
	グローバルビジネス論－1	2		
	グローバルビジネス論－2	2		
	現代北米ビジネス事情－1	2		
	現代北米ビジネス事情－2	2		
	現代ヨーロッパビジネス事情－1	2		
	現代ヨーロッパビジネス事情－2	2		
	アメリカ経済論		2	
	アメリカ政治外交論		2	
	ヨーロッパ経済論		2	
	ヨーロッパ政治外交論		2	
	経営管理総論Ⅰ		2	
	経営管理総論Ⅱ		2	
	人材マネジメント論Ⅰ		2	
	人材マネジメント論Ⅱ		2	
	マーケティング総論Ⅰ		2	
	マーケティング総論Ⅱ		2	
	ビジネスイングリッシュⅠ	1		
	ビジネスイングリッシュⅡ	1		
	ビジネスイングリッシュⅢ	1		
	ビジネスイングリッシュⅣ	1		
	ビジネスコミュニケーション演習Ⅰ	1		
	ビジネスコミュニケーション演習Ⅱ		1	
	ビジネスコミュニケーション演習Ⅲ		1	
	ビジネス情報処理演習Ⅰ	1		
	ビジネス情報処理演習Ⅱ		1	
ビジネス情報処理演習Ⅲ		1		
専 門 科 目 C	英語学－1	2		英語教育コース
	英語学－2	2		
	英語音声学－1	2		
	英語音声学－2	2		
	英語史－1		2	
	英語史－2		2	
英語学特論－1		2		

第3類 (杏林大学学則)

	英語学特論 - 2		2	
	英語音声学特論 - 1	2		
	英語音声学特論 - 2	2		
	英語教育論 - 1	2		
	英語教育論 - 2	2		
	児童英語教育論		2	
	英米文学		2	
	児童文学論		2	
	社会言語学 - 1		2	
	社会言語学 - 2		2	
	対照言語学 - 1		2	
	対照言語学 - 2		2	
	認知言語学 - 1		2	
	認知言語学 - 2		2	
	言語獲得のメカニズム - 1		2	
	言語獲得のメカニズム - 2		2	
	バイリンガル教育論 - 1		2	
	バイリンガル教育論 - 2		2	
	英語発音聴取	1		
	英語会話	1		
	英語作文	1		
	英語文法	1		
	児童英語教育教材研究		1	
	児童英語教育実習		1	
	社会人英語教育法 - 1		1	
	社会人英語教育法 - 2		1	
	英語科教育法 - 1		2	
	英語科教育法 - 2		2	
専門 関連 科	比較文化論 I - 1		2	
	比較文化論 I - 2		2	
	比較文化論 II - 1		2	
	比較文化論 II - 2		2	
	アメリカ社会論 - 1		2	
	アメリカ社会論 - 2		2	
	中国事情		2	

第3類 (杏林大学学則)

目	韓 国 事 情	2
A	地 域 圏 研 究 I - 1	2
	地 域 圏 研 究 I - 2	2
	地 域 圏 研 究 II - 1	2
	地 域 圏 研 究 II - 2	2
	地 域 圏 研 究 III - 1	2
	地 域 圏 研 究 III - 2	2
	地 域 圏 研 究 IV - 1	2
	地 域 圏 研 究 IV - 2	2
	地 域 圏 研 究 V - 1	2
	地 域 圏 研 究 V - 2	2
	地 域 圏 研 究 VI - 1	2
	地 域 圏 研 究 VI - 2	2
	国 際 関 係 論 I	2
	国 際 関 係 論 II	2
	経 済 原 論 I	2
	経 済 原 論 II	2
	西 洋 史 - 1	2
	西 洋 史 - 2	2
	中 国 史 - 1	2
	中 国 史 - 2	2
	日 本 史 - 1	2
	日 本 史 - 2	2
	言 語 学 - 1	2
	言 語 学 - 2	2
	言 語 と 文 化 - 1	2
	言 語 と 文 化 - 2	2
	日 中 文 化 交 流 史 - 1	2
	日 中 文 化 交 流 史 - 2	2
	日 韓 文 化 交 流 史 - 1	2
	日 韓 文 化 交 流 史 - 2	2
	神 話 学	2
	文 化 人 類 学	2
	クリエイティブ・コミュニケーション論-1	2
	クリエイティブ・コミュニケーション論-2	2

第3類 (杏林大学学則)

	英語総合講座 - 1		2	
	英語総合講座 - 2		2	
	英語特論 - 1		2	
	英語特論 - 2		2	
	コミュニケーション概論	2		
	キャリア指導 I - 1	1		
	キャリア指導 I - 2	1		
	キャリア指導 II - 1	1		
	キャリア指導 II - 2	1		
	ホスピタリティ実習 - 1	1		
	ホスピタリティ実習 - 2	1		
	インターンシップ I		1	インターンシップ I ~ IV のうち1科目選択必修
	インターンシップ II		1	
	インターンシップ III		1	
	インターンシップ IV		1	
専門 関連 科目 B	ドイツ語 I - 1		1	
	ドイツ語 I - 2		1	
	ドイツ語 II - 1		1	
	ドイツ語 II - 2		1	
	ドイツ語 III - 1		1	
	ドイツ語 III - 2		1	
	フランス語 I - 1		1	
	フランス語 I - 2		1	
	フランス語 II - 1		1	
	フランス語 II - 2		1	
	フランス語 III - 1		1	
	フランス語 III - 2		1	
	スペイン語 I - 1		1	
	スペイン語 I - 2		1	
	スペイン語 II - 1		1	
	スペイン語 II - 2		1	
	スペイン語 III - 1		1	
	スペイン語 III - 2		1	
	インドネシア語 I - 1		1	
	インドネシア語 I - 2		1	

第3類 (杏林大学学則)

インドネシア語Ⅱ－1	1
インドネシア語Ⅱ－2	1
インドネシア語Ⅲ－1	1
インドネシア語Ⅲ－2	1
韓国語Ⅰ－1	1
韓国語Ⅰ－2	1
韓国語Ⅱ－1	1
韓国語Ⅱ－2	1
韓国語Ⅲ－1	1
韓国語Ⅲ－2	1
情報英語Ⅰ	1
情報英語Ⅱ	1
情報中国語Ⅰ	1
情報中国語Ⅱ	1
情報日本語	1
口語英語Ⅰ－1	1
口語英語Ⅰ－2	1
口語英語Ⅱ－1	1
口語英語Ⅱ－2	1
口語英語Ⅲ－1	1
口語英語Ⅲ－2	1
口語英語Ⅳ－1	1
口語英語Ⅳ－2	1
口語英語Ⅴ－1	1
口語英語Ⅴ－2	1
中国語演習Ⅰ－1	2
中国語演習Ⅰ－2	2
中国語演習Ⅱ－1	2
中国語演習Ⅱ－2	2
中国語演習Ⅲ－1	2
中国語演習Ⅲ－2	2
中国語実習Ⅰ－1	1
中国語実習Ⅰ－2	1
中国語実習Ⅱ－1	1
中国語実習Ⅱ－2	1

第3類 (杏林大学学則)

	中国語実習Ⅲ	—	1		1
	中国語実習Ⅲ	—	2		1
専門 関連 科目 C	哲学	—	1		2
	哲学	—	2		2
	宗教学	—	1		2
	宗教学	—	2		2
	歴史学	—	1		2
	歴史学	—	2		2
	文学	—	1		2
	文学	—	2		2
	音楽	—	1		2
	音楽	—	2		2
	日本国憲法				2
	法学				2
	政治学	—	1		2
	政治学	—	2		2
	地理学	—	1		2
	地理学	—	2		2
	経済学	—	1		2
	経済学	—	2		2
	数学	—	1		2
	数学	—	2		2
	物理学	—	1		2
	物理学	—	2		2
	化学	—	1		2
	化学	—	2		2
	生物学	—	1		2
	生物学	—	2		2
	心理学	—	1		2
	心理学	—	2		2
	統計学	—	1		2
	統計学	—	2		2
情報処				2	
理				2	
体育				1	
理論				1	
体育				1	
実技	—	1		1	

第3類（杏林大学学則）

	体 育 実 技 - 2		1	
専 科 門 目 関 連 D	他 学 部 の 設 置 科 目			
自 科 由 目				

東アジア言語学科

授 業 科 目 の 名 称					単 位 数		備 考
					必 修	選 択	
専 門 外 国 語 科 目	英 語	I	—	1	1		英語及び中国語（留学生 は日本語から8単位選択） 必修16単位
	英 語	I	—	2	1		
	英 語	II	—	1	1		
	英 語	II	—	2	1		
	英 語	III	—	1	1		
	英 語	III	—	2	1		
	英 語	IV	—	1	1		
	英 語	IV	—	2	1		
	中 国 語	I	—	1	1		
	中 国 語	I	—	2	1		
	中 国 語	II	—	1	1		
	中 国 語	II	—	2	1		
	中 国 語	III	—	1	1		
	中 国 語	III	—	2	1		
	中 国 語	IV	—	1	1		
	中 国 語	IV	—	2	1		
	日 本 語	I	—	1		1	
	日 本 語	I	—	2		1	
日 本 語	II	—	1		1		
日 本 語	II	—	2		1		
日 本 語	III	—	1		1		
日 本 語	III	—	2		1		
日 本 語	IV	—	1		1		

第3類 (杏林大学学則)

	日本語 IV - 2		1		
	日本語 V - 1		1		
	日本語 V - 2		1		
	日本語 VI - 1		1		
	日本語 VI - 2		1		
	日本語 VII - 1		1		
	日本語 VII - 2		1		
	インテンシブ中国語 I - 1		1	中国語ビジネスコミュニケーションコース希望者は必修	
	インテンシブ中国語 I - 2		1		
	インテンシブ中国語 II - 1		1		
	インテンシブ中国語 II - 2		1		
	インテンシブ中国語 III - 1		1		
	インテンシブ中国語 III - 2		1		
	インテンシブ中国語 IV - 1		1		
	インテンシブ中国語 IV - 2		1		
専門科目 A	日本文化論	2			
	異文化交流の実際	2			
	民俗学		2		
	東アジア対照言語学 - 1		2		
	東アジア対照言語学 - 2		2		
	朝鮮半島政治外交論		2		
	実務英語 - 1	1			
	実務英語 - 2	1			
	交渉英語 - 1	1			
	交渉英語 - 2	1			
	ゼミナール - 1	2			
	ゼミナール - 2	2			
	ゼミナール - 3	2			
	卒業論文・課題指導		4		
専門科目	日本語教育概説 - 1	2		日本語教育学コース	
	日本語教育概説 - 2	2			
	日本語教授法概論 - 1	2			
	日本語教授法概論 - 2	2			
	日本語学概論 - 1	2			

第3類 (杏林大学学則)

目	日本語学概論 - 2	2		
B	日本語音声学 - 1		2	
	日本語音声学 - 2		2	
	日本語文法論 - 1		2	
	日本語文法論 - 2		2	
	日本語意味論 - 1		2	
	日本語意味論 - 2		2	
	日本語教材教具論		2	
	試験と評価		2	
	日本語語彙論		2	
	日本語文字表記概説		2	
	日本語史		2	
	日本人の言語行動		2	
	異文化理解とコミュニケーション		2	
	社会言語学 - 1		2	
	社会言語学 - 2		2	
	対照言語学 - 1		2	
	対照言語学 - 2		2	
	認知言語学 - 1		2	
	認知言語学 - 2		2	
	言語獲得のメカニズム - 1		2	
	言語獲得のメカニズム - 2		2	
	バイリンガル教育論 - 1		2	
	バイリンガル教育論 - 2		2	
	日本語教授法演習 - 1		1	
	日本語教授法演習 - 2		1	
	日本語教育実習 I - 1		1	
	日本語教育実習 I - 2		1	
	日本語教育実習 II - 1		1	
	日本語教育実習 II - 2		1	
	日本語学演習 - 1	1		
	日本語学演習 - 2	1		
	日本語教育演習 - 1	1		
	日本語教育演習 - 2	1		
	中国語学概論 - 1	2		

第3類 (杏林大学学則)

専 門 科 目 C	中国語学概論－2	2	中国語ビジネスコミュニケーションコース
	中国人のコミュニケーションスタイル－1	2	
	中国人のコミュニケーションスタイル－2	2	
	中国語音声学－1	2	
	中国語音声学－2	2	
	中国語翻訳法－1	2	
	中国語翻訳法－2	2	
	中国語通訳法－1	2	
	中国語通訳法－2	2	
	中国の自然地理・風俗習慣	2	
	中国思想史	2	
	中国文学史	2	
	中国古典概説	2	
	日中比較文化概論	2	
	中国経済概論－1	2	
	中国経済概論－2	2	
	現代中国ビジネス事情	2	
	日中貿易論	2	
	アジア経済論	2	
	中国近現代史－1	2	
	中国近現代史－2	2	
	中国政治外交論	2	
	実用中国語演習Ⅰ	1	
	実用中国語演習Ⅱ	1	
	中国語文章表現法－1	1	
	中国語文章表現法－2	1	
	中国語聴解・討論－1	1	
	中国語聴解・討論－2	1	
	時事中国語Ⅰ－1	1	
	時事中国語Ⅰ－2	1	
	貿易中国語－1	1	
	貿易中国語－2	1	
	中国語ビジネス会話－1	1	
中国語ビジネス会話－2	1		
中国語情報処理－1	1		

第3類 (杏林大学学則)

	中国語情報処理 - 2	1	
専門 関連 科目 目 A	比較文化論 I - 1		2
	比較文化論 I - 2		2
	比較文化論 II - 1		2
	比較文化論 II - 2		2
	アメリカ社会論 - 1		2
	アメリカ社会論 - 2		2
	中国事情		2
	韓国事情		2
	地域圏研究 I - 1		2
	地域圏研究 I - 2		2
	地域圏研究 II - 1		2
	地域圏研究 II - 2		2
	地域圏研究 III - 1		2
	地域圏研究 III - 2		2
	地域圏研究 IV - 1		2
	地域圏研究 IV - 2		2
	地域圏研究 V - 1		2
	地域圏研究 V - 2		2
	地域圏研究 VI - 1		2
	地域圏研究 VI - 2		2
	国際関係論 I		2
	国際関係論 II		2
	経済原論 I		2
	経済原論 II		2
	西洋史 - 1		2
	西洋史 - 2		2
	中国史 - 1		2
	中国史 - 2		2
	日本史 - 1		2
	日本史 - 2		2
言語学 - 1		2	
言語学 - 2		2	
言語と文化 - 1		2	
言語と文化 - 2		2	

第3類 (杏林大学学則)

	日中文化交流史－1		2	
	日中文化交流史－2		2	
	日韓文化交流史－1		2	
	日韓文化交流史－2		2	
	神話学		2	
	文化人類学		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-1		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-2		2	
	英語総合講座－1		2	
	英語総合講座－2		2	
	英語特論－1		2	
	英語特論－2		2	
	コミュニケーション概論	2		
	キャリア指導Ⅰ－1	1		
	キャリア指導Ⅰ－2	1		
	キャリア指導Ⅱ－1	1		
	キャリア指導Ⅱ－2	1		
	ホスピタリティ実習－1	1		
	ホスピタリティ実習－2	1		
	インターンシップⅠ		1	インターンシップⅠ～Ⅳ のうち1科目選択必修
	インターンシップⅡ		1	
	インターンシップⅢ		1	
	インターンシップⅣ		1	
専門 関連 科目 B	ドイツ語Ⅰ－1		1	
	ドイツ語Ⅰ－2		1	
	ドイツ語Ⅱ－1		1	
	ドイツ語Ⅱ－2		1	
	ドイツ語Ⅲ－1		1	
	ドイツ語Ⅲ－2		1	
	フランス語Ⅰ－1		1	
	フランス語Ⅰ－2		1	
	フランス語Ⅱ－1		1	
	フランス語Ⅱ－2		1	
	フランス語Ⅲ－1		1	
	フランス語Ⅲ－2		1	

第3類 (杏林大学学則)

スペイン語 I - 1	1
スペイン語 I - 2	1
スペイン語 II - 1	1
スペイン語 II - 2	1
スペイン語 III - 1	1
スペイン語 III - 2	1
インドネシア語 I - 1	1
インドネシア語 I - 2	1
インドネシア語 II - 1	1
インドネシア語 II - 2	1
インドネシア語 III - 1	1
インドネシア語 III - 2	1
韓国語 I - 1	1
韓国語 I - 2	1
韓国語 II - 1	1
韓国語 II - 2	1
韓国語 III - 1	1
韓国語 III - 2	1
情報英語 I	1
情報英語 II	1
情報中国語 I	1
情報中国語 II	1
情報日本語	1
口語英語 I - 1	1
口語英語 I - 2	1
口語英語 II - 1	1
口語英語 II - 2	1
口語英語 III - 1	1
口語英語 III - 2	1
口語英語 IV - 1	1
口語英語 IV - 2	1
口語英語 V - 1	1
口語英語 V - 2	1
中国語演習 I - 1	2
中国語演習 I - 2	2

第 3 類 (杏林大学学則)

	中国語演習Ⅱ	—	1	2	
	中国語演習Ⅱ	—	2	2	
	中国語演習Ⅲ	—	1	2	
	中国語演習Ⅲ	—	2	2	
	中国語実習Ⅰ	—	1	1	
	中国語実習Ⅰ	—	2	1	
	中国語実習Ⅱ	—	1	1	
	中国語実習Ⅱ	—	2	1	
	中国語実習Ⅲ	—	1	1	
	中国語実習Ⅲ	—	2	1	
専門 関連 科目 C	哲学	—	1	2	
	哲学	—	2	2	
	宗教学	—	1	2	
	宗教学	—	2	2	
	歴史学	—	1	2	
	歴史学	—	2	2	
	文学	—	1	2	
	文学	—	2	2	
	音楽	—	1	2	
	音楽	—	2	2	
	日本国憲法			2	
	法学			2	
	政治学	—	1	2	
	政治学	—	2	2	
	地理学	—	1	2	
	地理学	—	2	2	
	経済学	—	1	2	
	経済学	—	2	2	
	数学	—	1	2	
	数学	—	2	2	
物理学	—	1	2		
物理学	—	2	2		
化学	—	1	2		
化学	—	2	2		
生物学	—	1	2		

第3類（杏林大学学則）

	生物学	—	2		2	
	心理学	—	1		2	
	心理学	—	2		2	
	統計学	—	1		2	
	統計学	—	2		2	
	情報処理				2	
	体育理論				1	
	体育実技	—	1		1	
	体育実技	—	2		1	
専科 門関 連D	他学部 の 設置科目					
自科 由目						

応用コミュニケーション学科

授業科目の名称		単位数		備考
		必修	選択	
専 門 外 国 語 科 目	英語 I	—	1	英語及び中国語（留学生は日本語から8単位選択） 必修16単位
	英語 I	—	2	
	英語 II	—	1	
	英語 II	—	2	
	英語 III	—	1	
	英語 III	—	2	
	英語 IV	—	1	
	英語 IV	—	2	
	中国語 I	—	1	
	中国語 I	—	2	
	中国語 II	—	1	
	中国語 II	—	2	
	中国語 III	—	1	
	中国語 III	—	2	
	中国語 IV	—	1	

第3類 (杏林大学学則)

	中国語 IV - 2	1	
	日本語 I - 1		1
	日本語 I - 2		1
	日本語 II - 1		1
	日本語 II - 2		1
	日本語 III - 1		1
	日本語 III - 2		1
	日本語 IV - 1		1
	日本語 IV - 2		1
	日本語 V - 1		1
	日本語 V - 2		1
	日本語 VI - 1		1
	日本語 VI - 2		1
	日本語 VII - 1		1
	日本語 VII - 2		1
	インテンシブ中国語 I - 1		1
	インテンシブ中国語 I - 2		1
	インテンシブ中国語 II - 1		1
	インテンシブ中国語 II - 2		1
	インテンシブ中国語 III - 1		1
	インテンシブ中国語 III - 2		1
	インテンシブ中国語 IV - 1		1
	インテンシブ中国語 IV - 2		1
専 門 科 目 A	応用コミュニケーション論	2	
	生活文化論 I		2
	生活文化論 II		2
	地域の伝統文化		2
	日本語表現法 - 1	2	
	日本語表現法 - 2	2	
	IT イングリッシュ	1	
	ブロードキャスト・イングリッシュ		1
	ゼミナール - 1	2	
	ゼミナール - 2	2	
ゼミナール - 3	2		
	卒業論文・課題指導		4

第3類 (杏林大学学則)

専 門 科 目 B	感性コミュニケーション論	2		表現メディアコース
	情報社会論	2		
	文化産業論	2		
	表象文化論	2		
	大衆文化論 I - 1		2	
	大衆文化論 I - 2		2	
	大衆文化論 II - 1		2	
	大衆文化論 II - 2		2	
	ジャーナリズム論		2	
	印刷出版文化論 - 1		2	
	印刷出版文化論 - 2		2	
	翻訳・翻案文化論		2	
	映像文化論		2	
	演劇文化論		2	
	身体表現論		2	
	空間表現論		2	
	意匠・デザイン論		2	
	情報発信特論 I		2	
	情報発信特論 II		2	
	言語芸術表現論 I		2	
	言語芸術表現論 II		2	
	言語芸術表現論 III		2	
	比較文学論		2	
	レトリック論		2	
	ファンタジー論		2	
	こころと身体のメカニズム I		2	
	こころと身体のメカニズム II		2	
	こころと身体のメカニズム III		2	
	言語芸術表現演習 I		1	
	言語芸術表現演習 II		1	
	言語芸術表現演習 III		1	
	クリエイティブ・コミュニケーション演習 I		1	
クリエイティブ・コミュニケーション演習 II		1		
クリエイティブ・コミュニケーション演習 III		1		
コンテンツ・デザイン実習		1		

第3類 (杏林大学学則)

	カルチャー・マネジメント実習	1	
	アドバタイズメント・デザイン実習	1	
	ライフスタイル・コーディネート実習	1	
	アーツ・セラピー実習	1	
専 門 科 目 C	観光文化論入門	2	観光文化コース
	ホスピタリティ・コミュニケーション論入門	2	
	ホスピタリティ論Ⅰ-1	2	
	ホスピタリティ論Ⅰ-2	2	
	ホスピタリティ論Ⅱ-1	2	
	ホスピタリティ論Ⅱ-2	2	
	宿泊産業概論	2	
	宿泊産業経営論	2	
	旅行産業概論	2	
	旅行産業経営論	2	
	フードビジネス概論	2	
	フードビジネス経営論	2	
	観光文化特論Ⅰ-1	2	
	観光文化特論Ⅰ-2	2	
	観光文化特論Ⅱ-1	2	
	観光文化特論Ⅱ-2	2	
	観光文化特論Ⅲ-1	2	
	観光文化特論Ⅲ-2	2	
	観光文化特論Ⅳ-1	2	
	観光文化特論Ⅳ-2	2	
	観光保健論-1	2	
	観光保健論-2	2	
	観光地理Ⅰ	2	
	観光地理Ⅱ	2	
	観光業務論Ⅰ	2	
	観光業務論Ⅱ	2	
	観光業務論Ⅲ	2	
	観光業務論Ⅳ	2	
	観光業務論Ⅴ-1	2	
観光業務論Ⅴ-2	2		
観光業務特論Ⅰ	2		

第3類 (杏林大学学則)

	観光業務特論Ⅱ		2	
	ホスピタリティ演習－1		1	
	ホスピタリティ演習－2		1	
	ホスピタリティ演習－3		1	
	観光手話－1		1	
	観光手話－2		1	
	観光英語－1	1		
	観光英語－2	1		
	観光日本語	1		
	観光中国語	1		
	観光実習	1		
専門 関連 科目 A	比較文化論Ⅰ－1		2	
	比較文化論Ⅰ－2		2	
	比較文化論Ⅱ－1		2	
	比較文化論Ⅱ－2		2	
	アメリカ社会論－1		2	
	アメリカ社会論－2		2	
	中国事情		2	
	韓国事情		2	
	地域圏研究Ⅰ－1		2	
	地域圏研究Ⅰ－2		2	
	地域圏研究Ⅱ－1		2	
	地域圏研究Ⅱ－2		2	
	地域圏研究Ⅲ－1		2	
	地域圏研究Ⅲ－2		2	
	地域圏研究Ⅳ－1		2	
	地域圏研究Ⅳ－2		2	
	地域圏研究Ⅴ－1		2	
	地域圏研究Ⅴ－2		2	
	地域圏研究Ⅵ－1		2	
	地域圏研究Ⅵ－2		2	
国際関係論Ⅰ		2		
国際関係論Ⅱ		2		
経済原論Ⅰ		2		
経済原論Ⅱ		2		

第3類 (杏林大学学則)

西 洋 史	— 1		2	
西 洋 史	— 2		2	
中 国 史	— 1		2	
中 国 史	— 2		2	
日 本 史	— 1		2	
日 本 史	— 2		2	
言 語 学	— 1		2	
言 語 学	— 2		2	
言 語 と 文 化	— 1		2	
言 語 と 文 化	— 2		2	
日 中 文 化 交 流 史	— 1		2	
日 中 文 化 交 流 史	— 2		2	
日 韓 文 化 交 流 史	— 1		2	
日 韓 文 化 交 流 史	— 2		2	
神 話 学			2	
文 化 人 類 学			2	
クリエイティブ・コミュニケーション論	— 1		2	
クリエイティブ・コミュニケーション論	— 2		2	
英 語 総 合 講 座	— 1		2	
英 語 総 合 講 座	— 2		2	
英 語 特 論	— 1		2	
英 語 特 論	— 2		2	
コミュニケーション概論		2		
キャリア指導 I	— 1	1		
キャリア指導 I	— 2	1		
キャリア指導 II	— 1	1		
キャリア指導 II	— 2	1		
ホスピタリティ実習	— 1	1		
ホスピタリティ実習	— 2	1		
インターンシップ I			1	インターンシップ I～IV のうち1科目選択必修
インターンシップ II			1	
インターンシップ III			1	
インターンシップ IV			1	
ド イ ツ 語 I	— 1		1	
ド イ ツ 語 I	— 2		1	

第3類 (杏林大学学則)

専	ド	イ	ツ	語	Ⅱ	－	1	1
門	ド	イ	ツ	語	Ⅱ	－	2	1
関	ド	イ	ツ	語	Ⅲ	－	1	1
連	ド	イ	ツ	語	Ⅲ	－	2	1
科	フ	ラ	ン	ス	語	Ⅰ	－	1
目	フ	ラ	ン	ス	語	Ⅰ	－	2
B	フ	ラ	ン	ス	語	Ⅱ	－	1
	フ	ラ	ン	ス	語	Ⅱ	－	2
	フ	ラ	ン	ス	語	Ⅲ	－	1
	フ	ラ	ン	ス	語	Ⅲ	－	2
	ス	ペ	イ	ン	語	Ⅰ	－	1
	ス	ペ	イ	ン	語	Ⅰ	－	2
	ス	ペ	イ	ン	語	Ⅱ	－	1
	ス	ペ	イ	ン	語	Ⅱ	－	2
	ス	ペ	イ	ン	語	Ⅲ	－	1
	ス	ペ	イ	ン	語	Ⅲ	－	2
	イ	ン	ド	ネ	シ	ア	語	Ⅰ
	イ	ン	ド	ネ	シ	ア	語	Ⅰ
	イ	ン	ド	ネ	シ	ア	語	Ⅱ
	イ	ン	ド	ネ	シ	ア	語	Ⅱ
	イ	ン	ド	ネ	シ	ア	語	Ⅲ
	イ	ン	ド	ネ	シ	ア	語	Ⅲ
	韓	国	語	Ⅰ	－	1	1	
	韓	国	語	Ⅰ	－	2	1	
	韓	国	語	Ⅱ	－	1	1	
	韓	国	語	Ⅱ	－	2	1	
	韓	国	語	Ⅲ	－	1	1	
	韓	国	語	Ⅲ	－	2	1	
	情	報	英	語	Ⅰ		1	
	情	報	英	語	Ⅱ		1	
	情	報	中	国	語	Ⅰ	1	
	情	報	中	国	語	Ⅱ	1	
	情	報	日	本	語		1	
	口	語	英	語	Ⅰ	－	1	
	口	語	英	語	Ⅰ	－	2	

第 3 類 (杏林大学学則)

	口 語 英 語 II - 1	1	
	口 語 英 語 II - 2	1	
	口 語 英 語 III - 1	1	
	口 語 英 語 III - 2	1	
	口 語 英 語 IV - 1	1	
	口 語 英 語 IV - 2	1	
	口 語 英 語 V - 1	1	
	口 語 英 語 V - 2	1	
	中 国 語 演 習 I - 1	2	
	中 国 語 演 習 I - 2	2	
	中 国 語 演 習 II - 1	2	
	中 国 語 演 習 II - 2	2	
	中 国 語 演 習 III - 1	2	
	中 国 語 演 習 III - 2	2	
	中 国 語 実 習 I - 1	1	
	中 国 語 実 習 I - 2	1	
	中 国 語 実 習 II - 1	1	
	中 国 語 実 習 II - 2	1	
	中 国 語 実 習 III - 1	1	
	中 国 語 実 習 III - 2	1	
專 門 関 連 科 目 C	哲 学 - 1	2	
	哲 学 - 2	2	
	宗 教 学 - 1	2	
	宗 教 学 - 2	2	
	歴 史 学 - 1	2	
	歴 史 学 - 2	2	
	文 学 - 1	2	
	文 学 - 2	2	
	音 楽 - 1	2	
	音 楽 - 2	2	
	日 本 国 憲 法 学	2	
	法 学	2	
	政 治 学 - 1	2	
	政 治 学 - 2	2	
地 理 学 - 1	2		

第3類（杏林大学学則）

	地 理 学	—	2	2	
	経 済 学	—	1	2	
	経 済 学	—	2	2	
	数 学	—	1	2	
	数 学	—	2	2	
	物 理 学	—	1	2	
	物 理 学	—	2	2	
	化 学	—	1	2	
	化 学	—	2	2	
	生 物 学	—	1	2	
	生 物 学	—	2	2	
	心 理 学	—	1	2	
	心 理 学	—	2	2	
	統 計 学	—	1	2	
	統 計 学	—	2	2	
	情 報 処 理			2	
	体 育 理 論			1	
	体 育 実 技	—	1	1	
	体 育 実 技	—	2	1	
専 科 門 目 関 連 D	他 学 部 の 設 置 科 目				
自 科 由 目					

第3類（杏林大学学則）

別表4-3（平成20年度入学生から適用）

外国語学部学科目構成

英語学科

授業科目の名称					単位数		備考
					必修	選択	
専門外国語科目	英語	I	—	1	1		英語及び中国語（留学生は日本語から8単位選択） 必修16単位
	英語	I	—	2	1		
	英語	II	—	1	1		
	英語	II	—	2	1		
	英語	III	—	1	1		
	英語	III	—	2	1		
	英語	IV	—	1	1		
	英語	IV	—	2	1		
	中国語	I	—	1	1		
	中国語	I	—	2	1		
	中国語	II	—	1	1		
	中国語	II	—	2	1		
	中国語	III	—	1	1		
	中国語	III	—	2	1		
	中国語	IV	—	1	1		
	中国語	IV	—	2	1		
	日本語	I	—	1		1	
	日本語	I	—	2		1	
	日本語	II	—	1		1	
	日本語	II	—	2		1	
	日本語	III	—	1		1	
	日本語	III	—	2		1	
	日本語	IV	—	1		1	
	日本語	IV	—	2		1	
	日本語	V	—	1		1	
	日本語	V	—	2		1	
	日本語	VI	—	1		1	
	日本語	VI	—	2		1	
日本語	VII	—	1		1		
日本語	VII	—	2		1		

第3類 (杏林大学学則)

	インテンシブ中国語Ⅰ－1		1	
	インテンシブ中国語Ⅰ－2		1	
	インテンシブ中国語Ⅱ－1		1	
	インテンシブ中国語Ⅱ－2		1	
	インテンシブ中国語Ⅲ－1		1	
	インテンシブ中国語Ⅲ－2		1	
	インテンシブ中国語Ⅳ－1		1	
	インテンシブ中国語Ⅳ－2		1	
専門科目A	日米比較文化概論	2		
	英語の文化誌	2		
	日米関係史概論		2	
	ヨーロッパの社会と文化		2	
	英語演習Ⅰ	1		
	英語演習Ⅱ	1		
	英語演習Ⅲ	1		
	英語演習Ⅳ	1		
	現代英語講読Ⅰ－1	1		
	現代英語講読Ⅰ－2	1		
	現代英語講読Ⅱ－1		1	
	現代英語講読Ⅱ－2		1	
	英語文章表現法－1		1	
	英語文章表現法－2		1	
	英語聴解・討論－1		1	
	英語聴解・討論－2		1	
	実用英語Ⅰ		1	
	実用英語Ⅱ		1	
	実用英語Ⅲ		1	
	実用英語Ⅳ		1	
	実用英語演習Ⅰ	1		
	実用英語演習Ⅱ	1		
	実用英語演習Ⅲ	1		
実用英語演習Ⅳ	1			
マルチメディア・イングリッシュ	1			
ゼミナール－1	2			
ゼミナール－2	2			

第3類 (杏林大学学則)

	ゼミナール - 3	2		
	卒業論文・課題指導		4	
専 門 科 目 B	国際コミュニケーション論-1	2		英語ビジネスコミュニケーションコース
	国際コミュニケーション論-2	2		
	英米文化論 - 1		2	
	英米文化論 - 2		2	
	アメリカ近現代史概説-1		2	
	アメリカ近現代史概説-2		2	
	ヨーロッパ近現代史概説-1		2	
	ヨーロッパ近現代史概説-2		2	
	グローバルビジネス論-1	2		
	グローバルビジネス論-2	2		
	現代北米ビジネス事情-1	2		
	現代北米ビジネス事情-2	2		
	現代ヨーロッパビジネス事情-1	2		
	現代ヨーロッパビジネス事情-2	2		
	アメリカ経済論		2	
	アメリカ政治外交論		2	
	ヨーロッパ経済論		2	
	ヨーロッパ政治外交論		2	
	経営管理総論 I		2	
	経営管理総論 II		2	
	人材マネジメント論 I		2	
	人材マネジメント論 II		2	
	マーケティング総論 I		2	
	マーケティング総論 II		2	
	ビジネスイングリッシュ I	1		
	ビジネスイングリッシュ II	1		
	ビジネスイングリッシュ III	1		
	ビジネスイングリッシュ IV	1		
	ビジネスコミュニケーション演習 I	1		
	ビジネスコミュニケーション演習 II		1	
ビジネスコミュニケーション演習 III		1		
ビジネス情報処理演習 I	1			
ビジネス情報処理演習 II		1		

第3類 (杏林大学学則)

	ビジネス情報処理演習Ⅲ		1	
専 門 科 目 C	英 語 学 ー 1	2		英語教育コース
	英 語 学 ー 2	2		
	英 語 音 声 学 ー 1	2		
	英 語 音 声 学 ー 2	2		
	英 語 史 ー 1		2	
	英 語 史 ー 2		2	
	英 語 学 特 論 ー 1		2	
	英 語 学 特 論 ー 2		2	
	英 語 音 声 学 特 論 ー 1	2		
	英 語 音 声 学 特 論 ー 2	2		
	英 語 教 育 論 ー 1	2		
	英 語 教 育 論 ー 2	2		
	児 童 英 語 教 育 論		2	
	英 米 文 学		2	
	児 童 文 学 論		2	
	社 会 言 語 学 ー 1		2	
	社 会 言 語 学 ー 2		2	
	対 照 言 語 学 ー 1		2	
	対 照 言 語 学 ー 2		2	
	認 知 言 語 学 ー 1		2	
	認 知 言 語 学 ー 2		2	
	言語獲得のメカニズムー1		2	
	言語獲得のメカニズムー2		2	
	バイリンガル教育論ー1		2	
	バイリンガル教育論ー2		2	
	英 語 発 音 聴 取	1		
	英 語 会 話	1		
	英 語 作 文	1		
	英 語 文 法	1		
	児 童 英 語 教 育 教 材 研 究		1	
児 童 英 語 教 育 実 習		1		
社 会 人 英 語 教 育 法 ー 1		1		
社 会 人 英 語 教 育 法 ー 2		1		
英 語 科 教 育 法 ー 1		2		

第3類 (杏林大学学則)

	英語科教育法	－ 2	2
専門 関連 科目 A	比較文化論 I	－ 1	2
	比較文化論 I	－ 2	2
	比較文化論 II	－ 1	2
	比較文化論 II	－ 2	2
	アメリカ社会論	－ 1	2
	アメリカ社会論	－ 2	2
	中国事情		2
	韓国事情		2
	地域圏研究 I	－ 1	2
	地域圏研究 I	－ 2	2
	地域圏研究 II	－ 1	2
	地域圏研究 II	－ 2	2
	地域圏研究 III	－ 1	2
	地域圏研究 III	－ 2	2
	地域圏研究 IV	－ 1	2
	地域圏研究 IV	－ 2	2
	地域圏研究 V	－ 1	2
	地域圏研究 V	－ 2	2
	地域圏研究 VI	－ 1	2
	地域圏研究 VI	－ 2	2
	国際関係論	I	2
	国際関係論	II	2
	経済原論	I	2
	経済原論	II	2
	西洋史	－ 1	2
	西洋史	－ 2	2
	中国史	－ 1	2
	中国史	－ 2	2
	日本史	－ 1	2
	日本史	－ 2	2
言語学	－ 1	2	
言語学	－ 2	2	
言語と文化	－ 1	2	
言語と文化	－ 2	2	

第3類 (杏林大学学則)

	日中文化交流史－1		2	
	日中文化交流史－2		2	
	日韓文化交流史－1		2	
	日韓文化交流史－2		2	
	神話学		2	
	文化人類学		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-1		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-2		2	
	英語総合講座－1		2	
	英語総合講座－2		2	
	英語特論－1		2	
	英語特論－2		2	
	コミュニケーション概論	2		
	基礎演習－1	1		
	基礎演習－2	1		
	キャリア指導Ⅰ－1	1		
	キャリア指導Ⅰ－2	1		
	キャリア指導Ⅱ－1	1		
	キャリア指導Ⅱ－2	1		
	ホスピタリティ実習－1	1		
	ホスピタリティ実習－2	1		
	インターンシップⅠ		1	インターンシップⅠ～Ⅳ のうち1科目選択必修
	インターンシップⅡ		1	
	インターンシップⅢ		1	
	インターンシップⅣ		1	
専門 関連 科目 B	ドイツ語Ⅰ－1		1	
	ドイツ語Ⅰ－2		1	
	ドイツ語Ⅱ－1		1	
	ドイツ語Ⅱ－2		1	
	ドイツ語Ⅲ－1		1	
	ドイツ語Ⅲ－2		1	
	フランス語Ⅰ－1		1	
	フランス語Ⅰ－2		1	
フランス語Ⅱ－1		1		
フランス語Ⅱ－2		1		

第3類 (杏林大学学則)

フランス語 III - 1	1
フランス語 III - 2	1
スペイン語 I - 1	1
スペイン語 I - 2	1
スペイン語 II - 1	1
スペイン語 II - 2	1
スペイン語 III - 1	1
スペイン語 III - 2	1
インドネシア語 I - 1	1
インドネシア語 I - 2	1
インドネシア語 II - 1	1
インドネシア語 II - 2	1
インドネシア語 III - 1	1
インドネシア語 III - 2	1
韓国語 I - 1	1
韓国語 I - 2	1
韓国語 II - 1	1
韓国語 II - 2	1
韓国語 III - 1	1
韓国語 III - 2	1
情報英語 I	1
情報英語 II	1
情報中国語 I	1
情報中国語 II	1
情報日本語	1
口語英語 I - 1	1
口語英語 I - 2	1
口語英語 II - 1	1
口語英語 II - 2	1
口語英語 III - 1	1
口語英語 III - 2	1
口語英語 IV - 1	1
口語英語 IV - 2	1
口語英語 V - 1	1
口語英語 V - 2	1

第3類 (杏林大学学則)

	中国語演習 I	—	1	2
	中国語演習 I	—	2	2
	中国語演習 II	—	1	2
	中国語演習 II	—	2	2
	中国語演習 III	—	1	2
	中国語演習 III	—	2	2
	中国語実習 I	—	1	1
	中国語実習 I	—	2	1
	中国語実習 II	—	1	1
	中国語実習 II	—	2	1
	中国語実習 III	—	1	1
	中国語実習 III	—	2	1
専門 関連 科目 C	哲学	—	1	2
	哲学	—	2	2
	宗教学	—	1	2
	宗教学	—	2	2
	歴史学	—	1	2
	歴史学	—	2	2
	文学	—	1	2
	文学	—	2	2
	音楽	—	1	2
	音楽	—	2	2
	日本国憲法			2
	法学			2
	政治学	—	1	2
	政治学	—	2	2
	地理学	—	1	2
	地理学	—	2	2
	経済学	—	1	2
	経済学	—	2	2
	数学	—	1	2
	数学	—	2	2
物理学	—	1	2	
物理学	—	2	2	
化学	—	1	2	

第3類（杏林大学学則）

	化 学	—	2		2	
	生 物 学	—	1		2	
	生 物 学	—	2		2	
	心 理 学	—	1		2	
	心 理 学	—	2		2	
	統 計 学	—	1		2	
	統 計 学	—	2		2	
	情 報 処 理				2	
	体 育 理 論				1	
	体 育 実 技	—	1		1	
	体 育 実 技	—	2		1	
専 科 門 目 関 連 D	他 学 部 の 設 置 科 目					
自 科 由 目						

中国語・日本語学科

授 業 科 目 の 名 称		単 位 数		備 考
		必 修	選 択	
専 門 外 国 語 科 目	英 語 I	—	1	英語及び中国語（留学生 は日本語から8単位選択） 必修16単位
	英 語 I	—	2	
	英 語 II	—	1	
	英 語 II	—	2	
	英 語 III	—	1	
	英 語 III	—	2	
	英 語 IV	—	1	
	英 語 IV	—	2	
	中 国 語 I	—	1	
	中 国 語 I	—	2	
	中 国 語 II	—	1	
	中 国 語 II	—	2	
	中 国 語 III	—	1	

第3類 (杏林大学学則)

	中国語 III - 2	1			
	中国語 IV - 1	1			
	中国語 IV - 2	1			
	日本語 I - 1		1		
	日本語 I - 2		1		
	日本語 II - 1		1		
	日本語 II - 2		1		
	日本語 III - 1		1		
	日本語 III - 2		1		
	日本語 IV - 1		1		
	日本語 IV - 2		1		
	日本語 V - 1		1		
	日本語 V - 2		1		
	日本語 VI - 1		1		
	日本語 VI - 2		1		
	日本語 VII - 1		1		
	日本語 VII - 2		1		
	インテンシブ中国語 I - 1		1	中国語ビジネスコミュニケーションコース希望者は必修	
	インテンシブ中国語 I - 2		1		
	インテンシブ中国語 II - 1		1		
	インテンシブ中国語 II - 2		1		
	インテンシブ中国語 III - 1		1		
	インテンシブ中国語 III - 2		1		
	インテンシブ中国語 IV - 1		1		
	インテンシブ中国語 IV - 2		1		
専門科目 A	日本文化論	2			
	異文化交流の実際	2			
	民俗学		2		
	東アジア対照言語学 - 1		2		
	東アジア対照言語学 - 2		2		
	朝鮮半島政治外交論		2		
	実務英語 - 1	1			
	実務英語 - 2	1			
	交渉英語 - 1	1			
交渉英語 - 2	1				

第3類 (杏林大学学則)

	ゼミナール - 1	2		
	ゼミナール - 2	2		
	ゼミナール - 3	2		
	卒業論文・課題指導		4	
専 門 科 目 B	日本語教育概説 - 1	2		日本語教育学コース
	日本語教育概説 - 2	2		
	日本語教授法概論 - 1	2		
	日本語教授法概論 - 2	2		
	日本語学概論 - 1	2		
	日本語学概論 - 2	2		
	日本語音声学 - 1		2	
	日本語音声学 - 2		2	
	日本語文法論 - 1		2	
	日本語文法論 - 2		2	
	日本語意味論 - 1		2	
	日本語意味論 - 2		2	
	日本語教材教具論		2	
	試験と評価		2	
	日本語語彙論		2	
	日本語文字表記概説		2	
	日本語史		2	
	日本人の言語行動		2	
	異文化理解とコミュニケーション		2	
	社会言語学 - 1		2	
	社会言語学 - 2		2	
	対照言語学 - 1		2	
	対照言語学 - 2		2	
	認知言語学 - 1		2	
	認知言語学 - 2		2	
	言語獲得のメカニズム - 1		2	
	言語獲得のメカニズム - 2		2	
	バイリンガル教育論 - 1		2	
バイリンガル教育論 - 2		2		
日本語教授法演習 - 1		1		
日本語教授法演習 - 2		1		

第3類 (杏林大学学則)

	日本語教育実習Ⅰ－1		1	
	日本語教育実習Ⅰ－2		1	
	日本語教育実習Ⅱ－1		1	
	日本語教育実習Ⅱ－2		1	
	日本語学演習－1	1		
	日本語学演習－2	1		
	日本語教育演習－1	1		
	日本語教育演習－2	1		
専 門 科 目 C	中国語学概論－1	2		中国語ビジネスコミュニケーションコース
	中国語学概論－2	2		
	中国人のコミュニケーションスタイル-1		2	
	中国人のコミュニケーションスタイル-2		2	
	中国語音声学－1	2		
	中国語音声学－2	2		
	中国語翻訳法－1		2	
	中国語翻訳法－2		2	
	中国語通訳法Ⅰ－1		2	
	中国語通訳法Ⅰ－2		2	
	中国語通訳法Ⅱ－1		2	
	中国語通訳法Ⅱ－2		2	
	中国の自然地理・風俗習慣	2		
	中国思想史		2	
	中国文学史－1		2	
	中国文学史－2		2	
	中国古典概説－1		2	
	中国古典概説－2		2	
	日中比較文化概論		2	
	中国経済概論－1		2	
	中国経済概論－2		2	
	現代中国ビジネス事情		2	
	日中貿易論		2	
	アジア経済論		2	
	中国近現代史－1		2	
	中国近現代史－2		2	
中国政治外交論		2		

第3類 (杏林大学学則)

	実用中国語演習Ⅰ		1	
	実用中国語演習Ⅱ		1	
	中国語文章表現法－1		1	
	中国語文章表現法－2		1	
	中国語聴解・討論－1		1	
	中国語聴解・討論－2		1	
	時事中国語－1		1	
	時事中国語－2		1	
	貿易中国語－1		1	
	貿易中国語－2		1	
	中国語ビジネス会話－1	1		
	中国語ビジネス会話－2	1		
	中国語情報処理－1	1		
	中国語情報処理－2	1		
専門 関 連 科 目 A	比較文化論Ⅰ－1		2	
	比較文化論Ⅰ－2		2	
	比較文化論Ⅱ－1		2	
	比較文化論Ⅱ－2		2	
	アメリカ社会論－1		2	
	アメリカ社会論－2		2	
	中国事情		2	
	韓国事情		2	
	地域圏研究Ⅰ－1		2	
	地域圏研究Ⅰ－2		2	
	地域圏研究Ⅱ－1		2	
	地域圏研究Ⅱ－2		2	
	地域圏研究Ⅲ－1		2	
	地域圏研究Ⅲ－2		2	
	地域圏研究Ⅳ－1		2	
	地域圏研究Ⅳ－2		2	
	地域圏研究Ⅴ－1		2	
地域圏研究Ⅴ－2		2		
地域圏研究Ⅵ－1		2		
地域圏研究Ⅵ－2		2		
国際関係論Ⅰ		2		

第3類 (杏林大学学則)

国際関係論 II		2	
経済原論 I		2	
経済原論 II		2	
西洋史 - 1		2	
西洋史 - 2		2	
中国史 - 1		2	
中国史 - 2		2	
日本史 - 1		2	
日本史 - 2		2	
言語学 - 1		2	
言語学 - 2		2	
言語と文化 - 1		2	
言語と文化 - 2		2	
日中文化交流史 - 1		2	
日中文化交流史 - 2		2	
日韓文化交流史 - 1		2	
日韓文化交流史 - 2		2	
神話学		2	
文化人類学		2	
クリエイティブ・コミュニケーション論-1		2	
クリエイティブ・コミュニケーション論-2		2	
英語総合講座 - 1		2	
英語総合講座 - 2		2	
英語特論 - 1		2	
英語特論 - 2		2	
コミュニケーション概論	2		
基礎演習 - 1	1		
基礎演習 - 2	1		
キャリア指導 I - 1	1		
キャリア指導 I - 2	1		
キャリア指導 II - 1	1		
キャリア指導 II - 2	1		
ホスピタリティ実習 - 1	1		
ホスピタリティ実習 - 2	1		
インターンシップ I		1	

第3類 (杏林大学学則)

	インターンシップⅡ		1	インターンシップⅠ～Ⅳ のうち1科目選択必修
	インターンシップⅢ		1	
	インターンシップⅣ		1	
専門 関連 科目 B	ドイツ語Ⅰ－1		1	
	ドイツ語Ⅰ－2		1	
	ドイツ語Ⅱ－1		1	
	ドイツ語Ⅱ－2		1	
	ドイツ語Ⅲ－1		1	
	ドイツ語Ⅲ－2		1	
	フランス語Ⅰ－1		1	
	フランス語Ⅰ－2		1	
	フランス語Ⅱ－1		1	
	フランス語Ⅱ－2		1	
	フランス語Ⅲ－1		1	
	フランス語Ⅲ－2		1	
	スペイン語Ⅰ－1		1	
	スペイン語Ⅰ－2		1	
	スペイン語Ⅱ－1		1	
	スペイン語Ⅱ－2		1	
	スペイン語Ⅲ－1		1	
	スペイン語Ⅲ－2		1	
	インドネシア語Ⅰ－1		1	
	インドネシア語Ⅰ－2		1	
	インドネシア語Ⅱ－1		1	
	インドネシア語Ⅱ－2		1	
	インドネシア語Ⅲ－1		1	
	インドネシア語Ⅲ－2		1	
	韓国語Ⅰ－1		1	
	韓国語Ⅰ－2		1	
	韓国語Ⅱ－1		1	
	韓国語Ⅱ－2		1	
韓国語Ⅲ－1		1		
韓国語Ⅲ－2		1		
情報英語Ⅰ		1		
情報英語Ⅱ		1		

第3類 (杏林大学学則)

	情 報 中 国 語 I	1	
	情 報 中 国 語 II	1	
	情 報 日 本 語	1	
	口 語 英 語 I - 1	1	
	口 語 英 語 I - 2	1	
	口 語 英 語 II - 1	1	
	口 語 英 語 II - 2	1	
	口 語 英 語 III - 1	1	
	口 語 英 語 III - 2	1	
	口 語 英 語 IV - 1	1	
	口 語 英 語 IV - 2	1	
	口 語 英 語 V - 1	1	
	口 語 英 語 V - 2	1	
	中 国 語 演 習 I - 1	2	
	中 国 語 演 習 I - 2	2	
	中 国 語 演 習 II - 1	2	
	中 国 語 演 習 II - 2	2	
	中 国 語 演 習 III - 1	2	
	中 国 語 演 習 III - 2	2	
	中 国 語 実 習 I - 1	1	
	中 国 語 実 習 I - 2	1	
	中 国 語 実 習 II - 1	1	
	中 国 語 実 習 II - 2	1	
	中 国 語 実 習 III - 1	1	
	中 国 語 実 習 III - 2	1	
専 門 関 連 科 目 C	哲 学 - 1	2	
	哲 学 - 2	2	
	宗 教 学 - 1	2	
	宗 教 学 - 2	2	
	歴 史 学 - 1	2	
	歴 史 学 - 2	2	
	文 学 - 1	2	
	文 学 - 2	2	
	音 楽 - 1	2	
	音 楽 - 2	2	
	日 本 国 憲 法	2	

第3類（杏林大学学則）

	法			学		2	
	政	治	学	—	1	2	
	政	治	学	—	2	2	
	地	理	学	—	1	2	
	地	理	学	—	2	2	
	経	済	学	—	1	2	
	経	済	学	—	2	2	
	数		学	—	1	2	
	数		学	—	2	2	
	物	理	学	—	1	2	
	物	理	学	—	2	2	
	化		学	—	1	2	
	化		学	—	2	2	
	生	物	学	—	1	2	
	生	物	学	—	2	2	
	心	理	学	—	1	2	
	心	理	学	—	2	2	
	統	計	学	—	1	2	
	統	計	学	—	2	2	
	情	報	処	理		2	
	体	育	理	論		1	
	体	育	実	技	—	1	
	体	育	実	技	—	2	
専科 専門 関連 科目	他学部設置科目						
自由 科目							

応用コミュニケーション学科

授業科目の名称	単位数		備考
	必修	選択	
英語 I — 1	1		英語及び中国語（留学生）

第3類 (杏林大学学則)

専 門 外 国 語 科 目	英 語	I	—	2	1	は日本語から8単位選択) 必修16単位
	英 語	II	—	1	1	
	英 語	II	—	2	1	
	英 語	III	—	1	1	
	英 語	III	—	2	1	
	英 語	IV	—	1	1	
	英 語	IV	—	2	1	
	中 国 語	I	—	1	1	
	中 国 語	I	—	2	1	
	中 国 語	II	—	1	1	
	中 国 語	II	—	2	1	
	中 国 語	III	—	1	1	
	中 国 語	III	—	2	1	
	中 国 語	IV	—	1	1	
	中 国 語	IV	—	2	1	
	日 本 語	I	—	1	1	
	日 本 語	I	—	2	1	
	日 本 語	II	—	1	1	
	日 本 語	II	—	2	1	
	日 本 語	III	—	1	1	
	日 本 語	III	—	2	1	
	日 本 語	IV	—	1	1	
	日 本 語	IV	—	2	1	
	日 本 語	V	—	1	1	
	日 本 語	V	—	2	1	
	日 本 語	VI	—	1	1	
	日 本 語	VI	—	2	1	
	日 本 語	VII	—	1	1	
	日 本 語	VII	—	2	1	
インテンシブ中国語	I	—	1	1		
インテンシブ中国語	I	—	2	1		
インテンシブ中国語	II	—	1	1		
インテンシブ中国語	II	—	2	1		
インテンシブ中国語	III	—	1	1		
インテンシブ中国語	III	—	2	1		

第3類 (杏林大学学則)

	インテンシブ中国語Ⅳ－1		1	
	インテンシブ中国語Ⅳ－2		1	
専 門 科 目 A	応用コミュニケーション論	2		
	生活文化論Ⅰ		2	
	生活文化論Ⅱ		2	
	地域の伝統文化		2	
	英語演習Ⅰ－1	1		
	英語演習Ⅰ－2	1		
	英語演習Ⅱ－1	1		
	英語演習Ⅱ－2	1		
	TOEIC演習Ⅰ－1		1	
	TOEIC演習Ⅰ－2		1	
	TOEIC演習Ⅱ－1		1	
	TOEIC演習Ⅱ－2		1	
	TOEIC演習Ⅲ－1		1	
	TOEIC演習Ⅲ－2		1	
	日本語表現法－1	2		
	日本語表現法－2	2		
	ITイングリッシュ		1	
	ブロードキャスト・イングリッシュ		1	
	ゼミナール－1	2		
	ゼミナール－2	2		
ゼミナール－3	2			
卒業論文・課題指導		4		
専 門 科 目 B	感性コミュニケーション論	2		表現メディアコース
	情報社会論	2		
	文化産業論	2		
	表象文化論	2		
	大衆文化論Ⅰ－1		2	
	大衆文化論Ⅰ－2		2	
	大衆文化論Ⅱ－1		2	
	大衆文化論Ⅱ－2		2	
	ジャーナリズム論		2	
	印刷出版文化論－1		2	
印刷出版文化論－2		2		

第3類 (杏林大学学則)

	翻訳・翻案文化論	2	
	映像文化論	2	
	演劇文化論	2	
	身体表現論	2	
	空間表現論	2	
	意匠・デザイン論	2	
	情報発信特論Ⅰ	2	
	情報発信特論Ⅱ	2	
	言語芸術表現論Ⅰ	2	
	言語芸術表現論Ⅱ	2	
	言語芸術表現論Ⅲ	2	
	比較文学論	2	
	レトリック論	2	
	ファンタジー論	2	
	こころと身体のメカニズムⅠ	2	
	こころと身体のメカニズムⅡ	2	
	こころと身体のメカニズムⅢ	2	
	言語芸術表現演習Ⅰ	1	
	言語芸術表現演習Ⅱ	1	
	言語芸術表現演習Ⅲ	1	
	クリエイティブ・コミュニケーション演習Ⅰ	1	
	クリエイティブ・コミュニケーション演習Ⅱ	1	
	クリエイティブ・コミュニケーション演習Ⅲ	1	
	コンテンツ・デザイン実習	1	
	カルチャー・マネジメント実習	1	
	アドバタイズメント・デザイン実習	1	
	ライフスタイル・コーディネート実習	1	
	アーツ・セラピー実習	1	
専 門 科 目 C	観光文化論入門	2	観光文化コース
	ホスピタリティ・コミュニケーション論入門	2	
	ホスピタリティ論Ⅰ-1	2	
	ホスピタリティ論Ⅰ-2	2	
	ホスピタリティ論Ⅱ-1	2	
	ホスピタリティ論Ⅱ-2	2	
	宿泊産業概論	2	

第3類 (杏林大学学則)

宿泊産業経営論	2	
旅行産業概論	2	
旅行産業経営論	2	
フードビジネス概論	2	
フードビジネス経営論	2	
観光文化特論Ⅰ－1	2	
観光文化特論Ⅰ－2	2	
観光文化特論Ⅱ－1	2	
観光文化特論Ⅱ－2	2	
観光文化特論Ⅲ－1	2	
観光文化特論Ⅲ－2	2	
観光文化特論Ⅳ－1	2	
観光文化特論Ⅳ－2	2	
観光保健論－1	2	
観光保健論－2	2	
観光地理Ⅰ	2	
観光地理Ⅱ	2	
観光業務論Ⅰ	2	
観光業務論Ⅱ	2	
観光業務論Ⅲ	2	
観光業務論Ⅳ	2	
観光業務論Ⅴ－1	2	
観光業務論Ⅴ－2	2	
観光業務特論Ⅰ	2	
観光業務特論Ⅱ	2	
ホスピタリティ演習－1	1	
ホスピタリティ演習－2	1	
ホスピタリティ演習－3	1	
観光手話－1	1	
観光手話－2	1	
観光英語－1	1	1
観光英語－2	1	1
観光日本語	1	
観光中国語	1	
観光実習	1	

第3類 (杏林大学学則)

専門 関連 科目 A	比較文化論 I - 1	2
	比較文化論 I - 2	2
	比較文化論 II - 1	2
	比較文化論 II - 2	2
	アメリカ社会論 - 1	2
	アメリカ社会論 - 2	2
	中国事情	2
	韓国事情	2
	地域圏研究 I - 1	2
	地域圏研究 I - 2	2
	地域圏研究 II - 1	2
	地域圏研究 II - 2	2
	地域圏研究 III - 1	2
	地域圏研究 III - 2	2
	地域圏研究 IV - 1	2
	地域圏研究 IV - 2	2
	地域圏研究 V - 1	2
	地域圏研究 V - 2	2
	地域圏研究 VI - 1	2
	地域圏研究 VI - 2	2
	国際関係論 I	2
	国際関係論 II	2
	経済原論 I	2
	経済原論 II	2
	西洋史 - 1	2
	西洋史 - 2	2
	中国史 - 1	2
	中国史 - 2	2
	日本史 - 1	2
	日本史 - 2	2
	言語学 - 1	2
	言語学 - 2	2
言語と文化 - 1	2	
言語と文化 - 2	2	
日中文化交流史 - 1	2	

第3類 (杏林大学学則)

	日中文化交流史 - 2		2	
	日韓文化交流史 - 1		2	
	日韓文化交流史 - 2		2	
	神話学		2	
	文化人類学		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-1		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-2		2	
	英語総合講座 - 1		2	
	英語総合講座 - 2		2	
	英語特論 - 1		2	
	英語特論 - 2		2	
	コミュニケーション概論	2		
	基礎演習 - 1	1		
	基礎演習 - 2	1		
	キャリア指導 I - 1	1		
	キャリア指導 I - 2	1		
	キャリア指導 II - 1	1		
	キャリア指導 II - 2	1		
	ホスピタリティ実習 - 1	1		
	ホスピタリティ実習 - 2	1		
	インターンシップ I		1	インターンシップ I～IV のうち1科目選択必修
	インターンシップ II		1	
	インターンシップ III		1	
	インターンシップ IV		1	
専門 関連 科目 B	ドイツ語 I - 1		1	
	ドイツ語 I - 2		1	
	ドイツ語 II - 1		1	
	ドイツ語 II - 2		1	
	ドイツ語 III - 1		1	
	ドイツ語 III - 2		1	
	フランス語 I - 1		1	
	フランス語 I - 2		1	
	フランス語 II - 1		1	
フランス語 II - 2		1		
	フランス語 III - 1		1	

第3類 (杏林大学学則)

フランス語 III - 2	1
スペイン語 I - 1	1
スペイン語 I - 2	1
スペイン語 II - 1	1
スペイン語 II - 2	1
スペイン語 III - 1	1
スペイン語 III - 2	1
インドネシア語 I - 1	1
インドネシア語 I - 2	1
インドネシア語 II - 1	1
インドネシア語 II - 2	1
インドネシア語 III - 1	1
インドネシア語 III - 2	1
韓国語 I - 1	1
韓国語 I - 2	1
韓国語 II - 1	1
韓国語 II - 2	1
韓国語 III - 1	1
韓国語 III - 2	1
情報英語 I	1
情報英語 II	1
情報中国語 I	1
情報中国語 II	1
情報日本語	1
口語英語 I - 1	1
口語英語 I - 2	1
口語英語 II - 1	1
口語英語 II - 2	1
口語英語 III - 1	1
口語英語 III - 2	1
口語英語 IV - 1	1
口語英語 IV - 2	1
口語英語 V - 1	1
口語英語 V - 2	1
中国語演習 I - 1	2

第3類 (杏林大学学則)

	中国語演習 I	-	2	2	
	中国語演習 II	-	1	2	
	中国語演習 II	-	2	2	
	中国語演習 III	-	1	2	
	中国語演習 III	-	2	2	
	中国語実習 I	-	1	1	
	中国語実習 I	-	2	1	
	中国語実習 II	-	1	1	
	中国語実習 II	-	2	1	
	中国語実習 III	-	1	1	
	中国語実習 III	-	2	1	
専門 関連 科目 C	哲学	-	1	2	
	哲学	-	2	2	
	宗教学	-	1	2	
	宗教学	-	2	2	
	歴史学	-	1	2	
	歴史学	-	2	2	
	文学	-	1	2	
	文学	-	2	2	
	音楽	-	1	2	
	音楽	-	2	2	
	日本国憲法			2	
	法学			2	
	政治学	-	1	2	
	政治学	-	2	2	
	地理学	-	1	2	
	地理学	-	2	2	
	経済学	-	1	2	
	経済学	-	2	2	
	数学	-	1	2	
	数学	-	2	2	
物理学	-	1	2		
物理学	-	2	2		
化学	-	1	2		
化学	-	2	2		

第3類（杏林大学学則）

	生 物 学 ー 1		2	
	生 物 学 ー 2		2	
	心 理 学 ー 1		2	
	心 理 学 ー 2		2	
	統 計 学 ー 1		2	
	統 計 学 ー 2		2	
	情 報 処 理 学		2	
	体 育 理 論		1	
	体 育 実 技 ー 1		1	
	体 育 実 技 ー 2		1	
専 科 門 関 連 D	他 学 部 の 設 置 科 目			
自 科 由 目				

第3類（杏林大学学則）

別表4-4（平成22年度入学生から適用）

外国語学部学科目構成

英語学科

授業科目の名称					単位数		備考
					必修	選択	
専門外国語科目	英語	I	—	1	1		英語及び中国語（留学生は日本語から8単位選択） 必修16単位
	英語	I	—	2	1		
	英語	II	—	1	1		
	英語	II	—	2	1		
	英語	III	—	1	1		
	英語	III	—	2	1		
	英語	IV	—	1	1		
	英語	IV	—	2	1		
	中国語	I	—	1	1		
	中国語	I	—	2	1		
	中国語	II	—	1	1		
	中国語	II	—	2	1		
	中国語	III	—	1	1		
	中国語	III	—	2	1		
	中国語	IV	—	1	1		
	中国語	IV	—	2	1		
	日本語	I	—	1		1	
	日本語	I	—	2		1	
	日本語	II	—	1		1	
	日本語	II	—	2		1	
	日本語	III	—	1		1	
	日本語	III	—	2		1	
	日本語	IV	—	1		1	
	日本語	IV	—	2		1	
	日本語	V	—	1		1	
	日本語	V	—	2		1	
	日本語	VI	—	1		1	
	日本語	VI	—	2		1	
日本語	VII	—	1		1		
日本語	VII	—	2		1		

第3類 (杏林大学学則)

	インテンシブ中国語Ⅰ－1		1	
	インテンシブ中国語Ⅰ－2		1	
	インテンシブ中国語Ⅱ－1		1	
	インテンシブ中国語Ⅱ－2		1	
	インテンシブ中国語Ⅲ－1		1	
	インテンシブ中国語Ⅲ－2		1	
	インテンシブ中国語Ⅳ－1		1	
	インテンシブ中国語Ⅳ－2		1	
専門科目 A	日米比較文化概論	2		
	英語の文化誌	2		
	日米関係史概論		2	
	ヨーロッパの社会と文化		2	
	英語演習Ⅰ	1		
	英語演習Ⅱ	1		
	英語演習Ⅲ	1		
	英語演習Ⅳ	1		
	現代英語講読Ⅰ－1	1		
	現代英語講読Ⅰ－2	1		
	現代英語講読Ⅱ－1		1	
	現代英語講読Ⅱ－2		1	
	英語文章表現法－1		1	
	英語文章表現法－2		1	
	英語聴解・討論－1		1	
	英語聴解・討論－2		1	
	実用英語Ⅰ		1	
	実用英語Ⅱ		1	
	実用英語Ⅲ		1	
	実用英語Ⅳ		1	
	実用英語演習Ⅰ	1		
	実用英語演習Ⅱ	1		
	実用英語演習Ⅲ	1		
実用英語演習Ⅳ	1			
マルチメディア・イングリッシュ	1			
ゼミナール－1	2			
ゼミナール－2	2			

第3類 (杏林大学学則)

	ゼミナール - 3	2		
	卒業論文・課題指導		4	
専 門 科 目 B	国際コミュニケーション論-1	2		英語ビジネスコミュニケーションコース
	国際コミュニケーション論-2	2		
	英米文化論 - 1		2	
	英米文化論 - 2		2	
	アメリカ近現代史概説-1		2	
	アメリカ近現代史概説-2		2	
	ヨーロッパ近現代史概説-1		2	
	ヨーロッパ近現代史概説-2		2	
	グローバルビジネス論-1	2		
	グローバルビジネス論-2	2		
	現代北米ビジネス事情-1	2		
	現代北米ビジネス事情-2	2		
	現代ヨーロッパビジネス事情-1	2		
	現代ヨーロッパビジネス事情-2	2		
	アメリカ経済論		2	
	アメリカ政治外交論		2	
	ヨーロッパ経済論		2	
	ヨーロッパ政治外交論		2	
	経営管理総論 I		2	
	経営管理総論 II		2	
	人材マネジメント論 I		2	
	人材マネジメント論 II		2	
	マーケティング総論 I		2	
	マーケティング総論 II		2	
	ビジネスイングリッシュ I	1		
	ビジネスイングリッシュ II	1		
	ビジネスイングリッシュ III	1		
	ビジネスイングリッシュ IV	1		
	ビジネスコミュニケーション演習 I	1		
	ビジネスコミュニケーション演習 II		1	
ビジネスコミュニケーション演習 III		1		
ビジネス情報処理演習 I	1			
ビジネス情報処理演習 II		1		

第3類 (杏林大学学則)

	ビジネス情報処理演習Ⅲ		1	
専 門 科 目 C	英 語 学 ー 1	2		英語教育コース
	英 語 学 ー 2	2		
	英 語 音 声 学 ー 1	2		
	英 語 音 声 学 ー 2	2		
	英 語 史 ー 1		2	
	英 語 史 ー 2		2	
	英 語 学 特 論 ー 1		2	
	英 語 学 特 論 ー 2		2	
	英 語 音 声 学 特 論 ー 1	2		
	英 語 音 声 学 特 論 ー 2	2		
	英 語 教 育 論 ー 1	2		
	英 語 教 育 論 ー 2	2		
	児 童 英 語 教 育 論		2	
	英 米 文 学		2	
	児 童 文 学 論		2	
	社 会 言 語 学 ー 1		2	
	社 会 言 語 学 ー 2		2	
	対 照 言 語 学 ー 1		2	
	対 照 言 語 学 ー 2		2	
	認 知 言 語 学 ー 1		2	
	認 知 言 語 学 ー 2		2	
	言語獲得のメカニズムー1		2	
	言語獲得のメカニズムー2		2	
	バイリンガル教育論ー1		2	
	バイリンガル教育論ー2		2	
	英 語 発 音 聴 取	1		
	英 語 会 話	1		
	英 語 作 文	1		
	英 語 文 法	1		
	児 童 英 語 教 育 教 材 研 究		1	
児 童 英 語 教 育 実 習		1		
社 会 人 英 語 教 育 法 ー 1		1		
社 会 人 英 語 教 育 法 ー 2		1		
英 語 科 教 育 法 ー 1		2		

第3類 (杏林大学学則)

	英語科教育法 - 2		2
専門 関連 科目 A	比較文化論 I - 1		2
	比較文化論 I - 2		2
	比較文化論 II - 1		2
	比較文化論 II - 2		2
	アメリカ社会論 - 1		2
	アメリカ社会論 - 2		2
	中国事情		2
	韓国事情		2
	地域圏研究 I - 1		2
	地域圏研究 I - 2		2
	地域圏研究 II - 1		2
	地域圏研究 II - 2		2
	地域圏研究 III - 1		2
	地域圏研究 III - 2		2
	地域圏研究 IV - 1		2
	地域圏研究 IV - 2		2
	地域圏研究 V - 1		2
	地域圏研究 V - 2		2
	地域圏研究 VI - 1		2
	地域圏研究 VI - 2		2
	国際関係論 I		2
	国際関係論 II		2
	経済原論 I		2
	経済原論 II		2
	西洋史 - 1		2
	西洋史 - 2		2
	中国史 - 1		2
	中国史 - 2		2
	日本史 - 1		2
	日本史 - 2		2
言語学 - 1		2	
言語学 - 2		2	
言語と文化 - 1		2	
言語と文化 - 2		2	

第3類 (杏林大学学則)

	日中文化交流史－1		2	
	日中文化交流史－2		2	
	日韓文化交流史－1		2	
	日韓文化交流史－2		2	
	神話学		2	
	文化人類学		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-1		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-2		2	
	英語総合講座－1		2	
	英語総合講座－2		2	
	英語特論－1		2	
	英語特論－2		2	
	コミュニケーション概論	2		
	基礎演習－1	1		
	基礎演習－2	1		
	キャリア指導Ⅰ－1	1		
	キャリア指導Ⅰ－2	1		
	キャリア指導Ⅱ－1	1		
	キャリア指導Ⅱ－2	1		
	ホスピタリティ実習－1	1		
	ホスピタリティ実習－2	1		
	インターンシップⅠ		1	インターンシップⅠ～Ⅳ のうち1科目選択必修
	インターンシップⅡ		1	
	インターンシップⅢ		1	
	インターンシップⅣ		1	
専門 関連 科目 B	ドイツ語Ⅰ－1		1	
	ドイツ語Ⅰ－2		1	
	ドイツ語Ⅱ－1		1	
	ドイツ語Ⅱ－2		1	
	ドイツ語Ⅲ－1		1	
	ドイツ語Ⅲ－2		1	
	フランス語Ⅰ－1		1	
	フランス語Ⅰ－2		1	
フランス語Ⅱ－1		1		
フランス語Ⅱ－2		1		

第3類 (杏林大学学則)

フランス語 III - 1	1
フランス語 III - 2	1
スペイン語 I - 1	1
スペイン語 I - 2	1
スペイン語 II - 1	1
スペイン語 II - 2	1
スペイン語 III - 1	1
スペイン語 III - 2	1
インドネシア語 I - 1	1
インドネシア語 I - 2	1
インドネシア語 II - 1	1
インドネシア語 II - 2	1
インドネシア語 III - 1	1
インドネシア語 III - 2	1
韓国語 I - 1	1
韓国語 I - 2	1
韓国語 II - 1	1
韓国語 II - 2	1
韓国語 III - 1	1
韓国語 III - 2	1
情報英語 I	1
情報英語 II	1
情報中国語 I	1
情報中国語 II	1
情報日本語	1
口語英語 I - 1	1
口語英語 I - 2	1
口語英語 II - 1	1
口語英語 II - 2	1
口語英語 III - 1	1
口語英語 III - 2	1
口語英語 IV - 1	1
口語英語 IV - 2	1
口語英語 V - 1	1
口語英語 V - 2	1

第3類 (杏林大学学則)

	中国語演習 I - 1	2	
	中国語演習 I - 2	2	
	中国語演習 II - 1	2	
	中国語演習 II - 2	2	
	中国語演習 III - 1	2	
	中国語演習 III - 2	2	
	中国語実習 I - 1	1	
	中国語実習 I - 2	1	
	中国語実習 II - 1	1	
	中国語実習 II - 2	1	
	中国語実習 III - 1	1	
	中国語実習 III - 2	1	
専門 関連 科目 C	哲学 - 1	2	
	哲学 - 2	2	
	宗教学 - 1	2	
	宗教学 - 2	2	
	歴史学 - 1	2	
	歴史学 - 2	2	
	文学 - 1	2	
	文学 - 2	2	
	音楽 - 1	2	
	音楽 - 2	2	
	日本国憲法学	2	
	法学	2	
	政治学 - 1	2	
	政治学 - 2	2	
	地理学 - 1	2	
	地理学 - 2	2	
	経済学 - 1	2	
	経済学 - 2	2	
	数学 - 1	2	
	数学 - 2	2	
物理学 - 1	2		
物理学 - 2	2		
化学 - 1	2		

第3類（杏林大学学則）

	化 学	—	2		2	
	生 物 学	—	1		2	
	生 物 学	—	2		2	
	心 理 学	—	1		2	
	心 理 学	—	2		2	
	統 計 学	—	1		2	
	統 計 学	—	2		2	
	情 報 処 理				2	
	体 育 理 論				1	
	体 育 実 技	—	1		1	
	体 育 実 技	—	2		1	
専 科 門 目 関 連 D	他 学 部 の 設 置 科 目					
自 科 由 目						

中国語・日本語学科

授 業 科 目 の 名 称		単 位 数		備 考
		必 修	選 択	
専 門 外 国 語 科 目	英 語 I	—	1	英語及び中国語（留学生 は日本語から8単位選択） 必修16単位
	英 語 I	—	2	
	英 語 II	—	1	
	英 語 II	—	2	
	英 語 III	—	1	
	英 語 III	—	2	
	英 語 IV	—	1	
	英 語 IV	—	2	
	中 国 語 I	—	1	
	中 国 語 I	—	2	
	中 国 語 II	—	1	
	中 国 語 II	—	2	
	中 国 語 III	—	1	

第3類 (杏林大学学則)

	中国語 III - 2	1			
	中国語 IV - 1	1			
	中国語 IV - 2	1			
	日本語 I - 1		1		
	日本語 I - 2		1		
	日本語 II - 1		1		
	日本語 II - 2		1		
	日本語 III - 1		1		
	日本語 III - 2		1		
	日本語 IV - 1		1		
	日本語 IV - 2		1		
	日本語 V - 1		1		
	日本語 V - 2		1		
	日本語 VI - 1		1		
	日本語 VI - 2		1		
	日本語 VII - 1		1		
	日本語 VII - 2		1		
	インテンシブ中国語 I - 1		1	中国語ビジネスコミュニケーションコース希望者は必修	
	インテンシブ中国語 I - 2		1		
	インテンシブ中国語 II - 1		1		
	インテンシブ中国語 II - 2		1		
	インテンシブ中国語 III - 1		1		
	インテンシブ中国語 III - 2		1		
	インテンシブ中国語 IV - 1		1		
	インテンシブ中国語 IV - 2		1		
専門科目 A	日本文化論	2			
	異文化交流の実際	2			
	民俗学		2		
	東アジア対照言語学 - 1		2		
	東アジア対照言語学 - 2		2		
	朝鮮半島政治外交論		2		
	実務英語 - 1	1			
	実務英語 - 2	1			
交渉英語 - 1	1				
交渉英語 - 2	1				

第3類 (杏林大学学則)

	ゼミナール - 1	2		
	ゼミナール - 2	2		
	ゼミナール - 3	2		
	卒業論文・課題指導		4	
専 門 科 目 B	日本語教育概説 - 1	2		日本語教育学コース
	日本語教育概説 - 2	2		
	日本語教授法概論 - 1	2		
	日本語教授法概論 - 2	2		
	日本語学概論 - 1	2		
	日本語学概論 - 2	2		
	日本語音声学 - 1		2	
	日本語音声学 - 2		2	
	日本語文法論 - 1		2	
	日本語文法論 - 2		2	
	日本語意味論 - 1		2	
	日本語意味論 - 2		2	
	日本語教材教具論		2	
	試験と評価		2	
	日本語語彙論		2	
	日本語文字表記概説		2	
	日本語史		2	
	日本人の言語行動		2	
	異文化理解とコミュニケーション		2	
	社会言語学 - 1		2	
	社会言語学 - 2		2	
	対照言語学 - 1		2	
	対照言語学 - 2		2	
	認知言語学 - 1		2	
	認知言語学 - 2		2	
	言語獲得のメカニズム - 1		2	
	言語獲得のメカニズム - 2		2	
	バイリンガル教育論 - 1		2	
バイリンガル教育論 - 2		2		
日本語教授法演習 - 1		1		
日本語教授法演習 - 2		1		

第3類 (杏林大学学則)

	日本語教育実習Ⅰ－1		1	
	日本語教育実習Ⅰ－2		1	
	日本語教育実習Ⅱ－1		1	
	日本語教育実習Ⅱ－2		1	
	日本語学演習－1	1		
	日本語学演習－2	1		
	日本語教育演習－1	1		
	日本語教育演習－2	1		
専 門 科 目 C	中国語学概論－1	2		中国語ビジネスコミュニケーションコース
	中国語学概論－2	2		
	中国人のコミュニケーションスタイル-1		2	
	中国人のコミュニケーションスタイル-2		2	
	中国語音声学－1	2		
	中国語音声学－2	2		
	中国語翻訳法－1		2	
	中国語翻訳法－2		2	
	中国語通訳法Ⅰ－1		2	
	中国語通訳法Ⅰ－2		2	
	中国語通訳法Ⅱ－1		2	
	中国語通訳法Ⅱ－2		2	
	中国の自然地理・風俗習慣	2		
	中国思想史		2	
	中国文学史－1		2	
	中国文学史－2		2	
	中国古典概説－1		2	
	中国古典概説－2		2	
	日中比較文化概論		2	
	中国経済概論－1		2	
	中国経済概論－2		2	
	現代中国ビジネス事情		2	
	日中貿易論		2	
	アジア経済論		2	
	中国近現代史－1		2	
	中国近現代史－2		2	
	中国政治外交論		2	

第3類 (杏林大学学則)

	実用中国語演習Ⅰ		1	
	実用中国語演習Ⅱ		1	
	中国語文章表現法－1		1	
	中国語文章表現法－2		1	
	中国語聴解・討論－1		1	
	中国語聴解・討論－2		1	
	時事中国語－1		1	
	時事中国語－2		1	
	貿易中国語－1		1	
	貿易中国語－2		1	
	中国語ビジネス会話－1	1		
	中国語ビジネス会話－2	1		
	中国語情報処理－1	1		
	中国語情報処理－2	1		
専門 関 連 科 目 A	比較文化論Ⅰ－1		2	
	比較文化論Ⅰ－2		2	
	比較文化論Ⅱ－1		2	
	比較文化論Ⅱ－2		2	
	アメリカ社会論－1		2	
	アメリカ社会論－2		2	
	中国事情		2	
	韓国事情		2	
	地域圏研究Ⅰ－1		2	
	地域圏研究Ⅰ－2		2	
	地域圏研究Ⅱ－1		2	
	地域圏研究Ⅱ－2		2	
	地域圏研究Ⅲ－1		2	
	地域圏研究Ⅲ－2		2	
	地域圏研究Ⅳ－1		2	
	地域圏研究Ⅳ－2		2	
	地域圏研究Ⅴ－1		2	
地域圏研究Ⅴ－2		2		
地域圏研究Ⅵ－1		2		
地域圏研究Ⅵ－2		2		
国際関係論Ⅰ		2		

第3類 (杏林大学学則)

国際関係論 II		2	
経済原論 I		2	
経済原論 II		2	
西洋史 - 1		2	
西洋史 - 2		2	
中国史 - 1		2	
中国史 - 2		2	
日本史 - 1		2	
日本史 - 2		2	
言語学 - 1		2	
言語学 - 2		2	
言語と文化 - 1		2	
言語と文化 - 2		2	
日中文化交流史 - 1		2	
日中文化交流史 - 2		2	
日韓文化交流史 - 1		2	
日韓文化交流史 - 2		2	
神話学		2	
文化人類学		2	
クリエイティブ・コミュニケーション論-1		2	
クリエイティブ・コミュニケーション論-2		2	
英語総合講座 - 1		2	
英語総合講座 - 2		2	
英語特論 - 1		2	
英語特論 - 2		2	
コミュニケーション概論	2		
基礎演習 - 1	1		
基礎演習 - 2	1		
キャリア指導 I - 1	1		
キャリア指導 I - 2	1		
キャリア指導 II - 1	1		
キャリア指導 II - 2	1		
ホスピタリティ実習 - 1	1		
ホスピタリティ実習 - 2	1		
インターンシップ I		1	

第3類 (杏林大学学則)

	インターンシップⅡ		1	インターンシップⅠ～Ⅳ のうち1科目選択必修
	インターンシップⅢ		1	
	インターンシップⅣ		1	
専門 関連 科目 B	ドイツ語Ⅰ－1		1	
	ドイツ語Ⅰ－2		1	
	ドイツ語Ⅱ－1		1	
	ドイツ語Ⅱ－2		1	
	ドイツ語Ⅲ－1		1	
	ドイツ語Ⅲ－2		1	
	フランス語Ⅰ－1		1	
	フランス語Ⅰ－2		1	
	フランス語Ⅱ－1		1	
	フランス語Ⅱ－2		1	
	フランス語Ⅲ－1		1	
	フランス語Ⅲ－2		1	
	スペイン語Ⅰ－1		1	
	スペイン語Ⅰ－2		1	
	スペイン語Ⅱ－1		1	
	スペイン語Ⅱ－2		1	
	スペイン語Ⅲ－1		1	
	スペイン語Ⅲ－2		1	
	インドネシア語Ⅰ－1		1	
	インドネシア語Ⅰ－2		1	
	インドネシア語Ⅱ－1		1	
	インドネシア語Ⅱ－2		1	
	インドネシア語Ⅲ－1		1	
	インドネシア語Ⅲ－2		1	
	韓国語Ⅰ－1		1	
	韓国語Ⅰ－2		1	
	韓国語Ⅱ－1		1	
	韓国語Ⅱ－2		1	
韓国語Ⅲ－1		1		
韓国語Ⅲ－2		1		
情報英語Ⅰ		1		
情報英語Ⅱ		1		

第3類 (杏林大学学則)

	情 報 中 国 語 I		1
	情 報 中 国 語 II		1
	情 報 日 本 語		1
	口 語 英 語 I - 1		1
	口 語 英 語 I - 2		1
	口 語 英 語 II - 1		1
	口 語 英 語 II - 2		1
	口 語 英 語 III - 1		1
	口 語 英 語 III - 2		1
	口 語 英 語 IV - 1		1
	口 語 英 語 IV - 2		1
	口 語 英 語 V - 1		1
	口 語 英 語 V - 2		1
	中 国 語 演 習 I - 1		2
	中 国 語 演 習 I - 2		2
	中 国 語 演 習 II - 1		2
	中 国 語 演 習 II - 2		2
	中 国 語 演 習 III - 1		2
	中 国 語 演 習 III - 2		2
	中 国 語 実 習 I - 1		1
	中 国 語 実 習 I - 2		1
	中 国 語 実 習 II - 1		1
	中 国 語 実 習 II - 2		1
	中 国 語 実 習 III - 1		1
	中 国 語 実 習 III - 2		1
専 門 関 連 科 目 C	哲 学 - 1		2
	哲 学 - 2		2
	宗 教 学 - 1		2
	宗 教 学 - 2		2
	歴 史 学 - 1		2
	歴 史 学 - 2		2
	文 学 - 1		2
	文 学 - 2		2
	音 楽 - 1		2
	音 楽 - 2		2
	日 本 国 憲 法		2

第3類（杏林大学学則）

	法			学		2	
	政	治	学	—	1	2	
	政	治	学	—	2	2	
	地	理	学	—	1	2	
	地	理	学	—	2	2	
	経	済	学	—	1	2	
	経	済	学	—	2	2	
	数		学	—	1	2	
	数		学	—	2	2	
	物	理	学	—	1	2	
	物	理	学	—	2	2	
	化		学	—	1	2	
	化		学	—	2	2	
	生	物	学	—	1	2	
	生	物	学	—	2	2	
	心	理	学	—	1	2	
	心	理	学	—	2	2	
	統	計	学	—	1	2	
	統	計	学	—	2	2	
	情	報	処	理		2	
	体	育	理	論		1	
	体	育	実	技	—	1	
	体	育	実	技	—	2	
専科 専門 関連 目D	他学部 の 設置科目						
自科 自由 目							

応用コミュニケーション学科

授業科目の名称	単位数		備考
	必修	選択	
英語 I — 1	1		英語及び中国語（留学生）

第3類 (杏林大学学則)

専 門 外 国 語 科 目	英 語	I	—	2	1	は日本語から8単位選択) 必修16単位
	英 語	II	—	1	1	
	英 語	II	—	2	1	
	英 語	III	—	1	1	
	英 語	III	—	2	1	
	英 語	IV	—	1	1	
	英 語	IV	—	2	1	
	中 国 語	I	—	1	1	
	中 国 語	I	—	2	1	
	中 国 語	II	—	1	1	
	中 国 語	II	—	2	1	
	中 国 語	III	—	1	1	
	中 国 語	III	—	2	1	
	中 国 語	IV	—	1	1	
	中 国 語	IV	—	2	1	
	日 本 語	I	—	1	1	
	日 本 語	I	—	2	1	
	日 本 語	II	—	1	1	
	日 本 語	II	—	2	1	
	日 本 語	III	—	1	1	
	日 本 語	III	—	2	1	
	日 本 語	IV	—	1	1	
	日 本 語	IV	—	2	1	
	日 本 語	V	—	1	1	
	日 本 語	V	—	2	1	
	日 本 語	VI	—	1	1	
	日 本 語	VI	—	2	1	
	日 本 語	VII	—	1	1	
	日 本 語	VII	—	2	1	
インテンシブ中国語	I	—	1	1		
インテンシブ中国語	I	—	2	1		
インテンシブ中国語	II	—	1	1		
インテンシブ中国語	II	—	2	1		
インテンシブ中国語	III	—	1	1		
インテンシブ中国語	III	—	2	1		

第3類 (杏林大学学則)

	インテンシブ中国語Ⅳ－1		1	
	インテンシブ中国語Ⅳ－2		1	
専 門 科 目 A	メディアコミュニケーション論	2		
	生活文化とメディア		2	
	地域の伝統文化		2	
	英語演習Ⅰ－1	1		
	英語演習Ⅰ－2	1		
	英語演習Ⅱ－1	1		
	英語演習Ⅱ－2	1		
	実用英語Ⅰ－1		1	
	実用英語Ⅰ－2		1	
	実用英語Ⅱ－1		1	
	実用英語Ⅱ－2		1	
	実用英語Ⅲ－1		1	
	実用英語Ⅲ－2		1	
	日本語表現法－1	2		
	日本語表現法－2	2		
	ITイングリッシュ		1	
	ブロードキャスト・イングリッシュ		1	
	ゼミナール－1	2		
	ゼミナール－2	2		
ゼミナール－3	2			
卒業論文・課題指導		4		
専 門 科 目 B	感性コミュニケーション論	2		
	情報社会論	2		
	文化産業論	2		
	表象文化論	2		
	大衆文化論Ⅰ－1		2	
	大衆文化論Ⅰ－2		2	
	大衆文化論Ⅱ－1		2	
	大衆文化論Ⅱ－2		2	
	ジャーナリズム論		2	
	印刷出版文化論－1		2	
印刷出版文化論－2		2		
翻訳・翻案文化論		2		

第3類 (杏林大学学則)

	映像文化論		2	
	演劇文化論		2	
	身体表現論		2	
	空間表現論		2	
	意匠・デザイン論		2	
	情報発信特論Ⅰ		2	
	情報発信特論Ⅱ		2	
	言語芸術表現論Ⅰ		2	
	言語芸術表現論Ⅱ		2	
	言語芸術表現論Ⅲ		2	
	比較文学論		2	
	レトリック論		2	
	ファンタジー論		2	
	こころと身体のメカニズムⅠ		2	
	こころと身体のメカニズムⅡ		2	
	こころと身体のメカニズムⅢ		2	
	言語芸術表現演習Ⅰ		1	
	言語芸術表現演習Ⅱ		1	
	言語芸術表現演習Ⅲ		1	
	クリエイティブ・コミュニケーション演習Ⅰ		1	
	クリエイティブ・コミュニケーション演習Ⅱ		1	
	クリエイティブ・コミュニケーション演習Ⅲ		1	
	コンテンツ・デザイン実習		1	
	カルチャー・マネジメント実習		1	
	アドバタイズメント・デザイン実習		1	
	ライフスタイル・コーディネート実習		1	
	アーツ・セラピー実習		1	
専	比較文化論Ⅰ-1		2	
門	比較文化論Ⅰ-2		2	
関	比較文化論Ⅱ-1		2	
連	比較文化論Ⅱ-2		2	
科	アメリカ社会論-1		2	
目	アメリカ社会論-2		2	
A	中国事情		2	
	韓国事情		2	

第3類 (杏林大学学則)

地域圏研究 I - 1	2
地域圏研究 I - 2	2
地域圏研究 II - 1	2
地域圏研究 II - 2	2
地域圏研究 III - 1	2
地域圏研究 III - 2	2
地域圏研究 IV - 1	2
地域圏研究 IV - 2	2
地域圏研究 V - 1	2
地域圏研究 V - 2	2
地域圏研究 VI - 1	2
地域圏研究 VI - 2	2
国際関係論 I	2
国際関係論 II	2
経済原論 I	2
経済原論 II	2
西洋史 - 1	2
西洋史 - 2	2
中国史 - 1	2
中国史 - 2	2
日本史 - 1	2
日本史 - 2	2
言語学 - 1	2
言語学 - 2	2
言語と文化 - 1	2
言語と文化 - 2	2
日中文化交流史 - 1	2
日中文化交流史 - 2	2
日韓文化交流史 - 1	2
日韓文化交流史 - 2	2
神話学	2
文化人類学	2
クリエイティブ・コミュニケーション論-1	2
クリエイティブ・コミュニケーション論-2	2
英語総合講座 - 1	2

第3類 (杏林大学学則)

	英語総合講座 - 2		2	
	英語特論 - 1		2	
	英語特論 - 2		2	
	コミュニケーション概論	2		
	基礎演習 - 1	1		
	基礎演習 - 2	1		
	キャリア指導 I - 1	1		
	キャリア指導 I - 2	1		
	キャリア指導 II - 1	1		
	キャリア指導 II - 2	1		
	ホスピタリティ実習 - 1	1		
	ホスピタリティ実習 - 2	1		
	インターンシップ I		1	インターンシップ I～IV のうち1科目選択必修
	インターンシップ II		1	
	インターンシップ III		1	
	インターンシップ IV		1	
専門 関 連 科 目 B	ドイツ語 I - 1		1	
	ドイツ語 I - 2		1	
	ドイツ語 II - 1		1	
	ドイツ語 II - 2		1	
	ドイツ語 III - 1		1	
	ドイツ語 III - 2		1	
	フランス語 I - 1		1	
	フランス語 I - 2		1	
	フランス語 II - 1		1	
	フランス語 II - 2		1	
	フランス語 III - 1		1	
	フランス語 III - 2		1	
	スペイン語 I - 1		1	
	スペイン語 I - 2		1	
	スペイン語 II - 1		1	
	スペイン語 II - 2		1	
	スペイン語 III - 1		1	
スペイン語 III - 2		1		
	インドネシア語 I - 1		1	

第3類 (杏林大学学則)

インドネシア語 I - 2	1
インドネシア語 II - 1	1
インドネシア語 II - 2	1
インドネシア語 III - 1	1
インドネシア語 III - 2	1
韓国語 I - 1	1
韓国語 I - 2	1
韓国語 II - 1	1
韓国語 II - 2	1
韓国語 III - 1	1
韓国語 III - 2	1
情報英語 I	1
情報英語 II	1
情報中国語 I	1
情報中国語 II	1
情報日本語	1
口語英語 I - 1	1
口語英語 I - 2	1
口語英語 II - 1	1
口語英語 II - 2	1
口語英語 III - 1	1
口語英語 III - 2	1
口語英語 IV - 1	1
口語英語 IV - 2	1
口語英語 V - 1	1
口語英語 V - 2	1
中国語演習 I - 1	2
中国語演習 I - 2	2
中国語演習 II - 1	2
中国語演習 II - 2	2
中国語演習 III - 1	2
中国語演習 III - 2	2
中国語実習 I - 1	1
中国語実習 I - 2	1
中国語実習 II - 1	1

第3類 (杏林大学学則)

	中国語実習Ⅱ	—	2		1	
	中国語実習Ⅲ	—	1		1	
	中国語実習Ⅲ	—	2		1	
専門 関連 科目 C	哲学	—	1		2	
	哲学	—	2		2	
	宗教学	—	1		2	
	宗教学	—	2		2	
	歴史学	—	1		2	
	歴史学	—	2		2	
	文学	—	1		2	
	文学	—	2		2	
	音楽	—	1		2	
	音楽	—	2		2	
	日本国憲法				2	
	法学				2	
	政治学	—	1		2	
	政治学	—	2		2	
	地理学	—	1		2	
	地理学	—	2		2	
	経済学	—	1		2	
	経済学	—	2		2	
	数学	—	1		2	
	数学	—	2		2	
	物理学	—	1		2	
	物理学	—	2		2	
	化学	—	1		2	
	化学	—	2		2	
	生物学	—	1		2	
	生物学	—	2		2	
	心理学	—	1		2	
	心理学	—	2		2	
	統計学	—	1		2	
	統計学	—	2		2	
情報処理				2		
体育論				1		

第3類（杏林大学学則）

	体 育 実 技 ー 1		1	
	体 育 実 技 ー 2		1	
専 科 門 関 連 D	他 学 部 の 設 置 科 目			
自 科 由 目				

観光交流文化学科

授 業 科 目 の 名 称					単 位 数		備 考
					必 修	選 択	
専 門 外 国 語 科 目	英 語 I ー 1	1		英語及び中国語（留学生 は日本語から8単位選択） 必修16単位			
	英 語 I ー 2	1					
	英 語 II ー 1	1					
	英 語 II ー 2	1					
	英 語 III ー 1	1					
	英 語 III ー 2	1					
	英 語 IV ー 1	1					
	英 語 IV ー 2	1					
	中 国 語 I ー 1	1					
	中 国 語 I ー 2	1					
	中 国 語 II ー 1	1					
	中 国 語 II ー 2	1					
	中 国 語 III ー 1	1					
	中 国 語 III ー 2	1					
	中 国 語 IV ー 1	1					
	中 国 語 IV ー 2	1					
	日 本 語 I ー 1		1				
	日 本 語 I ー 2		1				
	日 本 語 II ー 1		1				
	日 本 語 II ー 2		1				
日 本 語 III ー 1		1					
日 本 語 III ー 2		1					

第3類 (杏林大学学則)

	日 本 語 IV - 1	1	
	日 本 語 IV - 2	1	
	日 本 語 V - 1	1	
	日 本 語 V - 2	1	
	日 本 語 VI - 1	1	
	日 本 語 VI - 2	1	
	日 本 語 VII - 1	1	
	日 本 語 VII - 2	1	
	インテンシブ中国語 I - 1	1	
	インテンシブ中国語 I - 2	1	
	インテンシブ中国語 II - 1	1	
	インテンシブ中国語 II - 2	1	
	インテンシブ中国語 III - 1	1	
	インテンシブ中国語 III - 2	1	
	インテンシブ中国語 IV - 1	1	
	インテンシブ中国語 IV - 2	1	
専 門 科 目 A	観 光 交 流 文 化 論	2	8 単位以上
	ホ ス ピ タ リ テ ィ 論	2	
	国 際 観 光 論	2	
	交 流 文 化 論	2	
	異文化コミュニケーション論	2	
	サ ー ビ ス 文 化 論	2	
	サ ー ビ ス 日 本 語	2	
	紀 行 文 学 論	2	
	観 光 メ デ ィ ア 論	2	
	観 光 心 理 学	2	
	観 光 人 類 学	2	
	観 光 地 理 学	2	
	観 光 保 健 論	2	
	福 祉 観 光 論	2	
	観 光 マ ー ケ テ ィ ン グ 論	2	
	キ ャ リ ア デ ザ イン I	2	
	キ ャ リ ア デ ザ イン II	2	
	観 光 英 語 I - 1	1	
観 光 英 語 I - 2	1		

第3類 (杏林大学学則)

	観光英語Ⅱ－1	1		
	観光英語Ⅱ－2	1		
	観光中国語－1		1	観光中国語－1・2(各1単位)又は観光韓国語－1・2(各1単位)のどちらかを選択必修
	観光中国語－2		1	
	観光韓国語－1		1	
	観光韓国語－2		1	
	観光手話基礎		1	
	観光手話		1	
	実用英語－1		1	
	実用英語－2		1	
	観光基礎演習－1	1		
	観光基礎演習－2	1		
	ゼミナール－1	2		
	ゼミナール－2	2		
	ゼミナール－3	2		
	卒業論文・課題指導		4	
専 門 科 目 B	サービス産業論	2		
	航空産業論		2	
	航空サービス論		2	
	宿泊産業論		2	
	宿泊サービス論		2	
	外食産業論		2	
	外食サービス論		2	
	旅行産業論		2	
	旅行サービス論		2	
	ホスピタリティマネジメント論		2	
	観光政策・行政論		2	
	風景・景観論		2	
	イベント・コンベンション論		2	
	エンターテインメント産業論		2	
	ツアーガイド論		2	
	ブライダルコーディネート論		2	
多摩八王子観光論		2		
世界遺産観光論		2		
旅行医学概論		2		

第3類 (杏林大学学則)

	サービス衛生論	2	
	観光交流文化特論Ⅰ	2	
	観光交流文化特論Ⅱ	2	
	観光交流文化特論Ⅲ	2	
	観光交流文化特論Ⅳ	2	
	観光交流文化特論Ⅴ	2	
	観光交流文化特論Ⅵ	2	
専門 関連 科目 A	比較文化論Ⅰ－1	2	
	比較文化論Ⅰ－2	2	
	比較文化論Ⅱ－1	2	
	比較文化論Ⅱ－2	2	
	アメリカ社会論－1	2	
	アメリカ社会論－2	2	
	中国事情	2	
	韓国事情	2	
	地域圏研究Ⅰ－1	2	
	地域圏研究Ⅰ－2	2	
	地域圏研究Ⅱ－1	2	
	地域圏研究Ⅱ－2	2	
	地域圏研究Ⅲ－1	2	
	地域圏研究Ⅲ－2	2	
	地域圏研究Ⅳ－1	2	
	地域圏研究Ⅳ－2	2	
	地域圏研究Ⅴ－1	2	
	地域圏研究Ⅴ－2	2	
	地域圏研究Ⅵ－1	2	
	地域圏研究Ⅵ－2	2	
国際関係論Ⅰ	2		
国際関係論Ⅱ	2		
経済原論Ⅰ	2		
経済原論Ⅱ	2		
西洋史－1	2		
西洋史－2	2		
中国史－1	2		
中国史－2	2		

第3類 (杏林大学学則)

	日 本 史 一 1		2	
	日 本 史 一 2		2	
	言 語 学 一 1		2	
	言 語 学 一 2		2	
	言 語 と 文 化 一 1		2	
	言 語 と 文 化 一 2		2	
	日 中 文 化 交 流 史 一 1		2	
	日 中 文 化 交 流 史 一 2		2	
	日 韓 文 化 交 流 史 一 1		2	
	日 韓 文 化 交 流 史 一 2		2	
	神 話 学		2	
	文 化 人 類 学		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-1		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-2		2	
	英 語 総 合 講 座 一 1		2	
	英 語 総 合 講 座 一 2		2	
	英 語 特 論 一 1		2	
	英 語 特 論 一 2		2	
	コミュニケーション概論	2		
	基 礎 演 習 一 1	1		
	基 礎 演 習 一 2	1		
	キ ャ リ ア 指 導 I 一 1	1		
	キ ャ リ ア 指 導 I 一 2	1		
	キ ャ リ ア 指 導 II 一 1	1		
	キ ャ リ ア 指 導 II 一 2	1		
	ホスピタリティ実習一	1		
	ホスピタリティ実習二	1		
	イ ン タ ー ン シ ッ プ I		1	インターンシップ I～IV のうち1科目選択必修
	イ ン タ ー ン シ ッ プ II		1	
	イ ン タ ー ン シ ッ プ III		1	
	イ ン タ ー ン シ ッ プ IV		1	
専 門	ド イ ツ 語 I 一 1		1	
	ド イ ツ 語 I 一 2		1	
	ド イ ツ 語 II 一 1		1	
	ド イ ツ 語 II 一 2		1	

第3類 (杏林大学学則)

関連科目 B	ドイツ語 III - 1	1
	ドイツ語 III - 2	1
	フランス語 I - 1	1
	フランス語 I - 2	1
	フランス語 II - 1	1
	フランス語 II - 2	1
	フランス語 III - 1	1
	フランス語 III - 2	1
	スペイン語 I - 1	1
	スペイン語 I - 2	1
	スペイン語 II - 1	1
	スペイン語 II - 2	1
	スペイン語 III - 1	1
	スペイン語 III - 2	1
	インドネシア語 I - 1	1
	インドネシア語 I - 2	1
	インドネシア語 II - 1	1
	インドネシア語 II - 2	1
	インドネシア語 III - 1	1
	インドネシア語 III - 2	1
	韓国語 I - 1	1
	韓国語 I - 2	1
	韓国語 II - 1	1
	韓国語 II - 2	1
	韓国語 III - 1	1
	韓国語 III - 2	1
	情報英語 I	1
	情報英語 II	1
	情報中国語 I	1
	情報中国語 II	1
	情報日本語	1
	口語英語 I - 1	1
口語英語 I - 2	1	
口語英語 II - 1	1	
口語英語 II - 2	1	

第3類 (杏林大学学則)

	口 語 英 語 III - 1	1	
	口 語 英 語 III - 2	1	
	口 語 英 語 IV - 1	1	
	口 語 英 語 IV - 2	1	
	口 語 英 語 V - 1	1	
	口 語 英 語 V - 2	1	
	中 国 語 演 習 I - 1	2	
	中 国 語 演 習 I - 2	2	
	中 国 語 演 習 II - 1	2	
	中 国 語 演 習 II - 2	2	
	中 国 語 演 習 III - 1	2	
	中 国 語 演 習 III - 2	2	
	中 国 語 実 習 I - 1	1	
	中 国 語 実 習 I - 2	1	
	中 国 語 実 習 II - 1	1	
	中 国 語 実 習 II - 2	1	
	中 国 語 実 習 III - 1	1	
	中 国 語 実 習 III - 2	1	
專 門 關 連 科 目 C	哲 学 - 1	2	
	哲 学 - 2	2	
	宗 教 学 - 1	2	
	宗 教 学 - 2	2	
	歷 史 学 - 1	2	
	歷 史 学 - 2	2	
	文 学 - 1	2	
	文 学 - 2	2	
	音 楽 - 1	2	
	音 楽 - 2	2	
	日 本 国 憲 法 学	2	
	法 学	2	
	政 治 学 - 1	2	
	政 治 学 - 2	2	
	地 理 学 - 1	2	
	地 理 学 - 2	2	
經 济 学 - 1	2		

第3類 (杏林大学学則)

	経 済 学	—	2	2	
	数 学	—	1	2	
	数 学	—	2	2	
	物 理 学	—	1	2	
	物 理 学	—	2	2	
	化 学	—	1	2	
	化 学	—	2	2	
	生 物 学	—	1	2	
	生 物 学	—	2	2	
	心 理 学	—	1	2	
	心 理 学	—	2	2	
	統 計 学	—	1	2	
	統 計 学	—	2	2	
	情 報 処 理			2	
	体 育 理 論			1	
	体 育 実 技	—	1	1	
	体 育 実 技	—	2	1	
専 科 目 関 連 D	他 学 部 の 設 置 科 目				
自 科 目					

第3類（杏林大学学則）

別表4-5（平成23年度入学生から適用）

外国語学部学科目構成

英語学科

授業科目の名称					単位数		備考
					必修	選択	
専門外国語科目	英語	I	—	1	1		英語及び中国語（留学生は日本語から4単位選択） 必修12単位
	英語	I	—	2	1		
	英語	II	—	1	1		
	英語	II	—	2	1		
	英語	III	—	1	1		
	英語	III	—	2	1		
	英語	IV	—	1	1		
	英語	IV	—	2	1		
	中国語	I	—	1	1		
	中国語	I	—	2	1		
	中国語	II	—	1	1		
	中国語	II	—	2	1		
	中国語	III	—	1		1	
	中国語	III	—	2		1	
	中国語	IV	—	1		1	
	中国語	IV	—	2		1	
	日本語	I	—	1		1	
	日本語	I	—	2		1	
	日本語	II	—	1		1	
	日本語	II	—	2		1	
日本語	III	—	1		1		
日本語	III	—	2		1		
日本語	IV	—	1		1		
日本語	IV	—	2		1		
専門科	英語学	—	1		2		
	英語学	—	2		2		
	英語音声学	—	1		2		
	英語音声学	—	2		2		
	英語史	—	1			2	

第3類 (杏林大学学則)

目	英語史	—	2		2
A	日米比較文化概論				2
	英語の文化誌				2
	ヨーロッパの社会と文化				2
	英米文化論				2
	英米文学				2
	児童文学論				2
	社会言語学	—	1		2
	社会言語学	—	2		2
	対照言語学	—	1		2
	対照言語学	—	2		2
	認知言語学	—	1		2
	認知言語学	—	2		2
	言語獲得のメカニズム	—	1		2
	言語獲得のメカニズム	—	2		2
	アメリカ近現代史概説				2
	ヨーロッパ近現代史概説				2
	英語文法	I —	1	1	
	英語文法	I —	2	1	
	英語文法	II —	1		1
	英語文法	II —	2		1
	英語会話	—	1	1	
	英語会話	—	2	1	
	実用英語	I			1
	実用英語	II			1
	実用英語	III			1
	実用英語	IV			1
	ITイングリッシュ		1		
	英語作文	—	1	1	
	英語作文	—	2	1	
	現代英語購読	I —	1	1	
	現代英語購読	I —	2	1	
	現代英語購読	II —	1		1
	現代英語購読	II —	2		1
	実用英語演習	I	1		
	実用英語演習	II	1		

第3類 (杏林大学学則)

	実用英語演習Ⅲ	1		
	実用英語演習Ⅳ	1		
	ゼミナール－1	2		
	ゼミナール－2	2		
	ゼミナール－3	2		
	卒業論文・課題指導		4	
専門科目B	国際コミュニケーション論	2		英語ビジネスコミュニケーションコース
	グローバルビジネス論－1	2		
	グローバルビジネス論－2	2		
	現代北米ビジネス事情		2	
	現代ヨーロッパビジネス事情		2	
	マーケティング総論		2	
	アメリカ経済論		2	
	アメリカ政治外交論		2	
	ヨーロッパ経済論		2	
	ヨーロッパ政治外交論		2	
	ビジネスイングリッシュⅠ	1		
	ビジネスイングリッシュⅡ	1		
	ビジネスイングリッシュⅢ	1		
	ビジネスイングリッシュⅣ	1		
	ビジネスコミュニケーション演習Ⅰ	1		
	ビジネスコミュニケーション演習Ⅱ		1	
専門科目C	英語教育論－1	2		英語教育コース
	英語教育論－2	2		
	英語音声学特論－1	2		
	英語音声学特論－2	2		
	英語学特論－1		2	
	英語学特論－2		2	
	英語科教育法－1		2	
	英語科教育法－2		2	
	児童英語教育論－1		2	
	児童英語教育論－2		2	
	児童英語教育教材研究		1	
	児童英語教育実習		1	
	英語発音聴取	1		
	英語文章表現法－1	1		

第3類 (杏林大学学則)

	英語文章表現法 - 2	1		
	英語聴解・討論 - 1		1	
	英語聴解・討論 - 2		1	
専門 関連 科目 A	比較文化論 I - 1		2	
	比較文化論 I - 2		2	
	比較文化論 II - 1		2	
	比較文化論 II - 2		2	
	地域圏研究 I - 1		2	
	地域圏研究 I - 2		2	
	地域圏研究 II - 1		2	
	地域圏研究 II - 2		2	
	地域圏研究 III - 1		2	
	地域圏研究 III - 2		2	
	地域圏研究 IV - 1		2	
	地域圏研究 IV - 2		2	
	地域圏研究 V - 1		2	
	地域圏研究 V - 2		2	
	地域圏研究 VI - 1		2	
	地域圏研究 VI - 2		2	
	国際関係論 I		2	
	国際関係論 II		2	
	経済原論 I		2	
	経済原論 II		2	
	西洋史 - 1		2	
	西洋史 - 2		2	
	中国史 - 1		2	
	中国史 - 2		2	
	日本史 - 1		2	
	日本史 - 2		2	
	言語学 - 1		2	
	言語学 - 2		2	
	言語と文化 - 1		2	
	言語と文化 - 2		2	
神話学 - 1		2		
神話学 - 2		2		
クリエイティブ・コミュニケーション論-1		2		

第3類 (杏林大学学則)

	クリエイティブ・コミュニケーション論-2		2	
	英語総合講座-1		2	
	英語総合講座-2		2	
	英語特論-1		2	
	英語特論-2		2	
	コミュニケーション概論-1	2		
	コミュニケーション概論-2	2		
	基礎演習-1	1		
	基礎演習-2	1		
	キャリア指導Ⅰ-1	1		
	キャリア指導Ⅰ-2	1		
	キャリア指導Ⅱ-1	1		
	キャリア指導Ⅱ-2	1		
	ホスピタリティ実習-1	1		
	ホスピタリティ実習-2	1		
	インターンシップⅠ		1	
	インターンシップⅡ		1	
	インターンシップⅢ		1	
	インターンシップⅣ		1	
専門 関連 科目 B	ドイツ語Ⅰ-1		1	
	ドイツ語Ⅰ-2		1	
	ドイツ語Ⅱ-1		1	
	ドイツ語Ⅱ-2		1	
	ドイツ語Ⅲ-1		1	
	ドイツ語Ⅲ-2		1	
	フランス語Ⅰ-1		1	
	フランス語Ⅰ-2		1	
	フランス語Ⅱ-1		1	
	フランス語Ⅱ-2		1	
	フランス語Ⅲ-1		1	
	フランス語Ⅲ-2		1	
	スペイン語Ⅰ-1		1	
	スペイン語Ⅰ-2		1	
	スペイン語Ⅱ-1		1	
	スペイン語Ⅱ-2		1	
スペイン語Ⅲ-1		1		

第3類 (杏林大学学則)

	スペイン語 III - 2		1
	インドネシア語 I - 1		1
	インドネシア語 I - 2		1
	インドネシア語 II - 1		1
	インドネシア語 II - 2		1
	インドネシア語 III - 1		1
	インドネシア語 III - 2		1
	韓国語 I - 1		1
	韓国語 I - 2		1
	韓国語 II - 1		1
	韓国語 II - 2		1
	韓国語 III - 1		1
	韓国語 III - 2		1
	口語英語 I - 1		1
	口語英語 I - 2		1
	口語英語 II - 1		1
	口語英語 II - 2		1
	口語英語 III - 1		1
	口語英語 III - 2		1
	口語英語 IV - 1		1
	口語英語 IV - 2		1
	口語中国語 I - 1		1
	口語中国語 I - 2		1
	口語中国語 II - 1		1
	口語中国語 II - 2		1
	口語中国語 III - 1		1
	口語中国語 III - 2		1
	口語中国語 IV - 1		1
	口語中国語 IV - 2		1
専門 関連 科	哲学 - 1		2
	哲学 - 2		2
	宗教学 - 1		2
	宗教学 - 2		2
	歴史学 - 1		2
	歴史学 - 2		2
	文学 - 1		2

第3類 (杏林大学学則)

目 C	文 学	-	2	2
	音 楽	-	1	2
	音 楽	-	2	2
	日 本 国 憲 法 学			2
	法 学			2
	政 治 学	-	1	2
	政 治 学	-	2	2
	地 理 学	-	1	2
	地 理 学	-	2	2
	経 済 学	-	1	2
	経 済 学	-	2	2
	数 学	-	1	2
	数 学	-	2	2
	物 理 学	-	1	2
	物 理 学	-	2	2
	化 学	-	1	2
	化 学	-	2	2
	生 物 学	-	1	2
	生 物 学	-	2	2
	健 康 科 学			2
	食 と 健 康 の エ コ ロ ジ ー			2
	心 理 学	-	1	2
	心 理 学	-	2	2
	統 計 学	-	1	2
	統 計 学	-	2	2
	情 報 処 理			2
	体 育 理 論			2
体 育 実 技	-	1	1	
体 育 実 技	-	2	1	
専 門 関 連 科	日 本 語 教 育 概 説			2
	日 本 語 教 授 法 概 論			2
	日 本 語 学 概 論			2
	日 本 語 音 声 学			2
	日 本 語 文 法 論			2
	日 本 語 意 味 論			2
日 本 語 教 材 教 具 論			2	

第3類（杏林大学学則）

目	試 験 と 評 価		2	
D	日 本 語 語 彙 論		2	
	日 本 語 文 字 表 記 概 説		2	
	日 本 語 史		2	
	日 本 人 の 言 語 行 動		2	
	異文化理解とコミュニケーション		2	
	日 本 語 教 授 法 演 習		1	
	日 本 語 教 育 実 習		1	
	日 本 語 学 演 習		1	
	日 本 語 教 育 演 習		1	
専科 門目 関連	他学部 の 設 置 科 目			
自由目				

中国語学科

授業科目の名称					単位数		備 考
					必修	選択	
専 門 外 国 語 科 目	英 語	I	—	1	1		英語及び中国語（留学生 は日本語から8単位選択） 必修16単位
	英 語	I	—	2	1		
	英 語	II	—	1	1		
	英 語	II	—	2	1		
	英 語	III	—	1	1		
	英 語	III	—	2	1		
	英 語	IV	—	1	1		
	英 語	IV	—	2	1		
	中 国 語	I	—	1	1		
	中 国 語	I	—	2	1		
	中 国 語	II	—	1	1		
	中 国 語	II	—	2	1		
	中 国 語	III	—	1	1		
	中 国 語	III	—	2	1		
中 国 語	IV	—	1	1			

第3類 (杏林大学学則)

	中国語 IV - 2	1	
	日本語 I - 1		1
	日本語 I - 2		1
	日本語 II - 1		1
	日本語 II - 2		1
	日本語 III - 1		1
	日本語 III - 2		1
	日本語 IV - 1		1
	日本語 IV - 2		1
	日本語 V - 1		1
	日本語 V - 2		1
	日本語 VI - 1		1
	日本語 VI - 2		1
	日本語 VII - 1		1
	日本語 VII - 2		1
専 門 科 目 A	日 本 文 化 論	2	
	異文化交流の実際	2	
	インテンシブ中国語 I - 1	1	
	インテンシブ中国語 I - 2	1	
	インテンシブ中国語 II - 1	1	
	インテンシブ中国語 II - 2	1	
	インテンシブ中国語 III - 1	1	
	インテンシブ中国語 III - 2	1	
	インテンシブ中国語 IV - 1	1	
	インテンシブ中国語 IV - 2	1	
	実用中国語演習 I		1
	実用中国語演習 II		1
	実用中国語演習 III		1
	実用中国語演習 IV		1
	発展英語 - 1		1
	発展英語 - 2		1
中国語文章表現法 - 1		1	
中国語文章表現法 - 2		1	
	中国語聴解・討論 - 1		1
	中国語聴解・討論 - 2		1

第3類 (杏林大学学則)

	ゼミナール - 1	2		
	ゼミナール - 2	2		
	ゼミナール - 3	2		
	卒業論文・課題指導		4	
専 門 科 目 B	中国語学概論 - 1	2		
	中国語学概論 - 1	2		
	中国語音声学 - 1	2		
	中国語音声学 - 2	2		
	中国語通訳概論 - 1	2		
	中国語通訳概論 - 2	2		
	中国語翻訳概論 - 1	2		
	中国語翻訳概論 - 2	2		
	中国語コミュニケーション論 - 1		2	
	中国語コミュニケーション論 - 2		2	
	中国文学史 - 1		2	
	中国文学史 - 2		2	
	中国古典概説 - 1		2	
	中国古典概説 - 2		2	
	日中比較文化論 I - 1		2	
	日中比較文化論 I - 2		2	
	日中比較文化論 II - 1		2	
	日中比較文化論 II - 2		2	
	中国経済概論 - 1		2	
	中国経済概論 - 2		2	
	アジア経済論		2	
	中国政治外交論		2	
	実践中国語演習 I - 1		1	
	実践中国語演習 I - 2		1	
	実践中国語演習 II - 1		1	
	実践中国語演習 II - 2		1	
	実践中国語演習 III - 1		1	
	実践中国語演習 III - 2		1	
	実践中国語演習 IV - 1		1	
	実践中国語演習 IV - 2		1	
時事中国語 - 1		1		

第3類 (杏林大学学則)

	時事中国語	— 2	1
	商業中国語	— 1	1
	商業中国語	— 2	1
専門 関連 科目 A	比較文化論 I	— 1	2
	比較文化論 I	— 2	2
	比較文化論 II	— 1	2
	比較文化論 II	— 2	2
	地域圏研究 I	— 1	2
	地域圏研究 I	— 2	2
	地域圏研究 II	— 1	2
	地域圏研究 II	— 2	2
	地域圏研究 III	— 1	2
	地域圏研究 III	— 2	2
	地域圏研究 IV	— 1	2
	地域圏研究 IV	— 2	2
	地域圏研究 V	— 1	2
	地域圏研究 V	— 2	2
	地域圏研究 VI	— 1	2
	地域圏研究 VI	— 2	2
	国際関係論 I		2
	国際関係論 II		2
	経済原論 I		2
	経済原論 II		2
	西洋史	— 1	2
	西洋史	— 2	2
	中国史	— 1	2
	中国史	— 2	2
	日本史	— 1	2
	日本史	— 2	2
	言語学	— 1	2
	言語学	— 2	2
	言語と文化	— 1	2
	言語と文化	— 2	2
神話学	— 1	2	
神話学	— 2	2	

第3類 (杏林大学学則)

	クリエイティブ・コミュニケーション論-1		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-2		2	
	英語総合講座 - 1		2	
	英語総合講座 - 2		2	
	英語特論 - 1		2	
	英語特論 - 2		2	
	コミュニケーション概論-1	2		
	コミュニケーション概論-2	2		
	基礎演習 - 1	1		
	基礎演習 - 2	1		
	キャリア指導 I - 1	1		
	キャリア指導 I - 2	1		
	キャリア指導 II - 1	1		
	キャリア指導 II - 2	1		
	ホスピタリティ実習-1	1		
	ホスピタリティ実習-2	1		
	インターンシップ I		1	
	インターンシップ II		1	
	インターンシップ III		1	
	インターンシップ IV		1	
専門 関 連 科 目 B	ドイツ語 I - 1		1	
	ドイツ語 I - 2		1	
	ドイツ語 II - 1		1	
	ドイツ語 II - 2		1	
	ドイツ語 III - 1		1	
	ドイツ語 III - 2		1	
	フランス語 I - 1		1	
	フランス語 I - 2		1	
	フランス語 II - 1		1	
	フランス語 II - 2		1	
	フランス語 III - 1		1	
	フランス語 III - 2		1	
	スペイン語 I - 1		1	
	スペイン語 I - 2		1	
スペイン語 II - 1		1		

第3類 (杏林大学学則)

	スペイン語 II - 2	1	
	スペイン語 III - 1	1	
	スペイン語 III - 2	1	
	インドネシア語 I - 1	1	
	インドネシア語 I - 2	1	
	インドネシア語 II - 1	1	
	インドネシア語 II - 2	1	
	インドネシア語 III - 1	1	
	インドネシア語 III - 2	1	
	韓国語 I - 1	1	
	韓国語 I - 2	1	
	韓国語 II - 1	1	
	韓国語 II - 2	1	
	韓国語 III - 1	1	
	韓国語 III - 2	1	
	口語英語 I - 1	1	
	口語英語 I - 2	1	
	口語英語 II - 1	1	
	口語英語 II - 2	1	
	口語英語 III - 1	1	
	口語英語 III - 2	1	
	口語英語 IV - 1	1	
	口語英語 IV - 2	1	
	口語中国語 I - 1	1	
	口語中国語 I - 2	1	
	口語中国語 II - 1	1	
	口語中国語 II - 2	1	
	口語中国語 III - 1	1	
	口語中国語 III - 2	1	
	口語中国語 IV - 1	1	
	口語中国語 IV - 2	1	
専門	哲学 - 1	2	
	哲学 - 2	2	
	宗教学 - 1	2	
	宗教学 - 2	2	

第3類 (杏林大学学則)

関 連 科 目 C	歴 史 学	—	1	2
	歴 史 学	—	2	2
	文 学	—	1	2
	文 学	—	2	2
	音 楽	—	1	2
	音 楽	—	2	2
	日 本 国 憲 法 学			2
	法 学			2
	政 治 学	—	1	2
	政 治 学	—	2	2
	地 理 学	—	1	2
	地 理 学	—	2	2
	経 済 学	—	1	2
	経 済 学	—	2	2
	数 学	—	1	2
	数 学	—	2	2
	物 理 学	—	1	2
	物 理 学	—	2	2
	化 学	—	1	2
	化 学	—	2	2
	生 物 学	—	1	2
	生 物 学	—	2	2
	健 康 科 学			2
	食 と 健 康 の エ コ ロ ジ ー			2
	心 理 学	—	1	2
	心 理 学	—	2	2
統 計 学	—	1	2	
統 計 学	—	2	2	
情 報 処 理 学			2	
体 育 理 論			2	
体 育 実 技	—	1	1	
体 育 実 技	—	2	1	
	日 本 語 教 育 概 説			2
	日 本 語 教 授 法 概 論			2
	日 本 語 学 概 論			2

第3類 (杏林大学学則)

専門 関連 科目 目 D	日本語音声学 日本語文法論 日本語意味論 日本語教材教具論 試験と評価 日本語語彙論 日本語文字表記概説 日本語史 日本人の言語行動 異文化理解とコミュニケーション 日本語教授法演習 日本語教育実習 日本語学演習 日本語教育演習	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1 1 1 1		
専科 専門 関連 目 目 E	他学部 の 設置 科目			
自科 自由 目				

観光交流文化学科

授業科目の名称	単位数		備考
	必修	選択	
専門 外国 語科 目	英語 I ー 1	1	英語及び中国語8単位、又は 英語及び韓国語8単位(留 学生は日本語8単位) 必修16単位
	英語 I ー 2	1	
	英語 II ー 1	1	
	英語 II ー 2	1	
	英語 III ー 1	1	
	英語 III ー 2	1	
	英語 IV ー 1	1	
	英語 IV ー 2	1	
	中国語 I ー 1	1	
	中国語 I ー 2	1	
中国語 II ー 1	1		

第3類 (杏林大学学則)

中国語 II - 2	1
中国語 III - 1	1
中国語 III - 2	1
中国語 IV - 1	1
中国語 IV - 2	1
韓国語 I - 1	1
韓国語 I - 2	1
韓国語 II - 1	1
韓国語 II - 2	1
韓国語 III - 1	1
韓国語 III - 2	1
韓国語 IV - 1	1
韓国語 IV - 2	1
日本語 I - 1	1
日本語 I - 2	1
日本語 II - 1	1
日本語 II - 2	1
日本語 III - 1	1
日本語 III - 2	1
日本語 IV - 1	1
日本語 IV - 2	1
日本語 V - 1	1
日本語 V - 2	1
日本語 VI - 1	1
日本語 VI - 2	1
日本語 VII - 1	1
日本語 VII - 2	1
インテンシブ中国語 I - 1	1
インテンシブ中国語 I - 2	1
インテンシブ中国語 II - 1	1
インテンシブ中国語 II - 2	1
インテンシブ中国語 III - 1	1
インテンシブ中国語 III - 2	1
インテンシブ中国語 IV - 1	1
インテンシブ中国語 IV - 2	1

第3類 (杏林大学学則)

専門科目 A	観光交流文化論	2		
	ホスピタリティ論	2		
	国際観光論	2		
	交流文化論	2		
	異文化コミュニケーション論	2		
	サービス文化論	2		
	サービス日本語	2		
	紀行文学論		2	
	観光メディア論		2	
	観光心理学		2	
	観光人類学		2	
	観光地理学		2	
	観光保健論		2	
	福祉観光論		2	
	観光マーケティング論		2	
	キャリアデザインⅠ	2		
	キャリアデザインⅡ	2		
	基礎英語Ⅰ-1	1		
	基礎英語Ⅰ-2	1		
	基礎英語Ⅱ-1	1		
	基礎英語Ⅱ-2	1		
	観光英語Ⅰ-1	1		
	観光英語Ⅰ-2	1		
	観光英語Ⅱ-1	1		
	観光英語Ⅱ-2	1		
	観光中国語-1		1	観光中国語-1・2(各1単位)又は観光韓国語-1・2(各1単位)のどちらかを選択必修
	観光中国語-2		1	
	観光韓国語-1		1	
	観光韓国語-2		1	
	観光手話基礎		1	
	観光手話		1	
	実用英語-1	1		
実用英語-2	1			
観光基礎演習-1	1			
観光基礎演習-2	1			
ゼミナール-1	2			

第3類 (杏林大学学則)

	ゼミナール - 2	2		
	ゼミナール - 3	2		
	卒業論文・課題指導		4	
専 門 科 目 B	サービス産業論	2		
	ファシリテーション論	2		
	ファシリテーション実習	1		
	航空産業論		2	
	航空サービス論		2	
	宿泊産業論		2	
	宿泊サービス論		2	
	外食産業論		2	
	外食サービス論		2	
	旅行産業論		2	
	旅行サービス論		2	
	ホスピタリティマネジメント論		2	
	観光政策・行政論		2	
	風景・景観論		2	
	イベント・コンベンション論		2	
	エンターテインメント産業論		2	
	ツアーガイド論		2	
	ブライダルコーディネート論		2	
	多摩八王子観光論		2	
	世界遺産観光論		2	
	旅行医学概論		2	
	サービス衛生論		2	
	観光交流文化特論Ⅰ		2	
	観光交流文化特論Ⅱ		2	
	観光交流文化特論Ⅲ		2	
	観光交流文化特論Ⅳ		2	
	観光交流文化特論Ⅴ		2	
観光交流文化特論Ⅵ		2		
専 門	比較文化論Ⅰ - 1		2	
	比較文化論Ⅰ - 2		2	
	比較文化論Ⅱ - 1		2	
	比較文化論Ⅱ - 2		2	

第3類 (杏林大学学則)

関 連 科 目 A	アメリカ社会論 - 1	2
	アメリカ社会論 - 2	2
	中国事情	2
	韓国事情	2
	地域圏研究 I - 1	2
	地域圏研究 I - 2	2
	地域圏研究 II - 1	2
	地域圏研究 II - 2	2
	地域圏研究 III - 1	2
	地域圏研究 III - 2	2
	地域圏研究 IV - 1	2
	地域圏研究 IV - 2	2
	地域圏研究 V - 1	2
	地域圏研究 V - 2	2
	地域圏研究 VI - 1	2
	地域圏研究 VI - 2	2
	国際関係論 I	2
	国際関係論 II	2
	経済原論 I	2
	経済原論 II	2
	西洋史 - 1	2
	西洋史 - 2	2
	中国史 - 1	2
	中国史 - 2	2
	日本史 - 1	2
	日本史 - 2	2
	言語学 - 1	2
	言語学 - 2	2
	言語と文化 - 1	2
	言語と文化 - 2	2
	日中文化交流史 - 1	2
	日中文化交流史 - 2	2
日韓文化交流史 - 1	2	
日韓文化交流史 - 2	2	

第3類 (杏林大学学則)

	神 話 学		2	
	文 化 人 類 学		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-1		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-2		2	
	英 語 総 合 講 座 - 1		2	
	英 語 総 合 講 座 - 2		2	
	英 語 特 論 - 1		2	
	英 語 特 論 - 2		2	
	コミュニケーション概論	2		
	基 礎 演 習 - 1	1		
	基 礎 演 習 - 2	1		
	キャリア指導 I - 1	1		
	キャリア指導 I - 2	1		
	キャリア指導 II - 1	1		
	キャリア指導 II - 2	1		
	ホスピタリティ実習-1	1		
	ホスピタリティ実習-2	1		
	インターンシップ I		1	インターンシップ I～IV のうち1科目選択必修
	インターンシップ II		1	
	インターンシップ III		1	
	インターンシップ IV		1	
専 門 関 連 科 目 B	ド イ ツ 語 I - 1		1	
	ド イ ツ 語 I - 2		1	
	ド イ ツ 語 II - 1		1	
	ド イ ツ 語 II - 2		1	
	ド イ ツ 語 III - 1		1	
	ド イ ツ 語 III - 2		1	
	フ ラ ン ス 語 I - 1		1	
	フ ラ ン ス 語 I - 2		1	
	フ ラ ン ス 語 II - 1		1	
	フ ラ ン ス 語 II - 2		1	
	フ ラ ン ス 語 III - 1		1	
	フ ラ ン ス 語 III - 2		1	
	ス ペ イ ン 語 I - 1		1	
ス ペ イ ン 語 I - 2		1		

第3類 (杏林大学学則)

スペイン語Ⅱ－1	1
スペイン語Ⅱ－2	1
スペイン語Ⅲ－1	1
スペイン語Ⅲ－2	1
インドネシア語Ⅰ－1	1
インドネシア語Ⅰ－2	1
インドネシア語Ⅱ－1	1
インドネシア語Ⅱ－2	1
インドネシア語Ⅲ－1	1
インドネシア語Ⅲ－2	1
情報英語Ⅰ	1
情報英語Ⅱ	1
情報中国語Ⅰ	1
情報中国語Ⅱ	1
情報日本語	1
口語英語Ⅰ－1	1
口語英語Ⅰ－2	1
口語英語Ⅱ－1	1
口語英語Ⅱ－2	1
口語英語Ⅲ－1	1
口語英語Ⅲ－2	1
口語英語Ⅳ－1	1
口語英語Ⅳ－2	1
口語英語Ⅴ－1	1
口語英語Ⅴ－2	1
中国語演習Ⅰ－1	2
中国語演習Ⅰ－2	2
中国語演習Ⅱ－1	2
中国語演習Ⅱ－2	2
中国語演習Ⅲ－1	2
中国語演習Ⅲ－2	2
中国語実習Ⅰ－1	1
中国語実習Ⅰ－2	1
中国語実習Ⅱ－1	1
中国語実習Ⅱ－2	1
中国語実習Ⅲ－1	1

第3類 (杏林大学学則)

	中国語実習Ⅲ - 2		1
専門 関連 科目 C	哲学 - 1		2
	哲学 - 2		2
	宗教学 - 1		2
	宗教学 - 2		2
	歴史学 - 1		2
	歴史学 - 2		2
	文学 - 1		2
	文学 - 2		2
	音楽 - 1		2
	音楽 - 2		2
	日本国憲法		2
	政治学 - 1		2
	政治学 - 2		2
	地理学 - 1		2
	地理学 - 2		2
	経済学 - 1		2
	経済学 - 2		2
	数学 - 1		2
	数学 - 2		2
	物理学 - 1		2
	物理学 - 2		2
	化学 - 1		2
	化学 - 2		2
	生物学 - 1		2
	生物学 - 2		2
	健康科学		2
	食と健康のエコロジー		2
	心理学 - 1		2
	心理学 - 2		2
	統計学 - 1		2
統計学 - 2		2	
情報処理		2	
体育理論		1	

第3類（杏林大学学則）

	体 育 実 技 - 1		1	
	体 育 実 技 - 2		1	
専 門 関 連 科 目 D	日 本 語 教 育 概 説		2	
	日 本 語 教 授 法 概 論		2	
	日 本 語 学 概 論		2	
	日 本 語 音 声 学		2	
	日 本 語 文 法 論		2	
	日 本 語 意 味 論		2	
	日 本 語 教 材 教 具 論		2	
	試 験 と 評 価		2	
	日 本 語 語 彙 論		2	
	日 本 語 文 字 表 記 概 説		2	
	日 本 語 史		2	
	日 本 人 の 言 語 行 動		2	
	異文化理解とコミュニケーション		2	
	日 本 語 教 授 法 演 習		1	
	日 本 語 教 育 実 習		1	
	日 本 語 学 演 習		1	
	日 本 語 教 育 演 習		1	
専 門 関 連 E	他 学 部 の 設 置 科 目			
自 科 由 目				

第3類（杏林大学学則）

別表5-1-1

教職に関する科目構成

（平成12年度入学者から適用）

授業科目の名称	単位	備考
教職総論	2	
教育原理	2	
教育心理学	2	
教育社会学	2	
保健科教育法	2	
社会科教育法	2	
公民科教育法	2	
商業科教育法	2	
英語科教育法	2	
中国語科教育法	2	
国語科教育法	2	
健康教育学Ⅰ（保健科指導研究Ⅰ）	2	
健康教育学Ⅱ（保健科指導研究Ⅱ）	2	
社会科・公民科指導研究Ⅰ	2	
社会科・公民科指導研究Ⅱ	2	
商業科指導研究Ⅰ	2	
商業科指導研究Ⅱ	2	
英語科指導研究Ⅰ	2	
英語科指導研究Ⅱ	2	
中国語科指導研究Ⅰ	2	
中国語科指導研究Ⅱ	2	
国語科指導研究Ⅰ	2	
国語科指導研究Ⅱ	2	
道徳教育の研究	2	
特別活動の研究	2	
教育工学	2	
教育測定評価法	2	
生徒指導の研究（進路指導を含む。）	2	
生徒指導の研究	2	
教育相談（カウンセリングを含む。）	2	
総合演習		
総合演習Ⅰ	2	（保健学部・外国語学部） （総合政策学部）
基礎演習	2	
教育実習Ⅰ	1	
教育実習Ⅱ	2	
教育実習Ⅲ	2	
養護実習Ⅰ	1	
養護実習Ⅱ	4	

第3類（杏林大学学則）

表の科目は、中学校並びに高等学校の教育職員免許状又は養護教諭免許状を得ようとする場合、別に定めるところにより選択履修する教職に関する科目である。

ただし、別表2から別表4により開設されている科目を除き、自由科目とし卒業の単位に算入しない。

別表5-1-2

教 職 に 関 す る 科 目 構 成

（平成18年度入学生から適用）

授 業 科 目 の 名 称	単 位	備 考
教 職 総 論	2	
教 育 原 理	2	
教 育 心 理 学	2	
教 育 社 会 学	2	
保 健 科 教 育 法 ー 1	2	
保 健 科 教 育 法 ー 2	2	
社 会 科 教 育 法	2	
社 会 科 ・ 公 民 科 教 育 法	2	
商 業 科 教 育 法 ー 1	2	
商 業 科 教 育 法 ー 2	2	
英 語 科 教 育 法 ー 1	2	
英 語 科 教 育 法 ー 2	2	
健康教育学Ⅰ（保健科指導研究Ⅰ）	2	
健康教育学Ⅱ（保健科指導研究Ⅱ）	2	
社 会 科 指 導 研 究	2	
社 会 科 ・ 公 民 科 指 導 研 究	2	
英 語 科 指 導 研 究 Ⅰ	2	
英 語 科 指 導 研 究 Ⅱ	2	
道 徳 教 育 の 研 究	2	
特 別 活 動 の 研 究	2	
教 育 工 学	2	
生 徒 指 導 の 研 究	2	
進 路 指 導 の 研 究	1	
教育相談（カウンセリングを含む。）	2	
総 合 演 習	2	
教 育 実 習 Ⅰ	1	
教 育 実 習 Ⅱ	2	
教 育 実 習 Ⅲ	2	
養 護 実 習 Ⅰ	1	
養 護 実 習 Ⅱ	4	

表の科目は、中学校並びに高等学校の教育職員免許状又は養護教諭免許状を得よう

第3類（杏林大学学則）

とする場合、別に定めるところにより選択履修する教職に関する科目である。

ただし、別表2から別表4により開設されている科目を除き、自由科目とし卒業の単位に算入しない。

別表5-1-3

教 職 に 関 す る 科 目 構 成

（平成19年度入学生から適用）

授 業 科 目 の 名 称	単 位	備 考
教 職 総 論	2	
教 育 原 理	2	
教 育 心 理 学	2	
教 育 社 会 学	2	
保 健 科 教 育 法 一	2	
保 健 科 教 育 法 二	2	
社 会 科 教 育 法	2	
社 会 科 ・ 公 民 科 教 育 法	2	
商 業 科 教 育 法 一	2	
商 業 科 教 育 法 二	2	
英 語 科 教 育 法 一	2	
英 語 科 教 育 法 二	2	
保 健 科 指 導 研 究 I	2	
保 健 科 指 導 研 究 II	2	
社 会 科 指 導 研 究	2	
社 会 科 ・ 公 民 科 指 導 研 究	2	
英 語 科 指 導 研 究 I	2	
英 語 科 指 導 研 究 II	2	
道 徳 教 育 の 研 究	2	
特 別 活 動 の 研 究	2	
教 育 の 方 法 ・ 技 術	2	
生 徒 指 導 の 研 究	2	
進 路 指 導 の 研 究	1	
教育相談（カウンセリングを含む。）	2	
総 合 演 習		
教 職 総 合 演 習	2	（保健学部）
総 合 演 習	2	（総合政策学部・外国語学部）
教 育 実 習 I	1	
教 育 実 習 II	2	
教 育 実 習 III	2	
養 護 実 習 I	1	
養 護 実 習 II	4	

表の科目は、中学校並びに高等学校の教育職員免許状又は養護教諭免許状を得よう

第3類（杏林大学学則）

とする場合、別に定めるところにより選択履修する教職に関する科目である。

ただし、別表2から別表4により開設されている科目を除き、自由科目とし卒業の単位に算入しない。

別表5-1-4

教 職 に 関 す る 科 目 構 成

（平成22年度入学生から適用）

授 業 科 目 の 名 称	単 位	備 考
教 職 総 論	2	
教 育 原 理	2	
教 育 心 理 学	2	
教 育 社 会 学	2	
保 健 科 教 育 法 ー 1	2	
保 健 科 教 育 法 ー 2	2	
社 会 科 教 育 法	2	
社 会 科 ・ 公 民 科 教 育 法	2	
商 業 科 教 育 法 ー 1	2	
商 業 科 教 育 法 ー 2	2	
英 語 科 教 育 法 ー 1	2	
英 語 科 教 育 法 ー 2	2	
保 健 科 指 導 研 究 I	2	
保 健 科 指 導 研 究 II	2	
社 会 科 指 導 研 究	2	
社 会 科 ・ 公 民 科 指 導 研 究	2	
英 語 科 指 導 研 究 I	2	
英 語 科 指 導 研 究 II	2	
道 徳 教 育 の 研 究	2	
特 別 活 動 の 研 究	2	
教 育 の 方 法 ・ 技 術	2	
生 徒 指 導 の 研 究	2	
進 路 指 導 の 研 究	1	
教育相談（カウンセリングを含む。）	2	
教 職 実 践 演 習 （ 中 ・ 高 ）	2	
教 職 実 践 演 習 （ 養 護 教 諭 ）	2	
教 育 実 習 I	1	
教 育 実 習 II	2	
教 育 実 習 III	2	
養 護 実 習 I	1	
養 護 実 習 II	4	

表の科目は、中学校並びに高等学校の教育職員免許状又は養護教諭免許状を得よう

第3類（杏林大学学則）

とする場合、別に定めるところにより選択履修する教職に関する科目である。

ただし、別表2から別表4により開設されている科目を除き、自由科目とし卒業の単位に算入しない。

第3類（杏林大学学則）

別表5-1-5

教職に関する科目構成

（平成24年度入学生から適用）

授業科目の名称	単位	備考
教職総論	2	
教育原理	2	
教育心理学	2	
教育社会学	2	
保健科教育法-1	2	
保健科教育法-2	2	
社会科教育法	2	
社会科・公民科教育法	2	
商業科教育法-1	2	
商業科教育法-2	2	
英語科教育法-1	2	
英語科教育法-2	2	
保健科指導研究I	2	
保健科指導研究II	2	
社会科指導研究	2	
社会科・公民科指導研究	2	
英語科指導研究I	2	
英語科指導研究II	2	
道徳教育指導論	2	
特別活動指導論	2	
教育の方法・技術	2	
生徒指導論	2	
進路指導論	1	
教育相談（カウンセリングを含む。）	2	
教育実習I	1	
教育実習II	2	
教育実習III	2	
養護実習I	1	
養護実習II	4	
教職実践演習（中・高）	2	
教職実践演習（養護教諭）	2	

表の科目は、中学校並びに高等学校の教育職員免許状又は養護教諭免許状を得ようとする場合、別に定めるところにより選択履修する教職に関する科目である。

ただし、別表2から別表4により開設されている科目を除き、自由科目とし卒業の単位に算入しない。

第3類（杏林大学学則）

別表6－1

入学料・授業料等の額

	医学部	保健学部	総合政策学部	外国語学部
入 学 料	1,500,000円	300,000円	250,000円	250,000円
授 業 料	2,300,000円 (年額)	1,100,000円 (年額)	600,000円 (年額)	600,000円 (年額)
実 験 実 習 費	500,000円 (年額)	300,000円 (年額)		
施設拡充整備費	2,000,000円 (年額)	150,000円 (年額)	250,000円 (年額)	250,000円 (年額)
教 育 充 実 費	2,500,000円			

- 1 平成8年度入学生から適用する。
- 2 各学部において、学習指導資料費及び特定科目の履修費を別に定めるところにより徴収する。

第3類（杏林大学学則）

別表6-2

入学料・授業料等の額

	医学部	保健学部	総合政策学部	外国語学部
入 学 料	500,000円	300,000円	250,000円	250,000円
授 業 料	3,000,000円 (年額)	1,100,000円 (年額)	600,000円 (年額)	600,000円 (年額)
実 験 実 習 費	1,000,000円 (年額)	300,000円 (年額)		
施設拡充整備費	4,000,000円 (初年度) 1,500,000円 (2年次以降)	150,000円 (年額)	250,000円 (年額)	250,000円 (年額)

- 1 平成16年度入学生から適用する。
- 2 各学部において、学習指導資料費及び特定科目の履修費を別に定めるところにより徴収する。

第3類（杏林大学学則）

別表6-3

入学料・授業料等の額

	医学部	保健学部	総合政策学部	外国語学部
入 学 料	500,000円	250,000円	250,000円	250,000円
授 業 料	3,000,000円 (年額)	1,150,000円 (年額)	720,000円 (年額)	720,000円 (年額)
実 験 実 習 費	1,000,000円 (年額)	300,000円 (年額)		
施 設 設 備 費	4,000,000円 (初年度) 1,500,000円 (2年次以降)	200,000円 (年額)	200,000円 (年額)	200,000円 (年額)

- 1 平成17年度入学生から適用する。
- 2 各学部において、学習指導資料費及び特定科目の履修費を別に定めるところにより徴収する。

第3類（杏林大学学則）

別表6-4

入学料・授業料等の額

	医学部	保健学部	総合政策学部	外国語学部
入 学 料	1,500,000円	250,000円	250,000円	250,000円
授 業 料	3,000,000円 (年額)	1,150,000円 (年額)	720,000円 (年額)	720,000円 (年額)
実 験 実 習 費	1,000,000円 (年額)	300,000円 (年額)		
施 設 設 備 費	4,000,000円 (初年度) 1,500,000円 (2年次以降)	200,000円 (年額)	200,000円 (年額)	200,000円 (年額)

- 1 平成20年度入学生から適用する。
- 2 各学部において、学習指導資料費及び特定科目の履修費を別に定めるところにより徴収する。

杏林大学教授会規程

制定 昭和49年12月 6日
改正 昭和54年 4月 1日

第1条 杏林大学学則（以下「学則」という。）第12条に規定する本学の各学部教授会（以下「教授会」という。）の運営に関し、同条第8項の規定に基づき、この規程を定める。

第2条 学則第12条第2項の規定に関し、当該学部の学部長に事故あるときは、教務部長たる教授又は学部長の指名する教授が、その職務を代行する。

第3条 教授会は原則として毎月1回定例にこれを開く。ただし、議長が必要と認めるときは臨時にこれを開くことができる。

第4条 教授会は、構成員の過半数の出席がなければ成立しない。

2 教授会の議事は、出席者の過半数をもって決する。議事の表決が可否同数となった場合は、議長の決するところによる。

第5条 教授会の庶務は、各学部の事務部が、それぞれ担当する。

附 則

この規程は、昭和54年 4月 1日から施行する。

診療放射線技術学科設置の趣旨

1. 設置の趣旨および必要性

(1) 本学の教育理念

本学の建学の精神は「眞・善・美の探究」であり、

「眞」の意味するところは、真理を追求する素直で謙虚な姿勢

「善」の意味するところは、他者をいたわり思いやる善き人間性・人格

「美」の意味するところは、優れた感性・風格である。

すなわち、建学の精神は「本学での勉学、学習により、「眞」を真摯に追求し、他者をいたわり思いやる善い人間性を備え、優れた感性や風格を身に付けることのできる人材の養成を目指す。」ことである。

(2) 設置の母体と経緯

本学は「医学」「保健学」「社会科学」「外国語学」の分野において、地域特性や時代の要請に応じて必要な人材の養成を行ってきた。特に医療保健分野ではチーム医療の一員として活躍できる臨床検査技師、看護師、保健師、助産師、救急救命士、臨床工学技士の養成、および学校における健康教育の専門家である養護教諭の養成、福祉の専門家である社会福祉士の養成を通して、広く国民の健康福祉の維持増進に努めてきた。また、リハビリテーションの専門家の養成も不可欠との認識に至り、平成 21 年度、平成 23 年度にそれぞれ理学療法学科、作業療法学科を開設して理学療法士、作業療法士の養成を開始し、現在に至っている。

わが国では少子・高齢化社会が進展する中で、医学・保健学の研究は日々進歩し、それとともに医療も日進月歩の状態であり、今後も医療に関するより高度な知識と技術を身に付けた医療技術者の需要は増大するのは確実である。特に診療放射線技師においては、次に述べるように急速に職責が拡大している。診療放射線技師には各病院における X 線撮影 (CT、血管造影、透視検査、骨密度検査)、核医学検査 (PET、SPECT) および放射線治療 (リニアック治療、小線源治療等) の他に、放射線を利用しない MRI 検査、超音波検査や眼底検査にまで業務が拡大しているうえ、放射線実務管理および放射線関連の法的業務にも携わっている。さらに、放射線医療技術が高度化、専門化し急速に進歩する中で、X 線 MDCT (Multi-detector row CT) などのような技術革新への対応や高度な技術も要求されている。また、放射線医療の専門特化に伴う放射線専門医師の不足のため、画像診断部門における診療放射線技師へより専門的な知識と技術が求められている。一方、チーム医療の一翼を担う診療放射線技師には、高度な知識と技術を持つだけでなく、医療技術者としての高い倫理観、対人関係能力、優れたコミュニケーション能力と共に新しい課題に適切に対応できる問題解決能力を持つこ

とが必要とされる。

本学は長年にわたる医師、臨床検査技師、看護師、保健師、助産師、救急救命士、臨床工学技士の養成の実績を有し、広く国民の健康維持増進を担う役割として、社会からの要請に応えつつ発展してきた。その方向性において、保健・医療・福祉分野への社会的要請、医療技術の時代的变化に対応するため、人間性豊かで、高い倫理観を持ち、高度な専門的知識と技術を身に付け、臨床的実践家として活躍できる人材の養成を目的とする新学科を開設する必要があるとの結論に達した。本学部において臨床検査技師、看護師、保健師、助産師、救急救命士、臨床工学技士、理学療法士、作業療法士に続いてもうひとつの高度な保健・医療の専門家を育成することを新たな使命とし、また、本学の社会貢献のひとつとして、診療放射線技術学科の設置を計画するものである。

(3) 設置の必要性

ここ数十年増え続けるがん罹患者は2015年には89万人とも推定されているが、このような中、平成19年6月「がん対策推進基本計画」の概要が閣議決定され、専門的がん医療の提供を行う医療機関の整備のため、「地域がん診療連携拠点病院制度」が策定された。平成20年4月、本学医学部附属病院も専門的ながん医療の提供を行う施設として指定された。重点的に取り組むべき課題として、放射線療法、化学療法の推進および医療従事者の育成が、治療の緩和ケア、がん登録の推進などと共に3つの柱の一つとして取り上げられている。診療放射線技師の業務はがん医療に特化するものではないが、チーム医療の実践を重ねる医学部附属病院を所有する本学の責務においても、患者中心のチーム医療の一員として、他の医療従事者と協調し活躍できる実践的な能力を持つ診療放射線技師を養成することは社会的使命の一つと考える。

診療放射線技師の養成は、現在、専門学校、短期大学および4年制大学で行われているが、東京都内では4年制大学が3校、専門学校が4校で行われている。しかしながら全校とも東京都23区内に位置しており、本学が存在する多摩西部地域には診療放射線技師養成校がないことから、本学部が4年制大学として診療放射線技師の養成を行うことは地域に対する貢献の一つでもあると考えている。

診療放射線技師の職責が拡大しつつある中、新しい課題に適切に対応できる問題解決能力、チーム医療の一員として関連職種と協働するためのコミュニケーション能力を持ち、的確で高度な医療を提供できる、質の高い人材を養成していくことが重要である。また、本学部診療放射線技術学科では、大学院教育も考慮しながら、高度専門職の診療放射線技師養成を目標とし、すでに社会で活躍している診療放射線技師に対しても、本学を生涯教育の拠点として活用していけるよう整備し、常に最新の知識や技術を修得できるようなシステムを構築することも検討している。

以上のことから、地域がん診療連携拠点の指定を受けている医学部附属病院を有する本学が診療放射線技術学科を設置し、診療放射線技師の養成にあたることは、社会的責務であるという強い認識から、その設置を決定するに至った。

(4) 人材養成の理念・目的および就職

保健学部の理念・目的は、本学の建学の精神である「眞・善・美の探究」に基づいて、「保健、医療、看護および福祉の分野で、専門知識と技術を教授し、科学的な物の見方と、人に対する思いやりの心を涵養し、将来広い視野から物事をとらえ、人々がより健康に生きることをサポートできる人材を養成する。」ことである。この理念・目的を基に、診療放射線技術学科における人材養成と教育目的を、「医療職としての高い専門性と確かな技術力に加え、豊かな人間性を併せ持ち、チーム医療の一員として他の医療従事者と協調し患者中心の医療に貢献できる人材を養成する」と設定している。

この教育目的を達成するため、卒業時点までに到達すべき教育上の目標（ディプロマポリシー）を以下のように定めている。

- ① 診療放射線技術学に関する幅広い専門知識と技術を有すること。
- ② 診療放射線技術学分野の新しい課題に適切に対応できる問題解決能力を有すること。
- ③ チーム医療の一員として、関連専門職との緊密な連携と協働を実践するために必要なコミュニケーション能力を有すること。
- ④ 地域医療の水準向上に貢献できる能力を有すること。
- ⑤ 国際的視野を持って行動できる能力を有すること。
- ⑥ 教育者や研究者としての基礎的能力を有すること。

このような診療放射線技師は、各医療機関をはじめ、多くの分野で活躍することが期待され、特に「がん対策基本法」における医療従事者の育成の面からも、チーム医療を実践することのできる診療放射線技師として、がん医療に大きく貢献のできる人材として活躍の場が広がるものと考えられる。

診療放射線技師の就職先については、大学病院、一般病院、がん関連医療機関、放射線機器などの関連会社、非破壊検査株式会社などが考えられる。近年、乳がんの発生率および死亡率が年々増加している傾向を踏まえ、乳がん検診にマンモグラフィーが導入されており、今後、女性の診療放射線技師を採用する病院、健診センターが増えると思われる。一方、本学では就職活動全般を組織的にバックアップする「キャリアサポートセンター」を設置しており、学部独自の就職委員会と常に情報の共有をしているため、毎年就職率 94%以上の高い実績を挙げている。その中で、就職先は病院およびその関連施設も多く、診療放射線技師の就職先としても十分に期待できるも

のである。

2. 本学の診療放射線技術学科の特色

診療放射線技術学科の教育カリキュラムには、本学保健学部の既存学科との共通科目を配置し、保健医療分野における幅広い知識と見識を身に付けさせる。診療放射線技師は X 線 CT や PET などの高度な最先端機器を駆使して診断に足りうる良質の画像を提供することが職務の大きな柱の一つである。その目的のため、医学部を有する本学の特色を生かした基礎医学・臨床医学の十分な教育の基に、読影能力に長ける診療放射線技師、また、国際医療協力、原子力災害緊急時における活動など広く社会貢献のできる高度専門職業人を養成するため、放射線医学領域に重点に置いた教育プログラムを構築・実践する。

- (1) 放射線医学領域に重点をおいた教育・研究・臨床を行い、特に大学としての高度専門職業人養成機能と社会貢献機能を重視する。
- (2) 応用力と問題解決能力を養う目的で、放射線物理学、放射線化学、放射線生物学などの放射線医学領域の重要な基礎となる科目に、早期の段階から演習時間を設け、少人数による演習を展開する。さらに、専門分野においても随所に演習時間を設定した。
- (3) 国際的に活躍できる人材養成として、国際的視野とコミュニケーション能力を持った診療放射線技師を養成する。そのため、1、2 年では本学外国語学部が開発した「使える・話せる実践英語習得プログラム」を使用した「英語 I から IV」、「英会話」、また、医療分野の知識・技術は日進月歩であり、英語の論文を読みこなす学力は必須なので「原書講読」を 4 年で開講する。幸いなことに、本学に国際的なコミュニケーション能力を養うことが可能な、外国語学部英語学科が併設されていることから、そのスタッフと教育手法を生かし、語学教育を充実させることが可能である。
- (4) 基礎医学教育の充実を計るため、「人体の構造と機能および疾病の成り立ち」の専門基礎分野では人体を 6 つの系統に分類し、すべて必修科目として知識の充実を図る。同時に、高度な読影能力を有する診療放射線技師を養成するため、画像医学、画像解剖学の講義とともに演習時間を設け、少人数による演習を展開する。
- (5) 患者を中心とするチーム医療の一員として、他の医療従事者と連携、協働できる能力を養い、同時に医療安全の確保に貢献できる人材を養成する。そのため、「生命倫理学」、「チーム医療論」、「医療安全学」を開講する。
- (6) 学部教育の集大成として卒業研究を必修科目とした。卒業研究は問題解決能力を発展させる絶好の機会であり、研究の立案、実施、結果のまとめ、結果の解釈と考察、研究の総括と論文作成といった研究の流れを理解させることができる。

3. 学科および学位の名称

診療放射線技術学とは、X線、放射性同位元素、超音波および磁気共鳴現象を利用する画像検査やがんの放射線治療など、正確な診断と治療をサポートするための知識・技術を修める学問である。そして本学科では単に保健医療および福祉活動の中において、それら専門的知識・素養のみならず、社会や地域のニーズに対応しうる高度な市民的教養と倫理性を持つとともに、新しい課題に適切に対応できる問題解決能力を有する、専門職業人としての診療放射線技師を養成することを目的としている。この人材養成目的を適切に表すことから学科名称を「**診療放射線技術学科**」、英訳名称を「**Department of Medical Radiological Technology**」とする。また、学位の名称は学科の教育内容から「**学士（診療放射線学）**」とする。

4. 教育課程編成の考え方および特色

(1) 各学年の到達目標について

カリキュラムは、教育理念に基づく教育目標の達成を目指し、学年毎の教育到達目標に従って、1年次から4年次までそれぞれ次のような方針で進める。

1年次：数学、物理学、化学、生物等の自然科学系基礎科目においては、基礎知識を整理し、専門基礎科目および専門科目につなげる。さらに人体の構造と機能および疾病に関しては、「解剖学」「臨床生理学」「疾病の成り立ちⅠ～Ⅲ」などの基礎医学系科目、また、放射線技術科学の工学的基礎である「放射線物理学」、「医用電気工学」、「医用電子工学」など専門基礎科目を教授し、専門領域への導入としての基礎的理解を深める。人文社会科学系科目においては心理学的、倫理的および社会学的理解を深め、幅広い教養と知識を持った全人的資質を養う。

2年次：1年次の教育方針を継続し、「疾病の成り立ちⅣ～Ⅵ」、「放射化学」などの専門基礎科目を教授する。さらに、医療と放射線の基礎知識・技術を修得させるため、「診療画像検査技術学Ⅰ、Ⅱ」、「画像解剖学」、および撮像手段となる機器に関する「診療画像検査機器学Ⅰ、Ⅱ」などの科目を教授し、診療放射線技師としての基礎的能力を養う。

3年次：主として診療放射線における診断、治療、核医学など臨床的専門領域について、その理論と実際を講義・実習、および本学大学病院などでの臨床実習の両面から教授し、診療放射線技術学の専門職業人としての基礎能力を養うとともに、チーム医療の一員としての役割についての理解を深める。また、将来の診療放射線技師教育および研究のための基礎的能力を養う。

4年次：チーム医療の実践と医療安全の確保に貢献できる人材を養成するため「チ

ーム医療論」、「医療安全学」を開講する。また、医療総合演習では卒業時の教育到達目標である疾病の診断・治療・核医学などの放射線医学に関する高度な知識と技術の修得のため、演習を多く配置した。また、「原書講読」、研究セミナーや卒業論文の作成を通じて、指導者、教育者および研究者としての基礎的能力を養う。

(2) 教育課程の編成について

本学部の設置の趣旨・目的を実現する観点から、授業科目を「基礎分野」「専門基礎分野」「専門分野」の各科目区分によって体系的に構成する。

「基礎分野」は豊かな人間性と社会性を育むこと、また国際化、情報化社会に対応できることを念頭に置き、一般教養と専門教育への基礎を兼ねた科目を学習する。

「基礎分野」では、「人文・社会学系」「数学・物理学系」「化学・生物学系」「言語系」の4部門を教育内容として位置づける。

「人文・社会学系」および、「数学・物理学系」「化学・生物学系」の部門においては、科学的思考の基盤を培うとともに、人間としての尊厳を倫理面のみならず、制度・経済・文化等多角的な視点から理解する。また、国際化社会に対応するため「外国語」については外国語学部を併設することの利点を生かし、実践に即した「英語」の科目、「英語ⅠからⅣ」、「英会話」を開講して充実させた。

「専門基礎分野」科目群は、「専門分野」科目群における知識や技術を修得するための基盤と位置付けられるものである。診断のために必要とされる良質の医用画像の提供と読影能力、治療学、核医学など高度な知識と技術を修得するためにも、診療放射線技師学校養成所指定規則（以下、指定規則と略）に示されている、「人体の構造と機能および疾病の成り立ち」領域の十分な理解が必要である。この領域の科目では、主として人体の構造や機能を系統的に理解するとともに、実習科目を配当することで基本的な解剖・生理学的知識の修得を図る。また、「保健医療福祉における理工学的基礎並びに放射線の科学および技術」領域では、放射線医学における科学技術を物理学、生物学、化学的など多方面からの包括的なとらえ方をできるようにするため、「放射線物理学Ⅰ、Ⅱ」、「放射線生物学」、「放射化学」を、また、放射線安全管理の基礎として「放射線計測学」、「放射線取扱技術学演習」などを教授する。これらの科目は、放射線取扱主任者資格試験科目とのも共通するため演習を多く配置している。一方、医療機器を構成する電気・電子回路、自動制御回路などを理解するための理工学的な基礎および技術として、「医用電気工学」、「医用電子工学」、「システム工学」などの科目で構成する。

「専門分野」については、指定規則に従い、「診療画像技術学」「核医学検査技術学」「放射線治療技術学」「医用画像情報学」「放射線安全管理学」の科目系を配置した。

「診療画像技術学」では、X線撮影、X線CT、SPECT、PET、MRI、超音波などの各装置を用いた撮影・撮像技術について学ぶ。また、描出される画像から、人体各部の臓器、構造、疾患、病態などを正しく理解する能力を養う。「核医学検査技術学」では、放射性同位元素を用いた生体もしくは生体試料の検査法と用いるPETおよびSPECT装置について学ぶ。「放射線治療技術学」では、がん医療に対応すべく、がんの疫学、発生機序などの基礎的理解をもとに、装置の品質保証と管理、治療線量の最適化などの技術と同時に、患者との有効なコミュニケーション、チーム医療の一員として医療に協働することの重要性についても教授する。「医用画像情報学」ではアナログ画像、デジタル画像の基礎理論と良質な医用画像を得るための技術と知識を学ぶ。さらに放射線診療に関わる病院のシステム構築、ネットワーク技術などについても学ぶ。医療放射線の安全利用のためは、その正当性、医療被ばくの軽減など放射線防護の最適化が求められる。「放射線安全管理学」では、放射線の人体への影響を理解し、放射線防護、安全管理のための知識と技術、関係法令について学ぶ。

さらに放射線を利用する最新の医学・医療に関する知見と科学的なものの見方を養うために、「総合領域」では、医療安全学、チーム医療論、原書講読のほか、医療総合演習、特別講義Ⅰ、特別講義Ⅱを設けて、統合的な演習を展開する。特別講義では、今回の原子力災害などもテーマとして取り上げる。また、「卒業研究」では科学的根拠に基づいた診療放射線技術学の実践を学ぶとともに、リサーチマインドをもった診療放射線技師を育成する。

(3) 教養教育の実施方針、教育課程編成上の工夫について

教養教育課程（基礎分野）は、人文・社会学系、数学・物理学系、化学・生物学系、言語系から構成され、様々な学問分野に触れ、いろいろな現象のとらえ方、価値観および多様性を認識することを第一の目的としている。

人文・社会学系科目では、「哲学」、「心理学」、「生命倫理学」、「法学」、「日本国憲法」、「社会学」、「芸術」などを配置して、幅広い分野にわたって教養を養い、生命の尊厳と人権の尊重を基盤とする医療職者としての倫理観を養うことを目的とする。

放射線医学は、数学・物理系科目および化学・生物系科目を基礎として成り立つ学問である。疾病の診断・治療・核医学などの放射線医学に関する高度な知識と技術を備えさせるためには、基礎教育の成功が、その教育の成否を左右するものと考えられる。しかしながら、高等学校において、「物理Ⅰ」「化学Ⅰ」「生物Ⅰ」のいずれかの未履修者がおり、その理由から、高校レベルの授業の再確認を含めた内容の「基礎物理学」「基礎化学」「基礎生物学」を必修科目として配置し、専門科目へ移行しやすいよう工夫している。

語学系については、保健学分野における英語の重要性に鑑み、英語の教育に力を入れている。また、現在、他言語の重要性も増してきており、同じキャンパス内の外国語学部において開講されている中国語、ドイツ語、韓国語などを積極的に履修するように指導する。医療系分野における知識技術は日進月歩であり、英語の文献を読みこなすことのできる学力は不可欠であるので「原書講読」を配置する。また、TOEIC、TOFEL、実用英語技能検定試験などにおいては、スコアに応じて、英語の科目の単位認定を行う。

(4) カリキュラム編成における必修科目・選択科目の量的配分の適切性、妥当性について

必修科目の卒業要件単位に占める割合は95%とほとんど必修科目で占められる。これは、指定規則の定める条件を満たす必要があるためである。高度専門職業人としての診療放射線技師の養成において、専門科目、専門基礎科目においては必修科目として教育しなければならない一方で、基礎分野においては数学・物理系科目系を除き選択科目を多く配置している。すなわち、低学年のうちに基礎学力の養成と幅広い教養知識を修得できるように配慮している。また、専門基礎科目、専門科目には他学科において、関連する多くの科目が設定されているため、幅広い分野で活躍できる人材を養成するためにも、これらの科目についても正規科目の履修に支障のない範囲で積極的に履修するように指導する。

5. 教員組織の編成の考え方および特色

(1) 教員組織の編成について

本学科は初年度（平成25年度）、専任教員10名（教授4名、特任教授1名、准教授2名、常勤講師1名、助教2名）をもって組織し、そのうち4名（教授2名、准教授1名、助教1名）は既設の臨床検査技術学科から異動させる。異動元の臨床検査技術学科の教員数（異動後32名）は大学設置基準で定められた数を大幅に上回っているため、教育水準の維持に問題はない。

専任教員10名のうち診療放射線技師の資格を有する教員は4名、医師の資格を有する教員が2名、第1種放射線取扱主任者の資格を有する教員が4名である。また、専任教員のうち、6名が博士の学位を、2名が修士の学位を有し、教育研究上の十分な資質を有している。

(2) 主要科目と教員配置について

基礎分野では、国際的視野を持った社会人育成のため、併設する外国語学部教員が「英語Ⅰ～Ⅳ」「英会話」を兼担して、専門科目の専任教員と連携をとりやすくした。

専門基礎分野では特に専門科目の基礎知識として必要性が高い「解剖学」「臨床生理学」「生化学」「感染症・免疫学」「薬理学」などの基礎医学系の分野を中心に、教育研究上の実績を有する保健学部所属の教員を配した。また、専門基礎科目では、疾病の理解を深めるために「疾病の成り立ちⅠ」から「疾病の成り立ちⅥ」（合計 12 単位）を必修科目として、それぞれに臨床医学、基礎医学領域で実績のある教員を配置することで、他の医療スタッフと協調し、チーム医療の一員として活躍できる診療放射線技師を養成できるようにした。

専門分野では診療放射線技師養成という専門職業人の養成の観点および実学重視という本学の独自性の観点から、臨床現場の経験が豊富な実務家教員を専門科目に配置することで、臨床に直結した教育に反映することが可能となる。同時に、大学という高度な専門的知識の教育と研究の場としての役割を果たすべく、教育実績および研究実績の豊富な教員を配置することで、教育および最新の研究と臨床の現場をオーバーラップできるように工夫した。さらに「総合医療演習」「原書講読」や「卒業研究」では教授、准教授、常勤講師が全員担当することで、臨床医学および診療放射線技術学に関して統合的なものの見方ができるように配慮した。

(3) 教員の年齢構成について

平成 25 年 4 月に診療放射線技術学科が設置された場合、完成年度以前に定年退職する専任教員はいないので問題はない。なお、本学の規程では、教育職の定年は、教授は満 65 歳、その他の職位は満 63 歳に達した日の属する年度の末日となっている。

診療放射線技術学科設立時の 10 名の専任教員のうち、50 歳代は教授 4 名、特任教授 1 名、准教授 1 名、40 歳代は准教授 1 名、常勤講師 1 名、助教 1 名、20 歳代は助教 1 名であり、教育研究水準の維持向上および教育研究の活性化に支障のない構成になっている。

杏林学園職員就業規則【資料 1】

6. 教育方法、履修指導方法および卒業要件について

(1) 教育方法

カリキュラムの具体的な展開は、教育理念に基づく教育目標の達成を目指し、教育方針にそって周到に準備された教授方法によって実現される。それには、講義と演習、学内実習および本学医学部付属病院を始め地域の各種医療施設などでの臨床実習を通して教授する。学内での視聴覚教材の活用と実習室でのデモンストレーション等により、臨床実習との一貫した教育内容や、グループ学習、セミナー方式による学生の自主的な参加と研究態度を重視した教育方法を採用する。

授業の規模は、学部共通科目として開設する人文・社会学系、自然科学系、専門基

礎分野（人体の構造と機能および疾病の成り立ち）においては 80 名から 90 名程度を想定しているが、100 名を上回る場合は分割して開講する。その他の学科独自の専門基礎分野、専門分野の科目は 50 名規模での授業となる。

カリキュラムの内容は、主に次の 4 つの柱で構成する。

1. 人間を全人的に理解するために、人文・社会学系の科目を通して、心理学的、倫理的および社会的などの観点から学習する。
2. 診療放射線技師の基盤となる放射線医学は広範な学問である。放射線そのものの性質を物理学的、生物学的および化学的に包括的に捉えるため、専門基礎分野の演習を多く配置し理解の充実を計る。また、人体の構造と機能、疾病の理解の基礎となるべく基礎医学教育の充実を計り、そのうえで、基礎から応用へと体系的な学問体系に沿い履修できるよう配置している。
3. 専門各領域では、講義、演習、実習を通して効果的に学習する。特に良質の画像の提供と読影を得意とする診療放射線技師を養成するため、関連科目の演習、実習に重点を置いた。チーム医療については、実際の臨床の場での「臨床実習」を通して最新の医療技術を学び、チーム医療の一員として役割と他の専門医療技術者との関連や連携について修得させる。また、関連する「医療安全学」「チーム医療論」を配置した。
4. 教養科目の中での基礎的な知識の修得、「医療総合演習」における小グループでの討議や最新の放射線医学の科学と技術に関する国際論文を読解する「原書講読」、ならびに教員の個人的指導による卒業論文の作成などによって、指導者、教育者および研究者としての基礎的な能力を養成する。

(2) 履修指導方法

新入生に対する履修指導は、ガイダンス期間を 4 日間設定し、その期間に新入生の担任、教務委員、教務課職員によって、単位、時間割の立て方、資格関連科目の履修方法、履修登録手続き、図書館の利用方法などについての説明をし、さらに履修方法を徹底するために少人数単位でも履修指導などを行う。「履修案内」「学生ハンドブック」「時間割表」など履修に必要な冊子・書類を全学生に配布するとともに、平成 18 年度から導入された WEB 履修システム「Universal Passport」でいつでも関連する情報を確認できるようにしている。また、後期が始まる 9 月にも担任、教務委員会委員、教務課職員によるガイダンスを行っている。

(3) 卒業要件

以下の区分に従い、4 年以上在学し 133 単位以上を修得することを卒業の要件にする。

科目区分の名称		単位数		
		必修	選択	計
基礎分野	人文・社会学系	2	2	4
	数学・物理学系	8	0	8
	化学・生物学系	2	2	4
	言語系	6	2	8
	小計（25科目）	18	6	24
専門基礎分野	「人体の構造と機能および疾病の成り立ち」の系	24	0	24
	「保健医療福祉における理工学的基礎並びに放射線の科学および技術」の系	22	0	22
	小計（32科目）	46	0	46
専門分野	診療画像技術学系	18	0	63
	核医学検査技術学系	7		
	放射線治療技術学系	8		
	医用画像情報学系	7		
	放射線安全管理学系	5		
	臨床実習	10		
	総合領域	8		
	小計（39科目）	63		
合計	合計（96科目）	127	6	133

(4) 履修モデルについて

履修モデルは比較的希望が多いと思われる一般病院の診療放射線技師を目指す学生のケースである。専門基礎分野では「薬理学」も選択するよう履修指導する。また、「放射線物理学Ⅰ」、「放射線生物学」、「放射化学」は診療放射線技術学の基礎といふべきものである。これらの科目は診療放射線技師のみならず放射線取扱主任者の資格試験の学習にも不可欠なものである。それゆえ講義内容の再確認と資格試験対策、応用力の養成のため、それぞれの演習を設定してあるので選択するよう指導する。専門科目でも、それぞれの専門系の演習を履修し、診療放射線技師国家試験レベルの問題の演習を行う。総合領域では、「チーム医療論」を選択し、3年後期に臨床実習において経験した臨床現場、すなわち、チーム医療の一員としての診療放射線技師の役割について、再度確認するとともに、さらなる良質の医療を提供するための方法論について学ぶ。さらに「卒業研究」では、指導教員から与えられた研究テーマに関して内外

の文献調査を行い、調査研究、ないしは実験研究などの研究を通して、将来の進路に直結した基礎的な力を養うことを目標にしている。

履修モデル 【資料2】

(5) 学生の習熟度および質的保証への対応

国家試験の受験資格を取得することが重要であるので、国家試験合格を目標として履修・学習する指導を基本とする。習熟度のバラツキに対して、各科目において学生の理解度、学習到達度に応じてリメディアル(補習)教育を実施することで対応する。しかし、上記の指導の結果、一定の学習到達点に達しない学生については、履修規程に基づき留年とする。

(6) 履修科目の年間登録上限および他大学における授業科目の履修について

学生が履修登録した授業の学習効果を高めるために、1年間の履修登録単位数の上限を50単位とする。他大学との単位互換制度については、本学部では現在実施していない。将来の検討課題とする。

7. 施設、設備等の整備計画について

(1) 校地、運動場の整備計画

本学は、八王子キャンパスに保健学部、総合政策学部、外国語学部、図書館、体育館、管理棟、グラウンド等を配置し、学生が教育・課外活動を受けるにふさわしい広さ(129,911.49㎡)を有しており、診療放射線技術学科を設置する十分なスペースがある。なお、「放射線計測学実験」と「放射線安全管理技術学実習」は、最先端の設備を有する医学部の非密封放射性同位元素使用施設(三鷹キャンパス)でおこなう。この実験実習期間には、教員控室、学生控室、ロッカー室を三鷹キャンパス内の保健学部看護学科看護学専攻校舎内に設置する。

(2) 校舎等施設の整備計画

実習室と教員の研究室は次の通りである。

- 1) 学科専用教室 4室 (77㎡、64人)、(146㎡、140人)、(264㎡、304人)、(489㎡、358人)

学科共用教室 5室 (270㎡、340人)、(210㎡、200人)、(183㎡、120人)、(126㎡、114人)、(85㎡、69人)

- 2) 学科専用研究室 9室 (18㎡×3、19㎡、21㎡、22㎡、24㎡、48㎡、63㎡)

- 3) 実習室等 専用実習室 1室 (285㎡、60人)

共用実習室 6室 (210㎡、80人)×4、(140㎡、60人)、

(135 m²、60 人)

- 4) 学生専用ロッカー室 女子学生用 (84 m² 共用)、
男子学生用 (36 m²×2、63.80 m²×1 共用)
- 5) コンピュータ室 PC100 台設置 (240.00 m² 共用) (保健学部校舎のみ)
- 6) 三鷹校地内施設 教員控室 (98 m² 共用)
学生控室 (24 m²×3 共用)
ロッカー室 女子学生用 (24 m²×4 共用)
男子学生用 (24 m² 共用)
非密封放射性同位元素使用施設 (共用)

(3) 機械器具の整備計画

診療放射線技術学科に関連する科目の教育に使用するため、機械器具などを 700 点以上購入し、新たに設置する実習室などに配置する。主な機械器具の整備計画は資料 3 の通りである。

また、保健学部の既存学科で所有する機械器具、標本模型について、教育上支障がない範囲において共用する。

主な機械器具、標本、模型等一覧【資料 3】

(4) 図書等の資料および図書館の整備計画

保健学分館の蔵書冊数はおよそ 90,645 冊 (和書 62,662 冊、洋書 27,983 冊)、継続雑誌は 234 種 (和雑誌 220 種、洋雑誌 14 種)、オンラインジャーナル 8815 種 (国内 1764 種、外国 7051 種) を整備している。また、三鷹キャンパス医学分館で収集する約 994 種 (和雑誌 916 種、洋雑誌 78 種) にのぼる医学系の学術雑誌も現物貸借、あるいは FAX による送信で利用可能となっている。さらに、診療放射線技術学科を設置するにあたり、診療放射線技師養成のためのカリキュラムにそった図書 500 冊 (和書 450 冊、洋書 50 冊)、雑誌 15 誌 (和雑誌 8 誌、洋雑誌 7 誌) を整備する。とりわけ専門基礎分野および専門分野に配慮して 3 年間で整備充実を図る。

現在のところ主要なデータベース (MEDLINE、医中誌 Web、CINAHL、Web of Science、Cochrane Library、CiNii、DIALOG、NACSIS-IR、LEXIS/NEXIS、判例タイムズ (DVD)、聞蔵Ⅱ、PubMed、JCR、金融商事判例 (DVD)、労働判例 (DVD)、日経テレコン 21、金融法務事情 (DVD)、Source OECD、ジュリスト (DVD)、Business Source Elite、Tourism & Hospitality、D1-Law.com、マガジンプラス、Mergent Online、Upto Date、日経 BP 記事検索データベース、官報情報検索サービスなど) が利用に供されている。平成 18 年度にシステム更新が行なわれ、iLiswave-J (富士通製) が導入された。本システムにより学外的には国立情報学研究所が運用する目録所在情報システムのオンライン

分担目録の入力を担い、学内的には貸出・返却をはじめとした処理の一層の迅速化が実現された。

図書館の機能が学習・教育研究活動に効果的に働くよう様々な図書館利用ガイダンスを企画している。目的の雑誌論文や新聞記事を効率的に探す手法の一環として図書館 OPAC の使い方ガイダンスや図書館ツアー、データベースガイダンスを計画的に行うとともに利用者の質問にいつでも対応、回答できる体制を整備していく方針である。

また、図書館総合管理システムを導入、NCSIS-CAT/ILL に参加し大学図書館間の相互協力をはじめ、学生証や身分証を提示するだけで直接閲覧および貸し出しサービスが受けられる「大学図書館相互利用サービス」に加盟し近郊の大学図書館とも相互協力を進めている。今後、一層の学習・教育研究支援機能の整備拡充を計り、最新情報の発信機能を重視した図書館サービスの充実を図る。

整備する診療放射線技術学関連の学術雑誌【資料4】

8. 入学者選抜の概要について

(1) 学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

保健学部は「保健・医療・福祉の分野で、専門的知識と技術を教授し、科学的なものの方と思いやりの心を涵養して、広い視野から物事をとらえ、人々がより健康に生きることをサポートできる人材を育成すること」を教育の目的としている。この目的が確実に達成されるために、次のような資質をもつ人を求めている。

- ① 健康に関心をもち、保健・医療・福祉に貢献する意志をもつ人。
- ② 人に対する深い思いやりの心をもつ人。
- ③ 幅広い多角的な視野をもつ人
- ④ 保健、医療、看護および福祉に関する学習意欲を備えている人。

この保健学部のアドミッションポリシーに基づき、診療放射線技術学科のアドミッションポリシーを次のように設定している。

「診療放射線技術学の専門知識と技術を修得し、併せて豊かな人間性と倫理観を備え、チーム医療の一員として他の医療従事者と協調し患者中心の医療に貢献したいという意欲をもつ人材を求めます。」

(2) 入試区分、入学試験科目、入学者選抜方法について

① 入試区分

一般入試、センター試験利用入試、推薦入試を基本とし、他に帰国子女入試、外国人留学生入試を行う。

② 募集人員

各入試区分の募集人員は、下表の通りとする。

③ 入学試験科目

表に示したように、一般入試の入学試験科目は、英語を必修科目、数学、物理、化学、生物、国語から 2 科目選択とし、かつ他学科の併願を可能とする。推薦入試においては、適性検査に加えて、多様な受験生に応じた面接試験を行う。

④ 入学者選抜方法

一般入試、センター試験利用入試においては、総合点の高い者から正規合格とし、入学率を審議し、補欠者を繰り上げて、補欠合格者とする。なお、補欠者については、補欠順位を明記して発表する。また、推薦入試、帰国子女入試、外国人留学生入試では調査書、適性検査の成績、面接の成績を総合して合格者を決定する。

入試区分	募集人員	入学試験科目
一般入試	27 名	[必修科目] 英語、 [選択科目] 数学「数学 I、数学 A」、 物理 I、化学 I、生物 I、国語(近代以降の文章)から、問題配布後、2 科目選択。
センター試験 利用入試	6 名	[必修科目]英語、 [選択科目] 以下の 3 教科 5 科目から、2 科目を選択（理科から 2 科目選択可） ●数学「数学 I、数学 A」 ●理科「物理 I」「化学 I」「生物 I」 ●国語(近代以降の文章)
推薦入試	15 名	適性検査、面接
帰国子女入試	1 名	適性検査、面接
外国人留学生入試	1 名	適性検査、面接

(3) 入学試験実施体制について

保健学部の入学試験は、学部長を委員長とし教務部長、学生部長、その他数名の教授会代表者からなる入試審議委員会のもとで実施される。審議委員会は、採用する入試区分、実施時期、募集人員、試験科目などを検討する。さらに入試実施後に合格者ならびに補欠の決定、試験方法や試験問題の反省、次年度の試験方法を検討する。入試審議委員会の下で、入試作業委員会が、出題の依頼、試験問題のチェック、問題の印刷、試験監督の依頼、試験の実施等を担当し、出題に関わる出題委員、採点に関わる採点委員などの委員が任命される。

入学者選抜基準の透明性については、各試験区分の受験資格、試験科目、試験時間、科目別配点、等の基本事項は募集要項に公表する。また、前年度の入試について、受験者数、合格者数、合格最低点などをホームページ上に公表して透明性を高めている。

9. 資格取得

取得可能な資格

本学科においては、卒業時に診療放射線技師国家試験の受験資格を与えることとし、本年7月に診療放射線技師学校の指定申請を文部科学大臣に行う予定である。

また、放射線の取扱や管理に関する専門的な国家資格である第一種放射線取扱主任者免許の取得を薦める。

教育課程と診療放射線技師学校養成所指定規則の対比表 【資料5】

10. 実習の具体的な計画

(1) 実習先の確保の状況

現在までに確保した実習先は、本学科の実習目標を達成するために必要な条件および協力体制を備えていることを条件に選定し、39施設を数え、そのうち13施設は大学付属病院である。

臨床実習先（施設名、所在地、住所など） 【資料6】

(2) 実習先との契約内容

個人情報保護については、実習中知り得た情報については、法令・条例を遵守し、一切漏洩しない旨の誓約書を実習に先立って実習指導者に提出する。また、感染等の事故についても、災害、感染などの事故および故意はまたは過失による実習施設への損害については、一切の責任を負い弁償、処理する旨の誓約書を事前に実習指導者に提出する。

事故予防および感染予防については、十分な事前指導を行った上、実習指導者に対しても事前指導をお願いする。学生には、実習における万が一の事故に備えて、「学生教育研究災害傷害保険および学生教育研究賠償責任保険」に加入することを義務づける。

万が一、事故が起こった場合は、実習担当者および学生から速やかに連絡を受け、実習担当教員が実習先へ出向き、対応を協議する。

実習中の感染予防および感染発生時、事故発生時の対応について 【資料7】

(3) 臨床実習の内容および事前・事後の指導

臨床実習は必修3科目10単位からなり、その3科目の組み立てや繋がりをきめ細かく計画することは、着実に力をつけていくために不可欠となる。そのためには、実習時間のみならず、実習の事前事後の学内における指導や実習受入れ先の施設との連携を密にする。

臨床実習の内容は、「画像検査技術学実習」(6単位)(3年後期～4年前期6週間：270時間、実習前後の指導20時間)、「核医学検査技術学実習」(2単位)(3年後期～4年前期2週間：90時間、実習前後の指導4時間)、「放射線治療技術学」(3年後期～4年前期2週間：90時間、実習前後の指導4時間)から構成される。

以下に各実習の内容および事前・事後の指導について述べる。

「画像検査技術学実習」：画像検査技術学で修得した知識、技術を医療施設の実習指導者のもと、検査機器、検査技術など実践に即した画像検査技術学を学ぶ。また、医療施設における診療放射線技師としての医療チームにおける位置づけと役割を学ぶ。さらにハード、ソフト面でのリスクマネージの構築と実践についても学習する。

「核医学検査学実習」：核医学検査技術学で修得した知識、技術を医療施設の実習指導者のもと、検査機器、検査技術など実践に即した核医学検査技術学を学ぶ。また、医療施設における診療放射線技師としての医療チームにおける位置づけと役割を学ぶ。さらにハード、ソフト面でのリスクマネージの構築と実践についても学習する。

「放射線治療技術学実習」：放射線治療技術学で修得した知識、技術を医療施設の実習施設のもと、治療機器、治療計画など実践に即した放射線治療技術学を学ぶ。また、患者および家族とのコミュニケーション法を実践を通して学ぶ。同時に他の医療職とチーム医療の一員としてのコミュニケーション能力を養う。さらにハード、ソフト面でのリスクマネージの構築と実践についても学習する。

臨床実習は上記の3実習を合わせて10週間と長期になるため、臨床実習の目的を明確にし、綿密な事前指導を行い、各教員は担当学生および実習指導者と適宜、連絡をとり、実習の進捗状況を確認する。6週間の「画像検査技術学実習」では3から4週目に原則として1回、2週間の「核医学検査技術学実習」と「放射線治療技術学実習」では、それぞれの実習期間中に1回の巡回指導を行うことで、実習の進行具合や実態を把握するとともに、学生の臨床上の問題解決に対して指導する。ただし、実習指導者の要請があれば、実習施設にいつでも出向けるようにする。事後指導としては、全体での実習報告会を実施するとともに各領域および個別の討議の時間を設ける。

臨床実習指導体制 【資料8】

(4) 実習水準の確保の方策

本学の臨床実習の多くは、学外の医療施設・福祉施設で実施する。臨床実習は、学内における勉学の体験学習であるので、本学の教育水準と同レベルに保つことは大変

重要となる。実習水準の確保の方策として、以下のことを実施する。

臨床実習を開始する前に各施設の臨床実習指導者に対して、本学で使用している教科書を配布するとともに教育内容を説明し、実習指導方法について本学教員と実習指導者間で十分に調整する。また、各施設の実習指導者と本学との連携を深くするために、各実習施設の担当教員を決める。

各臨床実習終了時には、実習報告会を行う。特に総合臨床実習終了時に行われる実習報告会では、各施設の実習指導内容が本学の教育水準を確保できている事を確認する。なお、実習水準が本学の教育水準より低い場合や教育内容が合わない場合は、再度本学の教育内容を指導することで実習水準を確保する。

(5) 臨床実習指導者と教員の役割について

臨床実習における教育計画の立案および遂行については大学の責任のもとに行い、臨床実習指導者と教員は次のような教育の役割を分担し、円滑で効率的な運営を図る。

・教員の役割

- ① 臨床実習の内容および方法の計画
- ② 実習依頼とその調整、配置先の決定
- ③ 実習行動計画の指導（事前指導）
- ④ 臨床実習指導者会議の計画と実施（実習内容、評価方法の調整）
- ⑤ 実習に関連する問題の調整
- ⑥ 実習期間の巡回指導(学科教員全員が担当)と電話連絡による状況把握および施設訪問
- ⑦ 実習終了後の報告会などの計画（事後指導）

・臨床実習指導者の役割

- ① 指導者は、施設の中でも臨床経験豊富な者が担当
- ② 臨床上のオリエンテーションの実施
- ③ 学生の実習内容と方法に関して教員あるいは施設長との連絡調整
- ④ 担当患者に対する直接の治療および記録に関する指導
- ⑤ 直接の患者治療以外における学生の課題学習や生活適応側面での指導
- ⑥ 一定の様式による実習中の中間評価と終了時の最終評価

(6) 実習先との連携体制

臨床実習を行う上で、臨床実習施設と本学との連携体制を強化することは重要であ

る。そこで、臨床実習指導者と本学の連絡を深くするために、臨床実習施設の担当教員を決め、臨床実習施設との連絡は基本的には同一教員が行うこととする。

また、大学教員と臨床実習指導者が協議を行う場として、臨床実習指導者会議を設ける(年1回)。この会議は、大学の教員と臨床実習受入れ施設の指導者で構成され、教育と臨床の双方の理解と連携を深める場であり、充実した実習を構築するための建設的な意見交換の場として、さらに、実習指導上の様々な問題や情報交換の場として実習の要になる。臨床実習指導者会議において、以下の内容について検討する。

- ① 実習カリキュラムの検討
- ② 学生の実習への適応に関する諸問題
- ③ 実習評価に関する基準

(7) 教員の配置ならびに巡回指導計画

臨床実習は10週間と長期になるため、臨床実習の目的を明確にし、綿密な事前指導を行い、6週間の「画像検査技術学実習」では3から4週目に原則として1回、2週間の「核医学検査技術学実習」と「放射線治療技術学実習」では、それぞれの実習期間中に1回の巡回指導を行うことで、実習の進行具合や実態を把握するとともに、学生の臨床上の問題解決に対して指導する。ただし、実習指導者の要請があれば、実習施設にいつでも出向けるようにする。事後指導としては、全体での実習報告会を実施するとともに各領域および個別の討議の時間を設ける。実習終了後の全体報告会には、実習施設の指導者を招聘し、意見やアドバイスを受ける。

臨床実習巡回指導計画 【資料9】

(8) 実習施設における指導者の配置計画

臨床実習では学生1名に対して、実務経験3年以上の診療放射線技師2名が臨床実習指導および評価を行う。2名の臨床実習指導者のうち、1名が主たる臨床実習指導者となり、他の1名は補助的な役割を担当する。学生評価に関しては、2名の臨床実習指導者の意見を総合して決定するが、主たる臨床実習指導者の1名がまとめることとする。

(9) 成績評価体制および単位認定方法

成績評価は、臨床実習指導者が学生の実習に対する取り組み方や実習での成果を総合的に判断して決定する。臨床実習合格基準(60点)は、臨床実習の規定日数以上の出席、レポート課題が提出されていることとする。合格基準に達した学生は評価技術、レポート、実習報告会や実習サマリーの内容などを判断して、臨床実習指導者が満点を100点として点数で評価する。また、臨床実習指導者が合格基準に満たないと判断

した学生の成績評価は、臨床実習指導者だけで判断するのではなく、担当教員と協議して評価の妥当性について判断する。

11. 2つ以上の校地で教育を行う場合

保健学部診療放射線技術学科の授業科目のうち、「放射線安全管理技術学実習」（1単位）と「放射線計測学実験」（1単位）は、最先端の設備を有する本学医学部の非密封放射性同位元素使用施設（三鷹キャンパス）で行う。上記の実験実習の期間はそれぞれ5日間であり、学生は10日間、三鷹キャンパスで実験実習を行うことになる。

(1) 三鷹キャンパスへの交通アクセスについて

診療放射線技術学科が設置される八王子キャンパスと三鷹キャンパスは35kmほど離れており、移動に要する時間は車利用で50分、バスと電車利用で90分ほどである。また、三鷹キャンパスは、JR三鷹駅、JR吉祥寺駅、京王線仙川駅から、バス利用で20分程度であり、バスは約10分間隔で運行されている。このように三鷹キャンパスへの交通アクセスは比較的よいと言えるので、三鷹キャンパスへの通学は学生にとって負担にはならないと考える。

(2) 教育環境について

実験実習には3名の専任教員を配置する。

診療放射線技術学科の学生や実験実習担当の教員のために、三鷹キャンパスの保健学部看護学科看護学専攻の校舎内に、学生控室兼自習室、学生用ロッカー室、教員控室を設置する。また、従来から保健学部の教員と学生は図書館カードを提示するだけで医学部図書館を利用できるようになっており、学生が看護学専攻の保健室を利用することも可能である。診療放射線技術学科の学生や教員に関する事務窓口取扱は、保健学部看護学科看護学専攻の事務室が行うことができる。

以上から、三鷹キャンパス内で「放射線安全管理技術学実習」と「放射線計測学実験」を開講することによって、教育研究上支障が生じることはない無いと考えている。

12. 管理運営

学部の最高意思決定機関は、教授会である。教授会は学部長が議長となって8月を除く毎月1回開き、入試時期など必要時には臨時教授会も開く。教授会は過半数の出席をもって成立し、教育、教員人事、学生、研究などに関する事項を審議する。学部には、教務委員会をはじめとする各種委員会を設置し、審議事項を学部長に報告している。

大学の最高意思決定機関である大学評議会は、学園長、学長、学部長、図書館長、

各教授会構成員から選任された各 2 名で構成される。学則や諸規程改正の必要が生じたときに召集される（杏林大学学則第 12 条）。

13. 自己点検・評価の対応について

(1) 自己点検・評価への取り組み

本学では、毎年自己点検・自己評価のためのデータブックを「杏林大学の現況」として作成し、冊子体で公開している。これには学部および大学院についての現況が記載されている。学部に「自己点検・評価委員会」、研究科に「研究科自己点検・評価委員会」が大学活動組織として存在し、これらの委員会が中心となり、上記の「杏林大学の現況」を毎年作成している。また、大学基準協会による認証評価を平成 20 年に受審し、「大学基準協会の大学基準に適合している」との評価を受けている。なお、大学に対する提言の中で、特記すべき事項に関しては本学の特色となるように積極的に取り組み、助言として挙げられた事項については、真摯に受け止めて、改革と改善を推進し、建学の精神に基づく教育研究活動の更なる充実に努め、教育の質の保証に取り組んでいる。

平成 23 年度に、杏林大学自己点検・評価規程を改定し、自己点検・評価を毎年行うこと、および自己点検・評価の妥当性と客観性を高めるため、外部評価委員会を設置し、この委員会からの評価結果を付して自己点検・評価報告書を学内外に公表することなど、新たな評価体制を整備した。

(2) 実施体制と方法

本学の教育研究活動等の状況については、自ら行う点検・評価（「自己点検・評価」という。）を行う自己点検・評価委員会（以下、「全学委員会」という。）を置いている。

(2-1) 全学委員会の組織について

全学委員会は次に掲げる委員をもって組織する。また、全学委員会の委員長は学長が指名する者をもって充て、副委員長は全学委員会委員のうちから委員長が指名する。

(a) 各学部長、(b) 各研究科長、(c) 付属病院長、(d) 各学部教授会から推薦された専任教員各 1 名、(e) 理事長が指名する事務管理職 若干名院長、(f) 各学部教授会から推薦された専任教員各 1 名、(g) 理事長が指名する事務管理職 若干名

(2-2) 全学委員会が行う事項について

- (a) 自己点検・評価の基本方針および実施要領の策定に関すること。
- (b) 点検・評価（外部評価を含む）の実施に関すること。
- (c) 自己点検・評価に関する報告書の作成。
- (d) 評価結果に基づく改善状況の検証。
- (e) 自己点検・評価結果の公表に関すること。
- (f) 学校教育法に定める認証評価に関すること。
- (g) 前各号の他、自己点検・評価に関し、全学委員会が必要と認めた事項。

(2-3) 自己点検・評価の実施について

自己点検・評価は、原則として毎年行い、自己点検・評価項目は、次の通りとする。

- (a) 理念・目的 (b) 教育研究組織 (c) 教員・教員組織 (d) 教育内容・方法・成果 (e) 学生の受け入れ (f) 学生支援 (g) 教育研究等環境
- (h) 社会連携・社会貢献 (i) 管理運営・財務 (j) 内部質保証

各学部および大学院各研究科並びに点検・評価項目に関連する教学および法人の各部門にそれぞれ学部等自己点検・評価委員会（以下「学部等委員会」という。）を置き、全学委員会における決定事項に基づき、当該部門の自己点検・評価を主体的に実施し、自己点検・評価の結果に基づき、当該部門の自己点検・評価報告書を作成し、全学委員会に提出する。

(3) 外部評価委員会について

自己点検・評価の妥当性と客観性を高めるため、外部評価を行う機関として外部評価委員会を置き、学長が推薦する有識者若干名をもって構成する。外部委員会は、自己点検・評価について検証および評価を行い、本学の教育研究の向上に資する提言を行う。

(4) 結果の活用および公表

自己点検・評価の結果については、全学委員会が外部評価委員会からの評価結果を伏して自己点検・評価書を学内外に公表するものとする。

また、理事長および学長は自己点検・評価を実施した結果、改善が必要であると認めた事項について、当該部門の長にその改善の実施を求め、実現を図らなければならない。

14. 情報の提供について

平成 22 年 6 月 16 日付けの「学校教育法施行規則等を改正する省令の施行について」に則り以下に掲げる情報等を大学のホームページ上で、公表している。

- ①理事長・学長のメッセージ
- ②建学・教育理念・沿革
- ③学園組織（学部・学科・研究科の名称、教員組織、各種委員会、事務局組織）
- ④入学者数、収容定員、在学者数、卒業・修了者数、進学者数、就職者数
- ⑤校地・校舎等の施設その他の学生の教育研究環境
- ⑥授業料
- ⑦教員数、年齢別・男女別構成
- ⑧各教員が有する学位および業績等
- ⑨各学部・研究科の理念・教育研究上の目的、教育目標
- ⑩アドミッションポリシー
- ⑪授業科目、授業の方法および内容並びに年間の授業計画
- ⑫必修・選択・自由科目別の必要単位取得数および取得可能単位
- ⑬学生が取得すべき知識および能力に関する情報
- ⑭学生の修学、進路選択、学生生活一般に関わる支援
- ⑮国際交流・社会貢献等の概要

また、教員の研究活動の成果は、独立行政法人科学技術振興機構の ReaD および学術雑誌「杏林医学会雑誌」で公表され、この雑誌は電子化されており、ホームページ上でも閲覧できるようになっている。また、杏林学園の広報誌『あんず』や保護者会報『杏会報』により、入学式や卒業式における学長の式辞、学部長の所信表明等、さまざまな記事の形で伝えられている。

設置認可申請書、設置届出書、設置計画履行状況報告書については、ホームページ上で個人情報に関する部分を除いて閲覧できる。

また、本学の特色を生かして、医療・健康・社会問題・ことばや文学に関する公開講演会や公開講座を実施し、開かれた大学として受け入れられるよう市民との交流に努めている。

15. 授業内容方法の改善を図るための組織的な取組

本学部には、「FD 実施委員会」が設置されており、本委員会の目的は、学部全体の教育を活性化し、教員の教育力向上に向けた全学的な FD 活動の支援を行うことである。

(1) 学生による授業評価制度

学生による授業評価を専任教員および非常勤講師のすべての講義科目において前

期・後期に計2回実施しており、その結果を教員にフィードバックして授業改善の資料とするように要請している。自由記載欄を除いた授業評価結果については、本学ホームページ上にも公開しており、学外からも閲覧可能である。

(2) 教員に対する顕彰制度 (Teacher of the Year)

学生による授業評価で高い評価を得た教員を学部長から表彰している。

(3) FD 講演会およびシンポジウムの開催

学外の著名人を招聘し、FD に関するシンポジウムや講演会を実施し教員の参加を義務づけている。さらに、学生対応の諸問題を踏まえ、全教員、特に学生担任を対象に、「学生の相談に対応するための研修会」を開催している。

学外で開催される研修会等は全教員に告知し、その費用は学園が負担している。

(4) 相互授業参観

学生による授業評価最も高い評価を得た講義を学科ごとに指定し、公開講義として全教員に授業聴講を求め、その後、授業担当教員と聴講した教員との間で討論をおこなっている。

(5) 教員評価制度

FDの一環として教員評価制度が導入されており、全教員に、「教員評価シート」の提出を義務づけている。自己評価項目は各教員の教育業績、研究業績、管理運営、社会貢献、情意考課に関する事項である。

(6) 新任教員のガイダンス

新任教員に対しては4月はじめにガイダンスを企画し、本学部について担当部署から説明をおこなうと共に、学生が参加するガイダンス週間の催しに積極的な参加を促し、教育の授受に関する双方の視点から教育のあり方を捉える機会としている。

これらの実施により、教員の資質の向上に努め、教員の教育力・研究力を向上させている。

16. 社会的・職業的自立に関する指導および体制

(1) 基本的な考え方

本学の建学の精神である「真・善・美の探究」に基づいて学び得た学問的専門知識・知的思考力・専門技術を通して自らの職業観・勤労観を培い、個々の学生がキャリア

形成に成功できるよう教育課程内・外にわたって、履修指導、キャリア相談、就職ガイダンス、情報提供などの具体的活動を学生の状況、ニーズに応じて、行っていくシステムを整備することが重要と考えている。

(2) 教育課程内での取り組み

(2-1) 一般教養科目

一般教養科目のうち、次の挙げたものをキャリア教育につながる主な科目と位置づけている。

- (a) 生命倫理学、 (b) 心理学、 (c) 社会学、 (d) 計算機演習、
- (e) 日本語表現法、 (f) 職業適性論（他学科履修で単位付与）

これらの科目中には実用的な知識や技術を修得出来る科目の他に、そのことを通して、活躍できる人間関係能力を育成できる科目も含まれている。

(2-2) 専門基礎・専門科目

診療放射線技術学科では放射線技術学を学ぶと共に、診療放射線技師の社会的役割、専門職業人としての責任、倫理観を学び、講義と臨床実習を通して、自己の職業観を深めていくようにカリキュラムが作成されている。したがって、実践しているカリキュラムの履修がキャリア教育を兼ね備えていると考えている。

キャリア形成の最重要科目として、「チーム医療論」と「臨床実習」を挙げることができる。「チーム医療論」では、チーム医療の一員として、医師をはじめとする関連職種の専門性や自己と他の職種が果たす役割について理解を深めながら、他の関連職種との連携についての重要性について認識させ、これを通して職業意識を育成していく。また、「臨床実習」では、実際に臨床の場を通して、コミュニケーション能力、観察力、分析力、問題解決能力を養うと共に、チーム医療の一員としての役割について確認し、診療放射線技師としての求められる職業意識を育成していく。

(3) 教育課程外の取り組み

診療放射線技術学科の教育内容、特に専門科目はキャリア教育と重複する部分が多いが、これだけでは、実際のキャリアデザインや持続的な就業力を得るためには不十分である。そこで、次のキャリア支援を行っていく。

「初年次からの就業意識醸成・キャリアスキルアッププログラム」（平成 21 年度文部科学省「大学教育・学生支援推進事業」学生支援プログラム採択）この取り組みでは、社会に有用な人材を輩出するという、社会のニーズに応え得る実

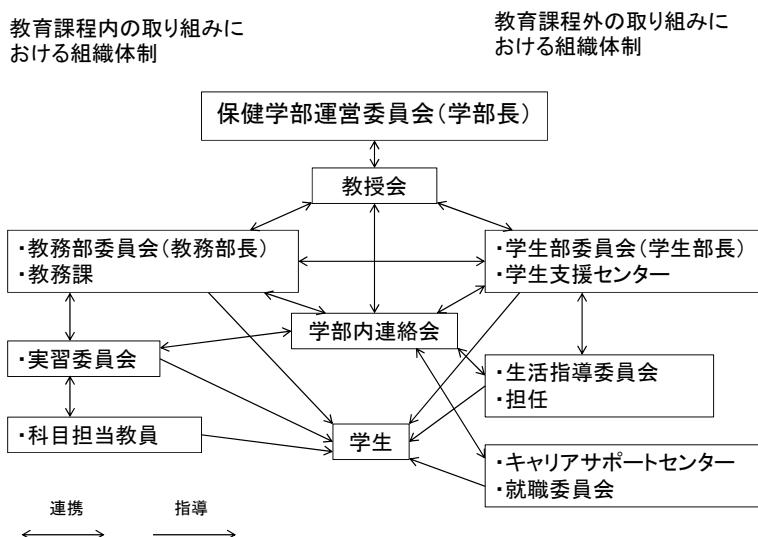
実践的能力を身に付けた学生を育てることを主たる目的においてプログラムを推進していく。そのための施策として就業意識の向上と就業実務能力向上をめざしたキャリア教育の充実を図ることを中軸に据え、知識教育だけにとどまらない体験学習を織り込んだ総合的な学習プログラムをプランし、最終的には就職率の向上につなげることに狙いを置いて展開する。本取り組みの目的である就業意識の涵養並びに就業基礎力の習熟度が1年次から4年次と段階的に図れるようにプログラム構成を考慮して実施を進める。具体的には、就職ガイダンス、就職対策講座、就職専門模擬試験等のプログラムを実施して就職マインドの醸成を図り、一方ではパソコンを用いたネットワーク活用によるスキル研修により就職基礎力向上に取り組んでいる。

保健学部の平成24年度支援スケジュール【資料10】

(4) 組織体制(図参照)

- ① 教育課程内の取り組みを実施するにあたっては、教務委員会が履修方法、時間割設定、教員配置等の実務を行う。
- ② 教育課程外の取り組みではキャリアサポートセンターと就職委員会が実務的な中心的役割を担う。
- ③ 就職委員会の委員は就職アドバイザーとして、キャリアサポートセンターと連携をとりながら、学生個々のニーズに合った進路支援を行う。

社会的・職業的自立に関する指導体制(組織図)



【資料 1】

第 2 類（杏林学園職員就業規則）

休 職 の 原 因	休 職 中 の 給 与 の 支 給 額
1 職務上負傷し、又は疾病にかかった場合	基準法に定める平均賃金の100%。ただし、労災法の適用を受けたときは、その差額を支給する。
2 職務外の理由による心身の故障の場合	私学共済組合法に定める標準給与月額の20%
3 疾病以外の理由により引続き欠勤1月に及んだ場合	支給しない。
4 学園の命令により1年以上にわたり学園外で研究に従事する場合	基本給、住宅手当及び扶養手当の金額。ただし、他からこれらに相当する給与、手当が支給されるとき若しくはその一部が支給されるときは、学園の給与はその限度において支給しない。
5 職制の改廃又は定員の改正による場合	基本給、住宅手当、扶養手当及び職務手当の全額
6 刑事事件に関し起訴された場合	基本給、住宅手当及び扶養手当の10分の3を支給する。
7 本人の願い出によった場合	支給しない。
8 育児のため申出た場合	別に定める。
9 選択定年により申出た場合	別に定める。
10 介護のため申出た場合	別に定める。
11 その他の場合	事例によりその都度決定する。

（休職期間の在職年数加算）

第 2 0 条 休職中の期間は、第 1 5 条に掲げる表の 1、4、5 及び 9 の場合においては、その全期間を在職年数に加算する。

2 第 1 5 条に掲げる表の 6 及び 1 1 の場合においては、人事審議会の意見を聴いたうえ、在職年数への加算の有無及び程度を決定する。

3 前 2 項以外の事由による休職期間は、在職年数に加算しない。

第 4 節 退職

（退職）

第 2 1 条 職員が次の各号の一に該当するときは、退職とする。

- (1) 本人が死亡したとき。
- (2) 定年に達したとき又は選択定年に達したとき。
- (3) 期間の定めがある職員については、その期間が満了したとき。
- (4) 本人から退職の申し出があり、学園が承認したとき。

【資料 1】

第 2 類（杏林学園職員就業規則）

- (5) 休職期間が満了し、復職を命ぜられなかったとき。ただし、第 15 条表の 8、10 の場合は除くものとする。
- (6) 禁錮以上の刑が確定したとき。
- (7) 成年被後見人になったとき。
- 2 退職を希望するときは、1 月以前にその理由及び期日を明記した退職願を所属上長を経て、学園に提出し、その承認を得なければならない。ただし、やむを得ない場合には、14 日前に退職手続をとることができる。
- 3 杏林学園に永年勤務する常勤職員が自らの生涯設計に基づいて退職することを希望したときは、前 2 項の規定にかかわらず別に定める杏林学園選択定年制度に関する規程による。
- 4 退職を申し出た者は、退職の承認があるまで、従前の業務に従事しなければならない。
- 5 職員の定年は、次のとおりとする。
 - (1) 教育職員
 - ア 教授 満 65 歳に達した日の属する年度の末日
 - イ 准教授、講師、助教、助手 満 63 歳に達した日の属する年度の末日
 - (2) 教育職以外の職員 満 63 歳に達した日の属する月の末日
 - (3) 前各号にかかわらず、選択定年制度に関する規程に基づいて定まる日
- 6 前項の規定は、期間を定めて雇用したものには適用しない。
- 7 特別の事由により必要と認めるときは、理事会の承認を得て、期限を付して再雇用若しくは定年を延長することができる。
- 8 職員の再雇用に関する事項は、別に定める杏林学園定年退職者再雇用規程による。

第 5 節 解職

（解職）

第 22 条 職員が次の各号の一に該当するときは解職とする

- (1) 学科目の廃止又は業務の変更若しくは縮小等により、担当業務の継続が不可能又は不必要となり、他の職種に転換させることも困難なとき。
- (2) 試用期間中の者で解職を適当と認めるとき。
- (3) 休職期間の満了したとき。ただし第 15 条表の 8、9 及び 10 の場合は除くものとする。
- (4) 精神又は身体の障害により、職務の遂行に支障があり、又はその職務に堪えられないと認められるとき。
- (5) 勤務成績若しくは能率が悪く、又は著しく協調性を欠き、職員としての適格がないと認められるとき。
- (6) 身上に関する提出書類の記載事項中に偽りがあつたとき。
- (7) 諭旨解雇又は懲戒解雇の処分を受けたとき。
- 2 前項各号によって解職するときは、少なくとも 30 日以前に解職の予告をするか

【資料2】

【診療放射線技術学科 履修モデル】 一般病院の診療放射線技師を希望する学生の履修例

- ・基礎分野において「社会学」、「生物有機化学」、「英会話」を選択する。
- ・卒業研究では、「原子力災害における放射性物質の除染方法について」をテーマに文献を中心に調査研究を行う。

卒業要件(単位)		1年次	2年次	3年次	4年次	計
基礎分野	人文・社会学系	生命倫理学 2 *社会学 2				4
	数学・物理学系	基礎数学 2 医療情報科学 2 計算機演習 1 統計学演習 1 基礎物理学 2				8
	化学・生物学系	基礎化学 1 基礎生物学 1 *生物有機化学 2				4
	言語系	英語 I 2 英語 II 2 日本語表現法 2	*英会話 2			8
専門基礎分野	人体の構造と機能および疾病の成り立ち	解剖学 2 解剖・組織学実習 1 臨床生理学 2 臨床生理学実習 1 生化学 2 公衆衛生学 2 疾病の成り立ち I 2 疾病の成り立ち II 2 疾病の成り立ち III 2	感染症・免疫学 2 疾病の成り立ちIV 2 疾病の成り立ちV 2 疾病の成り立ちVI 2			24
	保健医療福祉における理工学的基礎並びに放射線の科学および技術	医用電気工学 2 医用電気工学実験 1 医用電子工学 2 放射線生物学 2 放射線物理学 I 2	医用電子工学実験 1 システム工学 2 システム工学実験 1 放射線物理学 II 2 放射化学 2 放射線計測学 2 放射線計測学演習 1 放射線取扱技術学演習 1	放射線計測学実験 1		22
専門分野	診療放射線画像技術学		放射線画像検査技術学概論 2 診療画像検査技術学 I 2 診療画像検査技術学 II 2 診療画像検査機器学 I 2 診療画像検査機器学 II 2 画像解剖学 2 画像医学 2	診療画像検査技術学 III 2 診療画像検査技術学演習 1 診療画像検査技術学実習 1		18
	核医学検査技術学		核医学検査技術学概論 2 核医学検査機器学 2 放射性医薬品学 1	核医学検査技術学各論 2		7
	放射線治療技術学		放射線治療技術学 I 2	放射線治療技術学 II 2 放射線腫瘍学 2 放射線治療機器学 2		8
	医用画像情報学		医療画像情報学 I 2	医療画像情報学 II 2 医療システム情報学 2 医療画像情報学実習 1		7
	放射線安全管理学		関係法規 2	放射線安全管理技術学 2 放射線安全管理技術学実習 1		5
	臨床実習			画像検査技術学実習 6 核医学検査技術学実習 2 放射線治療技術学実習 2		10
	総合領域				医療総合演習 2 医療安全学 2 卒業研究 4	8

	1年次	2年次	3年次	4年次	合計
基礎分野	22	0	0	0	24
専門基礎分野	25	22	1	0	46
専門分野	0	25	30	8	63
合計	47	47	31	8	133

*は選択科目

【資料3】

主な機械器具、標本、模型等一覧

No.	品名	参考メーカー	参考型式	数量
1	乾湿球温度計	(株)佐藤計量器製作所	SK式1号	6
2	定積気体温度計			3
3	気圧計	VAISALA	PTB210	3
4	顕微鏡		S-20L(40×)	3
5	分光光度計	日本分光(株)	V-630iRM	3
6	純水製造器	ミリポア	Elix Advantage 3	3
7	天秤(電子天秤を含む。)	A&D	HR-200	12
8	pHメータ	HORIBA	D-51AC	3
9	攪拌器		FBL3000M	3
10	恒温槽	東京理化器械(株)	SLI-221	3
11	遠心分離器	(株)ミー精工	MX-305	3
12	ストップウォッチ		709R	3
13	乾燥器	東京理化器械(株)	WFO-410	3
14	高真空装置(電離真空計を含む。)	ULVAC	GI-M2 M-11	3
15	パソコン	東芝	PT45158EBFR	30
16	プロジェクター(スライド、OHP又はビデオ方式を含む。)	EPSON	EB-S02	6
17	オシロスコープ	岩通計測	DS-5102B	30
18	メモリースコープ	日置電機	MR8880	3
19	信号発振器	岩通計測	SG-4105	30
20	テスター	三和電気計器	CD731a	60
21	電圧・電流計	三和電気計器	CX506A	60
22	電子電圧計	インステックジャパン	GVT-417B	3
23	ユニバーサルカウンタ	インステックジャパン	SC-7206H	1
24	高周波電流計	横河M&I	2016 01	3
25	微小電流計	横河M&I	2011 31	3
26	電力計	横河M&I	PPA1520	1
27	接地抵抗計	横河M&I	3455	1
28	ホイートストンブリッジ	横河M&I	275597	1
29	ケルビンダブルブリッジ	横河M&I	276910	1
30	単巻電圧調整器	三商	44-2252-6	30
31	摺動抵抗器	三商	44-0721-7	30
32	三相変圧器	中村電機製作所	3NT-100VA4020	3
33	直流増幅器(差動型)	NF回路	HVA4321	1
34	直流可変安定化電源	ニッケテックシステム	PA600-0.1B	60
35	交流安定化電源	OMRON	RE60FW2	6
36	個人被曝線量計	ALOKA	PDM-122-SZ	60
		ALOKA	PDM-127-SZ	
37	電離箱式照射線量計	ALOKA	ICS-323C	6

【資料3】

38	熱蛍光線量計	サーモフィッシャー	TLD3500	1
		RADOS	RE-2000A他	1
39	GMカウンタ(吸収板セットを含む。)	ALOKA	JDC-123	6
		ALOKA	AB-1	
40	シンチレーションスペクトロメータ	ALOKA	JSM-112B	3
41	シンチレーションカウンタ	ALOKA	ARC-7001B	1
		ALOKA	JDC-1711	1
		ALOKA	CAN-OSP-NAI	1
42	ガスフローカウンタ	CANBERRA	5XLBシリーズ	1
43	半導体検出器	関谷理化	CJ-GSS	1
44	マルチチャンネル波高分析装置			
45	ハンドフットクロスモニター	ALOKA	MBR-551	3
46	シンチレーションサーベイメータ	ALOKA	TCS-172B	3
47	GMサーベイメータ	ALOKA	TGS-146B	3
48	電離箱サーベイメータ	ALOKA	ICS-323C	3
49	中性子サーベイメータ	ALOKA	TPS-451C	3
50	電気冷蔵庫			3
51	ダストサンプラー	ALOKA	DSM-361B	3
52	貯蔵容器	イソアトープ協会	CB662N	9
53	鉛ブロック	入江商会	B-200	60
54	標準線源	日本アイソトープ協会	AM162CE	2
		日本アイソトープ協会	SR303	2
		日本アイソトープ協会	CO151CE	2
			CS516CE	2
		日本アイソトープ協会	MX033U8PP	2
55	頸ファントム(甲状腺摂取率用)	株式会社 京都科学	PH-26	3
56	ファントム(治療線量測定用)			3
57	診断用エックス線装置(単相全波整流型、コンデンサ式及びインバータ式)	株式会社 日立メディコ	POPULUS Ti	3
58	エックス線用テレビ装置	東芝	DBA-300A	1
59	フォトタイマー			3
60	デジタルラジオグラフィ装置一式	東芝	ADR-2000A	3
61	医用エックス線コンピュータ断層撮影装置	東芝	ASTEION	2
		Asteion	MultisliceCT	
62	〇磁気共鳴画像診断装置	PHILIPS	Gyroscan Intera(1.5T Master)	1
63	超音波画像診断装置	東芝	ssa-340a/cx	1
		フクダ電子	UF-870AG	1
		日本HP	sonos5500	1
64	超音波診断トレーニング装置(ファントムを含む。)	株式会社 京都科学	US1 41900-010	3
65	眼底写真撮影装置	CANON	CR-2 PLUS	3
66	骨密度測定装置	ALOKA	DCS-600EXV	1
67	ブッキーテーブル			3
68	リーダー撮影台	富士フィルム	SA-RF	3
69	エックス線用グリッド	富士フィルム	MS-3P型グリッド	9
70	フィルム保存箱	富士フィルム	フィルム保存袋	6
71	胸測計	富士フィルム	FMSコード:480012401	3
72	角度計			3
73	エックス線防護衣	富士フィルム	HAGOROMO コート	15

【資料3】

74	鉛衝立	富士フィルム	KF型	6
75	人体ファントム(撮影用)	株式会社 京都科学	PH2B 41350-200	3
76	シャウカステン	富士フィルム	AICH-D32	6
77	照度計			3
78	輝度計			3
79	半導体タイマー			3
80	解像力テストチャート			6
81	写真用器具一式	富士フィルム	写真用器具一式	3
82	暗室ランプ	富士フィルム	ダイオードS2	-
83	自動現像機	DryPRO 752	コニカ	1
84	車椅子	株式会社 京都科学	KOCF-142H	3
85	ストレッチャー	株式会社 京都科学	KO-207	3
86	ベッド			10
87	蘇生法教育人体モデル(レサシアン)	株式会社 京都科学	KR-21	3
88	マンモグラフィ			1
89	造影剤自動注入器	根本杏林堂	オートエンハンスA-60	1
90	軟X線発生照射装置	商船三井テクノトレード	OM-303M	1
	合計			723

【資料4】

整備する診療放射線技術関連の図書・学術雑誌

No	書名	版表示	著者名	発行者
1	新しい放射線看護の実際	第4版	山下久雄[ほか]著	医学書院
2	新しい放射線看護の実際	第5版	山下久雄[ほか]著	医学書院
3	Handbuch der Medizinischen Radiologie Bd. I	Bd. I	L.Diethelmhrsg	Springer-Verlag
4	Handbuch der Mes Medizinischen Radiologie Bd. I	Bd. I	L.Diethelmhrsg	Springer-Verlag
5	Handbuch der Medizinischen Radiologie Bd. X	Bd. X	L.Diethelmhrsg	Springer-Verlag
6	Handbuch der Medizinischen Radiologie Bd. X	Bd. X	L.Diethelmhrsg	Springer-Verlag
7	Handbuch der Medizinischen Radiologie Bd. XVI	Bd. XVI	L.Diethelmhrsg	Springer-Verlag
8	Handbuch der Medizinischen Radiologie Bd. XIX	Bd. XIX	L.Diethelmhrsg	Springer-Verlag
9	Handbuch der Medizinischen Radiologie Bd. IV	Bd. IV	L.Diethelmhrsg	Springer-Verlag
10	Handbuch der Medizinischen Radiologie Bd. IV Teil4	Bd. IV Teil4	L.Diethelmhrsg	Springer-Verlag
11	Handbuch der Medizinischen Radiologie Bd. V	Bd. V	L.Diethelmhrsg	Springer-Verlag
12	Handbuch der Medizinischen Radiologie Bd. 9	Bd. 9	L.Diethelmhrsg	Springer-Verlag
13	Handbuch der Medizinischen Radiologie Bd. IX	Bd. IX	L.Diethelmhrsg	Springer-Verlag
14	Handbuch der Medizinischen Radiologie Bd. IX	Bd. IX	L.Diethelmhrsg	Springer-Verlag
15	Handbuch der Medizinischen Radiologie Bd. IX	Bd. IX	L.Diethelmhrsg	Springer-Verlag
16	放射線医学：生体と放射線・電磁波・超音波		近藤隆 [ほか] 編集	
17	放射線科		西岡青春編集	メジカルビュー社
18	放射線医学の知識と看護：Q&A	2版	木下文雄編著	中外医学社
19	放射線医学と看護		蜂屋順一編著	文光堂
20	放射線医学入門		立入弘	南山堂
21	放射線医学 基礎編		江藤秀雄	医学書院
22	放射線写真学	改訂4版	江頭元樹	金原出版
23	放射線医学新書	増補4版	EMSHINSHOKANKOKAI	金芳堂
24	放射線医学入門	11版	立入弘編著	南山堂
25	放射線医学総論		富山憲幸,中川恵一編集,榎林勇編集,杉村和朗監修	金芳堂
26	標準放射線医学	第6版	高島力,佐々木康人監修,中田肇[ほか]編集	医学書院
27	標準放射線医学	第4版	有水昇,高島力編集	医学書院
28	標準放射線医学	第5版	高島力[ほか]編集	医学書院
29	医用画像工学ハンドブック		日本医用画像工学会・医用画像工学ハンドブック編集委員会編集	篠原出版
30	医用工学		岡部哲夫,春名正光編集	医歯薬出版
31	医用工学	第2版	岡部哲夫,春名正光,東福寺幾夫編集,青木貢[ほか]執筆	医歯薬出版
32	放射線診断機器工学	第2版	岡部哲夫,瓜谷富三編集,新井正一[ほか]執筆	医歯薬出版
33	看護実践に役立つ放射線の基礎知識 患者と自分をまもる15章		草間朋子編集,太田勝正,甲斐倫明,伴信彦執筆	医学書院
34	患者ケアを中心とした新しい放射線看護		国立がんセンター放射線科病棟編	医学書院

【資料4】

整備する診療放射線技術関連の図書・学術雑誌

No	書名	版表示	著者名	発行者
35	最新のImage analysis		高橋信次監修,星野一正編	医歯薬出版
36	診療放射線技師のための放射線管理学		放射線管理学編集委員会編	コロナ社
37	診療放射線データブック		日本放射線技師会	マグブロス出版
38	新版 X線回折要論		BDCullity 松村源太郎訳	アグネ
39	X線・RI検査法必携		入江英雄	金原出版
40	よくわかる医用画像工学		石田隆行編 [ほか]共著	オーム社
41	図解放射線医学		板井悠二編著.	文光堂
42	デジタルラジオグラフィー:臨床応用へのパスブックタイプ			ライフ・サイエンス・センター
43	放射性同位元素の科学 基礎と応用	増補版	伊藤和夫 [ほか]共著.	広川書店
44	放射線基礎医学	第8版.	青山喬編著 木村博[ほか]著	金芳堂
45	放射線衛生学		飯田博美著.	マグブロス出版
46	医用放射線技術実験 物理・化学編		田中仁編.	共立出版
47	広島原爆医療史		広島原爆医療史編集委員会編.	広島原爆障害対策協議会
48	医用X線装置発達史		青柳泰司著.	恒星社厚生閣
49	図説放射線医学史		ギィ・パラルディ,マリー, ジョゼ・パラルディ オーギュスト・ワケナン [著] 加藤富三監訳	講談社
50	CT・MRI解剖学事典		多田信平,石井千佳子, 入江健夫著	ベクトル・コア
51	放射線診療用語集	改訂第2版.	日本医学放射線学会編.	金原出版
52	核医学用語集	新版.	日本アイソトープ協会編.	日本アイソトープ協会
53	診療放射線設備		滝山政治郎.	金芳堂
54	CTスキャナ X線コンピュータ断層撮影装置		岩井喜典編.	コロナ社
55	画像診断 考え方と進め方		野崎公敏.	南山堂
56	画像診断のための知っておきたい計測値		古寺研一.	医学書院
57	放射線生物物理学-放射線の生細胞への作用-		D.E.Lea,西脇安訳	岩波書店
58	医用画像処理		今里悠一,大橋昭南共著	昭晃堂
59	オートラジオグラフィの技術		A.W.Rogers,加藤幹太訳	吉岡書店
60	ラジオオートグラフ-手技と応用-		松澤大樹編.	朝倉書店
61	最新MRI情報		河野敦編著.	中外医学社
62	最新CT診断学		永井輝夫編.	朝倉書店
63	医用画像検査技術学	改訂2版.	新開英秀,東田善治著	南山堂
64	医用画像検査技術学	改訂3版.	東田善治,新開英秀,加藤誠編集	南山堂
65	放射線治療技術	第3版.	増田康治編集.	南山堂
66	画像診断のための正常解剖図譜 その1		前原 忠行	新興医学出版社
67	肺・縦隔、心臓・大血管.		西岡清春編集	メジカルビュー社
68	画像診断のための正常解剖図譜 その2		前原 忠行	新興医学出版社
69	消化管・腹部.		西岡清春編集	メジカルビュー社
70	肝臓、胆道、膵臓		西岡清春編集	メジカルビュー社

【資料4】

整備する診療放射線技術関連の図書・学術雑誌

No	書名	版表示	著者名	発行者
71	腎臓、副腎・後腹膜、脾臓		西岡清春編集	メジカルビュー社
72	ポケットX線解剖アトラス		大友邦編著	中外医学社
73	脳神経	改訂第3版	志賀逸夫編集	メジカルビュー社
74	病診連携のための画像診断の手引き		山中望, 本山新編集	金原出版
75	画像診断クイックマスター:CD-ROMによる読影トレーニング		多田信平監修	日本医事新報社
76	画像検査技術基本マニュアル		中澤靖夫編集	医歯薬出版
77	画像診断のティーチングファイル229:胸腹部・骨軟部		宗近宏次[ほか]著	医歯薬出版
78	画像診断のための解剖アトラス:生きたからだの構造		安河内浩著	診断と治療社
79	画像診断シークレット	第2版	Eスコット プレトリウス ジェフリー Aソロモン編, 大友邦, 南学監訳	メディカル・サイエンス・ インターナショナル
80	画像診断を学ぼう:単純X線写真とCTの基本		ウィリアム ヘリング著, 菅 原俊祐訳	メディカル・サイエンス・ インターナショナル
81	画像診断コンパクトナビ:医学生・研修医必携	第2版	百島祐貴著	医学教育出版社
82	非侵襲・可視化技術ハンドブック X線写真・CT画像・エコー像・MRI		小川誠二, 上野照剛監修	エヌ・ティー・エス
83	X線検査		医学映像教育センター 制作著作	医学映像教育センター
84	超音波検査		医学映像教育センター 制作著作	医学映像教育センター
85	医用画像処理入門		石田隆行編, 石田隆行, 大倉保彦, 川下郁生共著	オーム社
86	CT検査		医学映像教育センター 制作著作	医学映像教育センター
87	MRI検査		医学映像教育センター 制作著作	医学映像教育センター
88	ケアに使える画像の見かた X線写真・CT画像・エコー像・MRI		久志本成樹編著	照林社
89	経過でみる救急・ICU画像診断マニュアル 救急対応に活かす実践的画像診断とフォローアップ撮影のポイント		清水敬樹編	羊土社
90	救急画像検査・診断マニュアル		森直編集	メジカルビュー社
91	メディカルノート画像診断:カラー版		小川敏英編集	西村書店
92	MR CT画像解剖ポケットブック		土井司, 笠井俊文共編	オーム社
93	ナースのための画像診断ノート		河野敦編著	中外医学社
94	ナースのための画像診断		福田国彦, 矢本俊一, 萩 尾陽子監修	アンファミエ
95	心臓・大血管・末梢血管・脈管系	改訂第3版	松山正也編集	メジカルビュー社
96	肝臓・胆道・膵臓・脾臓	改訂第3版	小川健二編集	メジカルビュー社
97	肝臓・胆道・膵臓・脾臓	改訂第3版	小川健二編集	メジカルビュー社
98	骨盤臓器	改訂第3版	大場覚編集	メジカルビュー社
99	症例で学ぶ画像診断トレーニング		古井滋編集	中外医学社
100	スクワイヤ放射線診断学		Robert A Novelline著, 藤 原卓哉訳	羊土社

【資料4】

整備する診療放射線技術関連の図書・学術雑誌

No	書名	版表示	著者名	発行者
101	わかる!脊椎画像診断の要点		ハーウィグ・イムホフ著, 菅信一監訳,前田正幸訳	メディカル・サイエンス・ インターナショナル
102	わかる!頭頸部画像診断の要点		ウルリッヒ・メーダー[ほか] 著,尾尻博也訳	メディカル・サイエンス・ インターナショナル
103	わかる!心臓画像診断の要点		クラウス・D・クラウセン [ほか]著,似島俊明監訳	メディカル・サイエンス・ インターナショナル
104	MRIの原理と撮像法:基礎から高速撮像まで		杉村和朗監修・編集	メジカルビュー社
105	MRIテクニックマニュアル		多田信平監修,田中宏, 石井千佳子,佐藤希光共 著	南江堂
106	MRIの基本パワーテキスト:基礎理論から高速撮 像法まで		レイ・H・ハシエミ,ウリア ム・G・ブラッドリー Jr著, 荒木力監訳	医学書院MYW
107	MRI「超」講義:Q&Aで学ぶ原理と臨床応用	第2版	Allen D,Elster Jonathan H Burdette著,荒木力監 訳	メディカル・サイエンス・ インターナショナル
108	MR画像解剖ハンドブック		土井司,笠井俊文共編	オーム社
109	MRI安全性の考え方		日本磁気共鳴医学会安全 性評価委員会監修	学研メディカル秀潤社
110	MRI基礎と実践:カラー版		キャサリン・ウェストブ ルック,キャロリン・カー ト・ロス著,杉村和朗,川光 秀昭監訳	西村書店
111	ポケットMRI解剖アトラス	新版	河野敦編著	中外医学社
112	わかりやすいMRI:基礎+臨床+トレーニング		宗近宏次編集	メジカルビュー社
113	超音波検査士認定試験問題集	第3版	日本超音波医学会編	医歯薬出版
114	医学生のための放射線医学		多田信平[ほか]編集	金原出版
115	TEXT放射線医学		蜂屋順一,酒井邦夫,平 木祥夫編集	南山堂
116	CD-ROMで実践トレーニング 画像診断:厳選150 症例のケーススタディ[機械可読データファイ ル CD-ROM]		藤原卓哉	洋土社
117	地域放射線検診の基礎知識		新野稔著	医学書院
118	映像診断マニュアル 16		白壁彦夫監修	Techno N
119	映像診断マニュアル 17		白壁彦夫監修	Techno N
120	画像検査の基本と実際:失敗しない撮り方・読み 方		永井純編集	メジカルビュー社
121	画像解剖に基づく単純X線写真の撮影法と読影 のポイント		黒木一典,古川博明著	シービーアール
122	はじめての腹部CT		大友邦編著	秀潤社
123	標準デジタルX線画像計測		市川勝弘,石田隆行共編	オーム社
124	医用X線像のコンピュータ診断		鳥脇純一郎,館野之男, 飯沼武編	シュプリングー・フェア ラーク東京
125	ここまでわかる単純X線写真		安河内浩編集	診断と治療社
126	CT正常画像アトラス		黒崎喜久著	ベクトル・コア
127	CT腹部アトラス		藤田信行著	ベクトル・コア
128	CT頭部アトラス		高橋昭喜[ほか]共著	ベクトル・コア
129	救急放射線診断のABC		オットー・チャン編,福田国 彦,関谷透監訳	メディカル・サイエンス・ インターナショナル
130	ナースのためのX線診断の知識		大沢忠[ほか]著	医学書院
131	ナースのためのX線診断の知識		大沢忠[ほか]著	医学書院

整備する診療放射線技術関連の図書・学術雑誌

No	書名	版表示	著者名	発行者
132	CTの原理・CT検査における看護[映像資料VHS]			医学映像教育センター
133	CTではこんな診断ができる![映像資料VHS]			医学映像教育センター
134	新世代3次元CT診断		隈崎達夫,小林尚志編著	南江堂
135	新X線解剖学	改訂第6版	小林敏雄原著	金原出版
136	CTとPETの融合画像診断:効率的な腫瘍病巣発見のために		中本裕士著	金芳堂
137	CT画像解剖ハンドブック		片田和広,森山紀之監修,宮下宗治編	オーム社
138	必携!がん診療のためのPET/CT 読影までの完全ガイド		日下部きよ子編集	金原出版
139	標準X線CT画像計測		市川勝弘,村松禎久共編	オーム社
140	救急疾患CTアトラス:その撮り方・読み方の実際		吉岡敏治編集	永井書店
141	PET-CT画像診断マニュアル		村上康二編著	中外医学社
142	PET検査・診断:基礎のキソ		磯辺智範,飯森隆志,藤淵俊王編集	金原出版
143	PET(陽電子放射断層撮影装置)検診を受ける時に読む本:検診用語集		NPOプロジェクトBC PET用語編集委員会編	秀潤社
144	SPECT-CTの基礎と臨床		浅野雄二,菊池敬編著	メディカルレビュー社
145	超音波の基礎と装置	3訂版	甲子乃人著	ベクトル・コア
146	超音波検査入門	第3版	伊東紘一,入江喬介著	医歯薬出版
147	心臓		中村滋著,朝井均監修	金芳堂
148	心臓		中村滋著,朝井均監修	金芳堂
149	乳腺・甲状腺・唾液腺		中村滋著,朝井均監修	金芳堂
150	ポケット超音波アトラス:CD-ROMによる動画再生機能付き	第2版	山崎力,高坂登著	秀潤社
151	ポケット超音波アトラス:CD-ROMによる動画再生機能付き	第2版	山崎力,高坂登著	秀潤社
152	ポケット超音波アトラス:CD-ROMによる動画再生機能付き		山崎力,高坂登著	秀潤社
153	全身がわかる超音波検査のチェックポイント:実践に役立つ検査のコツ		岩下浄明編著,上條敏夫[ほか]執筆	金原出版
154	症状からみた小児X線の撮り方読み方		藤岡睦久,吉田豊,松山四郎編著	診断と治療社
155	すぐわかる小児の画像診断		荒木力,原裕子編著	秀潤社
156	放射線治療学	改訂4版	井上俊彦,井上武宏,手島昭樹編	南山堂
157	心配しないでいいですよ放射線治療		山下孝,隅田伊織著	真興交易(株)医書出版
158	医用放射線技術実験 基礎編	改訂版	田中仁編	共立出版
159	医用放射線技術実験 臨床編		田中仁編	共立出版
160	実験画像評価:初学者のための実験入門書		大塚昭義[ほか]編集	日本アクセル・シュプリンガー出版
161	診療放射線技術(上巻)	改訂第8版	山下一也,速水昭宗編集	南江堂
162	診療放射線技術選書 1	改訂2版		南山堂
163	診療放射線技術選書 10	改訂2版		南山堂
164	診療放射線技術(下巻)	改訂第8版	山下一也,速水昭宗編集	南江堂
165	診療放射線技術選書 2	改訂2版		南山堂

【資料4】

整備する診療放射線技術関連の図書・学術雑誌

No	書名	版表示	著者名	発行者
166	診療放射線技術選書 3	改訂2版		南山堂
167	診療放射線技術選書 3			南山堂
168	診療放射線技術選書 4			南山堂
169	診療放射線技術選書 5			南山堂
170	診療放射線技術選書 6			南山堂
171	診療放射線技術選書 7			南山堂
172	診療放射線技術選書7			南山堂
173	診療放射線技術選書 8			南山堂
174	診療放射線技術書 9	改訂2版		南山堂
175	遠隔画像診断ネットワークの構築と運用		竹田寛監修,高田孝広編集	日本放射線技師会出版会
176	放射線システム情報学:医用画像情報の基礎と応用		奥田保男,小笠原克彦,小寺吉衛共編	オーム社
177	改訂 放射線障害防止法規の解説		日本原子力産業会議編	日本原子力産業会議
178	施設の基準[映像資料VHS]	第1巻		医学映像教育センター
179	アイソトープを取り扱う時には[映像資料VHS]	第2巻		医学映像教育センター
180	放射線障害予防規定[映像資料VHS]	第3巻		医学映像教育センター
181	放射線と放射能:宇宙・地球環境におけるその存在と働き		Ivan GDraganic, 'Zorica D Draganic', and Jean-Pierre Adloff 共著,松浦辰男[ほか]訳	学会出版センター
182	放射化学及放射線保健学	3改稿版	橋本庸平	広川書店
183	アイソトープの取扱い 薬学および臨床検査における実習と演習	2版	森五彦	南江堂
184	医用放射線の常識 放射線関係者の手引き		熊谷定義	医歯薬出版
185	ラジオアイソトープ薬物代謝実験法		日本アイソトープ協会編	丸善
186	アイソトープとは:アイソトープ[映像資料VHS]	改訂版		医学映像教育センター
187	人体への影響:アイソトープ[映像資料VHS]	改訂版		医学映像教育センター
188	安全取扱の基礎:アイソトープ[映像資料VHS]	改訂版		医学映像教育センター
189	安全取扱の実際[映像資料 VHS]	改訂版		医学映像教育センター
190	医療施設における安全取扱:アイソトープ[映像資料VHS]	改訂版		医学映像教育センター
191	アイソトープとは[映像資料 DVD]	改訂版	日本アイソトープ協会企画	医学映像教育センター(制作)
192	ラジオアイソトープ 基礎から取扱まで	2版	日本アイソトープ協会編	丸善
193	生物科学のためのアイソトープ実験法		松平寛通編	東京大学出版会
194	新ラジオアイソトープ:講義と実習		日本アイソトープ協会編	丸善
195	核医学ノート	改訂第4版	久保敦司,木下文雄著	金原出版
196	核医学		西村恒彦編集	南山堂
197	核医学ノート	改訂第3版	久保敦司,木下文雄著	金原出版
198	核医学	3版	安河内浩	医学書院
199	核医学	4版	安河内浩	医学書院
200	核医学入門 基礎から臨床まで		日本アイソトープ協会	丸善
201	核医学検査技術学	改訂2版	佐々木雅之,桑原康雄編集	南山堂
202	核医学ノート	第5版	久保敦司,木下文雄著	金原出版

【資料4】

整備する診療放射線技術関連の図書・学術雑誌

No	書名	版表示	著者名	発行者
203	最新臨床核医学	改訂第2版	久田欣一 [ほか]編集	金原出版
204	磁気共鳴スペクトルの実際:臨床応用マニュアル		成瀬昭二編集	医学書院
205	磁気共鳴と医学		石津和彦 吉川敏一編	日本医学館
206	磁気共鳴と医学		石津和彦 吉川敏一編	日本医学館
207	磁気共鳴と医学		石津和彦 吉川敏一編	日本医学館
208	磁気共鳴と医学		石津和彦 吉川敏一編	日本医学館
209	磁気共鳴と医学		石津和彦 吉川敏一編	日本医学館
210	磁気共鳴と医学		石津和彦 吉川敏一編	日本医学館
211	磁気共鳴と医学		石津和彦 吉川敏一編	日本医学館
212	磁気共鳴と医学		石津和彦 吉川敏一編	日本医学館
213	磁気共鳴と医学		石津和彦 吉川敏一編	日本医学館
214	これから学ぶ人のためのNMR医学:基本理論から画像の解釈まで		Petersen SteffenB,湯浅龍彦著	西村書店
215	MRIの基礎と臨床		小塚隆弘[ほか]編集	永井書店
216	MRIの原理:第1部			東芝メディカル
217	MRI最近の進歩 II		高橋睦正編	南江堂
218	MRIの原理	第2部		東芝メディカル
219	NMR医学:基礎と臨床	改訂2版	日本磁気共鳴医学会編	丸善
220	最新MRI情報	2	河野敦[ほか]編著	中外医学社
221	生物・医学領域における最新オトラジオグラフィの手技とその応用		水平敏知編	学際企画
222	シンチグラム検査の理論と実際		山崎統四郎	金原出版
223	よくわかるMRI		Jeffrey HNewhouse Jonathan IWiener著,若林ゆかり訳	日本アクセル・シュプリンガー出版
224	全身のMRI		高橋睦正編著	南江堂
225	分子放射線生物学-放射線は生命にどうはたらくか-		近藤宗平	学会出版センター
226	放射線障害		鈴木宗治	金原出版
227	放射線生物学-その分子的基礎		Hdertinger,代谷次夫訳	東京大学出版会
228	放射線の生物作用		GECoggle,渡辺真訳	共立出版
229	放射線生物学	改訂2版	江島洋介,木村博共編	オーム社
230	Der Strahlenunfall und seine Behandlung		Erkennung Pathologie Therapie Prophylaxe HeribertBraun TagungderVereinigungDeutscherStrahlenschutzärzte11:1970:Zurich	Georg Thieme Verlag

【資料4】

整備する診療放射線技術関連の図書・学術雑誌

No	書名	版表示	著者名	発行者
231	「安全な食べもの」ってなんだろう? 放射線と食品のリスクを考える		畝山智香子著	日本評論社
232	家族で語る食卓の放射能汚染	増補改訂版	安斎育郎著	同時代社
233	被曝 日本人の生活と放射線		菅原努編	マグブロス
234	放射性物質の摂取に伴う被曝とその管理		市川龍資編,放射線医学総合研究所著	実業公報社
235	放射線と人間 :先達15人が語る		長瀬ランダウア株式会社編	日刊工業新聞社
236	放射線健康科学		草間朋子,甲斐倫明,伴信彦共著	杏林書院
237	Die naturliche Strahlenexposition des Menschen:Grundlage zur Beurteilung des Strahlenrisikos		KhrsgAurand	Georg Thieme Verlag
238	Strahlenempfindlichkeit von Organen und Organsystemen der Säugetiere und des		HeribertBraun	GThieme Verlag
239	あなたと患者のための放射線防護Q&A		草間朋子著	医療科学社
240	大学等における放射線安全管理Q&A		大学等放射線施設協議会「大学等における放射線安全管理Q&A」編集委員会編集	アドスリー
241	液体シンチレーション測定法		石河寛昭	南山堂
242	放射線安全管理学		富樫厚彦,鈴木昇一,西谷源展共編	オーム社
243	放射線はどこまで危険か		菅原努監修	マグブロス出版
244	放射線安全管理学		飯田博美,安東醇,川井恵一著	通商産業研究社
245	放射線安全管理学	改訂2版	西谷源展,鈴木昇一共編	オーム社
246	放射線の身体的影響に関する人体データと動物実験		松岡理編	実業公報社
247	医療被ばく:患者とどのように向き合い伝えていくか		柏田陽子,中村豊編著	日本放射線技師会出版会
248	医療被ばく説明マニュアル:患者と家族に理解していただくために		笹川泰弘,諸澄邦彦編	日本放射線技師会出版会
249	医療被ばく:患者さんの不安にどう答えますか?事例による放射線カウンセリング		本間光彦,諸澄邦彦編著,日本放射線カウンセリング学会,日本放射線公衆安全学会編集	日本放射線技師会出版会
250	何か心配ですか?医療被ばく:放射線検査の影響のすべて		高橋希之著	日本放射線技師会出版会
251	ラジオアイソトープ 講義と実習	改訂3版	日本アイソトープ協会編	丸善
252	ラジオアイソトープ 講義と実習	改訂3版	日本アイソトープ協会編	丸善
253	Fortschritte im Strahlenschutz : Synopsis über 10 Jahre Forschung		HeribertBraun	Georg Thieme Verlag
254	Der Ermächtigte Arzt im Sinne der Strahlenschutzgesetzgebung		Heriberthrg.Braun	Georg Thieme Verlag
255	Strahlenschutz bei offenen radioaktiven Stoffen und Strahlenwirkungen auf die Zellstruktur Bd.		Heriberthrg.Braun	G. Thime Verlag
256	大学等における放射線安全管理の要点	改訂版	大学等放射線施設協議会「大学等における放射線安全管理の要点」編集委員会編集	アドスリー
257	はじめに人ありき:医者之眼で見た原子力・放射線安全		吉澤康雄著	真興交易医書出版部
258	心身医学	新版	末松弘行編集	朝倉書店

整備する診療放射線技術関連の図書・学術雑誌

No	書名	版表示	著者名	発行者
259	ラジオアイソトープ		原澤進著	コロナ社
260	加速器とその応用		日本物理学会編	丸善
261	放射線物理の基礎		原田芳廣編	東海大学出版会
262	放射線のはなし		野口正安著	日刊工業新聞社
263	生物科学のためのアイソトープ実験法		松平寛通編. -- 東京大学出版会	
264	素粒子の起源		原康夫	共立出版
265	基礎原子力講座 7			コロナ社
266	物質の構造		菊地正士	創元社
267	核融合		H.R.Hulme ; 蟻川達男 訳	共立出版
268	光のスピードに迫る : 粒子加速器の話		富家和雄著	裳華房
269	放射線物理学		遠藤真広,西臺武弘共 編	オーム社
270	放射化学概論		富永健	東京大学出版
271	基礎放射化学		村上悠紀雄	丸善
272	化学・生化学のための放射化学入門		J.Malcolme-Lawes ; 瀧 幸訳	学会出版センター
273	Case studies in medical imaging : radiology for students and trainees		A.T.Ahuja.	
274	Low dose radiation : biological bases of risk assessment		edited by K.F. Baverstock and J.W. Stather	Taylor & Francis
275	Grundlagen der Strahlenphysik und radiologischen Technik in der Medizin		von Wilfried Angerstein u. Siegfried Gursky. Unter Mitarb. von 23 Fachautoren	Thieme
276	Dictionary and handbook of nuclear medicine and clinical imaging		Mario P. Iturralde	CRC Press
277	101 lessons in X-ray terminology for the medical transcriber		[by] Anne Hadley	Lippincott
278	Clark's Positioning in Radiography. Vol.2		Louis Kreel (Ed.)	W. Heinemann Medical Books
279	Electrical impedance tomography		edited by J. G. Webster	Hilger
280	Mathematics for Technologist in Radiology		Nuclear Medicine and Radiation Therapy Stefano S. Stefani	Mosby
281	Biomedical image analysis		Rangaraj M. Rangayyan,ed. by Michael R. Neuman	CRC Press
282	Handbook of medical imaging : processing and analysis		editor-in-chief, Isaac N. Bankman	Academic Press
283	Advances in nuclear oncology diagnosis and therapy		edited by Emilio Bombardieri[et al.]	Informa UK
284	Practical MRI : a teaching file		Jeffrey J. Brown, Franz J. Wippold II.	Lippincott[-]Raven
285	Goldrens Diagnostic Radiology. Section 5		Laurence L. Robbins (Ed.)	Williams & Wilkins
286	CT and MRI of the whole body		[edited by] John R. Haaga[et al]	Mosby Elsevier
287	CT and MRI of the whole body		[edited by] John R. Haaga[et al]	Mosby Elsevier

【資料 4】

整備する診療放射線技術関連の図書・学術雑誌

No	書名	版表示	著者名	発行者
288	Positron emission tomography computed tomography : a disease-oriented approach		edited by Elissa L. Kramer[et al.]	Informa Healthcare
289	The Changing Environment of Practice in Radiology—the Impact of Government : Proceeding of a Seminar for Radiologists on Socio-Economics,Marriott Twin Bridges Motor Hotel Washington D. C. A Seminar for Radiologists on Socio-Economics (1974: Washington)			American College of Radiology
290	Directory of High-energy Radiotherapy Centres			IAEA
291	Dental Radiography; an Introduction for Dental Hygienists and Assistants.		Richard C. O'brien	W. B. Saunders
292	Guidelines on patient care in radiography		Christine Gunn,Christine S. Jackson.	Churchill Livingstone
293	Nuclear analytical methods in the life sciences 1994			Humana Press
294	Compartmental Distribution of Radiotracers		James S. Robertson (Ed.)	CRC Press
295	Radioisotopes in biology : a practical approach		edited by R.J. Slater	Oxford University Press
296	Synthesis and Applications of Isotopically Labeled Compounds : Proceedings of an International Symposium,Kansas City, MO, U. S.		Duncan William P. (Ed.)	Elsevier Scientific Pub
297	High Energy Electrons in Radiation Therapy		A. Zuppinger (Ed.)	Springer-Verlag
298	NMR, principles and applications to biomedical research		Jay W. Pettegrew ,editor	Springer-Verlag
299	Biomolecular NMR spectroscopy		Jeremy N.S. Evans	Oxford University Press
300	Essentials of nuclear medicine imaging		Fred A. Mettler, Jr.Milton J. Guiberteau	W.B. Saunders
301	Nuclear magnetic resonance imaging in medicine and biology		Peter G. Morris	Clarendon Press.
302	Effects of ionizing radiation : atomic bomb survivors and their children (1945-1995)		Leif E. Peterson and Seymour Abrahamson, editors	Joseph Henry Press
303	The Chemical basis of radiation biology		C. von Sonntag	Taylor & Francis
304	The Molecular Theory of Radiation Biology		K. H. Chadwick	Springer
305	Radiation effects. Vol. 41, No. 2		Lewis T. Chadderton (ed.)	Gordon and Breach Science Publishers
306	Radiation effects. Vol. 41, No. 3		Lewis T. Chadderton (ed.)	Gordon and Breach Science Publishers
307	Radiation effects. Vol. 41, No. 4		Lewis T. Chadderton (ed.)	Gordon and Breach Science Publishers
308	Radiation effects. Vol. 42 No. 1-2		Lewis T. Chadderton (ed.)	Gordon and Breach Science Publishers
309	Radiation effects. Vol. 42 No. 3-4		Lewis T. Chadderton (ed.)	Gordon and Breach Science Publishers
310	WHO handbook on indoor radon : a public health perspective			World Health Organization
311	CRC Handbook of Radiobiology		Kedar N. Prasad.	CRC Press
312	Effect of Radiation on Human Heredity.			World Health
313	Radiation & ageing		Patricia J. Lindop (Ed.).	Taylor & Francis

整備する診療放射線技術関連の図書・学術雑誌

No	書名	版表示	著者名	発行者
314	Isotopes and Radiation in Soil-plant Relationships Including Forestry : Proceedings of the Symposium on the Use of Isotopes and Radiation in Research on Soil-plant Relationships Including Applications in Forestry Jointly Organized by the International Atomic Energy Agency and The Food and Agriculture Organization of the United Nations, and Held in Vienna, 13-17 December 1971 , Symposium on the use of Isotopes and Radiation in Research on Soil-Plant Relationships Including Applications in Forestry(1971:Vienna)			International Atomic Energy Agency
315	Advances in Radiation Protection and Dosimetry in Medicine.		Ralph H. Thomas (Ed.)	Plenum Press
316	Dosimetrie und Strahlenschutz : physikal.-techn. Daten u. Methoden f. d. Praxis;		[mit] 173 Tab , hrsg. von R. G. Jaeger und W. H/bner. Mit Beitr. von H. H. Eisenlohr [u. a.]	Thieme
317	The Environmental Radiation Surveillance Laboratory: a Guide to Design		Layout, Staff and Equipment Requirements , P. R.	W. H. O.
318	A guide to radiation protection		J. Craig Robertson	Wiley
319	X-ray diagnosis		B. E. Keane,K. B. Tikhonov ; jointly sponsored by ILO,IAEA and WHO	World Health Organization
320	Basic protection requirements		[by] C.B. Braestrup [and] K.J. Vikterlöf	World Health Organization
321	Unsealed sources		D. Frost, H. Jammet	World Health Organization
322	The Medical Basis for Radiation Accident Preparedness		Karl F. Hubner (Ed.) ; REAC/TS International Conference on the Medical Ba	Elsevier
323	Protection of the public in the event of radiation accidents : proceedings of a seminar jointly sponsored by the Food and Agriculture Organization of the United Nations, the International Atomic Energy Agency, and the World Health Organization : Geneva, 18-22 November 1963			World Health Organization
324	Protection against ionizing radiations : a survey of current world legislation.			World Health Organisation
325	RF radiation safety handbook		Ronald Kitchen	Butterworth Heinemann
326	Strahlenschutz in Forschung und Praxis. 1 - 8.			
327	Strahlenschutz in Forschung und Praxis. 1 - 8.			
328	Strahlenschutz in Forschung und Praxis. 1 - 8.			
329	Strahlenschutz in Forschung und Praxis. 1 - 8.			
330	Strahlenschutz in Forschung und Praxis. 1 - 8.			
331	Strahlenschutz in Forschung und Praxis. 1 - 8.			
332	Handbook of Radiochemical Exercises		An N. Nesmeyanov ; E. Kloczko (Trans. by).	Pergamon Press
333	Methods of radiochemical analysis			World Health Organization
334	Nuclear and Radiochemistry.		Gerhart. Friedlander	Wiley
335	Project Sherwood; the U.S. Program in Controlled Fusion.		Amasa S. Bishop	Addison-Wesley

【資料4】

整備する診療放射線技術関連の図書・学術雑誌

No.	雑誌名	出版社	発行回数
1	Acta Radiologica	Royal Society of Medicine Press	年10回
2	Investigative Radiology	Wolters Kluwer Lippincott Williams & Wilkins	月刊
3	Clinical Radiology	Elsevier	月刊
4	Radiology	Radiological Society of North America	月刊
5	Japanese Journal of Radiology	Springer 日本医学放射線学会	年10回
6	Journal of Radiation Research	Oxford University Press 日本放射線影響学会	隔月刊
7	Annals of Nuclear Medicine	Springer 日本核医学会	年10回
8	放射線科学	放射線医学総合研究所	月刊
9	臨床放射線	金原出版	月刊
10	日本放射線技術学会雑誌	日本放射線技術学会	月刊
11	核医学	日本核医学会	季刊
12	Diagnostic Imaging-画像診断	学研メディカル秀潤社	月刊
13	臨床画像	メジカルビュー社	月刊
14	INNERVISION(インナービジョン)	株式会社インナービジョン	月刊
15	日本放射線技師学会雑誌	日本放射線技師学会	月刊

【資料5】

様式第2号(その2)

教育課程と指定規則との対比表

診療放射線技師学校 杏林大学保健学部診療放射線技術学科

教育課程							別表1												
							指定規則の教育内容		基礎分野		専門基礎分野		専門分野					計	
							区分	授業科目	配当年次	単位数		1単位当たりの時間数	履修方法及び卒業要件	科学的思考の基盤	人間と生活	人体の構造と機能および疾病の成り立ち	保健医療福祉における理工学的基礎並びに放射線の科学及び技術		診療画像技術学
			必修	選択						14								12	
									30		49								
基礎分野	人文・社会学系	哲学	学	1前・後		2	15		○									4単位以上 (必修2単位を含む)	
		心理学	学	1前		2	15		○										
		生命倫理	学	1後	2		15		○										
		法	学	1前		2	15		○										
		日本国憲	法	1後		2	15		○										
		社会	学	1前・後		2	15		○										
		芸	術	1前・後		2	15		○										
	計 (卒業要件)							4	4	0	0					4			
	数学・物理学系	基礎	数	学	1前	2		15		○									8
		医療情報	科	学	1前	2		15		○									
計算機		演習	習	1後	1		30		○										
統計		学	演習	1前	1		30		○										
基礎		物	理	学	1前	2		15		○									
計 (卒業要件)							8	8	0	0					8				

【資料5】

教育課程 指定規則の教育内容							別表1										
							基礎分野		専門基礎分野		専門分野					計	
							科学的思考の基盤	人間と生活	人体の構造と機能および疾病の成り立ち	保健医療福祉における理工学的基礎並びに放射線の科学及び技術	診療画像技術学	核医学検査技術学	放射線治療技術学	医用画像情報学	放射線安全管理学		臨床実習
14		12	18	17	6	6	6	4	10	93							
区分	授業科目	配当年度	単位数		履修方法及び卒業要件												
			必修	選択		1単位当たりの時間数	30		49								
基礎分野	化学・生物学系	基礎化学	1前	1		15	4単位以上 (必修2単位を含む)	○									4単位以上 (必修2単位を含む)
		無機化学	1前		2	15		○									
		生物有機化学	1前		2	15		○									
		基礎生物学	1前	1		15		○									
		生命科学概論	1前		2	15		○									
		遺伝学	1後		2	15		○									
		細胞生物学	1前		2	15		○									
	計 (卒業要件)						4	4	0	0					4		
	言語系	英語 I	1前	2		15	8単位以上 (必修6単位を含む)	○									8単位以上 (必修6単位を含む)
		英語 II	1後	2		15		○									
		英語 III	2前		2	15		○									
		英語 IV	2後		2	15		○									
		英会話	2前・後		2	15		○									
日本語表現法		1前・後	2		15	○											
計 (卒業要件)						8	8	0	0					8			
専門基礎分野	人体の構造と機能および疾病の成り立ち	解剖学	1前	2		15	24単位以上		○								24単位以上
		解剖・組織学実習	1後	1		30			○								
		臨床生理学	1前	2		15			○								
		臨床生理学実習	1後	1		30			○								
		生化学	1後	2		15			○								
		感染症・免疫学	2前	2		15			○								
		薬理学	2前		2	15			○								
		公衆衛生学	1前	2		15			○								

【資料5】

教育課程						別表1										
						基礎分野		専門基礎分野		専門分野					計	
区分	授業科目	配当年次	単位数		履修方法及び卒業要件	科学的思考の基盤	人間と生活	人体の構造と機能および疾病の成り立ち	保健医療福祉における理工学的基礎並びに放射線の科学及び技術	診療画像技術学	核医学検査技術学	放射線治療技術学	医用画像情報学	放射線安全管理学		臨床実習
			必修	選択											1単位当たりの時間数	
専門分野	診療画像技術学	放射線画像検査技術学概論	2前	2	15					○						18単位以上
		診療画像検査技術学Ⅰ	2前	2	15					○						
		診療画像検査技術学Ⅱ	2後	2	15					○						
		診療画像検査技術学Ⅲ	3前	2	15					○						
		診療画像検査機器学Ⅰ	2前	2	15					○						
		診療画像検査機器学Ⅱ	2後	2	15					○						
		画像解剖学	2前	2	15					○						
		画像解剖学演習	2後		1	30				○						
		画像医学	2後	2	15					○						
		診療画像検査技術学演習	3前	1	30					○						
		診療画像検査技術学実習	3前	1	45					○						
		計(卒業要件)					18	0	0			18				
専門分野	核医学検査技術学	核医学検査技術学概論	2後	2	15						○				7単位以上	
		核医学検査技術学各論	3前	2	15						○					
		核医学検査機器学	2後	2	15						○					
		放射性医薬品学	2前	1	15						○					
		核医学検査技術学演習	3前		1	30					○					
計(卒業要件)					7	0	0			7			7			
専門分野	放射線治療技術学	放射線治療技術学Ⅰ	2後	2	15							○			8	
		放射線治療技術学Ⅱ	3前	2	15							○				
		放射線腫瘍学	3前	2	15							○				
		放射線治療機器学	3前	2	15							○				
計(卒業要件)					8	0	0			8			8			

【資料5】

指定規則の教育内容						別表1										
						基礎分野		専門基礎分野		専門分野						計
区分	授業科目	配当年次	単位数		履修方法及び卒業要件	科学的思考の基盤	人間と生活	人体の構造と機能および疾病の成り立ち	保健医療福祉における理工学的基礎並びに放射線の科学及び技術	診療画像技術学	核医学検査技術学	放射線治療技術学	医用画像情報学	放射線安全管理学	臨床実習	
			必修	選択												1単位当たりの時間数
専門分野	医用画像情報学	医療画像情報学Ⅰ	2後	2		15							○			7単位以上
		医療画像情報学Ⅱ	3前	2		15							○			
		医療システム情報学	3前	2		15							○			
		医療画像情報学演習	3前		1	30							○			
		医療画像情報学実習	3前	1		45							○			
	計(卒業要件)						7									7
	放射線安全管理	放射線安全管理技術学	3前	2		15									○	5単位以上
		放射線安全管理技術学演習	3前		1	30								○		
		放射線安全管理技術学実習	3前	1		45								○		
		計(卒業要件)						5								
	臨床実習	画像検査技術学実習	3後~4前	6		45									○	10
		核医学検査技術学実習	3後~4前	2		45								○		
		放射線治療技術学実習	3後~4前	2		45								○		
	計(卒業要件)						10									10
	総合領域	医療総合演習	4後	2		15					○	○	○	○	○	8単位以上
		医療安全学	3後・4前	2		15								○		
		千一ム医療論	3前		2	15			○							
		原書講読	3後・4前		2	15	○									
		特別講義Ⅰ	2前		1	15										
		特別講義Ⅱ	3後・4前		1	15										
卒業研究		4後	4		45					○	○	○	○	○		
計(卒業要件)						8								8		
卒業要件合計単位数						133	24	46	63						133	
指定規則に対する増単位数							10	16	14						40	

【資料6】

臨床実習先

NO.	病院名称	郵便番号	住所
1	医療法人社団徳成会八王子山王病院	192-0042	東京都八王子市中野山王2-15-16
2	財団法人自警会東京警察病院	164-8541	東京都中野区中野4-22-1
3	医療法人社団陽和会武蔵野陽和会病院	180-0012	東京都武蔵野市緑町2-1-33
4	独立行政法人労働者健康福祉機構関東労災病院	211-8510	神奈川県川崎市中原区木月住吉町1-1
5	大和市立病院	242-8602	神奈川県大和市深見西8-3-6
6	順天堂大学医学部附属順天堂医院	113-8431	東京都文京区本郷3-1-3
7	順天堂大学医学部附属練馬病院	177-8521	東京都練馬区高野台3-1-10
8	国立国際医療研究センター	162-8655	東京都新宿区戸山1-21-1
9	医療法人社団恵仁会府中恵仁会病院	183-8507	東京都府中市住吉町5-21-1
10	聖マリアンナ医科大学附属病院	216-8511	神奈川県川崎市宮前区菅生2-16-1
11	公立福生病院	197-8511	東京都福生市加美平1-6-1
12	社会福祉法人康和会久我山病院	157-0061	東京都世田谷区北烏山2-14-20
13	医療法人啓仁会吉祥寺南病院	180-8551	東京都武蔵野市吉祥寺南町3-14-4
14	国家公務員共済組合連合会立川病院	190-8531	東京都立川市錦町4-2-22
15	武蔵野赤十字病院	180-8610	東京都武蔵野市境南町1-26-1
16	慶應義塾大学病院	160-8582	東京都新宿区信濃町35
17	社会医療法人河北医療財団河北総合病院	166-8588	東京都杉並区阿佐谷北1-7-3
18	独立行政法人国立病院機構災害医療センター	190-0014	東京都立川市緑町3256
19	独立行政法人 国立病院機構東京医療センター	152-8902	東京都目黒区東が丘2-5-1
20	社会福祉法人親善福祉協会国際親善総合病院	245-0006	神奈川県横浜市泉区西が岡1-28-1
21	杏林大学医学部付属病院	181-8611	東京都三鷹市新川6-20-2
22	JR東京総合病院	151-8528	東京都渋谷区代々木2-1-3
23	東京医科大学八王子医療センター	193-0998	東京都八王子市館町1163
24	日本医科大学付属病院	113-8603	東京都文京区千駄木1-1-5
25	東京大学医学部附属病院	113-8655	東京都文京区本郷7-3-1
26	東京都立多摩総合医療センター	183-8524	東京都府中市武蔵台2-8-9
27	青梅市立総合病院	198-0042	東京都青梅市東青梅4-16-5
28	独立行政法人労働者健康福祉機構横浜労災病院	222-0036	神奈川県横浜市港北区小机町3211
29	N T T 東日本関東病院	141-8625	東京都品川区東五反田5-9-22
30	東京慈恵会医科大学附属病院	105-8471	東京都港区西新橋3-19-18
31	町田市民病院	194-0023	東京都町田市旭町2-15-41
32	医療法人社団東光会西東京中央総合病院	188-0014	東京都西東京市芝久保町2-4-19
33	東邦大学医療センター大森病院	143-8541	東京都大田区大森西 6-11-1
34	医療法人 湘和会湘南記念病院	248-0027	神奈川県鎌倉市笛田2-2-60
35	独立行政法人国立がん研究センター中央病院	104-0045	東京都中央区築地5-1-1
36	東京女子医科大学病院	162-8666	東京都新宿区河田町8-1
37	公立大学法人横浜市立大学附属病院	236-0004	神奈川県横浜市金沢区福浦3-9
38	東京医科歯科大学医学部附属病院	113-8519	東京都文京区湯島1-5-45
39	公立学校共済組合関東中央病院	158-8531	東京都世田谷区上用賀6-25-1

実習中の感染予防及び感染症発生時、事故発生時の対応について

I. 実習中の感染予防及び感染症発生時の対応について

1. 実習中の健康管理及び感染症予防

実習中は心身に大きなストレスがかかり体調を崩しやすくなる。医療職を目指す者として、日頃から自分自身の健康管理に努めなくてはならない。

学生が感染症に罹患した場合、患者及び家族をはじめ、周囲の人々に深刻な影響を及ぼす可能性がある。したがって、以下に示すように、感染の予防と適切な治療を受けるとともに、実習への取り組みについて指導教員から指導を得る。

- 1) 感染症を未然に防ぐために、睡眠や栄養を十分にとり、手洗いやうがいを励行し、積極的に予防接種を受ける。
- 2) 朝の時点で、37℃以上の発熱や咳・鼻水などの呼吸器症状あるいは、下痢・嘔吐・腹痛などの著明な消化器症状が生じた場合には、実習施設に行く前に指導教員に報告し、指示を受ける。
- 3) 感染症が疑われる時は、速やかに医療機関を受診して必要な治療を受ける。
- 4) 受診した結果および実習に関する主治医の意見は、ただちに指導教員へ報告し、実習継続について指示を受ける。
- 5) 周囲への感染の拡大および蔓延の防止に対して必要な対策をとる。

なお、インフルエンザや麻疹などの感染症と診断された場合は、指導教員に報告の上、ただちに実習を中断し、受診結果を指導教員に報告する。医師より問題ないとの判断が得られたら、指導者の指示に従って実習を再開する。感染症発生時の連絡体制を図 1 に示す。

2. 感染症の防止について

1) B 型肝炎・麻しん・風疹・水痘・流行性耳下腺炎に対して

厚生労働省から出された「麻しんに関する特定感染症予防指針」第三・4・4において「医療・福祉・教育に係わる学生に対して、罹患歴及び予防接種歴の確認並びに未罹患であり、かつ、麻しんの予防接種を必要回数接種していない者に対する予防接種を推奨する」とあり、麻しん対策の徹底が指摘されている。

これを受け、本学診療放射線技術学科では入学年次 5 月に「B 型肝炎・麻しん・風疹・水痘・流行性耳下腺炎」の抗体価検査を実施しており、診療放射線技術学科もこれに準じて実施する。抗体価が陰性（－）あるいは疑陽性（±）であった学生に対し、その後ワクチンの接種状況の調査を実施する。実習に際して、実習病院・施設へ「抗体保有状況報告書」の提出が必要になるところがある。そのため、ワクチンを接種していない学生には接種が求められる。

2) 細菌性急性胃腸炎に対して

【資料7】

小児施設や高齢者施設の一部では、便の検査（O-157・病原性大腸菌、腸炎ビブリオ、サルモネラ）を必要とする。検査手続き等の詳細は、当該実習教員の指示に従う。

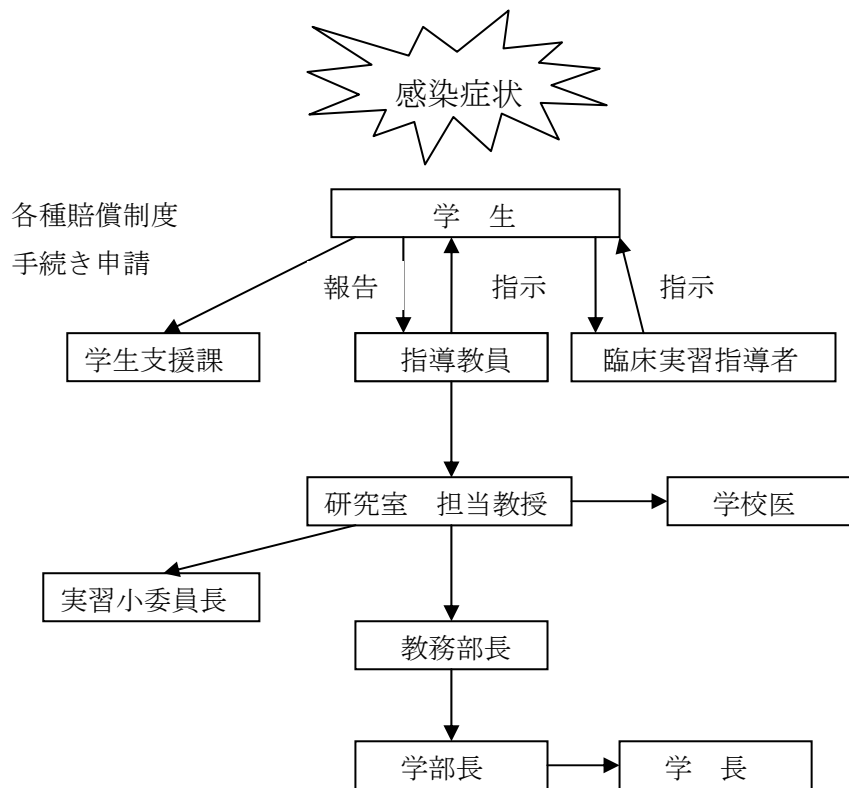


図1 感染症発生時の連絡体制

【資料7】

II. 実習中の事故発生時の対応について

1. 報告・連絡

事故とは、「転倒」、「転落」、「損傷」などの実習対象の身体にかかわる事故、「損傷」、「実習施設における感染」など学生の身体にかかわる事故、「医療用具・物品の破損、紛失」「患者の私物の破損・紛失」などを指す。

事故発生時、学生はただちに臨床実習指導者及び指導教員に報告する。指導教員が中心となり、臨床実習指導者と共に、当該学生に事実状況を確認し、適切な処置並びに報告・連絡を行なう。報告・連絡は下記の系統図（図2）に従い、事態が収拾するまで、適宜行なう。

2. 事故に対する傷害保険の適用

すべての学生は「学生教育研究災害傷害保険及び学生教育研究賠償責任保険」に加入することとし、実習中及び通学途中に発生した事故による治療費や賠償費などが当該保険の適用対象となる。実習中に事故が発生し、何らかの費用負担が生じた場合は、速やかに学生自身が学生支援課に連絡を取り、諸手続きを行なう。また、指導教員にも手続き中であることを速やかに報告する。

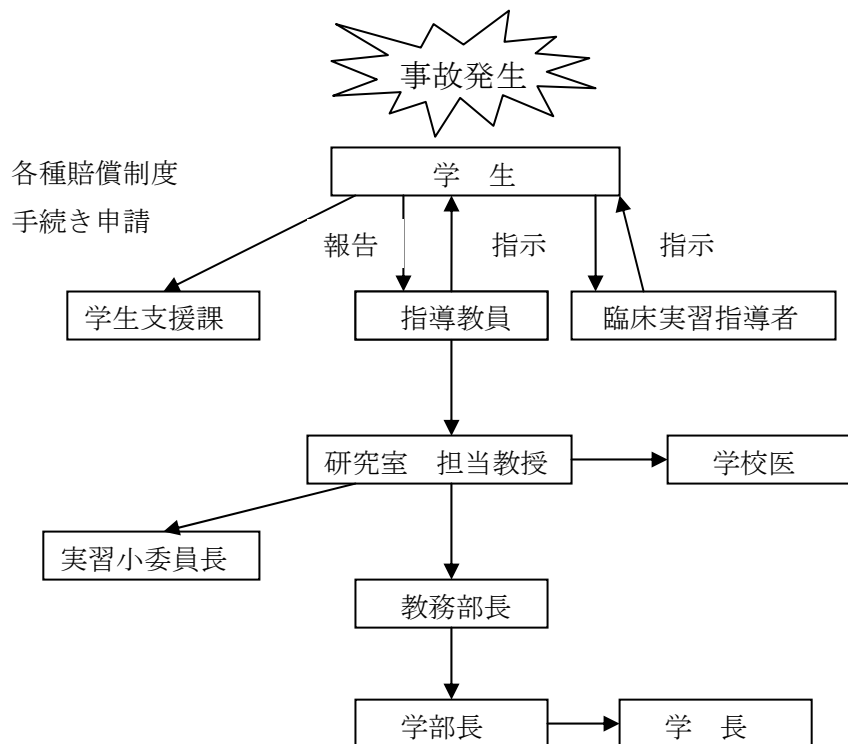


図2 事故発生時の連絡体制

【資料 8】

「実習指導体制」

実習時期 平成27年9月～平成28年7月*	指導計画	実習先との連携体制
画像検査技術学実習	<p>診療画像技術学の学内での各科目の講義、実習を基に臨床現場における画像検査、すなわち、X線撮影系、デジタル画像撮影系に関わる撮影や読影について理解させることを目的に、良質の画像を得るために必要な知識、技術などを習得することで診療放射線技師の役割を理解する。また、患者対応のマナー、医療チームの中での役割と位置付け、他専門職との協働の重要性、検査機器の維持管理、安全対策とリスクマネジメントを習得する。実習事前に、担当教員、担当臨床実習指導者から、画像検査の進め方などの説明を受け、学内実習で得られた知識の再確認、グループ内での事前準備を十分しておく。実習終了後には、実習報告会を開催し、不十分な項目について再確認し、実習施設指導者からの情報を学生にフィードバックする。</p>	<p>事前に実習指導者連絡会議を開催し、実習内容および評価基準について確認する。学生の個人調査を送付し、情報提供を行なう。実習中間時期に担当教員が訪問し、担当指導者および学生から実習の進捗状況について確認する。なお、担当教員は、適宜、電話連絡により、学生の状況を把握する。実習終了後の全体報告会には、実習施設の指導者を招聘し、意見やアドバイスを受ける。</p>
核医学検査技術学実習	<p>核医学検査技術学の講義、演習で学んだことを基に検査の意義、検査法、画像処理、検査機器管理などの技術を習得する。また、患者対応のマナー、医療チームの中での役割と位置付け、他専門職との協働の重要性、検査機器の維持管理、安全対策とリスクマネジメントを習得する。特に、非密封放射性医薬品の取り扱い、放射性廃棄物の管理、放射性同位元素を含む血液、尿などの生体試料の扱い法などを習得する。事前には、担当教員、担当臨床実習指導者から、非密封放射性同位元素の取り扱い注意の説明を受け、コールドラン等を行いグループ内での事前準備を十分しておく。実習終了後には、実習報告会を開催し、不十分な項目について再確認し、実習施設指導者からの情報を学生にフィードバックする。</p>	
放射線治療技術学実習	<p>放射線治療技術学で学習した知識を基に放射線治療技術、患者接遇、医療チームの中での役割と位置付け、他専門職との協働の重要性、検査機器の維持管理、安全対策とリスクマネジメントを習得する。実習事前に、担当教員、担当臨床実習指導者から、実習の進め方の説明を受け、学内実習で得られた知識の再確認、グループ内での事前準備を十分しておく。実習終了後には、実習報告会を開催し、不十分な項目について再確認し、実習施設指導者からの情報を学生にフィードバックする。</p>	

* 実習期間は3年後期（Ⅰ期、Ⅱ期）、4年前期（Ⅲ期）の何れかとする。

【資料9】

「杏林大学診療放射線技術学科における年次別実習計画」

年次	実習時期		実習方法			実習内容
	前期	後期	実習施設	期間	参加単位	
3年次		画像検査技術学実習 核医学検査技術学実習 放射線治療技術学実習	大学付属病院および大学近郊の総合病院	6週間(6) 2週間(2) 2週間(2) 計(10)	1グループ 2名程度	画像検査技術学、核医学検査技術学、放射線治療技術学に関連した科目の講義、演習、および学内実習で習得した知識・技術を医療施設の指導者の下、検査機器、検査技術、治療機器、治療計画の企画等、実践に則した技術を習得する。また、医療施設におけるチーム医療の一専門職としての診療放射線技師の位置づけと役割について、実践を通して学ぶ。さらに、ハード、ソフト面でのリスクマネジメントの構築と実践についても学ぶ。
4年次	画像検査技術学実習 核医学検査技術学実習 放射線治療技術学実習		大学付属病院および大学近郊の総合病院	6週間(6) 2週間(2) 2週間(2) 計(10)	1グループ 2名程度	

* 全体の实習報告会には実習先指導者を招聘し、意見やアドバイスを受ける。

【資料9】

実習指導体制（3年生および4年生）

3年生/4年生 画像検査技術学実習・核医学検査技術学実習・放射線治療技術学実習

学年	学年	3年生/4年生	実習病院：杏林大学医学部付属病院・他関東近県30施設													
			I期	9月第3週	9月第4週	10月第1週	10月第2週	10月第3週	10月第4週	11月第1週	11月第2週	11月第3週	11月第4週	12月第1週	12月第2週	
			II期	12月第3週	1月第2週	1月第3週	1月第4週	2月第1週	2月第2週	2月第3週	2月第4週	3月第1週	3月第2週	3月第3週	3月第4週	
III期	5月第1週	5月第2週	5月第3週	5月第4週	6月第1週	6月第2週	6月第3週	6月第4週	7月第1週	7月第2週	7月第3週	7月第4週				
担当教員	小林	グループ1～5	事前学習	画像検査技術学実習 実習巡回指導				核医学検査技術学実習 実習巡回指導				放射線治療技術学実習 実習巡回指導				実習報告会
	山本	グループ6～10	事前学習	放射線治療技術学実習 実習巡回指導		核医学検査技術学実習 実習巡回指導				画像検査技術学実習 実習巡回指導				実習報告会		
	黒木	グループ11～15	事前学習	核医学検査技術学実習 実習巡回指導		放射線治療技術学実習 実習巡回指導				画像検査技術学実習 実習巡回指導				実習報告会		
	坂本	グループ16～20	事前学習	画像検査技術学実習 実習巡回指導				核医学検査技術学実習 実習巡回指導				放射線治療技術学実習 実習巡回指導				実習報告会
	小池	グループ21～25	事前学習	画像検査技術学実習 実習巡回指導				放射線治療技術学実習 実習巡回指導				核医学検査技術学実習 実習巡回指導				実習報告会

※臨床実習（病院実習）を10週間とし、「画像検査技術学実習」6週間、「核医学検査技術学実習」2週間、「放射線治療技術学実習」2週間とする。

※グループ1～25の1グループあたりの実習学生の人数は2名とする。

※補助（交代）要員：石井（実習先との連絡調整等も担当）

各教員は担当学生および実習指導者と適宜、連絡をとり、実習の進捗状況を確認する。6週間の画像検査技術学実習では3～4週目に原則として1回、2週間の核医学検査技術学実習と放射線治療技術学実習では、それぞれ実習期間中に1回の巡回指導を行うこととするが、必要に応じて複数回、訪問指導を行うものとする。

【資料10】

平成24年度 保健学部支援スケジュール

前期	支 援	対象学年	月 日
4月	学部オリエンテーションキャリアガイダンス	1～4年	3/29(木)～4/4(木)
	学内資格講座ガイダンス	1～4年	4/5(木)～4/18(水)
	業界研究セミナー	1～4年	4/20(金)
	第1回就職専門模擬試験	4年	4/14(土)
5月	第2回就職専門模擬試験	4年	5/12(土)
6月	看護就職ガイダンス	3年	6/2(土)
	第3回就職専門模擬試験	3年	6/2(土)
	多摩地区18大学合同企業説明会	4年	6/4(月)～6/6(水)
	第1回就職ガイダンス	3年	6/16(土)
	第3回就職ガイダンス	4年	6/16(土)
	看護学科試験対策講座(三鷹)	3年	6月中
7月	キャリア・就職ミニ講座	3年	7/2(月)～7/7(水)
	地元企業・留学生採用企業・OB在籍企業説明会	4年	6/16(土)
	看護学科面接対策(三鷹)	4年	7月中
	保健学部キャリア・試験ミニ講座	4年	7月中
8月	企業見学事前勉強会(ジョブスタディ)	1～3年	8/3(金)
	企業見学(ジョブスタディ)	1～3年	8月～9月
	インターンシップ研修(事前・事後指導含む)	2～4年	8月～9月
後期	支 援	対象学年	月 日
9月	自己分析・業界研究講座(有料)	3年	9/14(金)～9/15(土)
	学内資格講座ガイダンス	1～4年	9/24(月)～9/28(金)
10月	第2回就職ガイダンス	3年	9/29(土)
	キャリア・就職ミニ講座	3年	10/22(月)～11/10(土)
	業界研究セミナー	3年	10/15(月)～12/14(金)
	SPI試験対策講座	3年	10/15(月)～12/14(金)
11月	女子学生キャリアセミナー	1～4年	11/17(土)
12月	SPI模擬テスト(有料)	3年	12/21(金)
1月	就職用証明写真撮影会	3年	1/10(木)
	一般常識模擬テスト(有料)	3年	1/11(金)
2月	企業見学事前勉強会(ジョブスタディ)	1～3年	2/1(金)
	THE模擬面接(グループディスカッション・集団・個人)	3年	2/19(火)～2/22(金)
	学内企業説明会(八王子学園都市センター)	3年	2/25(月)～2/27(水)
3月	企業見学(ジョブスタディ)	1～3年	2月～3月
	履歴書・エントリーシート添削	3年	3月上旬

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
一	学長	アトミ ユカ 跡見 裕 <平成25年4月>		医学博士		杏林大学長 (平22. 4)

(注) 高等専門学校にあっては校長について記入すること。

別記様式第3号（その2の1）
（用紙 日本工業規格A4縦型）

教 員 の 氏 名 等												
(保健学部診療放射線技術学科等)												
調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等 の職務に従事する 週当たり平均日数
1	専	教授	イシイ カズオ 石井 和夫 <平成25年4月>		薬学博士		薬理学 放射化学 放射化学演習 放射性医薬品学 医療総合演習 原書購読 特別講義 I 卒業研究	2前 2前 2前 4後 3後・4前 2前 4後	2 2 1 1 2 1 4	1 1 1 1 1 1 1	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科 教授 (平成14年4月)	5日
2	専	教授	オカダ ヨウジ 岡田 洋二 <平成25年4月>		博士 (保健学)		基礎化学 無機化学 生化学 放射線生物学 放射線生物学演習 医療総合演習 原書購読 卒業研究	1前 1前 1後 1後 1後 4後 3後・4前 4後	1 2 2 1 1 2 0.3 4	1 1 1 1 1 1 1 1	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科 准教授 (平成17年4月)	5日
3	専	教授	クロキ カズノリ 黒木 一典 <平成25年4月>		医学博士		放射線画像検査技術学概論 診療画像検査機器学 I 診療画像検査機器学 II 画像解剖学演習 画像医学 放射線治療技術学 I 放射線治療技術学実習 医療総合演習 医療安全学 原書購読 卒業研究	2前 2前 2後 2後 2後 2後 3後～4前 4後 3後・4前 3後・4前 4後	2 2 2 1 2 2 2 2 0.4 0.3 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	昭和大学藤が丘病院 放射線科 准教授 (平成22年9月)	5日
4	専	特任教授	コバヤシ クニノリ 小林 邦典 <平成25年4月>		専修学校		放射線計測学実験 診療画像検査技術学演習 診療画像検査技術学実習 放射線治療技術学 II 放射線安全管理技術学実習 画像検査技術学実習 医療総合演習 医療安全学 原書購読 卒業研究	3前 3前 3前 3前 3前 3後～4前 4後 3後・4前 3後・4前 4後	1 1 1 2 1 6 2 0.7 0.3 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	杏林大学医学部付属病院 放射線部 副技師長 (平成18年4月)	5日
5	専	教授	ヤマモト トモアキ 山本 智朗 <平成25年4月>		博士 (保健学)		基礎数学 核医学検査技術学概論 核医学検査技術学各論 核医学検査技術学演習 医療画像情報学 I 医療画像情報学 II 核医学検査技術学実習 医療総合演習 原書購読 卒業研究	1前 2後 3前 3前 2後 3前 3後～4前 4後 3後・4前 4後	2 2 2 1 2 2 2 2 0.3 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	国際医療福祉大学 准教授 (平成23年4月)	5日
6	専	准教授	コイケ タカヒサ 小池 貴久 <平成25年4月>		博士 (理学)		基礎物理学 システム工学 システム工学実験 放射線物理学 I 放射線物理学 II 放射線物理学演習 医療システム情報学 医療画像情報学演習 医療画像情報学実習 核医学検査技術学実習 医療総合演習 原書購読 卒業研究	1前 2前 2後 1後 2前 2前 3前 3前 3後～4前 4後 3後・4前 4後	2 2 1 2 2 1 1 1 2 2 0.1 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	国際医療福祉大学 保健医療学部 放射線・情報科学科 講師 (平成20年4月)	5日
7	専	准教授	タナカ カオル 田中 薫 <平成25年4月>		博士 (保健学)		医療情報科学 医用電気工学 医用電気工学実験 医用電子工学 医用電子工学実験 医療総合演習 原書購読 特別講義 II 卒業研究	1前 1前 1後 1後 2前 4後 3後・4前 3後・4前 4後	2 2 1 2 1 2 0.1 1 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1	杏林大学保健学部 臨床工学科 准教授 (平成19年4月)	5日
8	専	講師	ホンヤ ケイタ 本谷 啓太 <平成25年4月>		学士 (医学)		臨床生理学実習 診療画像検査技術学 I 診療画像検査技術学 II 診療画像検査技術学 III 画像解剖学 画像解剖学演習 放射線腫瘍学 放射線治療機器学 医療総合演習 医療安全学 原書購読 卒業研究	1後 2前 2後 3前 2前 2後 3前 3前 4後 3後・4前 3後・4前 4後	1 2 2 2 1 2 2 2 2 0.4 0.1 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	杏林大学医学部付属病院 放射線医学教室 任期助手 (平成17年5月)	5日

別記様式第3号（その2の1）
（用紙 日本工業規格A4縦型）

教 員 の 氏 名 等												
(保健学部診療放射線技術学科等)												
調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等 の職務に従事する 週当たり平均日数
9	専	助教	セキ ケンスケ 関 健介 ＜平成25年4月＞		修士 (保健学)		計算機演習 統計学演習 放射線計測学 放射線計測学演習 放射線計測学実験 放射線取扱技術学演習 放射線安全管理技術学 放射線安全管理技術学演習 放射線安全管理技術学実習 関係法規 医療総合演習 原書講読 卒業研究	1後 1前 2後 2後 3前 2前 3前 3前 3前 2後 4後 3後・4前 4後	1 1 2 1 1 1 2 1 1 2 0.1 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	杏林大学保健学部 健康福祉学科 助教 (平成19年4月)	5日
10	専	助教	サカモト タケン 坂本 岳士 ＜平成25年4月＞		修士 (放射線学)		臨床生理学実習 放射線計測学実験 診療画像検査技術学演習 診療画像検査技術学実習 核医学検査機器学 核医学検査技術学演習 放射線安全管理技術学実習 画像検査技術学実習 放射線治療技術学実習 医療総合演習 原書講読 卒業研究	1後 3前 3前 3前 2後 3前 3前 3後～4前 3後～4前 4後 3後・4前 4後	1 1 1 1 2 1 1 6 2 2 0.1 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	杏林大学医学部付属病院 放射線部 放射線技師 (平成18年4月)	5日
11	兼担	教授	オオタキ ジュンイチ 大瀧 純一 ＜平成25年4月＞		博士 (医学)		疾病の成り立ちⅢ (呼吸器系) チーム医療論	1後 3後・4前	0.9 2	1 1	杏林大学保健学部 看護学科 教授 (平成12年4月)	
12	兼担	教授	オオサコ シュンジ 大迫 俊二 ＜平成25年4月＞		理学博士		解剖学 解剖・組織学実習	1前 1後	0.4 1	1 1	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科 教授 (平成24年1月)	
13	兼担	教授	オオミネ トモコ 大嶺 智子 ＜平成25年4月＞		博士 (医学)		公衆衛生学	1前	0.1	1	杏林大学保健学部 健康福祉学科 教授 (平成18年4月)	
14	兼担	教授	カノウ ヒデヨ 加藤 英世 ＜平成25年4月＞		博士 (保健学)		公衆衛生学	1前	0.3	1	杏林大学保健学部 作業療法学科 教授 (平成12年4月)	
15	兼担	教授	カワムラ ハルコ 川村 治子 ＜平成25年4月＞		博士 (医学)		医療安全学	3後・4前	0.5	1	杏林大学保健学部 救急救命学科 教授 (平成10年10月)	
16	兼担	教授	コバヤシ オサム 小林 治 ＜平成25年4月＞		博士 (医学)		疾病の成り立ちⅢ (呼吸器系)	1後	1.1	1	杏林大学保健学部 看護学科 教授 (平成22年4月)	
17	兼担	教授	コニシ ヨシフミ 小西 善史 ＜平成25年4月＞		博士 (医学)		疾病の成り立ちⅠ (感覚器系・女性生殖器系)	1後	1.1	1	杏林大学保健学部 救急救命学科 教授 (平成18年10月)	
18	兼担	教授	ソエジマ アキノリ 副島 昭典 ＜平成25年4月＞		医学博士		疾病の成り立ちⅡ (消化器系) 疾病の成り立ちⅥ (腎・泌尿器系)	1後 2前	2 2	1 1	杏林大学保健学部 臨床工学科 教授 (平成18年4月)	
19	兼担	教授	タジマ オサム 田島 治 ＜平成25年4月＞		医学博士		公衆衛生学	1前	0.3	1	杏林大学保健学部 作業療法学科 教授 (平成12年4月)	
20	兼担	教授	タグチ ハルヒコ 田口 晴彦 ＜平成25年4月＞		博士 (医学)		感染症・免疫学	2前	2	1	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科 教授 (平成19年4月)	

別記様式第3号（その2の1）
（用紙 日本工業規格A4縦型）

教 員 の 氏 名 等												
（保健学部診療放射線技術学科等）												
調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等 の職務に従事する 週当たり平均日数
21	兼担	教授	デジマ ヤスシ 出嶋 靖志 ＜平成25年4月＞		博士 (保健学)		公衆衛生学	1前	0.3	1	杏林大学外国語学部 観光交流文化学科 教授 (平成21年4月)	
22	兼担	教授	アルヤ コウジ 照屋 浩司 ＜平成25年4月＞		医学博士		公衆衛生学	1前	0.8	1	杏林大学保健学部 健康福祉学科 教授 (平成16年4月)	
23	兼担	教授	ヨツクラ マサユキ 四倉 正之 ＜平成25年4月＞		医学博士		疾病の成り立ちIV (循環器系)	2前	2	1	杏林大学保健学部 臨床工学科 教授 (平成18年4月)	
24	兼担	准教授	アイン サトコ 相磯 聡子 ＜平成25年4月＞		博士 (理学)		生命科学概論	1前	2	1	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科 准教授 (平成17年4月)	
25	兼担	准教授	イワタマ ミチヒロ 岩隈 道洋 ＜平成25年4月＞		修士 (法学) ※		日本国憲法	1後	2	1	杏林大学総合政策学部 総合政策学科 准教授 (平成21年4月)	
26	兼担	准教授	カヅマタ ユウコ 勝又 木綿子 ＜平成25年4月＞		博士 (医学)		疾病の成り立ちI (感覚器系・女性生殖器系)	1後	0.9	1	杏林大学保健学部 看護学科 准教授 (平成22年4月)	
27	兼担	准教授	サトウ ミユキ 佐藤 美由紀 ＜平成25年4月＞		博士 (法学)		法学 日本国憲法	1前 1後	2 2	1 1	杏林大学総合政策学部 総合政策学科 准教授 (平成16年4月)	
28	兼担	准教授	シモジマ ユミ 下島 裕美 ＜平成25年4月＞		博士 (心理学)		心理学	1前	2	1	杏林大学保健学部 健康福祉学科 准教授 (平成19年4月)	
29	兼担	准教授	タムラ タカシ 田村 高志 ＜平成25年4月＞		博士 (医学)		遺伝学	1後	2	1	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科 准教授 (平成24年4月)	
30	兼担	准教授	ハセガワ メグミ 長谷川 めぐみ ＜平成25年4月＞		博士 (栄養学)		公衆衛生学	1前	0.3	1	杏林大学保健学部 健康福祉学科 准教授 (平成19年4月)	
31	兼担	准教授	ミタニ ヒロコ 三谷 博子 ＜平成25年4月＞		博士 (保健学)		臨床生理学実習	1後	1	1	杏林大学保健学部 臨床工学科 准教授 (平成20年4月)	
32	兼担	准教授	イトウ アツシ 伊藤 敦司 ＜平成25年4月＞		修士 (法学) ※		法学	1前	2	1	杏林大学総合政策学部 企業経営学科 准教授 (平成15年4月)	
33	兼担	講師	タキガミ シュウ 瀧上 周 ＜平成25年4月＞		博士 (獣医学)		細胞生物学 解剖学 解剖・組織学実習	1前 1前 1後	2 1.1 1	1 1 1	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科 講師 (平成22年4月)	
34	兼担	講師	ハラシマ ケイイチロウ 原島 敬一郎 ＜平成25年4月＞		博士 (医学)		臨床生理学 臨床生理学実習	1前 1後	2 1	1 1	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科 講師 (平成24年4月)	

別記様式第3号（その2の1）
（用紙 日本工業規格A4縦型）

教 員 の 氏 名 等												
（保健学部診療放射線技術学科等）												
調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任（予定）年月＞	年齢	保有 学位等	月額 基本給 （千円）	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 （就任年月）	申請に係る大学等 の職務に従事する 週当たり平均日数
35	兼担	講師	ムラタ マキコ 村田 麻喜子 ＜平成25年4月＞		博士 （保健学）		基礎生物学	1前	1	1	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科 講師 （平成17年4月）	
36	兼担	助教	ハセガワ ルミ 長谷川 瑠美 ＜平成25年4月＞		博士 （保健学）		解剖学 解剖・組織学実習	1前 1後	0.5 1	1 1	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科 助教 （平成19年4月）	
37	兼担	助教	ホンダ カオリ 細田 香織 ＜平成25年4月＞		修士 （薬学）		生物有機化学	1前	2	1	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科 助教 （平成19年4月）	
38	兼担	助教	モリ カズミ 森 数美 ＜平成25年4月＞		学士 （医学）		疾病の成り立ちV （神経系・脳血管系）	2前	2	1	杏林大学保健学部 救急救命学科 助教 （平成19年4月）	
39	兼担	助教	ワタナベ アツシ 渡辺 篤志 ＜平成25年4月＞		修士 （保健学）		医用電気工学実験 医用電子工学実験	1後 2前	1 1	1 1	杏林大学保健学部 臨床工学科 助教 （平成19年4月）	
40	兼任	—	オオイシ マナブ 大石 学 ＜平成25年4月＞		修士 （文学）		哲学 生命倫理学	1前・後 1後	2 2	2 1	杏林大学総合政策学部 非常勤講師 （平成19年4月）	
41	兼任	—	シバタ ミノル 柴田 実 ＜平成25年4月＞		文学士		日本語表現法	1前・後	2	2	杏林大学保健学部 非常勤講師 （平成23年4月）	
42	兼任	—	タキグチ タツヤ 瀧口 達也 ＜平成25年4月＞		修士 （文学）		英語 I 英語 II 英語 IV	1前 1後 2後	2 2 2	1 1 1	杏林大学保健学部 非常勤講師 （平成23年4月）	
43	兼任	—	ナカジマ ケスオ 中島 康雄 ＜平成25年4月＞		Master of Arts, Linguistics		英語Ⅲ	2前	2	1	杏林大学保健学部 非常勤講師 （平成23年4月）	
44	兼任	—	ロバート スチュアート ヨダー ロバート スチュアート ヨダー ＜平成25年4月＞		博士 （社会学）		英会話	2前・後	2	2	杏林大学外国語学部 非常勤講師 （平成8年5月）	
45	兼任	—	ホンダ チユ 本多 千恵 ＜平成25年4月＞		社会学修士		社会学	1前・後	2	2	杏林大学総合政策学部 非常勤講師 （平成7年4月）	
46	兼任	—	ヨシエ ヒゲカズ 吉江 秀和 ＜平成25年4月＞		修士 （文学）		芸術	1前・後	2	2	杏林大学総合政策学部 非常勤講師 （平成22年4月）	

（注）

- 1 教員の数に応じ、適宜枠を増やして記入すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校の出発定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合又は大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 「申請に係る学部等に従事する週当たりの平均日数」の欄は、専任教員のみ記載すること。

専任教員の年齢構成・学位保有状況										
職 位	学 位	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合 計	備 考
教 授	博 士	人	人	人	2人	2人	人	人	4人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	1人	人	人	人	1人	
准教授	博 士	人	人	1人	1人	人	人	人	2人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
講 師	博 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	1人	人	人	人	人	1人	
	短期大士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
助 教	博 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修 士	人	1人	1人	人	人	人	人	2人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
合 計	博 士	人	人	1人	3人	2人	人	人	6人	
	修 士	人	1人	1人	人	人	人	人	2人	
	学 士	人	人	1人	人	人	人	人	1人	
	短期大士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	1人	人	人	人	1人	

(注)

- 1 この書類は、申請又は届出に係る学部等ごとに作成すること。
- 2 この書類は、専任教員についてのみ、作成すること。
- 3 この書類は、申請又は届出に係る学部等の開設後、当該学部等の修業年限に相当する期間が満了する年度（以下「完成年度」という。）における状況を記載すること。
- 4 専門職大学院の課程を修了した者に対し授与された学位については、「その他」の欄にその数を記載し、「備考」の欄に、具体的な学位名称を付記すること。